



平成 30 年度

第 57 回

# 県政に関する世論調査

報 告 書

令和元年 5 月

千 葉 県



## は し が き

この調査は、県民の皆さまの生活意識や、県政に対してどのような関心や、期待などを持っておられるかを把握し、県政推進の基礎資料とするため、昭和50年度から実施しています。

平成18年度からは年2回実施しており、今回は平成30年度第2回目の調査で、県内在住の満18歳以上の男女3,000名を対象に、昨年11月から12月にかけて郵送法・オンライン調査法で実施しました。

具体的内容としては、千葉県マスコットキャラクター「チーバくん」、救急安心電話相談、電話d e 詐欺への対策、県民の治安に対する意識と警察に求めること、サイバー空間の安全対策、ワーク・ライフ・バランス、地域リハビリテーション、道路整備、森林の働きや利用、有機農業、気候変動による影響への適応の11項目について調査を実施しました。

この報告書が、県の施策立案や諸事業の推進などに活用されるだけでなく、広く県民の生活意識や県政に関心を寄せる方々にご活用いただければ幸いです。

終わりに、この調査にご協力いただきました県民の皆さまを始め、関係の方々に厚くお礼申し上げます。

令和元年5月

千葉県総合企画部長 石川 徹





# 目 次

調査の概要	1
調査の結果 調査結果の解説	11
1 千葉県マスコットキャラクター「チーバくん」について	11
(1) 「チーバくん」の認知度	11
(2) 公式Twitterの認知度	13
(3) 公式Instagramの認知度	15
(4) テーマソング&ダンスの認知度	17
(5) インターネットドラマの視聴状況	19
(6) 今後の「チーバくん」の活動に求めること	21
2 救急安心電話相談について	24
(1) 救急に関する判断に困った経験	24
(2) 「救急安心電話相談」の認知度	26
(3) 「救急安心電話相談」の利用希望	28
(4) 「救急安心電話相談」の相談時間変更の必要性	30
3 電話d e 詐欺への対策について	33
(1) 自宅の電話機への対策	33
(1-1) 自宅の電話機への対策をとっていない理由	35
(2) 迷惑電話対策機器の利用希望	37
(3) 迷惑電話対策機器の費用負担希望	39
4 県民の治安に対する意識と警察に求めることについて	42
(1) 居住地域における最近の犯罪発生状況	42
(2) 身近な人が巻き込まれる危険性について不安を感じる犯罪	44
(3) 警察に力を入れて取り締まって欲しい犯罪	46
(4) 安全で安心できる生活を守るために必要なこと	48
5 サイバー空間の安全対策について	51
(1) サイバー攻撃への不安	51
(2) 不安を感じる、又は実際に起こりそうだと考えるサイバー攻撃	53
(3) サイバー攻撃への対策状況	55
(4) 警察に求めるサイバー攻撃対策	57

6	ワーク・ライフ・バランスについて -----	60
	(1) 「ワーク・ライフ・バランス」という言葉の認知度 -----	60
	(2) ワーク・ライフ・バランスの実現度 -----	62
	(2-1) 職場において支障となっている点 -----	64
	(3) 長時間労働を是正するために重要と思う企業の取組 -----	66
	(4) 有給休暇の取得を促進するために重要と思う企業の取組 -----	68
7	地域リハビリテーションについて -----	71
	(1) リハビリテーションを受けた経験 -----	71
	(1-1) 適切なリハビリテーションが提供されたと思うか -----	73
	(2) 適切なリハビリテーションが提供されるために重要だと思うこと ---	75
	(3) 「地域リハビリテーション」という言葉の認知度 -----	77
	(4) 「地域リハビリテーション」推進の必要性 -----	79
8	道路整備について -----	82
	(1) 主な道路の利用目的 -----	82
	(2) 県内の道路状況の満足度 -----	84
	(3) 道路整備をしていく上での優先課題 -----	86
9	森林の働きや利用について -----	89
	(1) 森林に期待する働き -----	89
	(2) 優先して整備して欲しい森林 -----	91
	(3) 身近な森林について期待する利用方法 -----	93
	(4) 県内で生産される木材に期待する利用方法 -----	95
	(5) 森林整備等を促進する普及啓発の効果的な取組 -----	97
10	有機農業について -----	100
	(1) 有機農産物に対するイメージ -----	100
	(2) 有機農産物購入頻度 -----	102
	(2-1) 有機農産物購入理由 -----	104
	(3) 有機農産物の今後の購入意向 -----	106
	(4) 有機農産物に今後期待すること -----	108
11	気候変動による影響への適応について -----	111
	(1) 問題とを感じる気候変動による影響 -----	111
	(2) 「気候変動による影響への適応」の認知度 -----	113
12	自由回答 -----	116
	(付) 調査票および単純集計結果 -----	121

# 調 査 の 概 要

## 1. 調査の目的

この調査は、県民の生活と県政の主要分野にわたる県民の関心、要望、意向などをとらえ、県政推進の基礎資料とすることを目的とする。

## 2. 調査の項目

県政の主要課題

- ①千葉県マスコットキャラクター「チーバくん」について
- ②救急安心電話相談について
- ③電話 d e 詐欺への対策について
- ④県民の治安に対する意識と警察に求めることについて
- ⑤サイバー空間の安全対策について
- ⑥ワーク・ライフ・バランスについて
- ⑦地域リハビリテーションについて
- ⑧道路整備について
- ⑨森林の働きや利用について
- ⑩有機農業について
- ⑪気候変動による影響への適応について

## 3. 調査の設計

- (1) 調査地域 千葉県全域
- (2) 調査対象 満18歳以上の男女個人
- (3) 標本数 3,000人
- (4) 抽出方法 層化二段無作為抽出法

※層化二段無作為抽出法とは、行政単位と地域によって県内をブロックごとに分類し（層化）、各層に調査地点を人口に応じて比例配分し、国勢調査における調査区域及び住民基本台帳を利用して（二段）、各地点ごとに一定数のサンプル抽出を行うものである。

- (5) 調査方法 郵送法・オンライン調査法の併用  
(郵送配付－郵送・オンライン回収)
- (6) 調査時期 平成30年11月22日～平成30年12月14日

## 4. 調査機関 株式会社 エスピー研

## 5. 回収結果

標本数	(A)	3,000件
総回収数	(B)	1,216件
有効回収数	(C)	1,212件
うちネット回収数		144件
無効回収数		4件
うちネット回収数		0件
回収率	(B / A)	40.53%
有効回収率	(C / A)	40.40%

標本抽出方法

調査対象：千葉県内の市町村に居住する満18歳以上の男女個人  
標本数：3,000人  
地点数：市部 193地点  
郡部 7地点  
計 200地点  
抽出法：層化二段無作為抽出法

〔層 化〕

1. 県内を、次の11地域に分類した。

地域名	該 当 市 郡 名
①千葉地域	千葉市、市原市
②葛南地域	市川市、船橋市、習志野市、八千代市、浦安市
③東葛飾地域	松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市
④印旛地域	成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、印旛郡
⑤香取地域	香取市、香取郡
⑥海匝地域	銚子市、旭市、匝瑳市
⑦山武地域	東金市、山武市、大網白里市、山武郡
⑧長生地域	茂原市、長生郡
⑨夷隅地域	勝浦市、いすみ市、夷隅郡
⑩安房地域	館山市、鴨川市、南房総市、安房郡
⑪君津地域	木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市

2. 各地域内においては、  
さらに市部、郡部に分け、層とした。

（注）ここでいう市とは、  
平成30年4月1日現在市制施行の  
地域をさす。



## 〔標本数の配分〕

各地域・市郡規模別の層における満18歳以上の人口（平成30年4月1日現在の推定数）に対して、3,000の標本数を比例配分した。

## 〔抽出〕

- 平成27年国勢調査時に設定された調査区を、第1次抽出単位となる調査単位として使用した。
  - 調査地点の抽出は、調査地点が2地点以上に割り当てられた層については、  

$$\left( \frac{\text{層における調査区数の合計}}{\text{層で算出された調査地点数}} = \text{抽出間隔} \right)$$
を算出し、等間隔抽出法によって抽出した。
  - 抽出に際しての各層内における市町村の配列順序は、平成27年国勢調査時の「標準地域コード一覧」に従った。
  - 調査地点における対象者の抽出は、調査地点の範囲内（町・丁目・番地等を指定）を、住民基本台帳から等間隔抽出法によって抽出した。
- 以上の結果、各地域・市郡別（層別）の標本数・調査地点数は、次のとおりである。

地域 \ 市郡	市部	郡部	計
①千葉地域	1,056,779 600 40	0 0 0	1,056,779 600 40
②葛南地域	1,400,851 780 52	0 0 0	1,400,851 780 52
③東葛飾地域	1,265,983 705 47	0 0 0	1,265,983 705 47
④印旛地域	578,246 330 22	36,631 15 1	614,877 345 23
⑤香取地域	67,995 45 3	31,030 15 1	99,025 60 4
⑥海匝地域	144,225 75 5	0 0 0	144,225 75 5
⑦山武地域	140,067 75 5	41,976 30 2	182,043 105 7
⑧長生地域	78,112 45 3	53,242 30 2	131,354 75 5
⑨夷隅地域	50,291 30 2	15,179 15 1	65,470 45 3
⑩安房地域	104,709 60 4	7,265 0 0	111,974 60 4
⑪君津地域	279,720 150 10	0 0 0	279,720 150 10
計	5,166,978 2,895 193	185,323 105 7	5,352,301 3,000 200

（注）上段は満18歳以上の人口（平成30年4月1日現在）、中段は標本数、下段は調査地点数である。

## 調査地点一覧

地域	調査地点名	標本数	地域	調査地点名	標本数
①千葉地域	千葉市中央区長洲1丁目	15	①千葉地域	市原市五井	15
	千葉市中央区亀井町	15		市原市八幡	15
	千葉市中央区千葉港	15		市原市ちはら台南6丁目	15
	千葉市中央区椿森3丁目	15		市原市桜台3丁目	15
	千葉市中央区星久喜町	15		市原市小谷田	15
	千葉市中央区川戸町	15	②葛南地域	市川市北方1丁目	15
	千葉市中央区生実町	15		市川市稲荷木1丁目	15
	千葉市花見川区浪花町	15		市川市東菅野1丁目	15
	千葉市花見川区幕張町5丁目	15		市川市田尻1丁目	15
	千葉市花見川区朝日ヶ丘2丁目	15		市川市市川1丁目	15
	千葉市花見川区幕張本郷7丁目	15		市川市北方町4丁目	15
	千葉市花見川区作新台1丁目	15		市川市田尻5丁目	15
	千葉市花見川区横戸町	15		市川市市川3丁目	15
	千葉市稲毛区轟町5丁目	15		市川市下貝塚2丁目	15
	千葉市稲毛区稲毛台町	15		市川市妙典5丁目	15
	千葉市稲毛区園生町	15		市川市曾谷4丁目	15
	千葉市稲毛区小仲台8丁目	15		市川市塩焼1丁目	15
	千葉市稲毛区長沼原町	15		市川市北国分4丁目	15
	千葉市若葉区桜木6丁目	15		市川市行徳駅前1丁目	15
	千葉市若葉区小倉町	15		市川市福栄4丁目	15
	千葉市若葉区原町	15		市川市香取2丁目	15
	千葉市若葉区千城台西2丁目	15		市川市相之川1丁目	15
	千葉市若葉区大宮町	15		船橋市本町5丁目	15
	千葉市緑区おゆみ野有吉	15		船橋市宮本1丁目	15
	千葉市緑区大金沢町	15		船橋市栄町1丁目	15
	千葉市緑区あすみが丘2丁目	15		船橋市二子町	15
	千葉市美浜区真砂2丁目	15		船橋市西船4丁目	15
	千葉市美浜区打瀬2丁目	15		船橋市山手1丁目	15
	千葉市美浜区真砂1丁目	15		船橋市夏見台3丁目	15
	千葉市美浜区高洲3丁目	15		船橋市行田町	15
	千葉市美浜区幸町2丁目	15		船橋市丸山2丁目	15
	市原市惣社3丁目	15		船橋市二和西4丁目	15
	市原市村上	15		船橋市三咲3丁目	15
	市原市永吉	15		船橋市坪井東4丁目	15
	市原市白塚	15		船橋市新高根3丁目	15

地域	調査地点名	標本数	地域	調査地点名	標本数
②葛南地域	船橋市高根台6丁目	15	③東葛飾地域	松戸市高塚新田	15
	船橋市習志野台6丁目	15		松戸市新松戸1丁目	15
	船橋市飯山満町3丁目	15		野田市木野崎	15
	船橋市薬円台4丁目	15		野田市中野台	15
	船橋市田喜野井3丁目	15		野田市野田	15
	船橋市前原西6丁目	15		野田市岩名2丁目	15
	習志野市津田沼5丁目	15		野田市平井	15
	習志野市谷津4丁目	15		柏市千代田3丁目	15
	習志野市谷津1丁目	15		柏市あけぼの1丁目	15
	習志野市新栄1丁目	15		柏市戸張	15
	習志野市実籾2丁目	15		柏市吉野沢	15
	八千代市緑が丘2丁目	15		柏市西町	15
	八千代市ゆりのき台5丁目	15		柏市松葉町4丁目	15
	八千代市村上団地1街区	15		柏市増尾8丁目	15
	八千代市勝田台2丁目	15		柏市南増尾8丁目	15
	八千代市八千代台北12丁目	15		柏市東中新宿3丁目	15
	八千代市高津	15		柏市西原1丁目	15
	浦安市北栄2丁目	15		柏市布施	15
	浦安市東野2丁目	15		柏市高南台1丁目	15
③東葛飾地域	浦安市富士見1丁目	15		流山市野々下3丁目	15
	浦安市富岡4丁目	15		流山市宮園3丁目	15
	浦安市日の出4丁目	15		流山市南流山7丁目	15
				流山市西初台3丁目	15
	松戸市胡録台	15		流山市北（大字）	15
	松戸市古ヶ崎（大字）	15		流山市こうのす台	15
	松戸市上本郷	15		我孫子市白山2丁目	15
	松戸市稔台7丁目	15		我孫子市並木7丁目	15
	松戸市三矢小台1丁目	15		我孫子市東我孫子1丁目	15
	松戸市栄町8丁目	15		我孫子市新木	15
	松戸市常盤平西窪町	15		鎌ヶ谷市南初富3丁目	15
	松戸市常盤平7丁目	15		鎌ヶ谷市北中沢1丁目	15
	松戸市東松戸1丁目	15		鎌ヶ谷市東道野辺3丁目	15
	松戸市西馬橋1丁目	15		鎌ヶ谷市東鎌ヶ谷3丁目	15
	松戸市新松戸4丁目	15	④印旛地域	成田市並木町	15
	松戸市八ヶ崎7丁目	15		成田市中台4丁目	15
	松戸市栗ヶ沢	15		成田市玉造3丁目	15
	松戸市五香南1丁目	15			

地域	調査地点名	標本数	地域	調査地点名	標本数
④ 印旛地域	成田市公津の杜 6 丁目	15	⑦ 山武地域	東金市菱沼	15
	成田市本城	15		東金市下谷	15
	佐倉市千成 3 丁目	15		山武市椎崎	15
	佐倉市染井野 3 丁目	15		大網白里市みやこ野 2 丁目	15
	佐倉市王子台 2 丁目	15		大網白里市柳橋	15
	佐倉市小竹	15		山武郡九十九里町西野	15
	佐倉市ユーカリが丘 7 丁目	15		山武郡横芝光町横芝	15
	四街道市つくし座 1 丁目	15	⑧ 長生地域	茂原市高師	15
	四街道市鹿渡	15		茂原市中部	15
	四街道市旭ヶ丘 1 丁目	15		茂原市千町	15
	八街市八街に	15		長生郡一宮町東浪見	15
	八街市八街ほ	15	⑨ 夷隅地域	長生郡白子町浜宿	15
	印西市大森	15		勝浦市市野川	15
	印西市内野 1 丁目	15		いすみ市荻谷	15
	印西市戸神	15	⑩ 安房地域	夷隅郡大多喜町紙敷	15
	白井市笹塚 2 丁目	15		館山市八幡	15
	白井市大山口 2 丁目	15		館山市船形	15
	白井市桜台 2 丁目	15		鴨川市江見内遠野	15
	富里市十倉	15		南房総市白浜町滝口	15
	印旛郡酒々井町東酒々井 1 丁目	15	⑪ 君津地域	木更津市長須賀	15
⑤ 香取地域	香取市佐原口	15		木更津市新田 1 丁目	15
	香取市野田	15		木更津市羽鳥野 3 丁目	15
	香取市府馬	15		木更津市高砂 2 丁目	15
	香取郡多古町十余三	15		君津市中野 2 丁目	15
⑥ 海匝地域	銚子市榊町	15		君津市人見 1 丁目	15
	銚子市親田町	15		君津市糸川	15
	旭市井戸野	15		富津市小久保	15
	旭市入野	15		富津市六野	15
	匝瑳市今泉	15		袖ヶ浦市蔵波台 5 丁目	15

## 回答者の属性

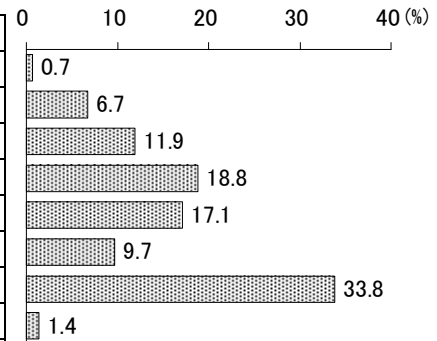
### 1. 性

	基数	構成比	
1 男性	521	43.0	43.0
2 女性	675	55.7	55.7
3 その他	-	-	0.0
(無回答)	16	1.3	1.3
全 体	1,212	100.0	



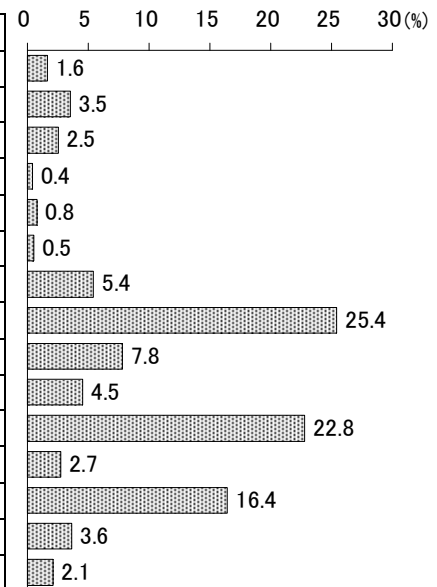
## 2. 年 代

	基数	構成比
1 18～19歳	8	0.7
2 20代	81	6.7
3 30代	144	11.9
4 40代	228	18.8
5 50代	207	17.1
6 60～64歳	117	9.7
7 65歳以上	410	33.8
(無回答)	17	1.4
全 体	1,212	100.0



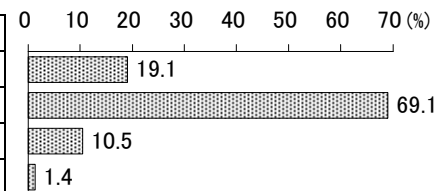
## 3. 本人職業

		基数	構成比
自営業	1 農林漁業	19	1.6
	2 商工サービス業	42	3.5
	3 自由業	30	2.5
従業家族者	4 農林漁業	5	0.4
	5 商工サービス業	10	0.8
	6 自由業	6	0.5
勤め人	7 管理職	65	5.4
	8 専門技術・事務職	308	25.4
	9 販売・サービス職	94	7.8
	10 労務職	55	4.5
無職	11 主婦・主夫	276	22.8
	12 学生	33	2.7
	13 無職	199	16.4
	14 その他	44	3.6
(無回答)		26	2.1
全 体		1,212	100.0



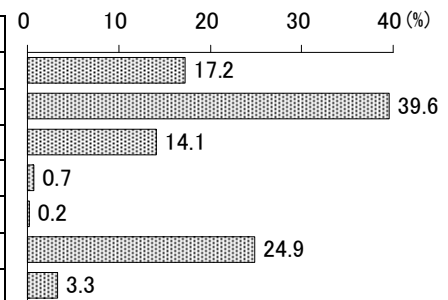
## 4. 未既婚

	基数	構成比
1 未婚	231	19.1
2 既婚（配偶者有）	837	69.1
3 既婚（配偶者離死別）	127	10.5
(無回答)	17	1.4
全 体	1,212	100.0



## 5. 子どもの人数

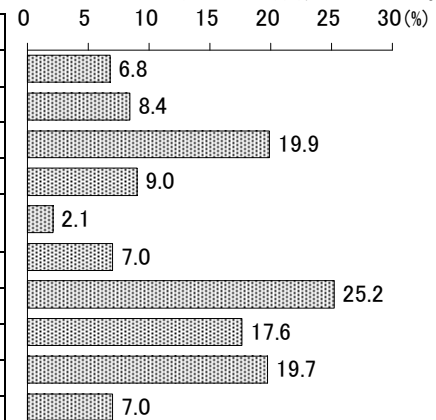
	基数	構成比
1 1人	208	17.2
2 2人	480	39.6
3 3人	171	14.1
4 4人	9	0.7
5 5人以上	2	0.2
6 子どもはいない	302	24.9
(無回答)	40	3.3
全 体	1,212	100.0



## 6. 子どもの成長段階

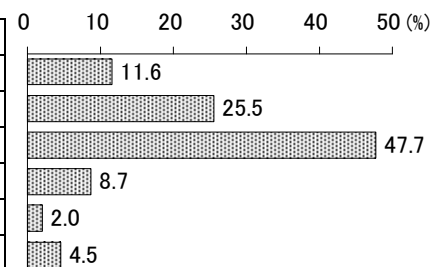
※1人の回答者が複数回答で行う設問であるため、基数・構成比ともに選択項目の合計が全体数を上回る。

	基数	構成比
1 0～2歳の子ども	59	6.8
2 3歳以上の未就学の子ども	73	8.4
3 小学校・中学校在学中の子ども	173	19.9
4 高校在学中の子ども	78	9.0
5 短大・高専・各種学校・専修学校 在学中の子ども	18	2.1
6 大学・大学院在学中の子ども	61	7.0
7 学校を終えた未婚の子ども	219	25.2
8 結婚した子ども	153	17.6
9 同居している子どもはいない	171	19.7
(無回答)	61	7.0
全体（前頁「5.子どもの人数」の1から5の計）	870	-



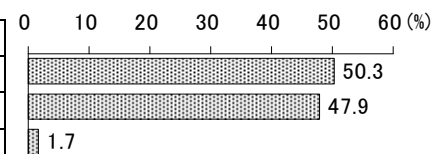
## 7. 家族構成

	基数	構成比
1 単身	141	11.6
2 夫婦のみ	309	25.5
3 二世世代世帯（親と子）	578	47.7
4 三世世代世帯（親と子と孫）	105	8.7
5 その他	24	2.0
(無回答)	55	4.5
全 体	1,212	100.0



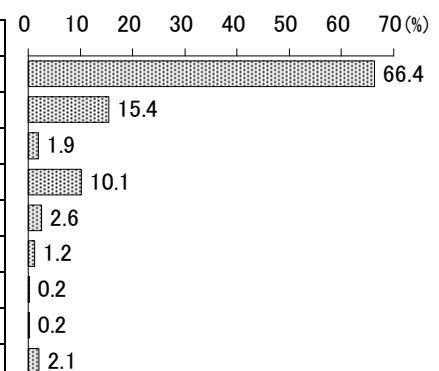
## 8. 高齢者の同居の有無

	基数	構成比
1 いる（対象者本人を含む）	610	50.3
2 いない	581	47.9
(無回答)	21	1.7
全 体	1,212	100.0



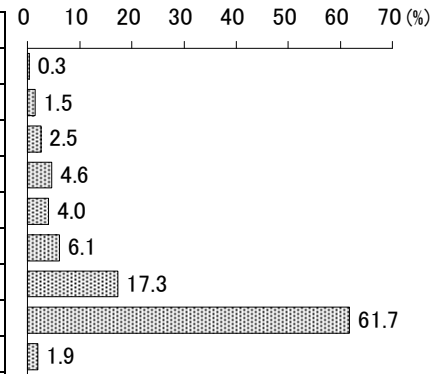
## 9. 住 宅

		基数	構成比
持家	1 持家（一戸建）	805	66.4
	2 分譲マンション	187	15.4
持家以外	3 民間の借家（一戸建）	23	1.9
	4 賃貸のアパート・マンション	122	10.1
	5 公社・UR都市機構・県市町村営住宅	31	2.6
	6 社宅などの給与住宅	14	1.2
	7 住み込み・寮・寄宿舍	2	0.2
	8 その他	2	0.2
（無回答）		26	2.1
全 体		1,212	100.0



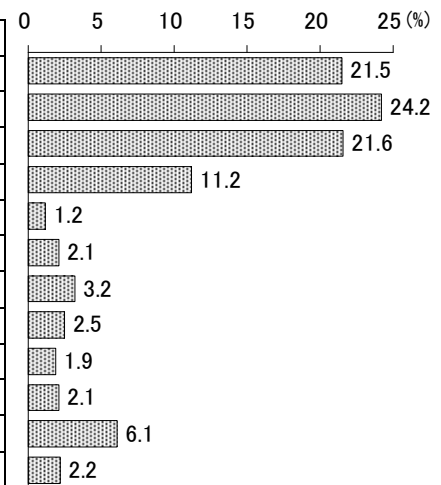
## 10. 県内居住年数

	基数	構成比
1 1年未満	4	0.3
2 1年～3年未満	18	1.5
3 3年～5年未満	30	2.5
4 5年～10年未満	56	4.6
5 10年～15年未満	49	4.0
6 15年～20年未満	74	6.1
7 20年～30年未満	210	17.3
8 30年以上	748	61.7
(無回答)	23	1.9
全 体	1,212	100.0



## 11. 地 域

	基数	構成比
1 千葉地域	261	21.5
2 葛南地域	293	24.2
3 東葛飾地域	262	21.6
4 印旛地域	136	11.2
5 香取地域	15	1.2
6 海匝地域	26	2.1
7 山武地域	39	3.2
8 長生地域	30	2.5
9 夷隅地域	23	1.9
10 安房地域	26	2.1
11 君津地域	74	6.1
(無回答)	27	2.2
全 体	1,212	100.0



## （報告書の見方）

本報告書を読む際に、次の点に留意してください。

- （１）比率はすべて百分比で表し、小数点以下第２位を四捨五入して算出した。このために、百分比の合計が100%にならないことがある。
- （２）基数となるべき実数はnとして掲載した。その比率は件数を100%として算出した。
- （３）１人の回答者が複数回答で行う設問では、その比率の合計が100%を上回ることがある。
- （４）選択肢を合わせた表記の回答割合は、選択肢の回答者人数を合わせた値を、全回答者で割った値を採用しているため、選択肢の回答割合を単純に足した値と異なることがある。
- （５）地域別、性・年齢別の分析においては、有意差のある属性を掲載しており、グラフ上では数値が高くても有意差がないものについては、分析で触れていない。
- （６）この調査の標本誤差は次の式によって得られる。但し、信頼度を95%とする。

$$b = 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差  
 N = 母集団数  
 n = 比率算出の基数（サンプル数）  
 P = 回答比率

次に、本調査の標本誤差の早見表をあげる。

回答比率（P） 基数（n）		10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
総数	1,212人	± 2.44%	± 3.25%	± 3.72%	± 3.98%	± 4.06%
千葉地域	261	± 5.25%	± 7.00%	± 8.02%	± 8.58%	± 8.75%
葛南地域	293	± 4.96%	± 6.61%	± 7.57%	± 8.09%	± 8.26%
東葛飾地域	262	± 5.24%	± 6.99%	± 8.01%	± 8.56%	± 8.74%
印旛地域	136	± 7.28%	± 9.70%	± 11.11%	± 11.88%	± 12.13%
香取地域	15	± 21.91%	± 29.21%	± 33.47%	± 35.78%	± 36.51%
海匝地域	26	± 16.64%	± 22.19%	± 25.42%	± 27.17%	± 27.74%
山武地域	39	± 13.59%	± 18.12%	± 20.75%	± 22.19%	± 22.65%
長生地域	30	± 15.49%	± 20.66%	± 23.66%	± 25.30%	± 25.82%
夷隅地域	23	± 17.69%	± 23.59%	± 27.03%	± 28.89%	± 29.49%
安房地域	26	± 16.64%	± 22.19%	± 25.42%	± 27.17%	± 27.74%
君津地域	74	± 9.86%	± 13.15%	± 15.07%	± 16.11%	± 16.44%
男性	521	± 3.72%	± 4.96%	± 5.68%	± 6.07%	± 6.20%
女性	675	± 3.27%	± 4.35%	± 4.99%	± 5.33%	± 5.44%

## 調査の結果 調査結果の解説

### 1 千葉県マスコットキャラクター「チーバくん」について

#### （1）「チーバくん」の認知度

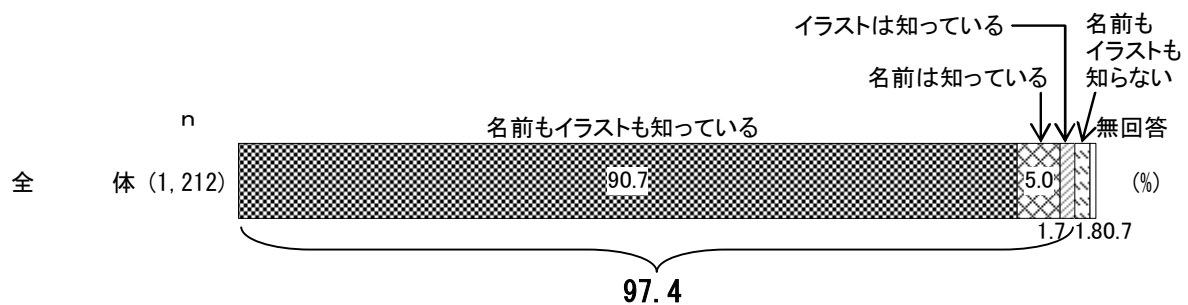
◇『知っている（計）』が約10割

本県のマスコットキャラクターである「チーバくん」は、平成29年1月11日に誕生から10年を迎え、昨年度は初のインターネットドラマ「チーバくんを探せ！！」の配信、公式テーマソング&ダンス「ゆめみるチーバくん」の公開を行い、今年度は公式Instagramを開設しました。

今後も、「チーバくん」を活用した県の魅力発信を行うため、県民の皆さまの意識をお聞きたいします。

問1 あなたは、千葉県のマスコットキャラクター「チーバくん」を知っていますか。（○は1つ）

<図表1-1> 「チーバくん」の認知度



「チーバくん」の認知度を聞いたところ、「名前もイラストも知っている」（90.7%）が9割となっており、これと「名前を知っている」（5.0%）、「イラストは知っている」（1.7%）を合わせた『知っている（計）』（97.4%）が約10割で高くなっている。

一方、「名前もイラストも知らない」（1.8%）はわずかである。（図表1-1）

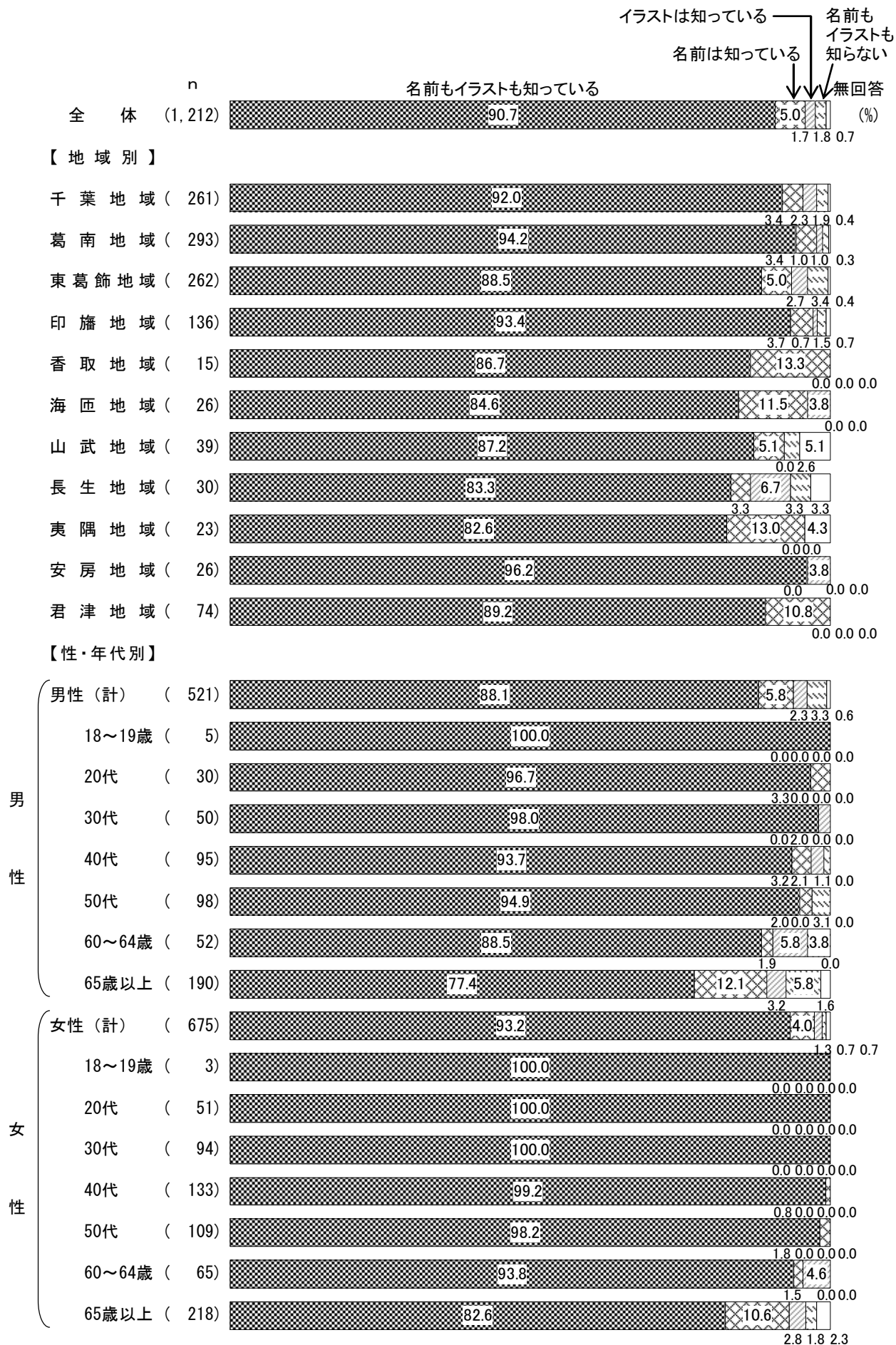
#### 【地域別】

地域別にみると、「名前もイラストも知っている」は“葛南地域”（94.2%）が9割台半ばで高くなっている。（図表1-2）

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「名前もイラストも知っている」は女性の20代（100.0%）、30代（100.0%）が10割、女性の40代（99.2%）、50代（98.2%）が約10割で高くなっている。（図表1-2）

<図表 1－2> 「チーバくん」の認知度／地域別、性・年代別

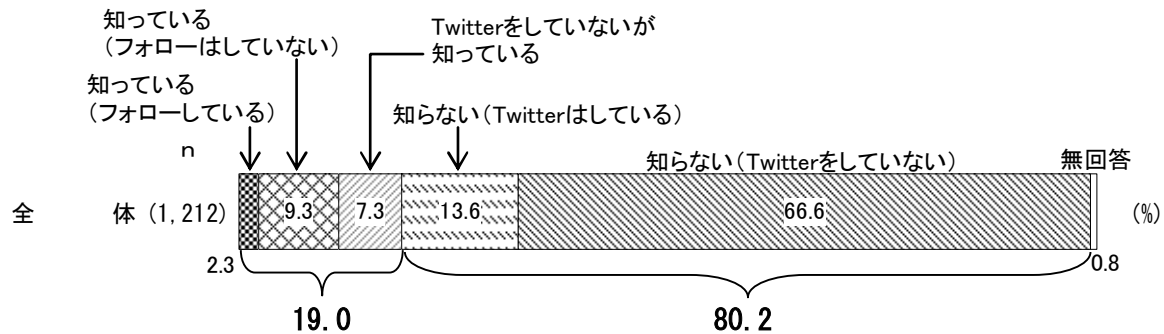


## （２）公式Twitterの認知度

◇『知っている（計）』が約２割

問２ あなたは、チーバくんの公式Twitter (@chi\_bakun\_chiba) を知っていますか。  
（○は１つ）

＜図表１－３＞公式Twitterの認知度



チーバくんの公式Twitterの認知度を聞いたところ、「知っている（フォローしている）」（2.3％）と「知っている（フォローはしていない）」（9.3％）、「Twitterをしていないが知っている」（7.3％）を合わせた『知っている（計）』（19.0％）が約２割となっている。

一方、「知らない（Twitterはしている）」（13.6％）と「知らない（Twitterをしていない）」（66.6％）を合わせた『知らない（計）』（80.2％）が８割で高くなっている。（図表１－３）

### 【地域別】

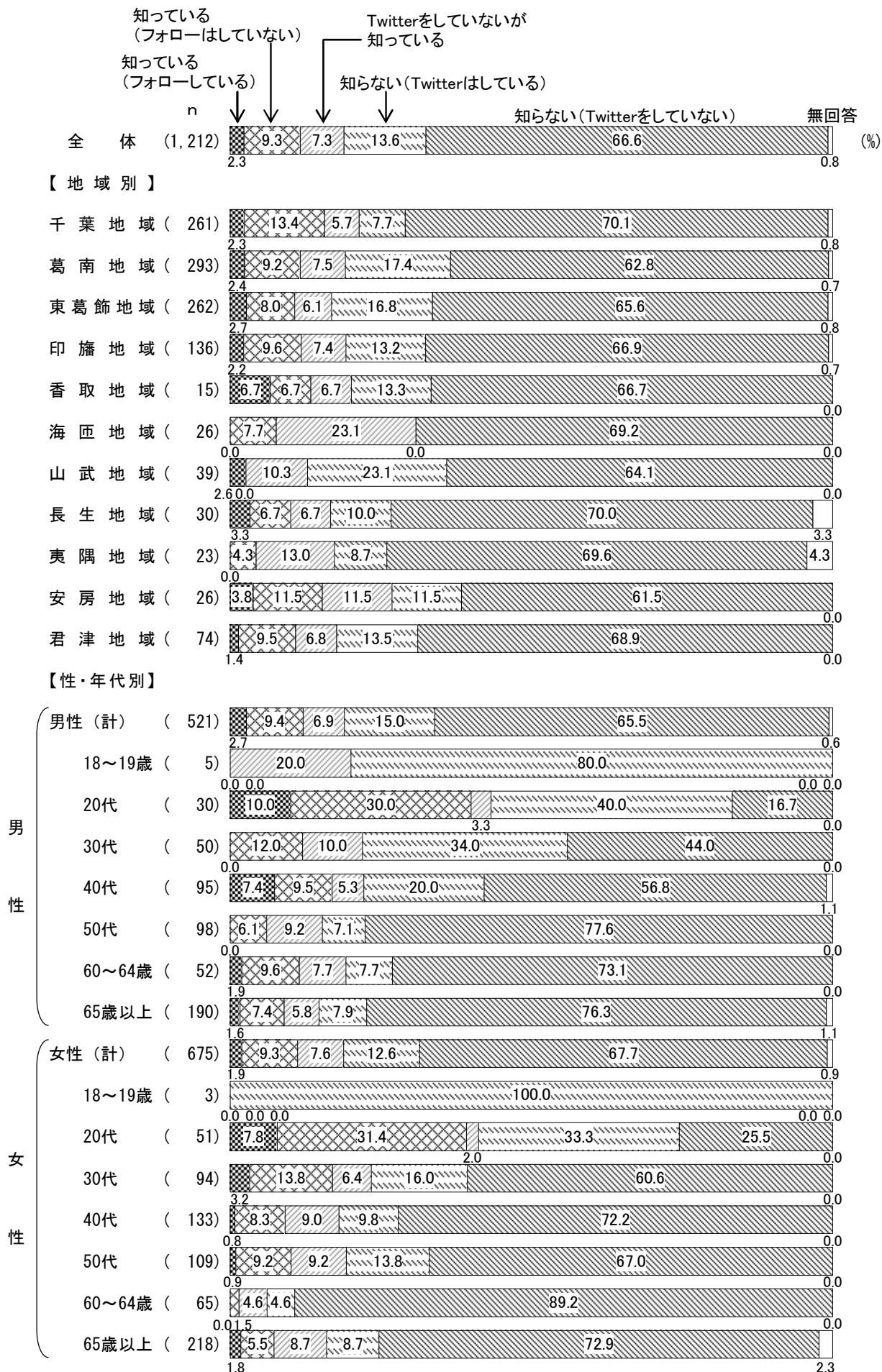
地域別にみると、「Twitterをしていないが知っている」は“海匠地域”（23.1％）が２割を超えて高くなっている。（図表１－４）

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『知っている（計）』は男性の20代（43.3％）と女性の20代（41.2％）が４割を超えて高くなっている。

「知らない（Twitterはしている）」は男性の20代（40.0％）が４割、男性の30代（34.0％）が３割台半ば、女性の20代（33.3％）が３割を超えて高くなっている。（図表１－４）

＜図表１－４＞公式Twitterの認知度／地域別、性・年代別



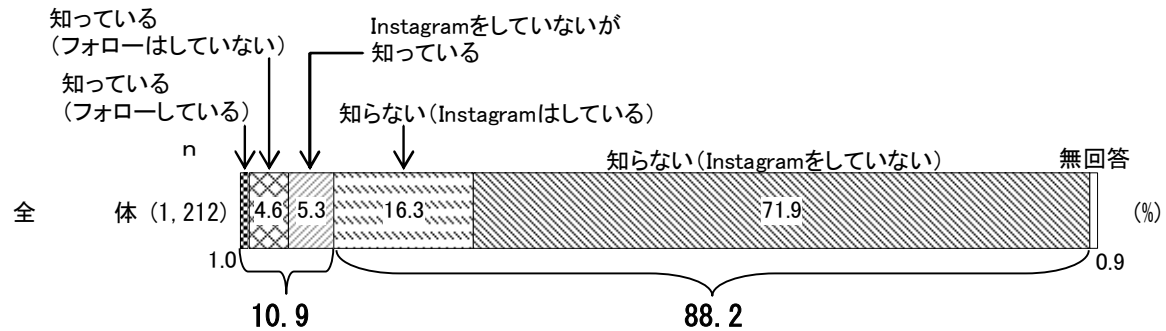


### （３）公式Instagramの認知度

◇『知っている（計）』が１割

問３ あなたは、チーバくんの公式Instagram(@chibakun0111)を知っていますか。（○は１つ）

＜図表１－５＞公式Instagramの認知度



チーバくんの公式Instagramの認知度を聞いたところ、「知っている（フォローしている）」（1.0%）と「知っている（フォローはしていない）」（4.6%）、「Instagramをしていないが知っている」（5.3%）を合わせた『知っている（計）』（10.9%）が１割となっている。

一方、「知らない（Instagramはしている）」（16.3%）と「知らない（Instagramをしていない）」（71.9%）を合わせた『知らない（計）』（88.2%）が約９割で高くなっている。（図表１－５）

#### 【地域別】

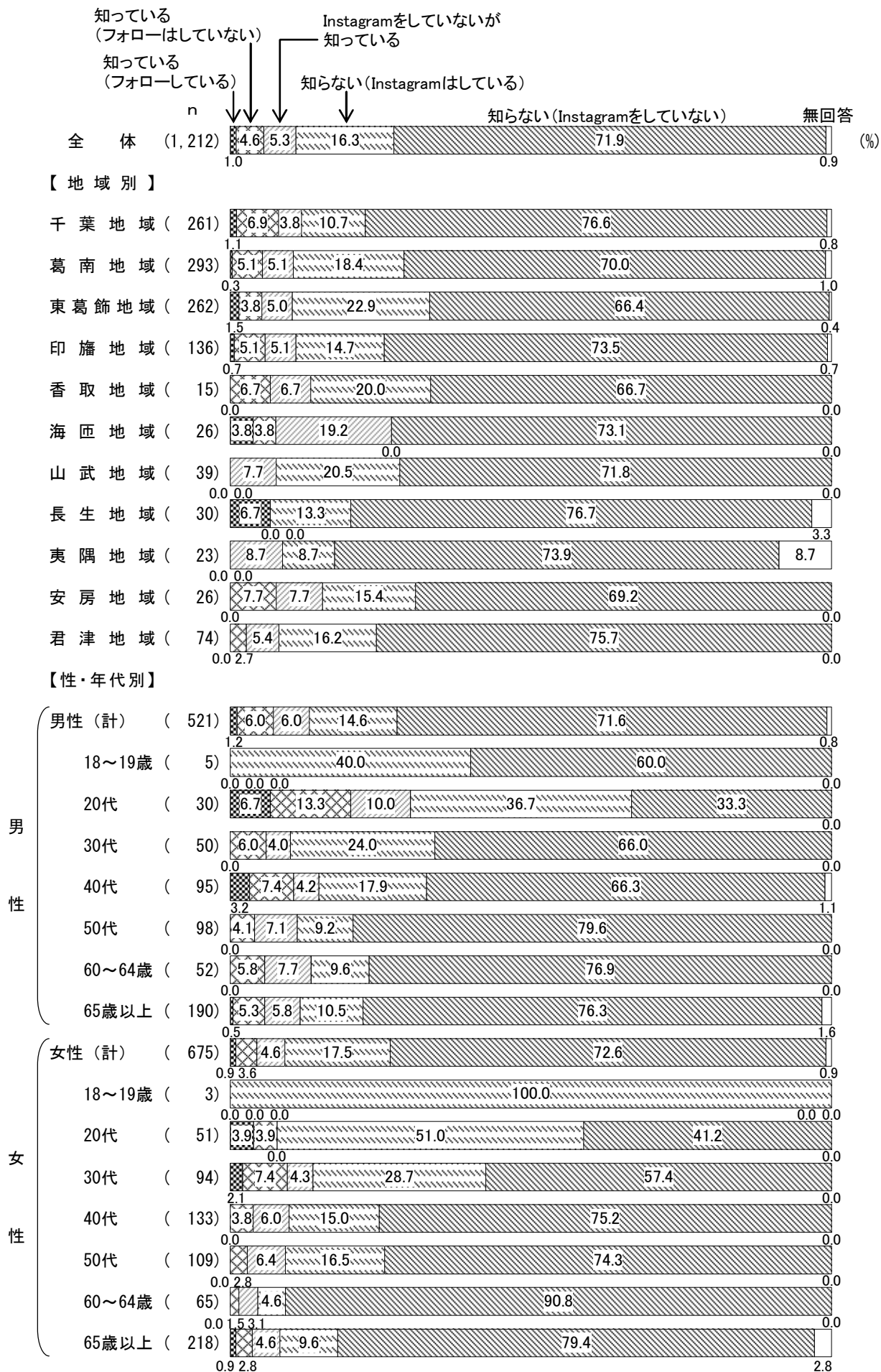
地域別にみると、『知っている（計）』は“海匠地域”（26.9%）が２割台半ばで高くなっている。  
（図表１－６）

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『知っている（計）』は男性の20代（30.0%）が３割で高くなっている。

「知らない（Instagramはしている）」は女性の20代（51.0%）が５割を超え、男性の20代（36.7%）が３割台半ば、女性の30代（28.7%）が約３割で高くなっている。（図表１－６）

＜図表１－６＞公式Instagramの認知度／地域別、性・年代別

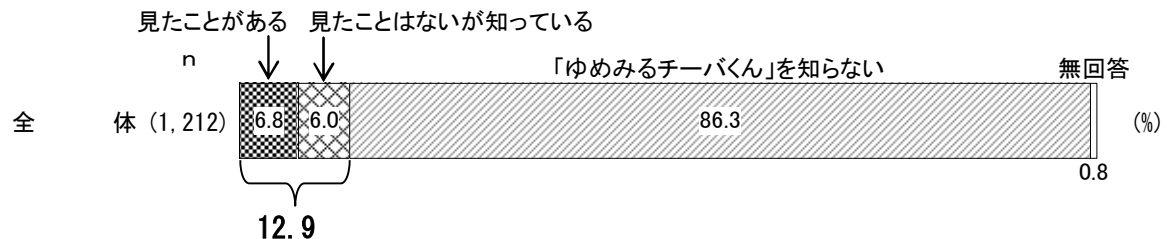


#### （４）テーマソング＆ダンスの認知度

◇『知っている（計）』が１割を超える

問４ あなたは、チーバくんのテーマソング＆ダンス「ゆめみるチーバくん」を見たことがありますか。（○は１つ）

＜図表１－７＞テーマソング＆ダンスの認知度



チーバくんのテーマソング＆ダンス「ゆめみるチーバくん」を見たことがあるか聞いたところ、「見たことがある」（6.8％）と「見たことはないが知っている」（6.0％）を合わせた『知っている（計）』（12.9％）が１割を超えている。

一方、『ゆめみるチーバくん』を知らない」（86.3％）が８割台半ばで高くなっている。

（図表１－７）

##### 【地域別】

地域別にみると、「見たことがある」は“安房地域”（19.2％）が約２割となっている。

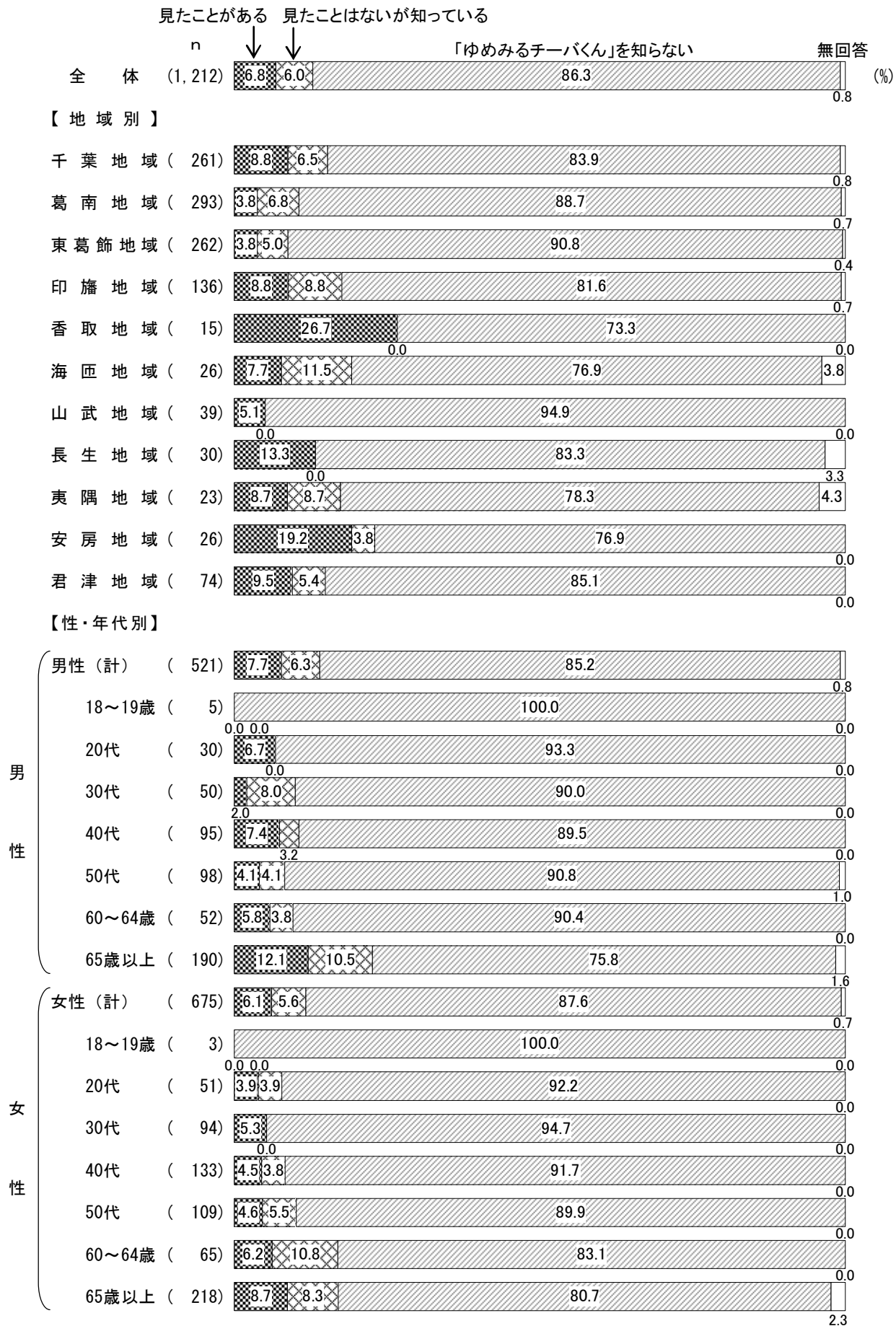
一方、『ゆめみるチーバくん』を知らない」は“東葛飾地域”（90.8％）が９割で高くなっている。（図表１－８）

##### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『知っている（計）』は男性の65歳以上（22.6％）が２割を超えて高くなっている。

一方、『ゆめみるチーバくん』を知らない」は女性の30代（94.7％）が９割台半ばで高くなっている。（図表１－８）

＜図表１－８＞テーマソング＆ダンスの認知度／地域別、性・年代別

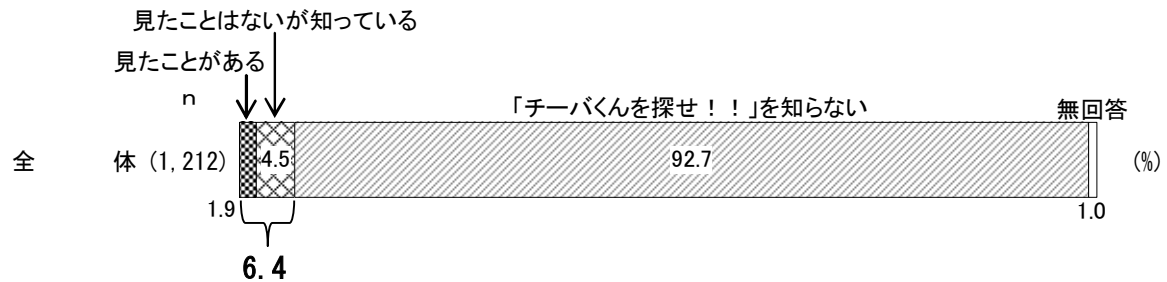


## （５）インターネットドラマの視聴状況

◇『知っている（計）』が１割未満

問５ あなたは、インターネットドラマ「チーバくんを探せ！！」を見たことがありますか。  
（○は１つ）

＜図表１－９＞インターネットドラマの視聴状況



インターネットドラマ「チーバくんを探せ！！」を見たことがあるか聞いたところ、「見たことがある」（1.9％）と「見たことはないが知っている」（4.5％）を合わせた『知っている（計）』（6.4％）が１割未満となっている。

一方、「『チーバくんを探せ！！』を知らない」（92.7％）が９割を超えて高くなっている。

（図表１－９）

### 【地域別】

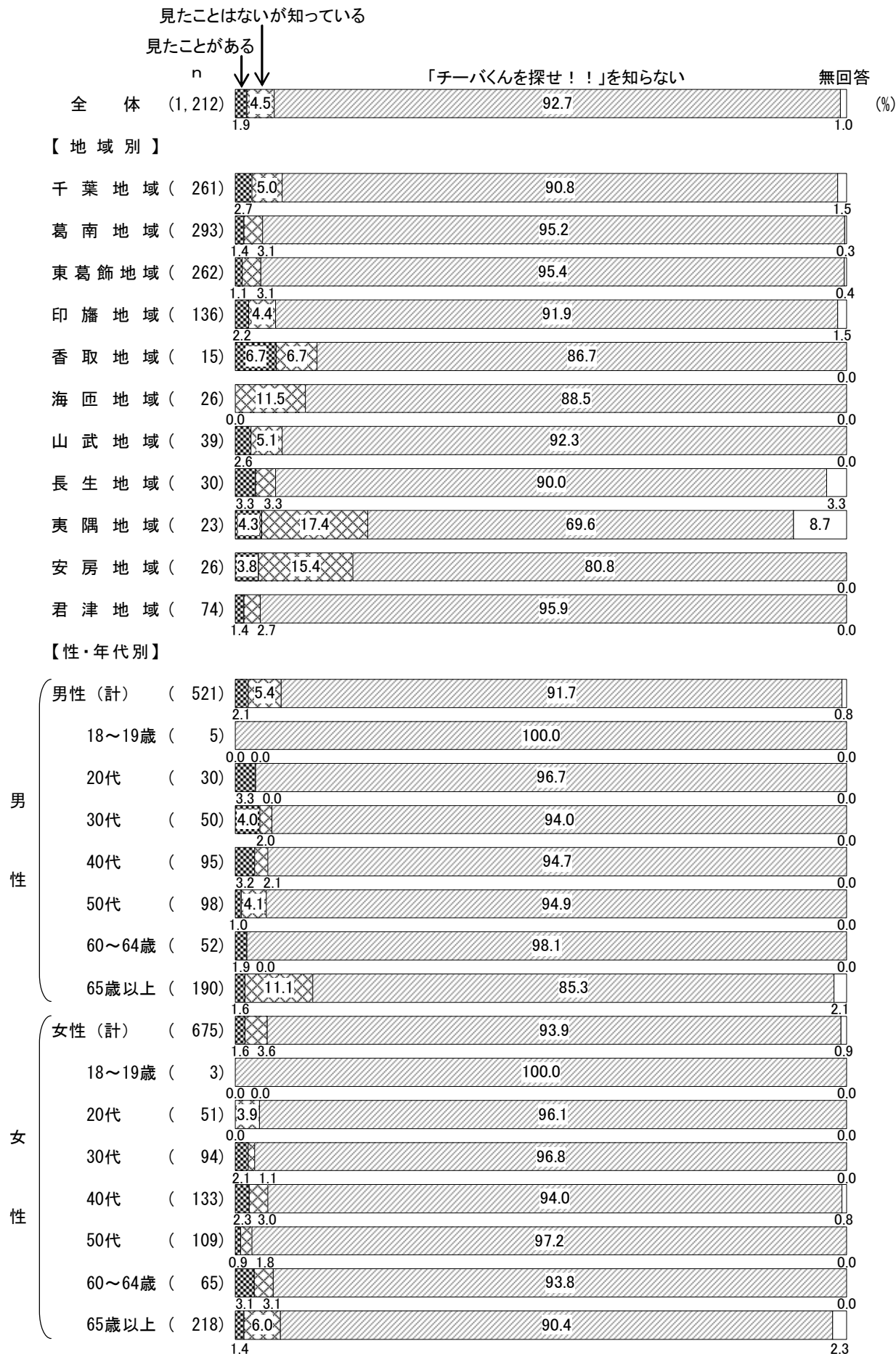
地域別にみると、『知っている（計）』は“夷隅地域”（21.7％）が２割を超え、“安房地域”（19.2％）が約２割で高くなっている。（図表１－10）

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『知っている（計）』は男性の65歳以上（12.6％）が１割を超えている。

（図表１－10）

＜図表１－10＞インターネットドラマの視聴状況／地域別、性・年代別

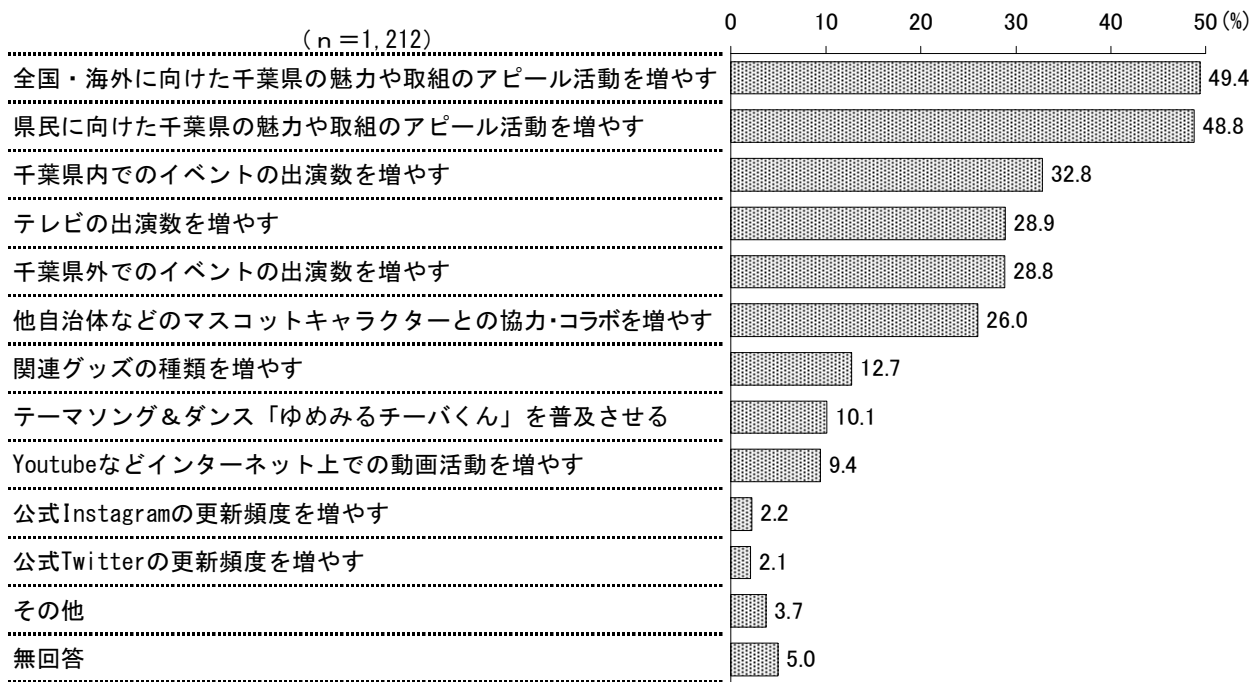


## （６）今後の「チーバくん」の活動に求めること

◇「全国・海外に向けた千葉県の魅力や取組のアピール活動を増やす」と「県民に向けた千葉県の魅力や取組のアピール活動を増やす」が約５割

問６ あなたは、今後のチーバくんの活動に何を求めますか。（○はいくつでも）

＜図表１－１１＞今後の「チーバくん」の活動に求めること（複数回答）



今後のチーバくんの活動に何を求めるか聞いたところ、「全国・海外に向けた千葉県の魅力や取組のアピール活動を増やす」（49.4％）と「県民に向けた千葉県の魅力や取組のアピール活動を増やす」（48.8％）が約５割で高く、以下、「千葉県内でのイベントの出演数を増やす」（32.8％）、「テレビの出演数を増やす」（28.9％）、「千葉県外でのイベントの出演数を増やす」（28.8％）が続く。

（図表１－１１）

### 【地域別】

地域別にみると、「全国・海外に向けた千葉県の魅力や取組のアピール活動を増やす」は“葛南地域”（55.3％）が５割台半ばで高くなっている。

「県民に向けた千葉県の魅力や取組のアピール活動を増やす」は“山武地域”（66.7％）が６割台半ばで高くなっている。（図表１－１２）

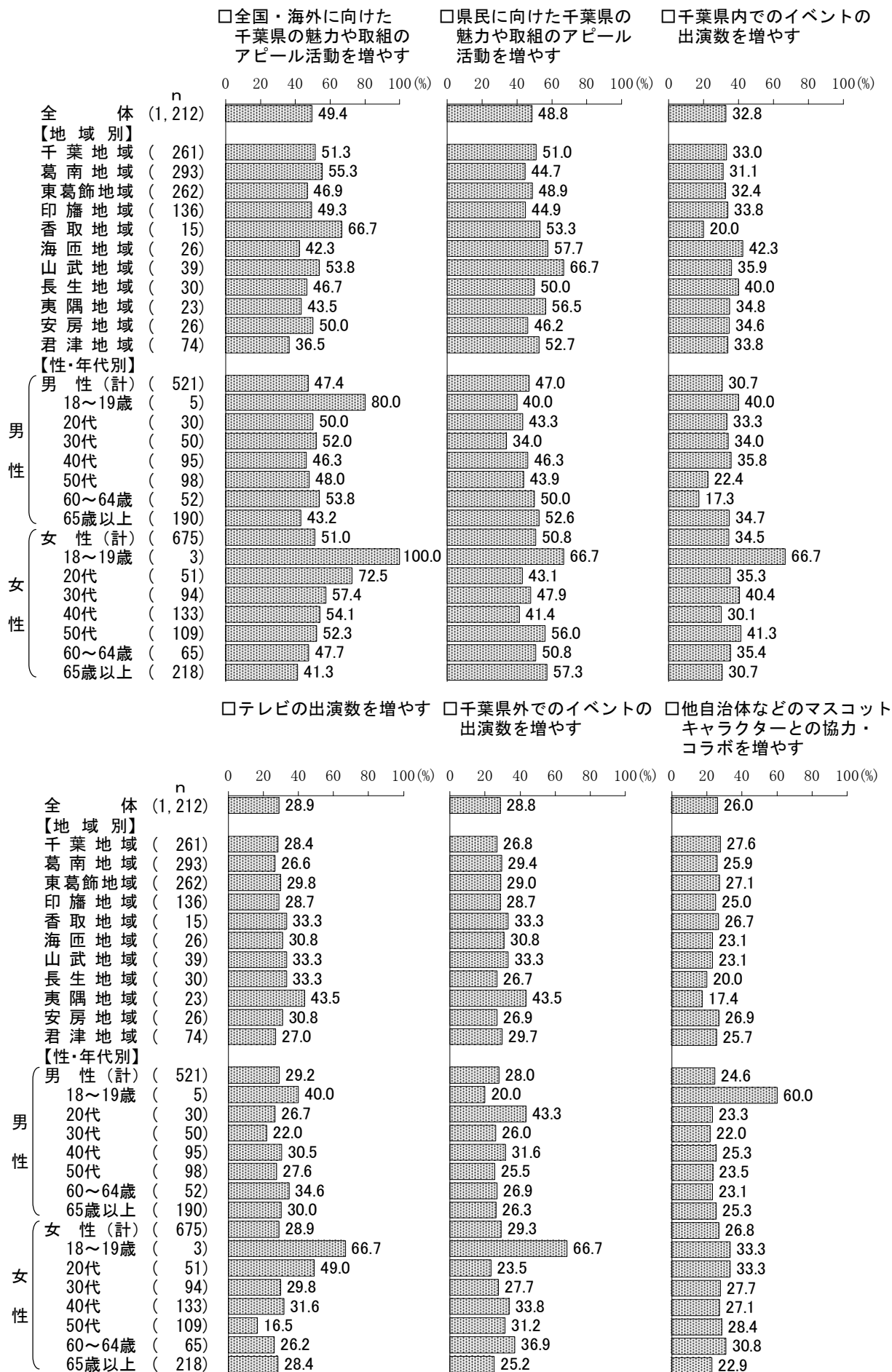
### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「全国・海外に向けた千葉県の魅力や取組のアピール活動を増やす」は女性の20代（72.5％）が７割を超えて高くなっている。

「県民に向けた千葉県の魅力や取組のアピール活動を増やす」は女性の65歳以上（57.3％）が約６割で高くなっている。

「テレビの出演数を増やす」は女性の20代（49.0％）が約５割で高くなっている。（図表１－１２）

＜図表 1－12＞今後の「チーバくん」の活動に求めること（複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）





このほかに、「千葉県マスコットキャラクター『チーバくん』」やここまでの質問（問1～問6）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、215人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「千葉県マスコットキャラクター『チーバくん』」の自由回答（抜粋）

- チーバくんの部位で住んでいる地域を説明する千葉県の方が多いので、他県の方にもチーバくんのことを知っていてほしい。  
（女性、20代、印旛地域）
- チーバくん自体の国内の知名度は高いと思う。しかしながら、チーバくんを通して伝えたい、発信したい内容はあまり届いていないと思う。今後は、メディアやイベントを通じて内容も発信していくべきだが、チーバくんを強く押して行くと、チーバくんという印象しかもたれないことを考慮したバランスが大事と思う。  
（男性、20代、東葛飾地域）
- 認知度は高いので、今後の活動の場として自治体と協力し地域福祉に一役買ってもらうことを期待します。  
（女性、30代、葛南地域）
- チーバくん、とてもかわいいです。子どもも大好きです。千葉というとテレビでは「うなりくん」をたくさん見るので、もっとチーバくんも目立ってほしいと思います。食品などのお土産で小分けにできるものを増やしてほしいです。  
（女性、40代、葛南地域）
- チーバくんはわかりやすく可愛くて千葉県のマスコットキャラクターにぴったりだと思います。各県で様々なマスコットキャラクターが活躍していますが今後も千葉県のイベントなどに地道に活動してもらい長くずっと「チーバくん」を使い続けていれば今よりもっと千葉県といえば「チーバくん」が定着すると思います。  
（女性、40代、東葛飾地域）
- ツイッターやインスタグラムをしていない人にも活動の様子がわかるようにしていただけたらうれしいです。  
（女性、40代、君津地域）
- チーバくんは子どもたちに人気なので、県内で行われる子ども向けのイベントに来る回数を増やしてほしいです。  
（女性、40代、東葛飾地域）
- 幼児から老人まで幅広く親しめる様な企画を今後共思考していった欲しいと思います。チーバくん自身が、県民に対し何を一番知ってもらいたいのか等解り易く公共の場でうたえて欲しいと思います。  
（女性、65歳以上、夷隅地域）

## 2 救急安心電話相談について

### （１）救急に関する判断に困った経験

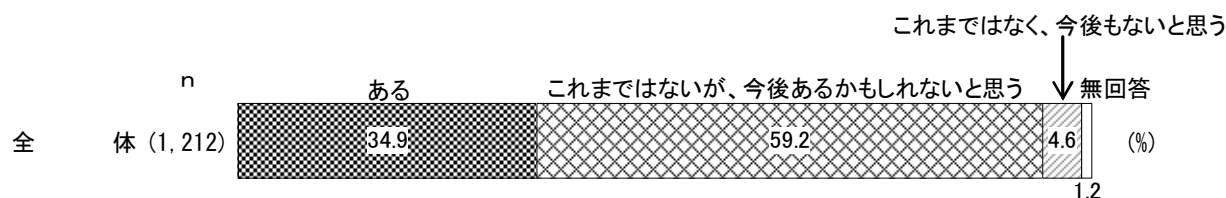
◇「ある」が３割台半ば

県では、夜間や休日の急な病気やケガで、救急車を呼ぶべきか、救急病院へいくべきか迷ったときに看護師などに相談できる、「救急安心電話相談（＃７００９）」（平日・土曜１８時～２３時、日曜・祝日９時～２３時）を行っています。

今後の事業内容などの検討の参考とするため、利用状況や県民の皆さまの意識をお聞きいたします。

問７ あなたは、あなた自身や家族が夜間や休日に急な病気やケガをした際に、救急病院へいくべきか、救急車を呼ぶべきかなど判断に困ったことがありますか。（○は１つ）

＜図表２－１＞救急に関する判断に困った経験



救急に関する判断に困った経験があるか聞いたところ、「ある」（34.9％）が３割台半ばとなっている。

「これまではないが、今後あるかもしれないと思う」（59.2％）は約６割で、「これまではなく、今後もないと思う」（4.6％）はわずかである。（図表２－１）

#### 【地域別】

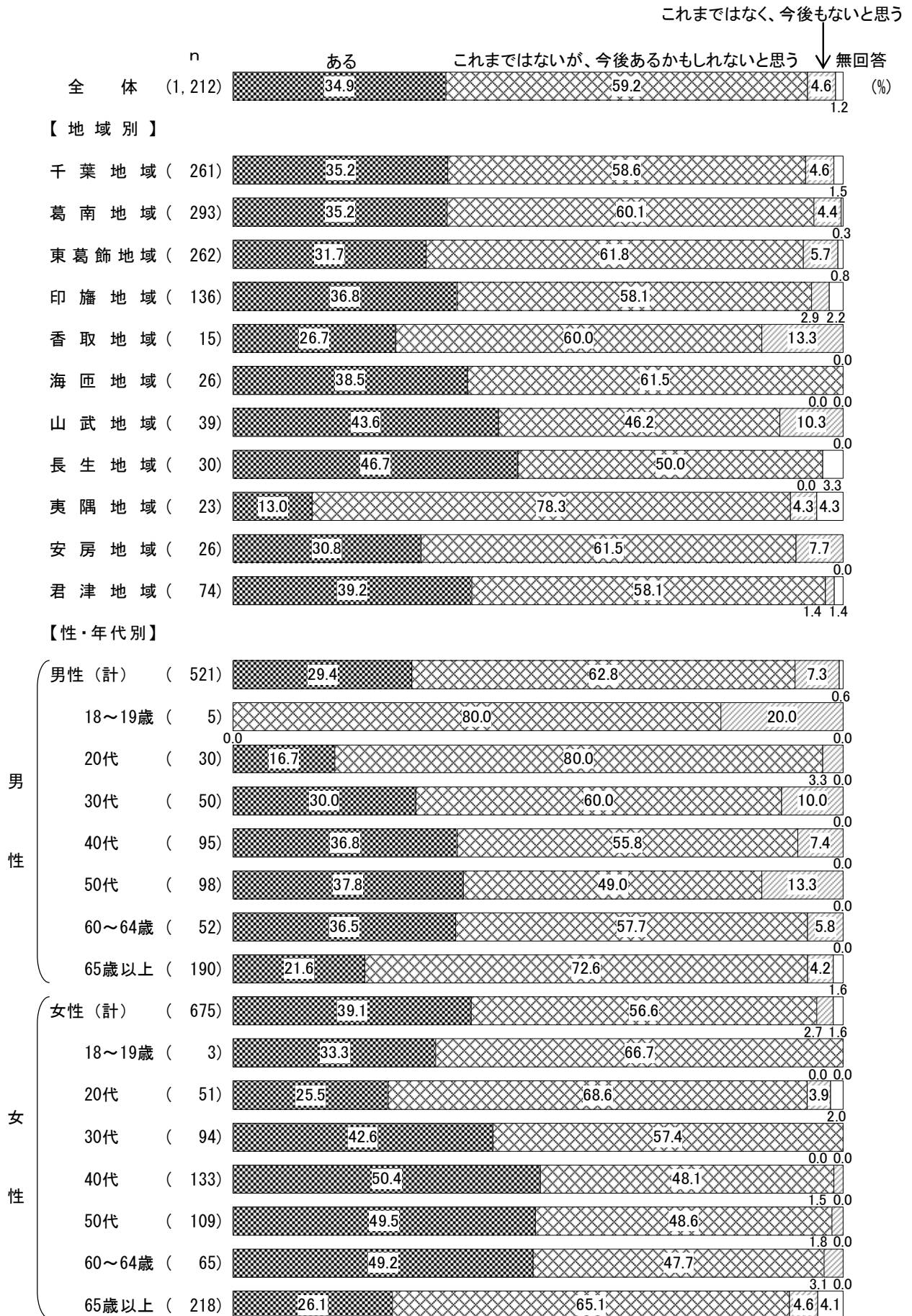
地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。（図表２－２）

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「ある」は女性の40代（50.4％）が５割、女性の50代（49.5％）、60～64歳（49.2％）が約５割で高くなっている。

「これまではないが、今後あるかもしれないと思う」は男性の20代（80.0％）が８割、男性の65歳以上（72.6％）が７割を超えて高くなっている。（図表２－２）

＜図表２－２＞救急に関する判断に困った経験／地域別、性・年代別

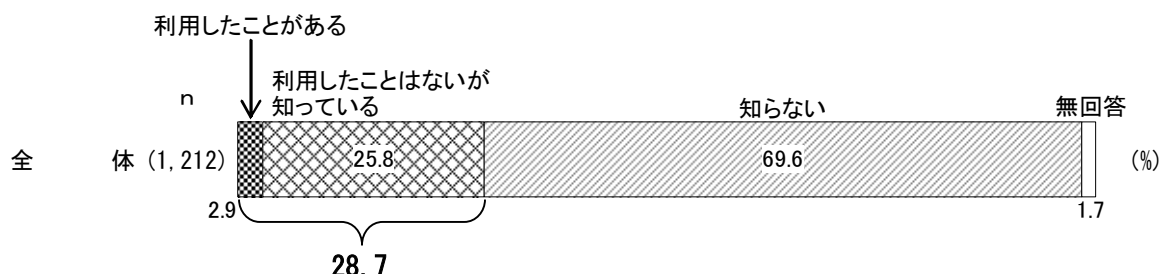


## （２）「救急安心電話相談」の認知度

◇『知っている（計）』が約３割

問８ あなたは、救急車を呼ぶべきかなどの相談に対応する「救急安心電話相談（＃７００９）」を知っていますか。また、利用したことがありますか。（○は１つ）

＜図表２－３＞「救急安心電話相談」の認知度



「救急安心電話相談」の認知度を聞いたところ、「利用したことがある」（2.9％）と「利用したことはないが知っている」（25.8％）を合わせた『知っている（計）』（28.7％）が約３割となっている。

一方、「知らない」（69.6％）が約７割で高くなっている。（図表２－３）

### 【地域別】

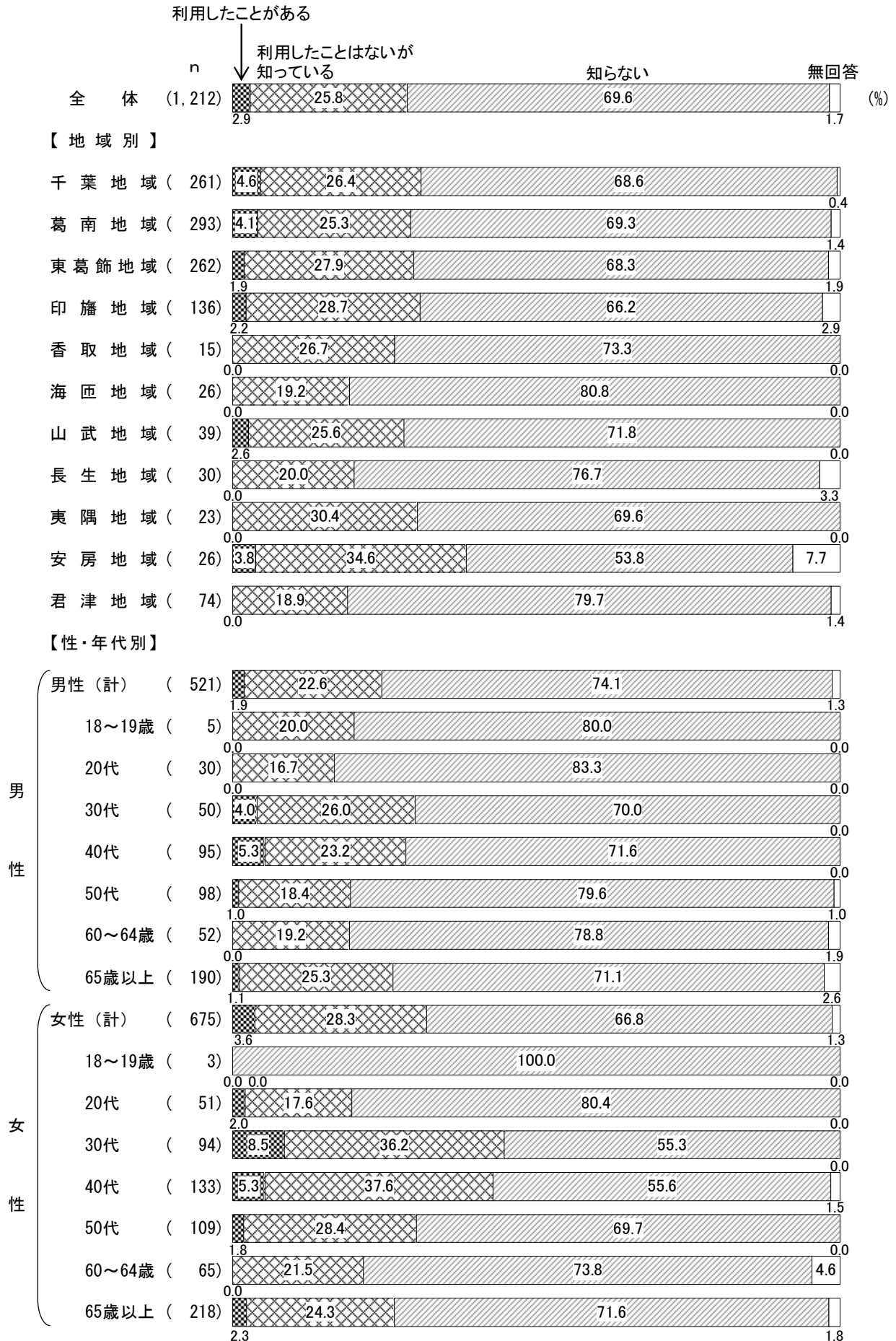
地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。（図表２－４）

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『知っている（計）』は女性の30代（44.7％）が４割台半ば、女性の40代（42.9％）が４割を超えて高くなっている。

一方、「知らない」は男性の50代（79.6％）が約８割で高くなっている。（図表２－４）

<図表2-4>「救急安心電話相談」の認知度／地域別、性・年代別



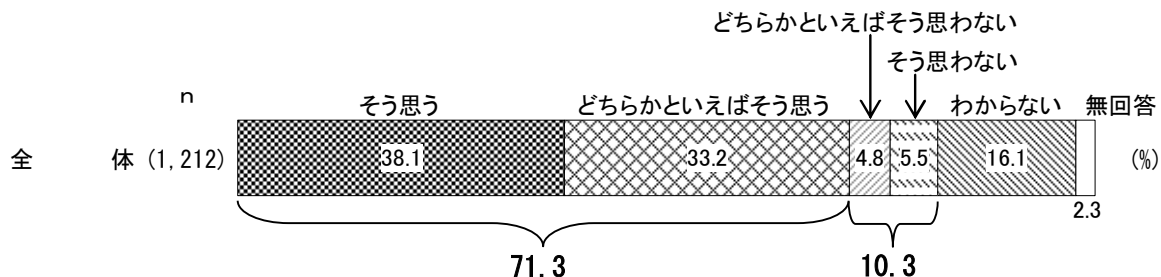
### （３）「救急安心電話相談」の利用希望

◇『利用したい（計）』が７割を超える

問９ あなたは、今後、「救急安心電話相談（＃７００９）」を利用したいと思いますか。

（○は１つ）

＜図表２－５＞「救急安心電話相談」の利用希望



今後、「救急安心電話相談（＃７００９）」を利用したいと思うか聞いたところ、「そう思う」（38.1％）と「どちらかといえばそう思う」（33.2％）を合わせた『利用したい（計）』（71.3％）が７割を超えて高くなっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」（4.8％）と「そう思わない」（5.5％）を合わせた『利用したいと思わない（計）』（10.3％）が１割となっている。（図表２－５）

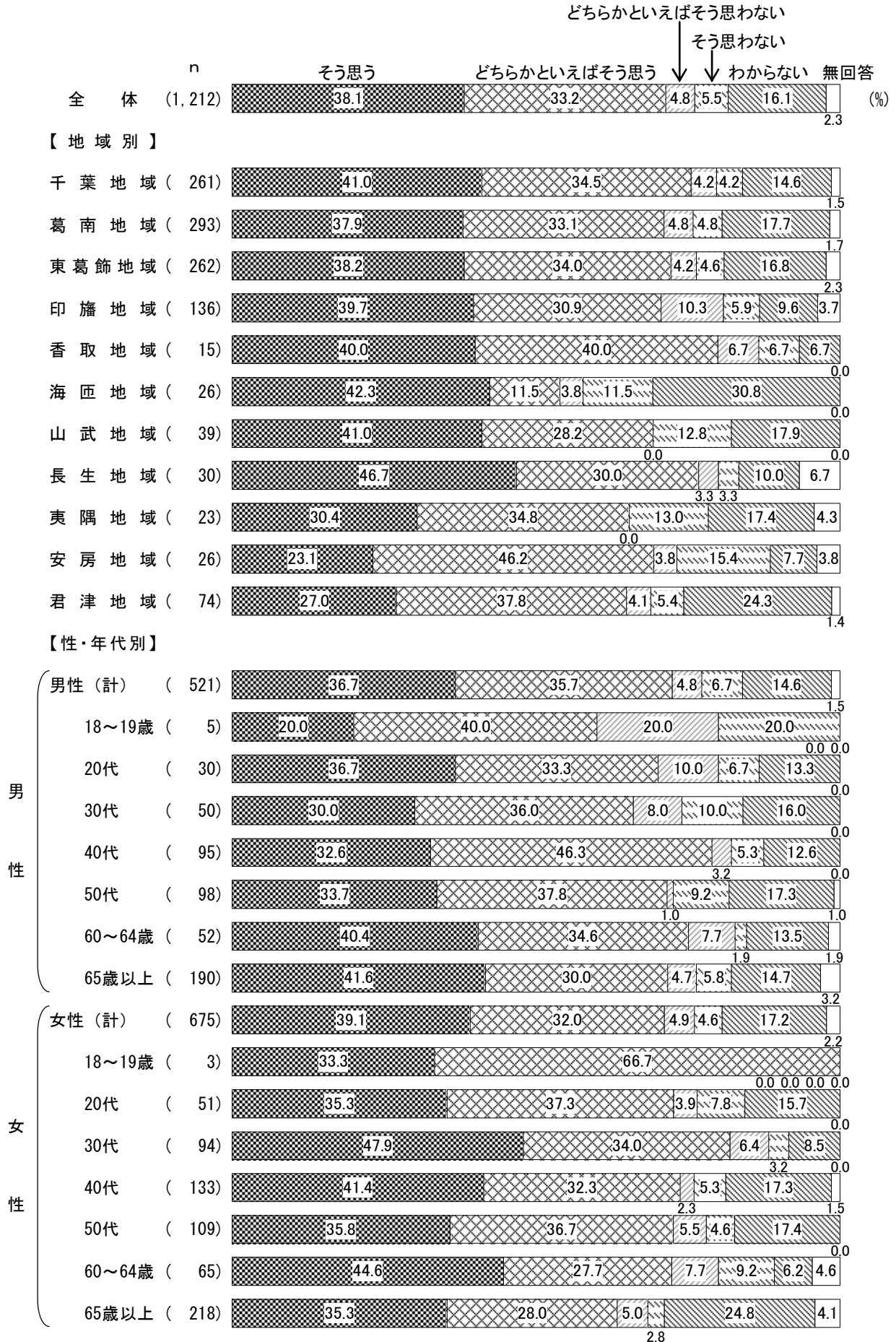
#### 【地域別】

地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。（図表２－６）

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『利用したい（計）』は女性の30代（81.9％）が８割を超えて高くなっている。（図表２－６）

<図表2-6>「救急安心電話相談」の利用希望／地域別、性・年代別



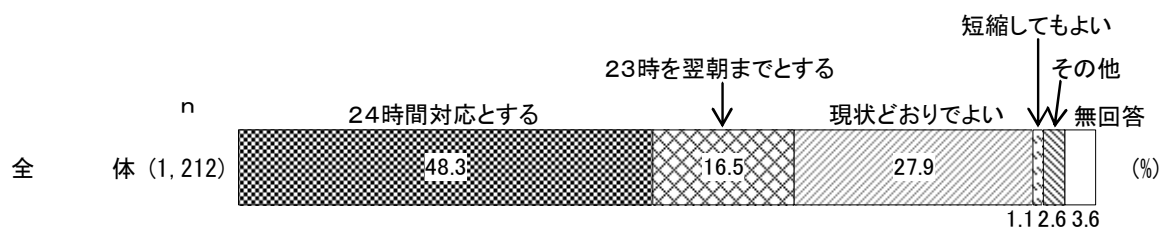
#### （４）「救急安心電話相談」の相談時間変更の必要性

◇「２４時間対応とする」が約５割

問10 現在、「救急安心電話相談（＃７００９）」は平日・土曜１８時～２３時、日曜・祝日９時～２３時の時間に対応しています。あなたは、相談時間を変更する必要があると思いますか。

（○は１つ）

＜図表２－７＞「救急安心電話相談」の相談時間変更の必要性



現在の「救急安心電話相談（＃７００９）」の相談時間を変更する必要があると思うか聞いたところ、「２４時間対応とする」（48.3%）が約５割で最も高く、以下、「現状どおりでよい」（27.9%）、「２３時を翌朝までとする」（16.5%）が続く。（図表２－７）

##### 【地域別】

地域別にみると、「現状どおりでよい」は“安房地域”（53.8%）が５割台半ばで高くなっている。

（図表２－８）

##### 【性・年代別】

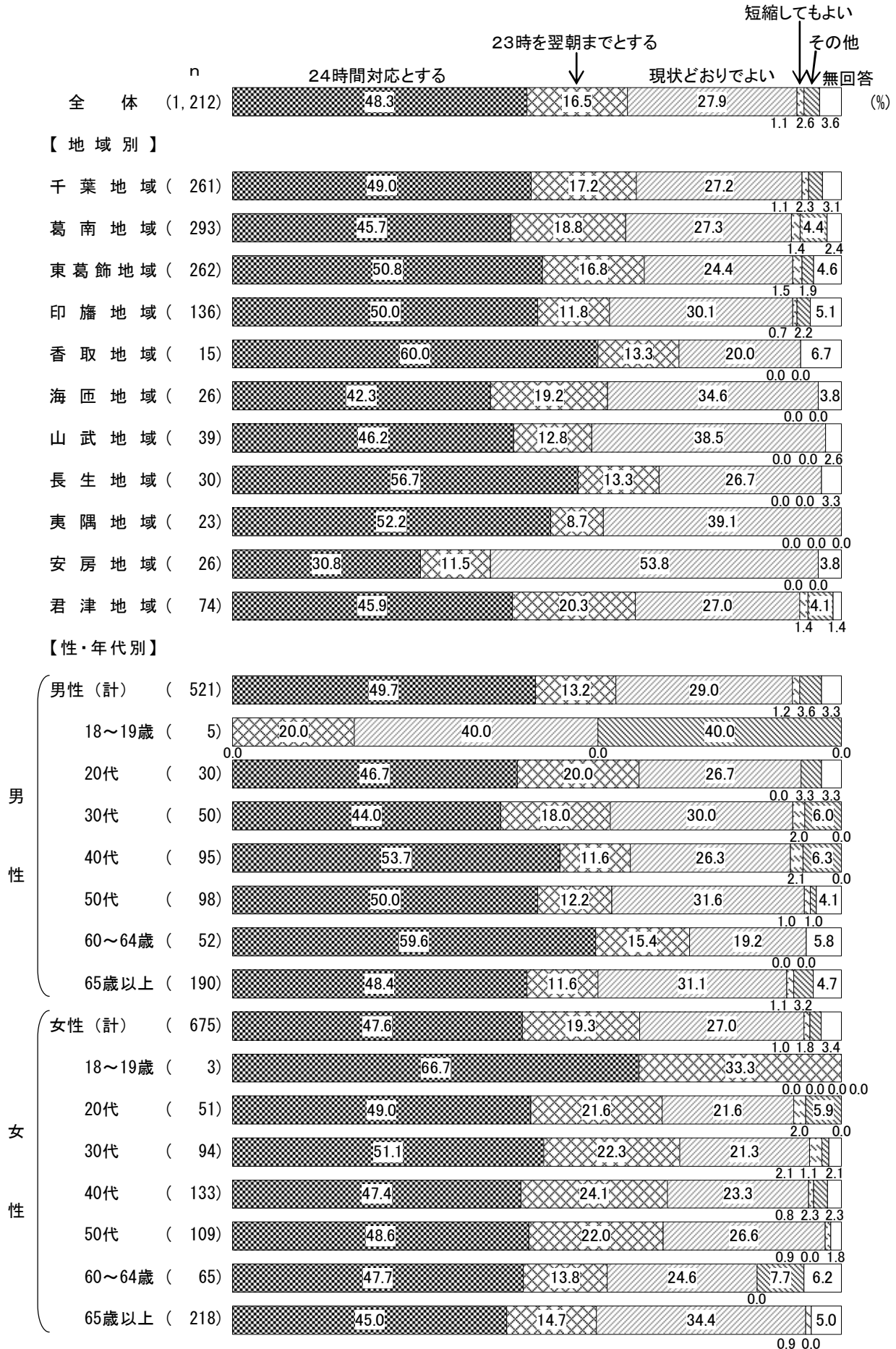
性・年代別にみると、「２３時を翌朝までとする」は女性の40代（24.1%）が２割台半ばで高くなっている。

「現状どおりでよい」は女性の65歳以上（34.4%）が３割台半ばで高くなっている。

（図表２－８）



＜図表２－８＞「救急安心電話相談」の相談時間変更の必要性／地域別、性・年代別



このほかに、「救急安心電話相談（＃７００９）」やここまでの質問（問７～問10）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、227人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「救急安心電話相談（＃７００９）」の自由回答（抜粋）

○こういうサービスがあることを知りませんでした。おそらくまだまだ認知度は低いと思います。本当に必要な人に適切に救急車が利用されるよう、学校や病院、自治体のイベント等で広げていく必要性を感じます。  
（女性、30代、葛南地域）

○救急安心電話相談をもっとアピールするべきと思う。千葉県内に在る携帯電話ショップ窓口などに目立つよう置けないだろうか。  
（男性、30代、君津地域）

○広報活動を行っていると思いますが、市民の目の届くところ、例えば駅や大型スーパーマーケットの掲示板、町会等にチラシで周知する。  
（男性、65歳以上、印旛地域）

○冷蔵庫に貼れるマグネット式の広告や、千葉テレビの画面の下に出ていると、お年寄りがあわてていてもすぐに連絡ができると思います。  
（女性、40代、君津地域）

○トライアルで24時間対応にしてみてもよいかもしれないですね、深夜にどれだけ連絡が来るかわからないので。  
（男性、30代、東葛飾地域）

○夜間など急に具合が悪くなる事もあるので、翌朝までだとありがたいと思う。  
（女性、30代、香取地域）

○曜日によって「＃７００９」の時間が違っていると覚えられない。24時間にしてほしい。  
（女性、65歳以上、東葛飾地域）

○救急車の出動回数がたいへんな数になっていると聞きます。消防と電話相談の両者の意見交換はなされているのでしょうか。バラバラでは実情は変わらない気がします。  
（女性、65歳以上、東葛飾地域）

○子どもの救急相談について、「＃８０００」との使いわけを知りたい。（男性、40代、千葉地域）

○小さい子どもの急変も対応して頂けるならとても助かる。介護する側としても利用していきたい。  
（女性、50代、東葛飾地域）

### 3 電話 d e 詐欺への対策について

#### （1）自宅の電話機への対策

◇「普段から留守番電話設定にしている」と「ナンバーディスプレイを活用し、不審な番号には出ない」が約3割

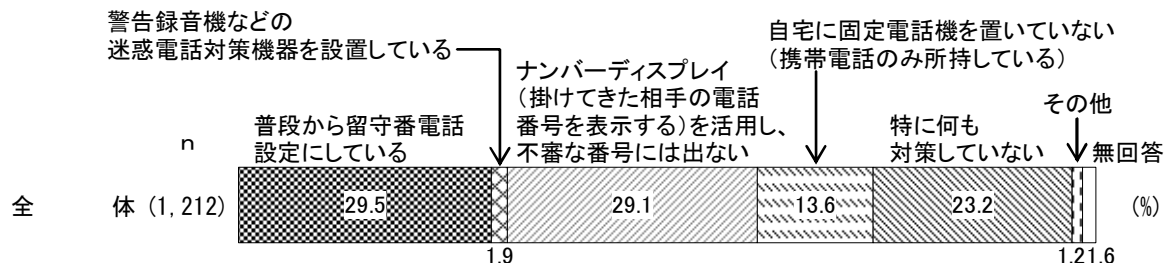
県では、昨年、オレオレ詐欺や振り込め詐欺などの、「電話 d e 詐欺」の被害件数・被害額がともに過去最悪となり、早急な対策が必要となっています。

県と県民が共に「電話 d e 詐欺」への対策を進めるため、県民の皆さまの意識をお聞きたいします。

問11 「電話 d e 詐欺」に遭わないためには、「犯人と直接話さない」ひと工夫が大切です。

あなたは、自宅の電話機にどのような対策をしていますか。（○は1つ）

<図表 3－1> 自宅の電話機への対策



自宅の電話機にどのような対策をしているか聞いたところ、「普段から留守番電話設定にしている」（29.5%）と「ナンバーディスプレイ（掛けてきた相手の電話番号を表示する）を活用し、不審な番号には出ない」（29.1%）が約3割となっている。

「特に何も対策していない」（23.2%）は2割を超えており、「自宅に固定電話機を置いていない（携帯電話のみ所持している）」（13.6%）は1割台半ばとなっている。（図表 3－1）

#### 【地域別】

地域別にみると、「普段から留守番電話設定にしている」は“葛南地域”（37.5%）が約4割で高くなっている。

「特に何も対策していない」は“君津地域”（37.8%）が約4割で高くなっている。（図表 3－2）

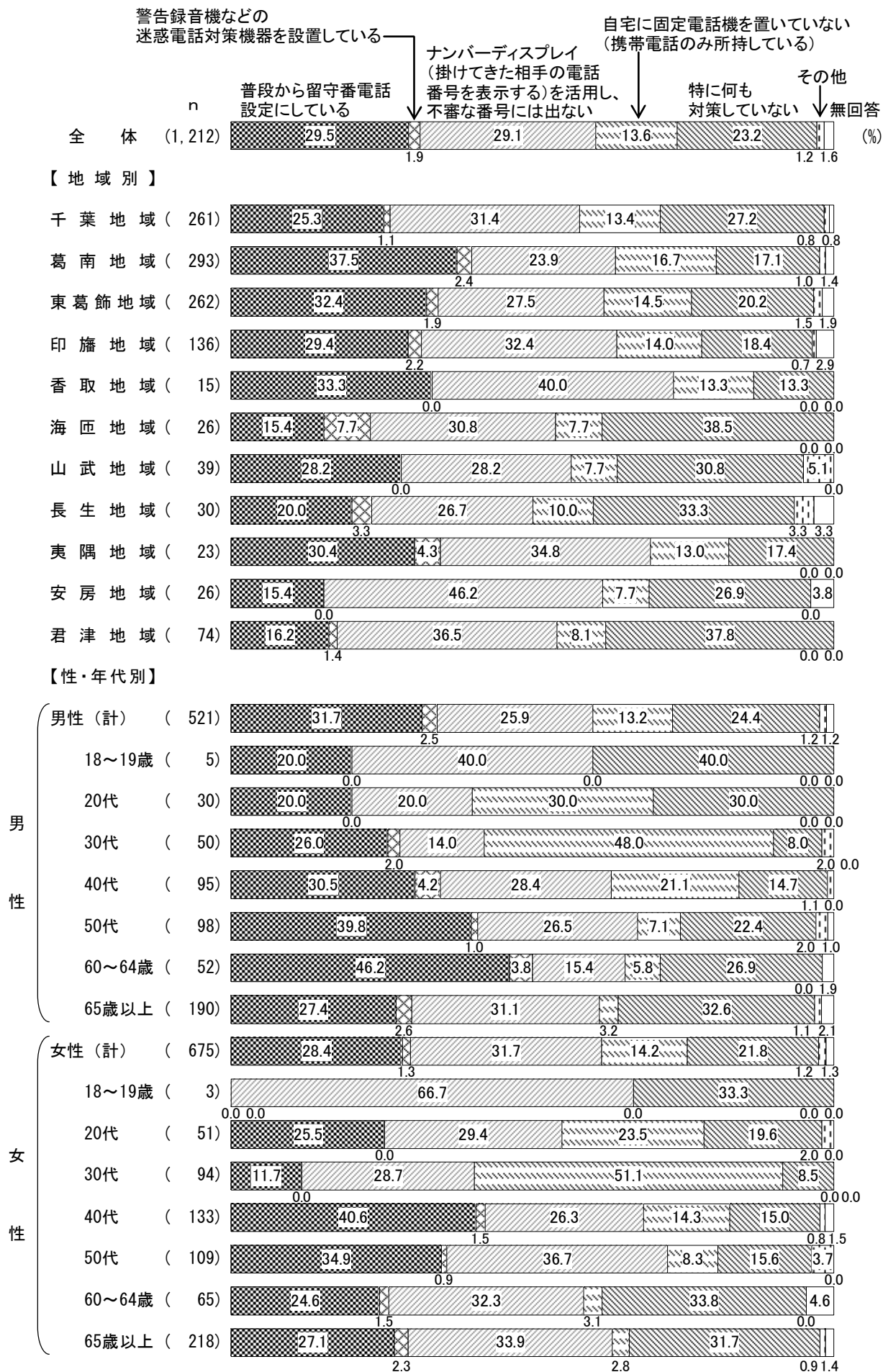
#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「普段から留守番電話設定にしている」は男性の60～64歳（46.2%）が4割台半ば、女性の40代（40.6%）が4割、男性の50代（39.8%）が約4割で高くなっている。

「自宅に固定電話機を置いていない（携帯電話のみ所持している）」は女性の30代（51.1%）が5割を超え、男性の30代（48.0%）が約5割、男性の20代（30.0%）が3割で高くなっている。

「特に何も対策していない」は女性の60～64歳（33.8%）が3割台半ば、男性の65歳以上（32.6%）と女性の65歳以上（31.7%）が3割を超えて高くなっている。（図表 3－2）

＜図表3－2＞自宅の電話機への対策／地域別、性・年代別



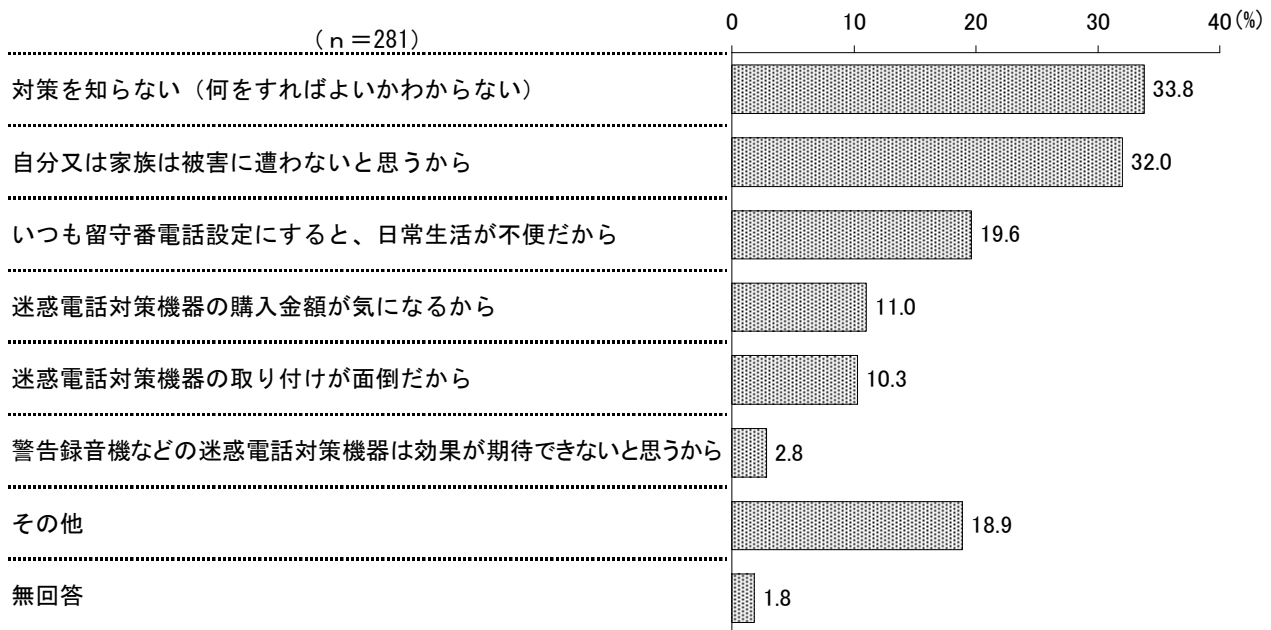
## （１－１）自宅の電話機への対策をとっていない理由

◇「対策を知らない（何をすればよいかわからない）」が３割台半ば

（問11で「特に何も対策していない」とお答えの方に）

問11－１ あなたが、自宅の電話機への対策をとっていない理由は何ですか。（○はいくつでも）

＜図表３－３＞自宅の電話機への対策をとっていない理由



自宅の電話機への対策で「特に何も対策していない」と回答した281人を対象に、その理由を聞いたところ、「対策を知らない（何をすればよいかわからない）」（33.8%）が３割台半ばで最も高く、以下、「自分又は家族は被害に遭わないと思うから」（32.0%）、「いつも留守番電話設定にすると、日常生活が不便だから」（19.6%）、「迷惑電話対策機器の購入金額が気になるから」（11.0%）が続く。（図表３－３）

### 【地域別】

※サンプル数が少ない（有意差がない）ため、【地域別】における属性の分析は触れていない。

（10ページ「報告書の見方（５）」を参照）

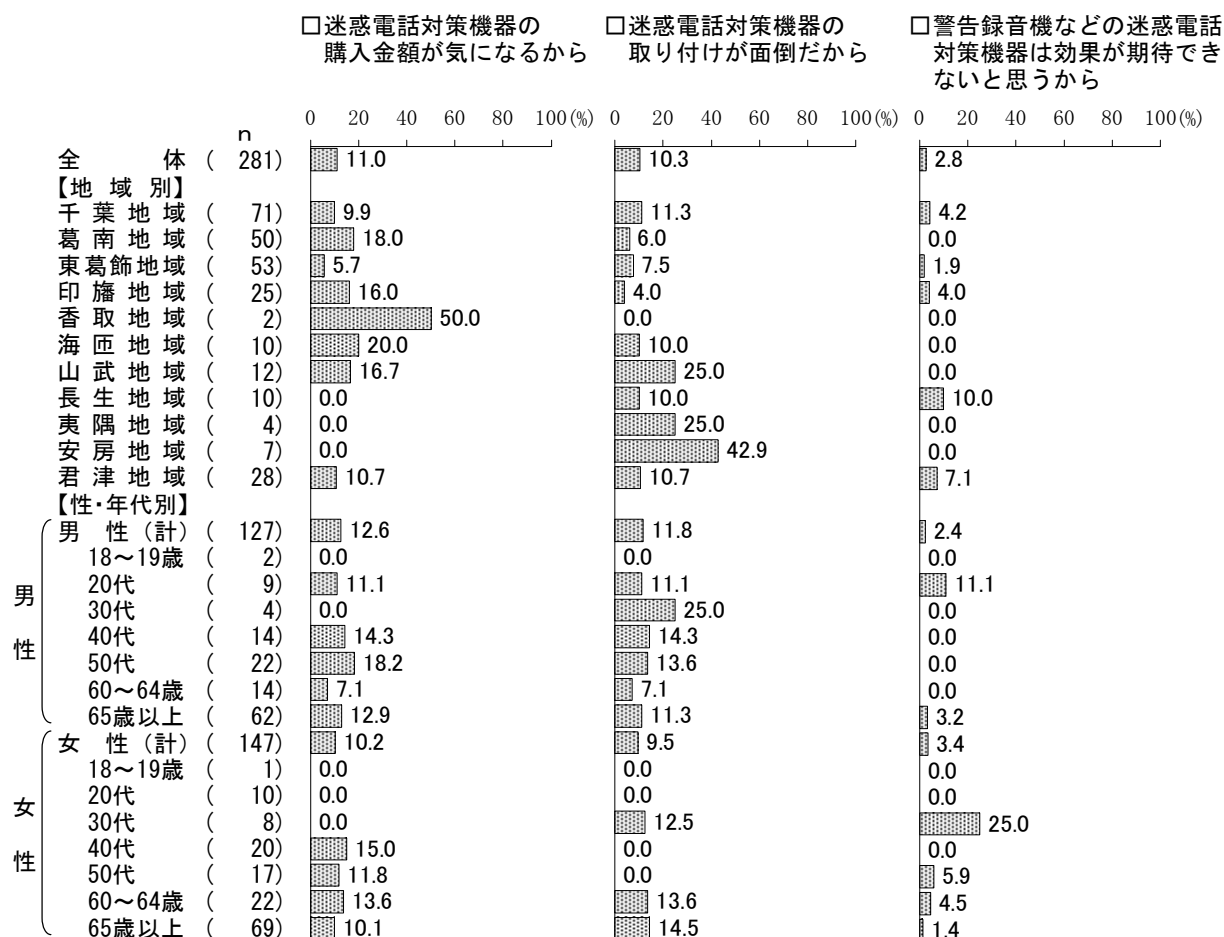
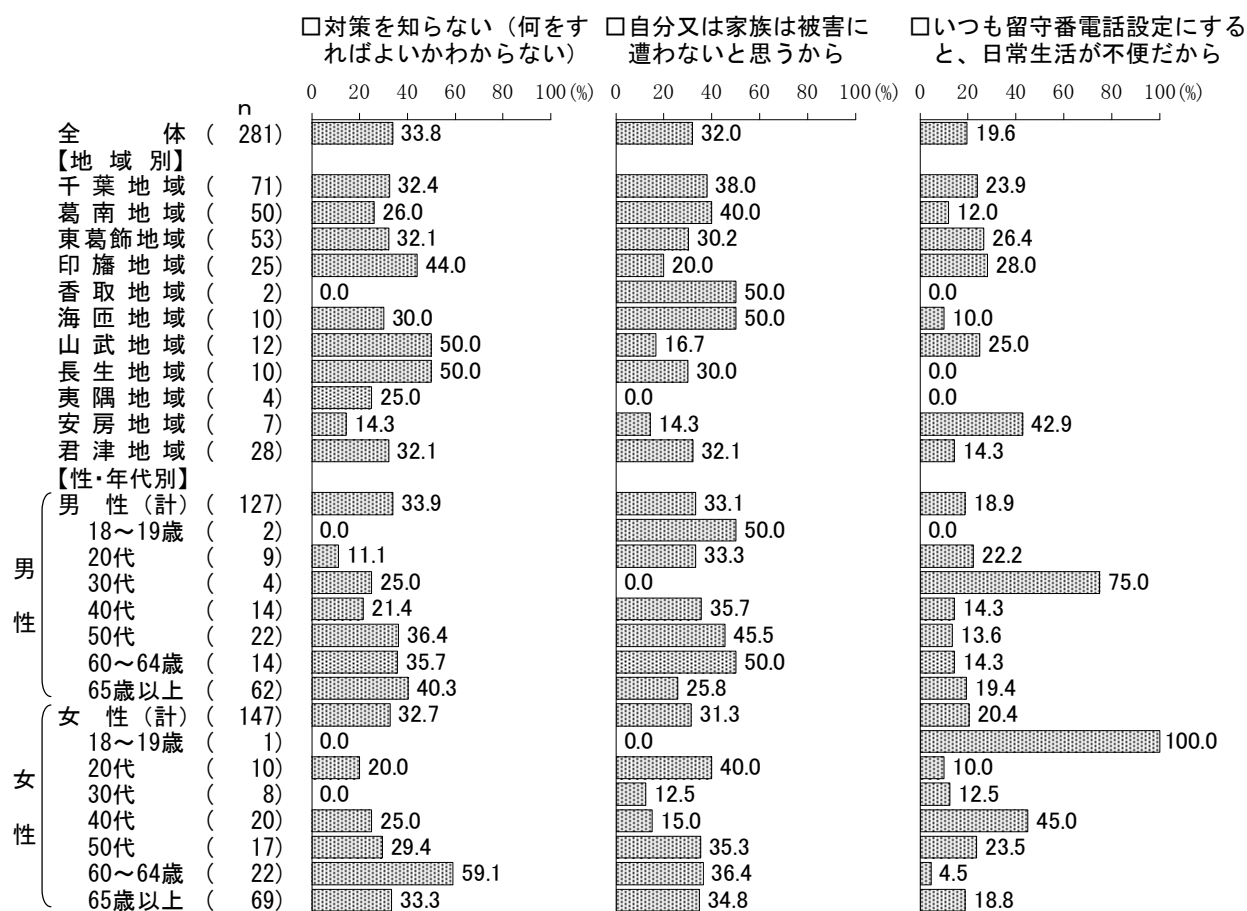
### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「対策を知らない（何をすればよいかわからない）」は女性の60～64歳（59.1%）が約６割で高くなっている。

「いつも留守番電話設定にすると、日常生活が不便だから」は女性の40代（45.0%）が４割台半ばで高くなっている。（図表３－４）

＜図表3－4＞自宅の電話機への対策をとっていない理由（複数回答）

／地域別、性・年代別（「その他」以外の上位6項目）

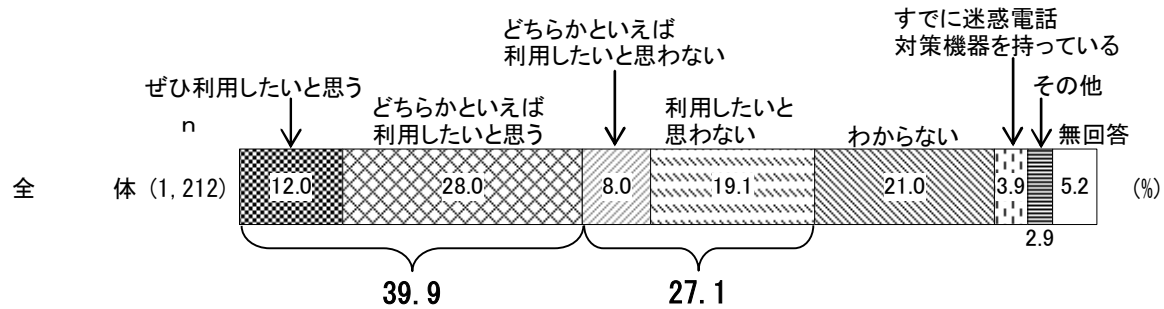


## （２）迷惑電話対策機器の利用希望

◇『利用したい（計）』が約４割

問12 あなたは、迷惑電話対策機器について、行政などによる貸し出しや購入への補助があれば、利用したいと思いますか。（○は１つ）

＜図表３－５＞迷惑電話対策機器の利用希望



迷惑電話対策機器について、行政などによる貸し出しや購入への補助があれば、利用したいと思うか聞いたところ、「絶対に利用したいと思う」（12.0％）と「どちらかといえば利用したいと思う」（28.0％）を合わせた『利用したい（計）』（39.9％）が約４割となっている。

一方、「どちらかといえば利用したいと思わない」（8.0％）と「利用したいと思わない」（19.1％）を合わせた『利用したいと思わない（計）』（27.1％）が約３割となっている。（図表３－５）

### 【地域別】

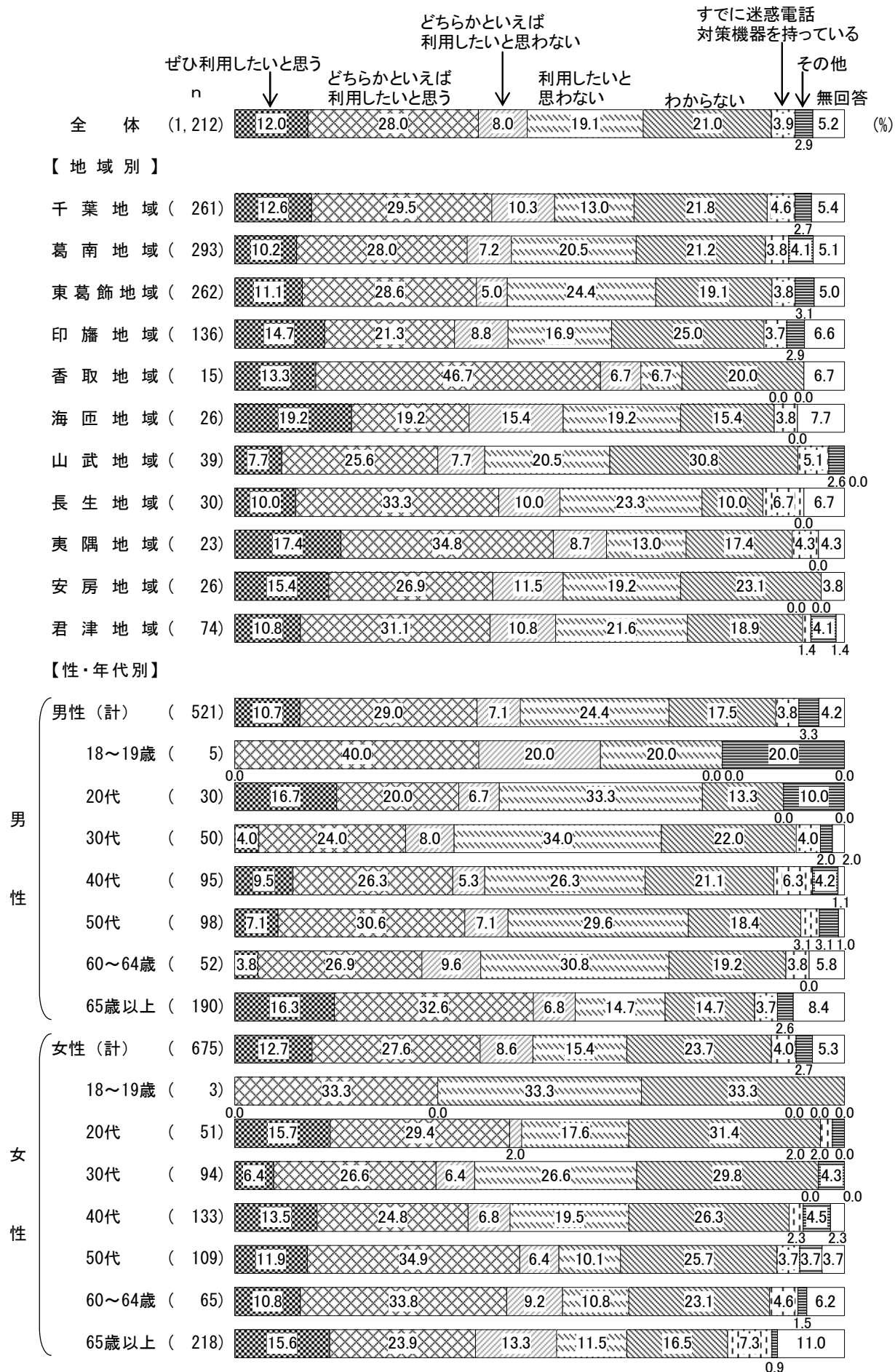
地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。（図表３－６）

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『利用したい（計）』は男性の65歳以上（48.9％）が約５割で高くなっている。

一方、『利用したいと思わない（計）』は男性の30代（42.0％）が４割を超え、男性の60～64歳（40.4％）が４割、男性の50代（36.7％）が３割台半ばで高くなっている。（図表３－６）

＜図表3－6＞迷惑電話対策機器の利用希望／地域別、性・年代別



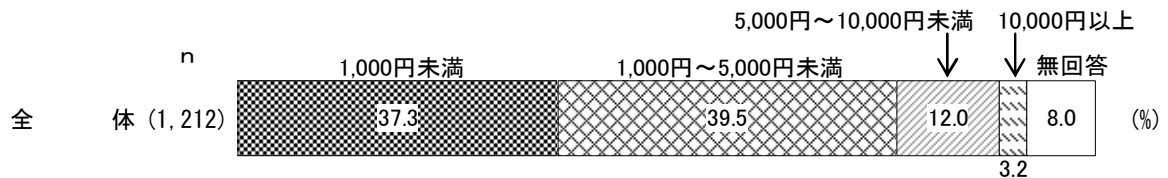


### （３）迷惑電話対策機器の費用負担希望

◇「1,000円～5,000円未満」と「1,000円未満」が約４割

問13 あなたは、迷惑電話対策機器の購入や、留守番電話機能の付いた電話機の購入など、自宅の電話機への対策のために費用が必要な場合、いくらくらいまでなら費用を出そうと思いますか。（○は１つ）

<図表３－７> 迷惑電話対策機器の費用負担希望



自宅の電話機への対策のために費用が必要な場合、いくらくらいまでなら費用を出そうと思うか聞いたところ、「1,000円～5,000円未満」（39.5%）と「1,000円未満」（37.3%）が約４割で高く、以下、「5,000円～10,000円未満」（12.0%）が続く。（図表３－７）

#### 【地域別】

地域別にみると、「1,000円～5,000円未満」は“夷隅地域”（65.2%）が６割台半ばで高くなっている。

「5,000円～10,000円未満」は“海匠地域”（26.9%）が２割台半ばで高くなっている。

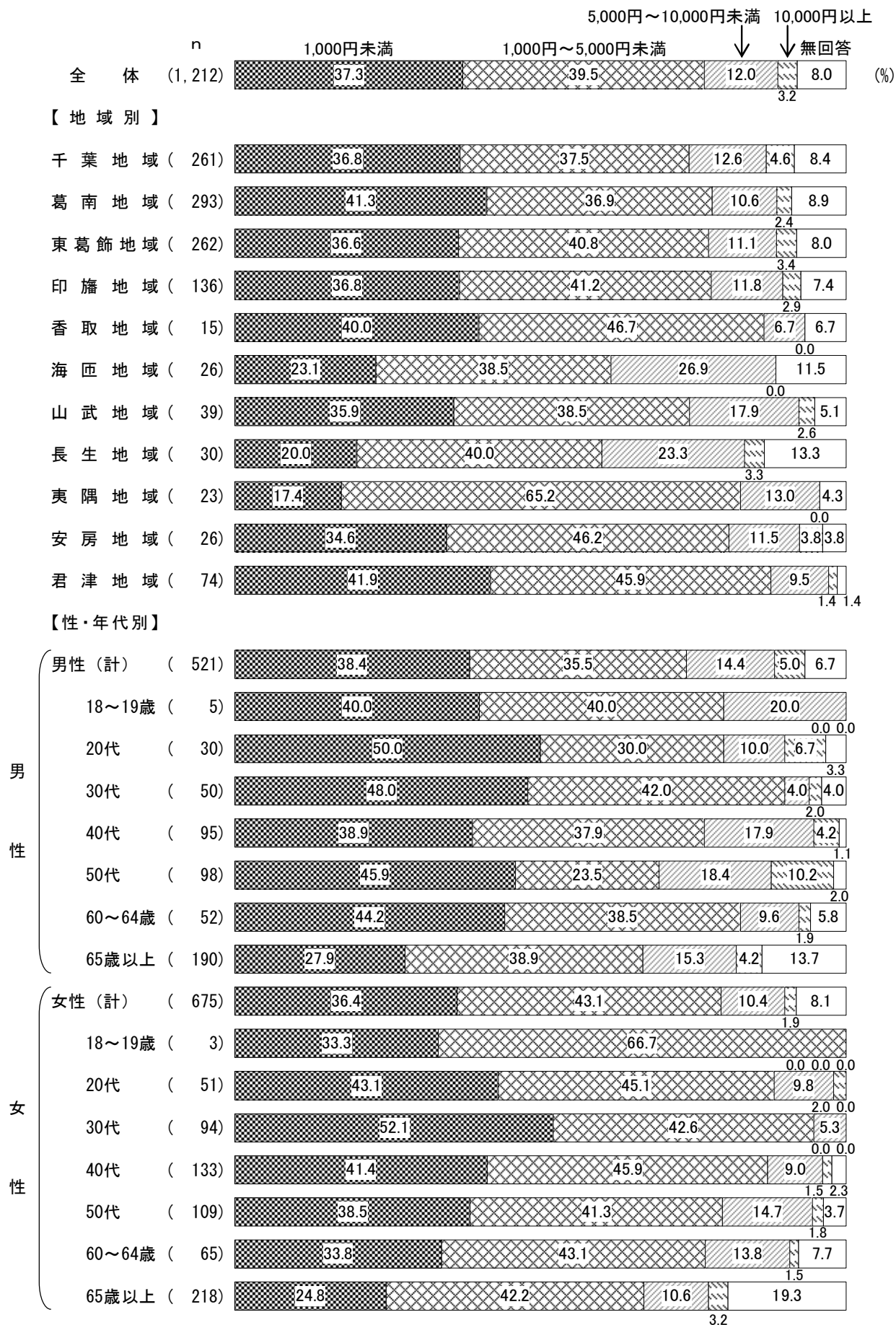
（図表３－８）

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「1,000円未満」は女性の30代（52.1%）が５割を超えて高くなっている。

（図表３－８）

＜図表３－８＞迷惑電話対策機器の費用負担希望／地域別、性・年代別



このほかに、「電話d e 詐欺への対策」やここまでの質問（問11～問13）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、161人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「電話d e 詐欺への対策」の自由回答（抜粋）

- 機能が複雑だと、対策機能付きの電話機でも使用しないおそれがあるので、可能な限り簡素で利用しやすいものがよいと思われる。（女性、40代、葛南地域）
  
- ナンバーディスプレイの月々の利用料をもっと安くしてほしい。（女性、50代、東葛飾地域）
  
- 固定電話も良いが、今は携帯電話の対策も必要。携帯電話の詐欺対策を強化してほしい。アプリや、留守電をオプションにしない、録音時間を長くするとか。（女性、30代、印旛地域）
  
- 現状留守電機能はほとんど使っていません。自宅が留守であることを教えるようなものだという考え方もあります。迷惑電話対応機器には何度か遭遇しましたが、「ほほえましい」という感はあるけど嫌な気にはなりません。テレビでも放映されていますが、これすら見たことがないという人もいます。どんな層にもどんな家庭にも周知できるような方策が必要かと思います。（女性、65歳以上、東葛飾地域）
  
- ひとり暮らしの母は携帯電話のみで、我が家は女性のみなので、他の家より詐欺電話がかかってくる可能性は少ないと思い、まだ何も対策はしていません。（女性、60～64歳、千葉地域）
  
- 1日に異なる電話番号へ多量に発信する電話について、1件でも被害報告があれば、その発信を交換機で規制するサービスを作してほしい。（女性、50代、葛南地域）
  
- どうしてオレオレ詐欺等がますます増えているのか不思議でなりません。銀行のATMに何らかの工夫を考えた方がよいのではないですか。私も含め、高齢者をどうこうするのはなかなか大変だと思います。（女性、65歳以上、東葛飾地域）
  
- 被害が一向に変わらない現状を考えると、これまでの対策手段に加え、抜本的な別の方法が必要なのではないかと感じます。しかし、被害者の特徴や傾向がわかりませんので、そのあたりのデータを持っている方による新しいアイデアが望まれます。（男性、50代、葛南地域）
  
- 税金で購入の補助を出すのはどうかと思います。他のことへ使してほしい。（女性、40代、千葉地域）

## 4 県民の治安に対する意識と警察に求めることについて

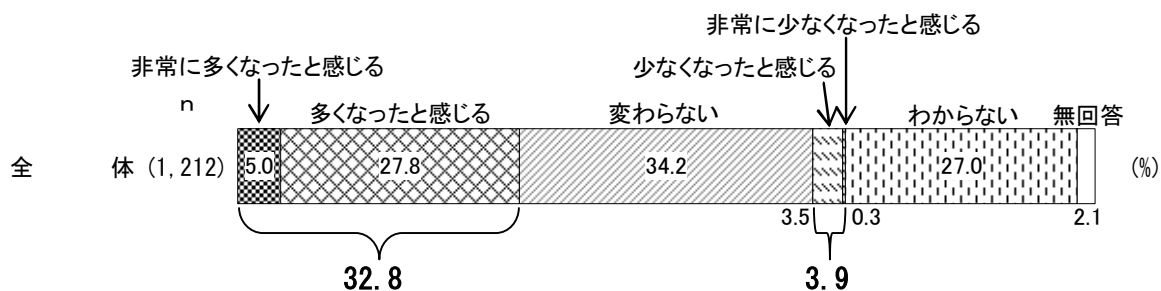
### （１）居住地域における最近の犯罪発生状況

◇「変わらない」が３割台半ば、『多くなった（計）』が３割を超える

県では、地域の安全を守るため県警をはじめとする各組織で、連携した取組を行っております。  
地域の安全を守るための、今後の取組の参考とするため県民の皆さまの意識をお聞きいたします。

問14 あなたは、現在お住まいの地域における最近の犯罪の発生状況について、どう感じますか。  
（○は１つ）

<図表４－１>居住地域における最近の犯罪発生状況



現在お住まいの地域における最近の犯罪の発生状況について、どう感じるか聞いたところ、「変わらない」（34.2％）が３割台半ばとなっている。

また、「非常に多くなったと感じる」（5.0％）と「多くなったと感じる」（27.8％）を合わせた『多くなったと感じる（計）』（32.8％）が３割を超えている。

一方、「少なくなったと感じる」（3.5％）と「非常に少なくなったと感じる」（0.3％）を合わせた『少なくなったと感じる（計）』（3.9％）はわずかである。（図表４－１）

#### 【地域別】

地域別にみると、「変わらない」は“君津地域”（54.1％）が５割台半ばで高くなっている。

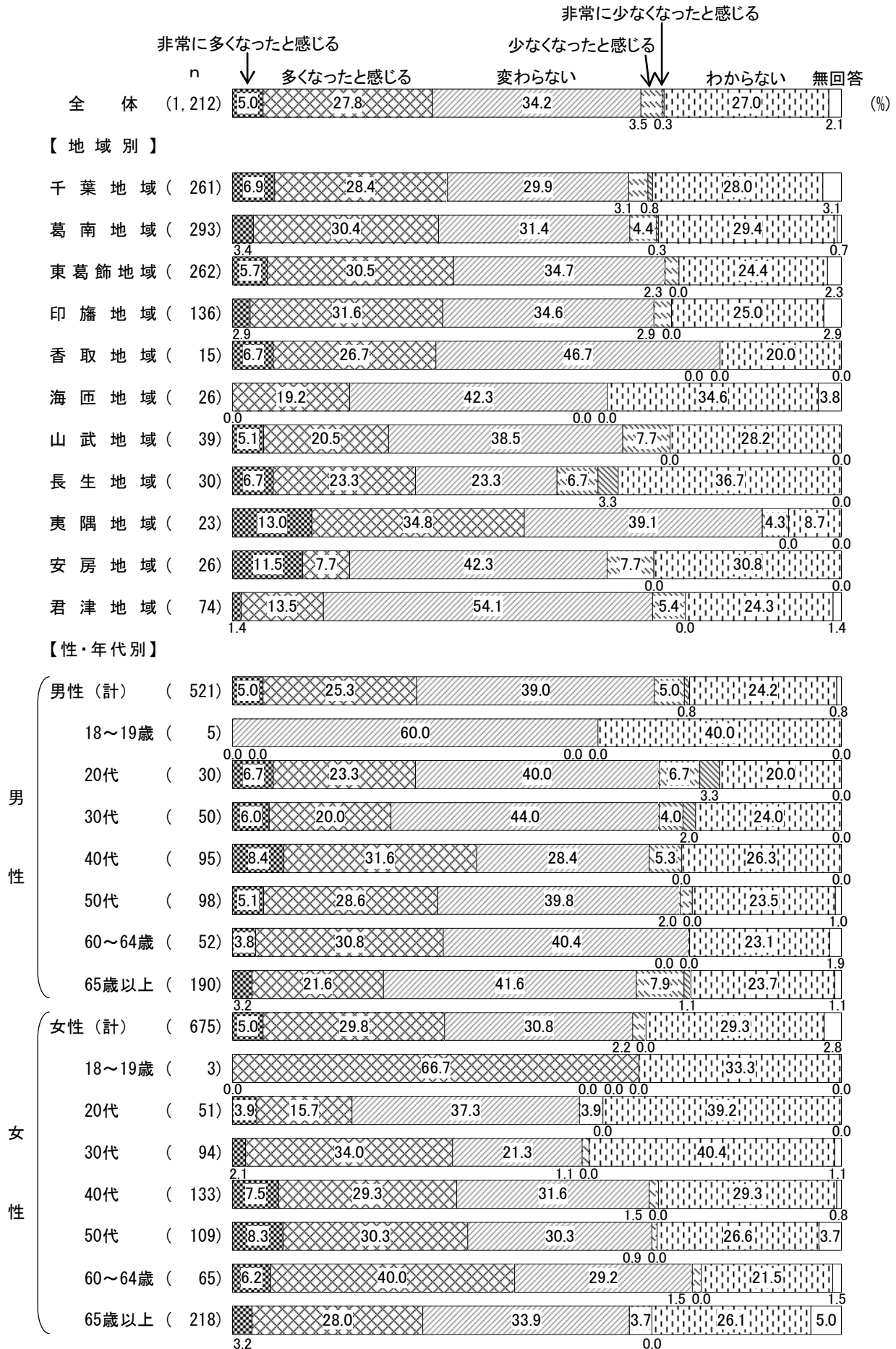
（図表４－２）

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『多くなったと感じる（計）』は女性の60～64歳（46.2％）が４割台半ばで高くなっている。

「変わらない」は男性の65歳以上（41.6％）が４割を超えて高くなっている。（図表４－２）

＜図表４－２＞居住地域における最近の犯罪発生状況／地域別、性・年代別

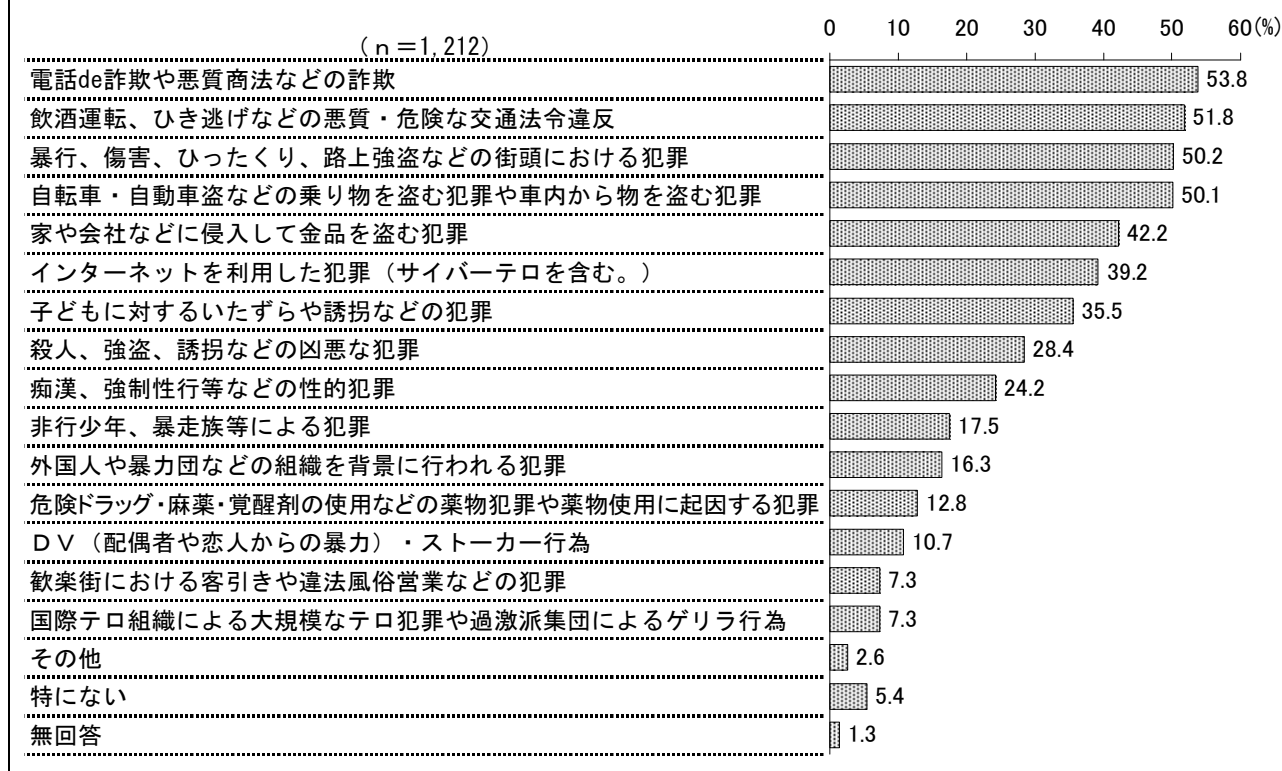


## （２）身近な人が巻き込まれる危険性について不安を感じる犯罪

◇「電話de詐欺や悪質商法などの詐欺」が５割台半ば

問15 あなたは、あなた自身やあなたの家族、友人、同僚などの身近な人が巻き込まれる危険性について、不安を感じている犯罪はありますか。（○はいくつでも）

<図表４－３>身近な人が巻き込まれる危険性について不安を感じる犯罪（複数回答）



自身や身近な人が巻き込まれる危険性について、不安を感じている犯罪を聞いたところ、「電話de詐欺や悪質商法などの詐欺」（53.8%）が５割台半ばで最も高く、以下、「飲酒運転、ひき逃げなどの悪質・危険な交通法令違反」（51.8%）、「暴行、傷害、ひったくり、路上強盗などの街頭における犯罪」（50.2%）、「自転車・自動車盗などの乗り物を盗む犯罪や車内から物を盗む犯罪」（50.1%）が続く。（図表４－３）

### 【地域別】

地域別にみると、「電話de詐欺や悪質商法などの詐欺」は“千葉地域”（62.1%）が６割を超えて高くなっている。

「暴行、傷害、ひったくり、路上強盗などの街頭における犯罪」は“葛南地域”（60.4%）が６割で高くなっている。

「自転車・自動車盗などの乗り物を盗む犯罪や車内から物を盗む犯罪」は“印旛地域”（61.0%）が６割を超えて高くなっている。（図表４－４）

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「電話de詐欺や悪質商法などの詐欺」は女性の60～64歳（67.7%）が約７割、女性の50代（66.1%）が６割台半ばで高くなっている。

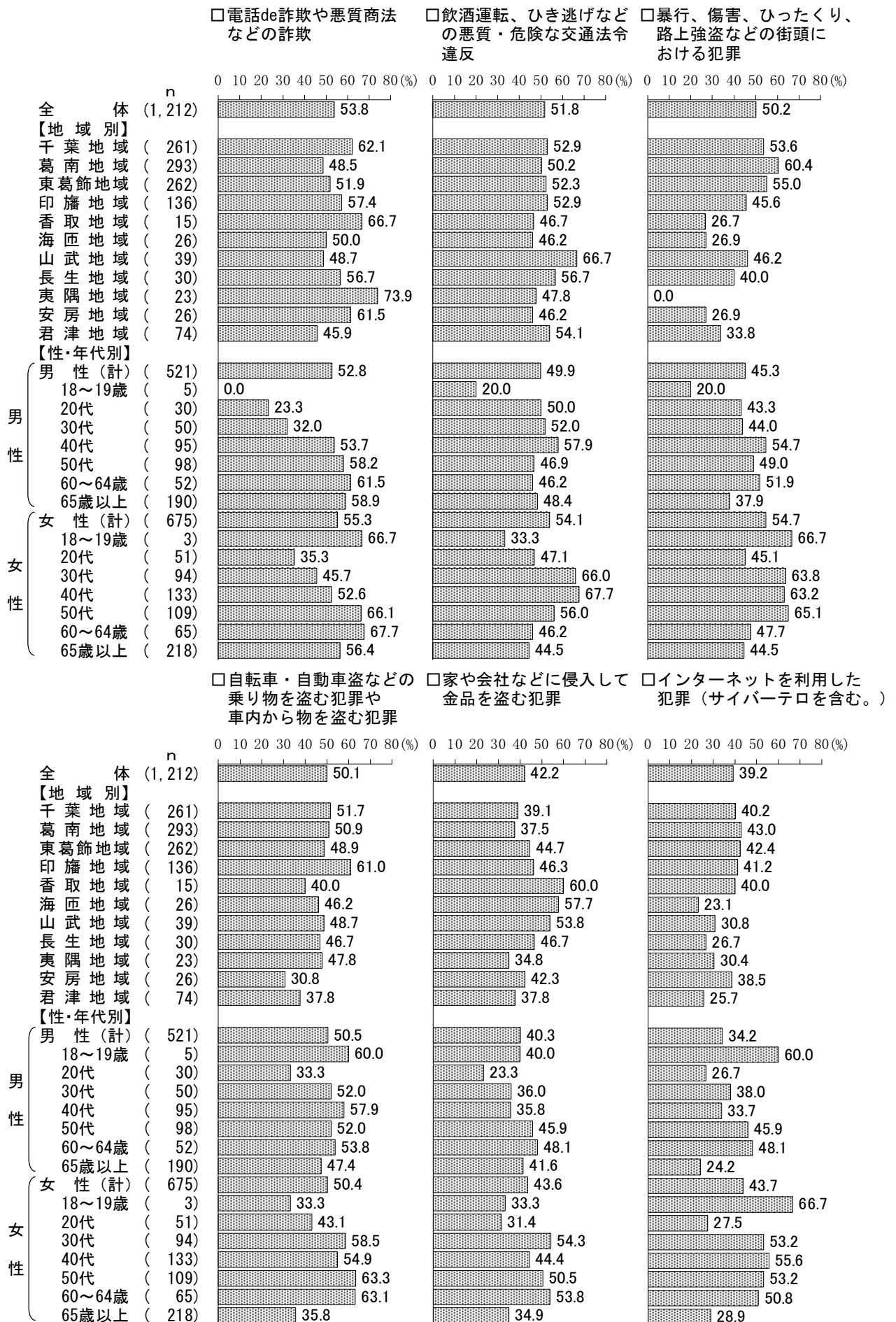
「飲酒運転、ひき逃げなどの悪質・危険な交通法令違反」は女性の40代（67.7%）が約７割、女性の30代（66.0%）が６割台半ばで高くなっている。

「暴行、傷害、ひったくり、路上強盗などの街頭における犯罪」は女性の30代（63.8%）、50代（65.1%）が６割台半ば、女性の40代（63.2%）が６割を超えて高くなっている。

「自転車・自動車盗などの乗り物を盗む犯罪や車内から物を盗む犯罪」は女性の50代（63.3%）、60～64歳（63.1%）が６割を超えて高くなっている。（図表４－４）

＜図表４－４＞身近な人が巻き込まれる危険性について不安を感じる犯罪（複数回答）

／地域別、性・年代別（上位６項目）

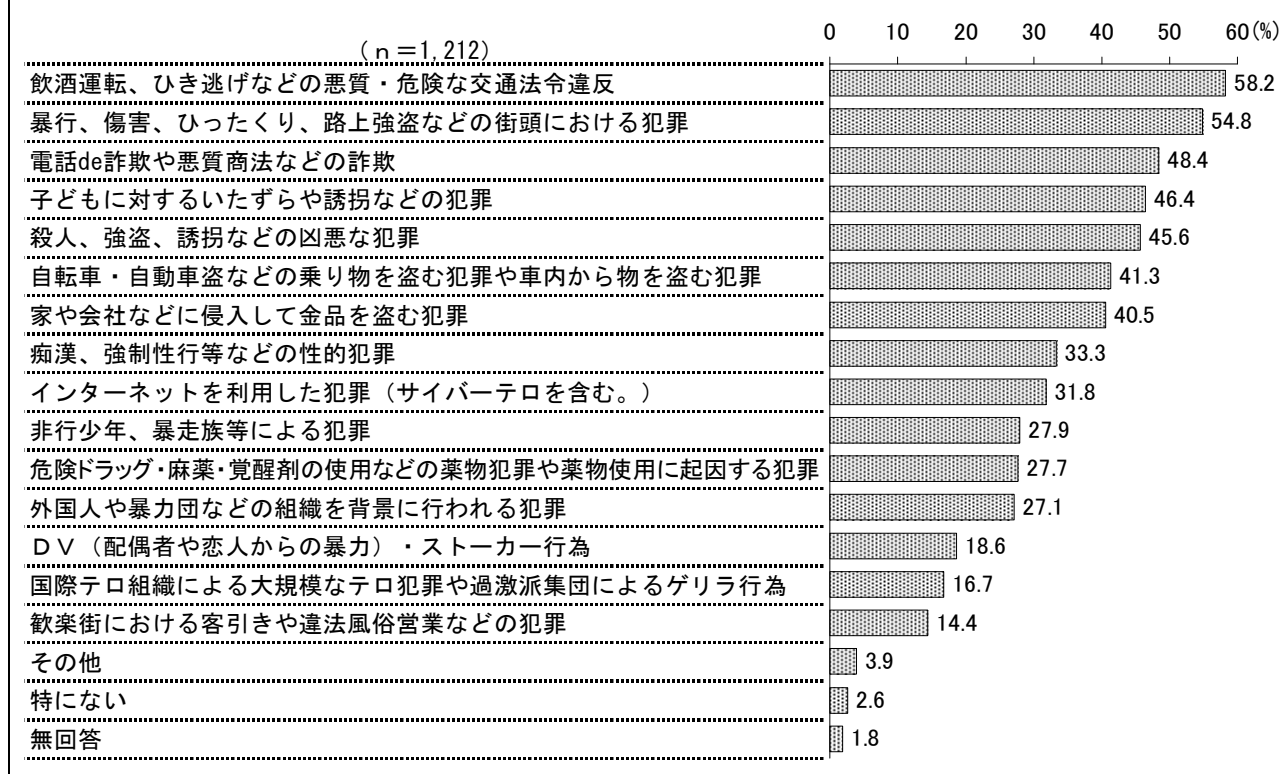


### （３）警察に力を入れて取り締まって欲しい犯罪

◇「飲酒運転、ひき逃げなどの悪質・危険な交通法令違反」が約６割

問16 あなたが、警察に力を入れて取り締まって欲しい犯罪は何ですか。（○はいくつでも）

＜図表４－５＞警察に力を入れて取り締まって欲しい犯罪（複数回答）



警察に力を入れて取り締まって欲しい犯罪を聞いたところ、「飲酒運転、ひき逃げなどの悪質・危険な交通法令違反」（58.2%）が約６割で最も高く、以下、「暴行、傷害、ひったくり、路上強盗などの街頭における犯罪」（54.8%）、「電話de詐欺や悪質商法などの詐欺」（48.4%）、「子どもに対するいたずらや誘拐などの犯罪」（46.4%）が続く。（図表４－５）

#### 【地域別】

地域別にみると、「飲酒運転、ひき逃げなどの悪質・危険な交通法令違反」は“君津地域”（71.6%）が７割を超えて高くなっている。

「暴行、傷害、ひったくり、路上強盗などの街頭における犯罪」は“葛南地域”（63.8%）が６割台半ば、“東葛飾地域”（62.2%）が６割を超えて高くなっている。

「電話de詐欺や悪質商法などの詐欺」は“夷隅地域”（73.9%）が７割台半ば、“安房地域”（69.2%）が約７割で高くなっている。（図表４－６）

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「飲酒運転、ひき逃げなどの悪質・危険な交通法令違反」は女性の50代（73.4%）が７割を超え、女性の30代（70.2%）が７割、女性の40代（68.4%）が約７割で高くなっている。

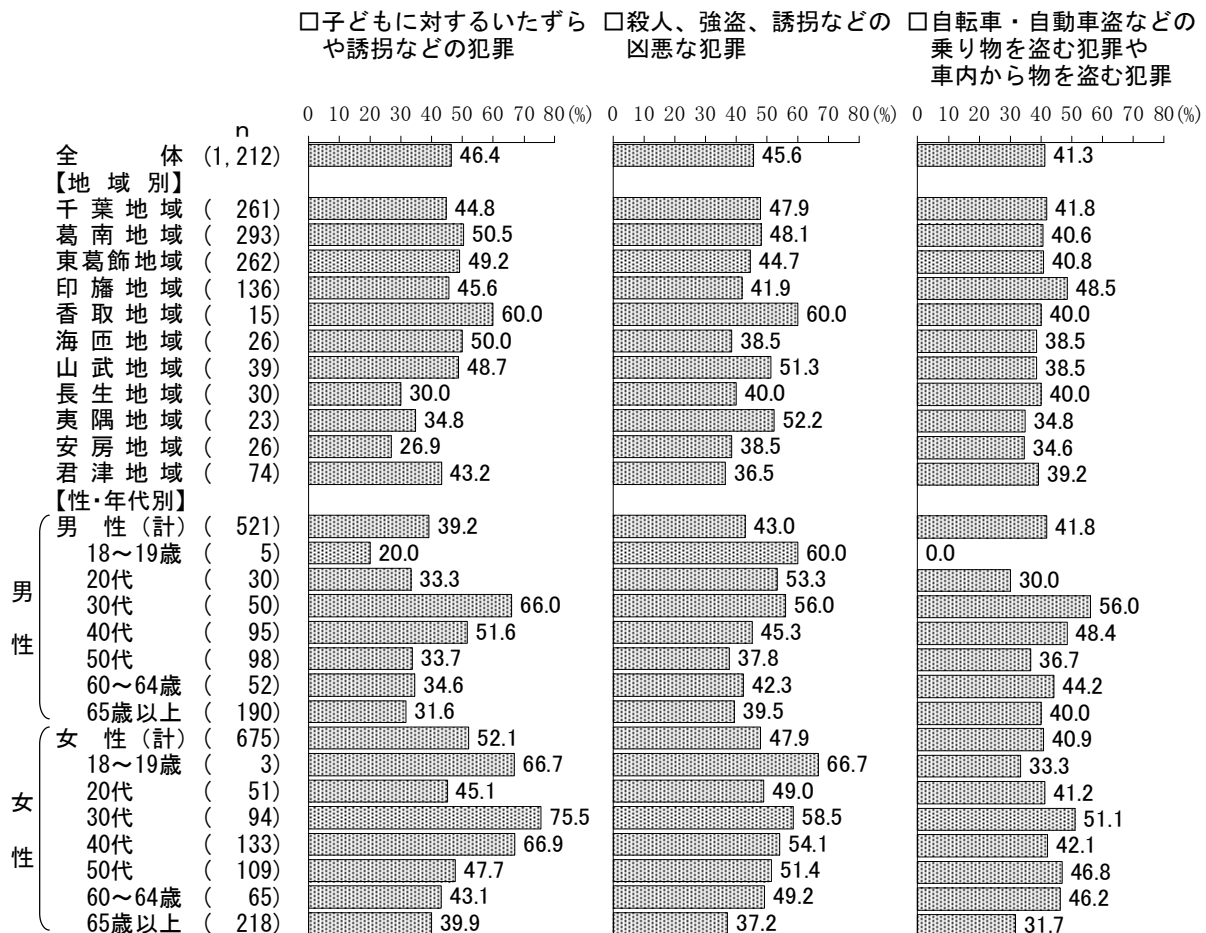
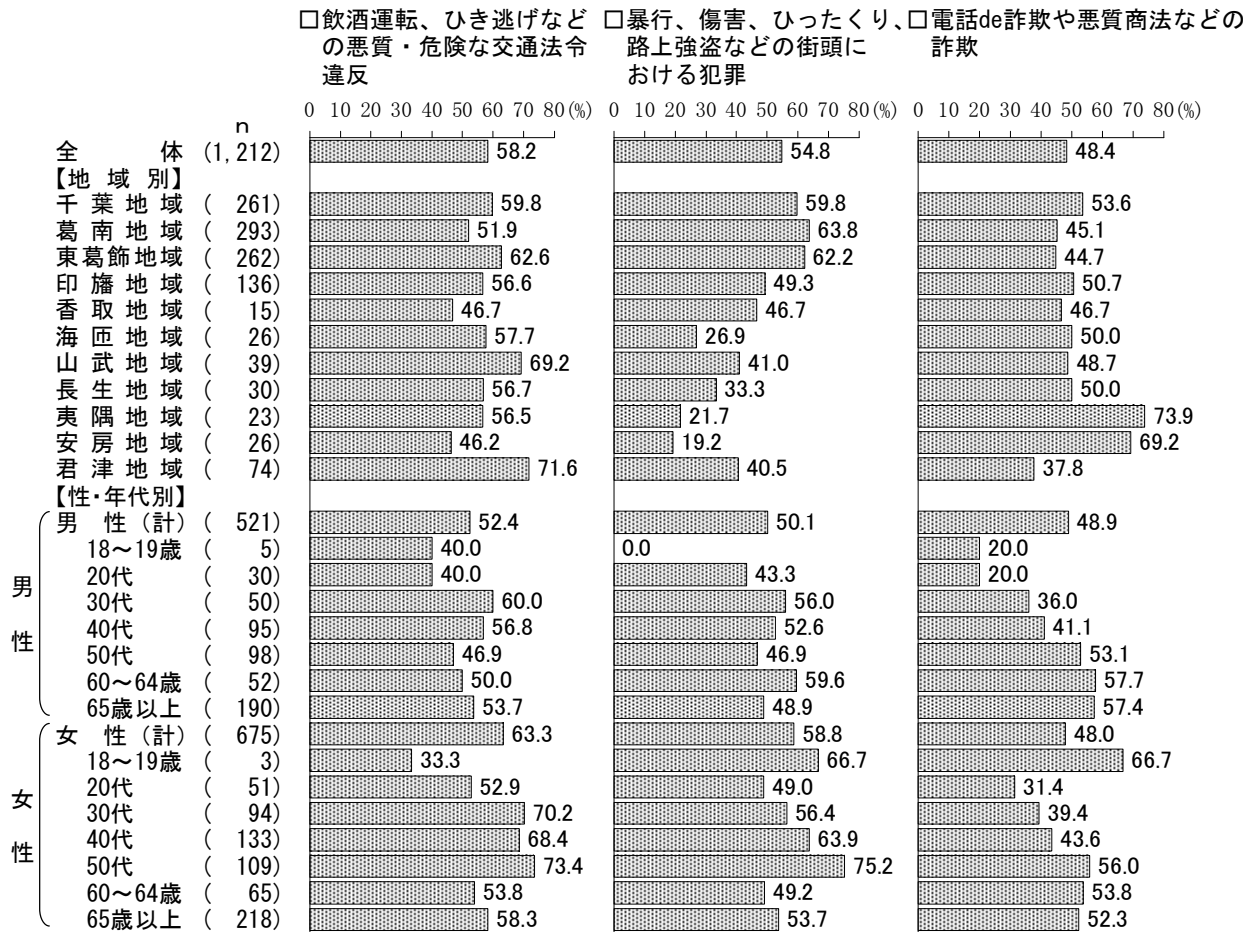
「暴行、傷害、ひったくり、路上強盗などの街頭における犯罪」は女性の50代（75.2%）が７割台半ば、女性の40代（63.9%）が６割台半ばで高くなっている。

「電話de詐欺や悪質商法などの詐欺」は男性の65歳以上（57.4%）が約６割で高くなっている。

「子どもに対するいたずらや誘拐などの犯罪」は女性の30代（75.5%）が７割台半ば、男性の30代（66.0%）と女性の40代（66.9%）が６割台半ばで高くなっている。（図表４－６）



＜図表４－６＞警察に力を入れて取り締まって欲しい犯罪（複数回答）／地域別、性・年代別（上位６項目）

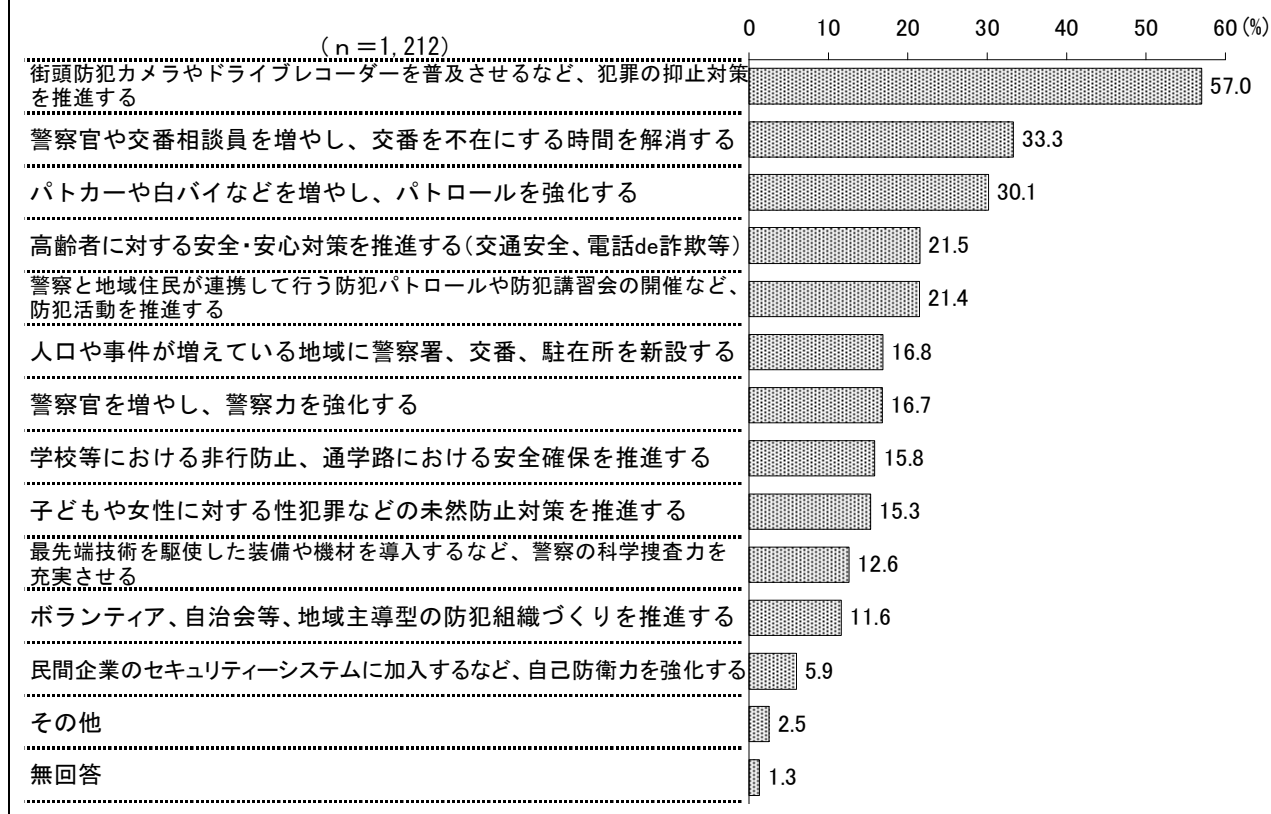


#### （４）安全で安心できる生活を守るために必要なこと

◇「街頭防犯カメラやドライブレコーダーを普及させるなど、犯罪の抑止対策を推進する」が約６割

問17 あなたは、犯罪や事故の心配のない、安全で安心できる生活を守っていくために、何が  
必要だと思いますか。（○は３つまで）

<図表４－７>安全で安心できる生活を守るために必要なこと（３つまでの複数回答）



安全で安心できる生活を守っていくために、何が必要だと思うか聞いたところ、「街頭防犯カメラやドライブレコーダーを普及させるなど、犯罪の抑止対策を推進する」（57.0％）が約６割で最も高く、以下、「警察官や交番相談員を増やし、交番を不在にする時間を解消する」（33.3％）、「パトカーや白バイなどを増やし、パトロールを強化する」（30.1％）が続く。（図表４－７）

##### 【地域別】

地域別にみると、「パトカーや白バイなどを増やし、パトロールを強化する」は“長生地域”（46.7％）が４割台半ばで高くなっている。

「高齢者に対する安全・安心対策を推進する（交通安全、電話de詐欺等）」は“安房地域”（50.0％）が５割、“長生地域”（40.0％）が４割、“夷隅地域”（39.1％）が約４割で高くなっている。

（図表４－８）

##### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「警察官や交番相談員を増やし、交番を不在にする時間を解消する」は女性の50代（43.1％）、65歳以上（42.7％）が４割を超えて高くなっている。

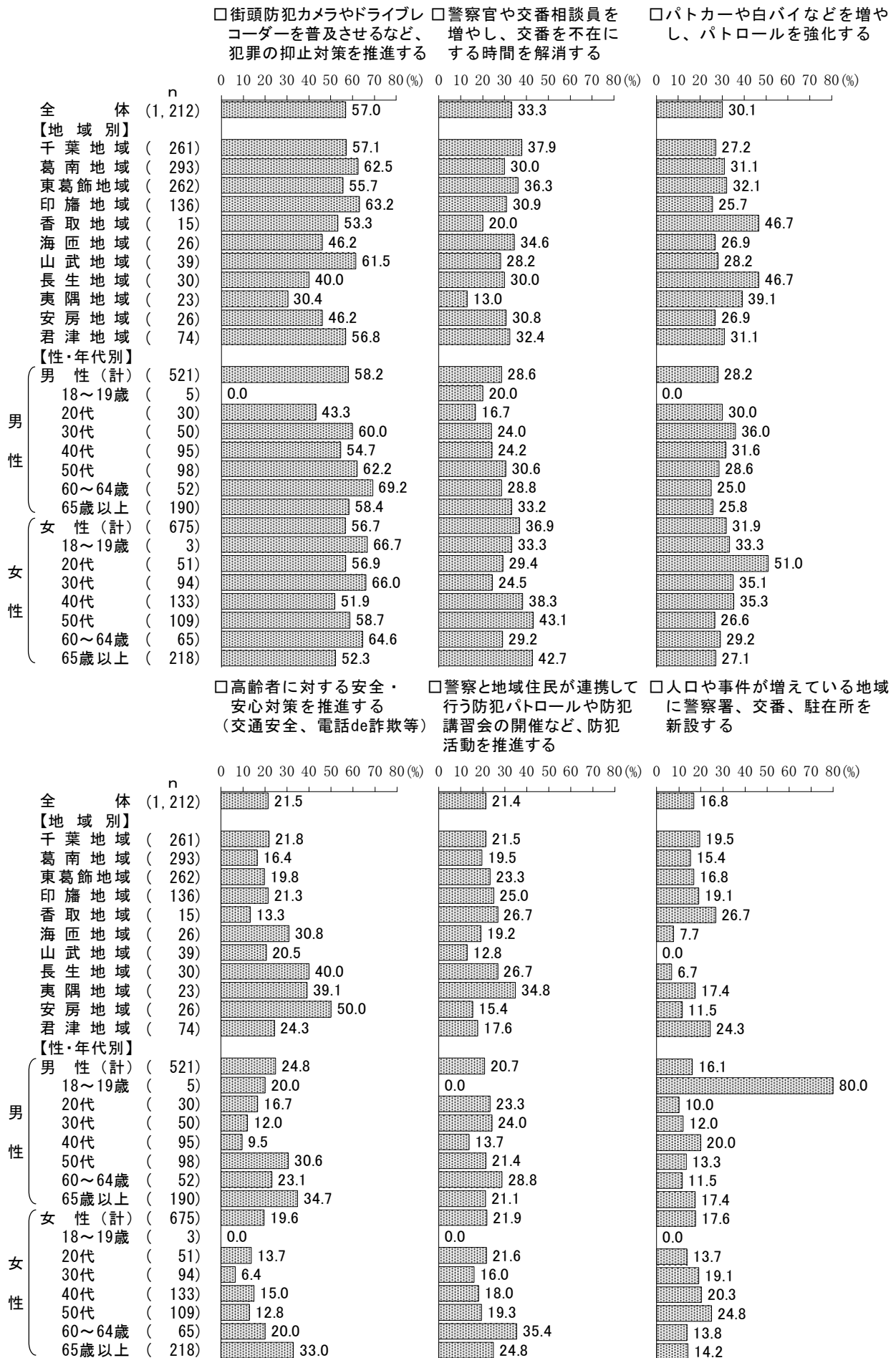
「パトカーや白バイなどを増やし、パトロールを強化する」は女性の20代（51.0％）が５割を超えて高くなっている。

「高齢者に対する安全・安心対策を推進する（交通安全、電話de詐欺等）」は男性の65歳以上（34.7％）が３割台半ば、女性の65歳以上（33.0％）が３割を超えて高くなっている。

「警察と地域住民が連携して行う防犯パトロールや防犯講習会の開催など、防犯活動を推進する」は女性の60～64歳（35.4％）が３割台半ばで高くなっている。（図表４－８）

＜図表４－８＞安全で安心できる生活を守るために必要なこと（３つまでの複数回答）

／地域別、性・年代別（上位６項目）



このほかに、「県民の治安に対する意識と警察に求めること」やここまでの質問（問14～問17）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、171人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「県民の治安に対する意識と警察に求めること」の自由回答（抜粋）

○放置自転車（自転車盗）や信号無視、歩行者妨害、あおり運転、自転車の歩道危険通行といった違反や軽犯罪の取り締まりを強化して、結果として重大犯罪を抑止することが目指すべき警察活動です。  
（男性、40代、葛南地域）

○退職者の再雇用を促進して、無人交番をなくしてほしい。  
（男性、65歳以上、印旛地域）

○些細な事件事故が起きたらすぐに取り締まるようにして欲しいです。事件が起きたらパトロールも強化して欲しいと思います。  
（女性、20代、葛南地域）

○逃げ得を許したり、恫喝をする者が得をすることがないようにしてほしい。  
（男性、40代、印旛地域）

○下校時間に移動交番があるので安心できると子どもが言っています。夕暮れ時にパトロールをもっと増やしていただけると心強いです。いつもありがとうございます。  
（女性、40代、葛南地域）

○防犯カメラはかなりの抑止力になっていると思います。なおかつ明るい街灯を増やして下されば良いと思います。  
（女性、65歳以上、葛南地域）

○警察官の方々は、ご多忙の中勤務をしていることとは思いますが、もう少し親しみやすく相談のしやすい方々であってほしいと思います。自治会活動をもう少し活発にし、治安対策の勉強会をときどき行い、住民も普段から声を掛け合うムード作りをしていく努力が必要だと思います。  
（女性、60～64歳、葛南地域）

○夜間の稲毛駅西口方面は人通りが減るためひったくり等の被害もあると聞くので、パトロール強化を是非お願いしたい。空き巣も増えてきている。  
（男性、40代、千葉地域）

○保育園や学校等のセキュリティ（警備員の配置、パトロール等）を強化する取り組みを是非行ってほしい。  
（男性、30代、葛南地域）

## 5 サイバー空間の安全対策について

### （１）サイバー攻撃への不安

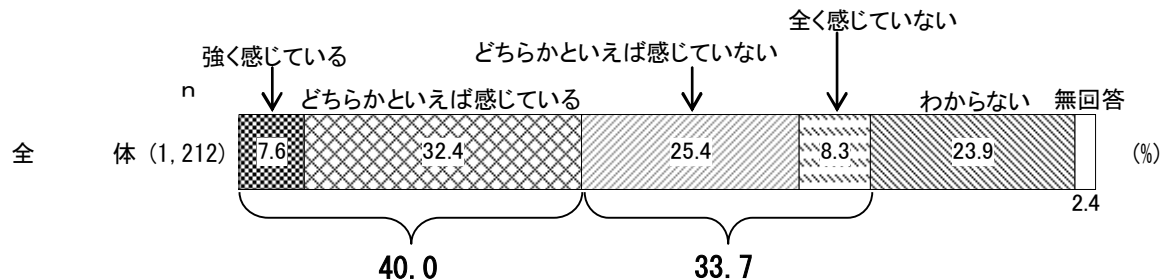
◇『感じている（計）』が４割

2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会は、千葉県内で8競技を行う予定です。大会開催中は、社会的混乱の発生や情報の盗み取りなどを目的とした、多くの行政機関や企業のパソコンやシステムに対する、コンピュータウイルスの感染やハッキングなどのいわゆるサイバー攻撃が増加する懸念があり、これを防ぐ対策が重要になります。

東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた、サイバー空間の安全を守る対策をより効果的に推進するため、県民の皆さまの意識をお聞かせいたします。

問18 あなたは、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に際して、競技会場がある千葉県で、サイバー攻撃が起こるのではないかと不安を感じますか。（○は1つ）

＜図表５－１＞サイバー攻撃への不安



2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に際して、競技会場がある千葉県で、サイバー攻撃が起こるのではないかと不安を感じるか聞いたところ、「強く感じている」（7.6%）と「どちらかといえば感じている」（32.4%）を合わせた『感じている（計）』（40.0%）が４割となっている。

一方、「どちらかといえば感じていない」（25.4%）と「全く感じていない」（8.3%）を合わせた『感じていない（計）』（33.7%）が３割台半ばとなっている。（図表５－１）

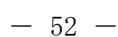
#### 【地域別】

地域別にみると、『感じている（計）』は“夷隅地域”（60.9%）、“長生地域”（60.0%）が６割で高くなっている。（図表５－２）

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『感じている（計）』は女性の60～64歳（53.8%）が５割台半ば、男性の65歳以上（48.9%）が約５割で高くなっている。

一方、『感じていない（計）』は男性の20代（60.0%）が６割で高くなっている。（図表５－２）

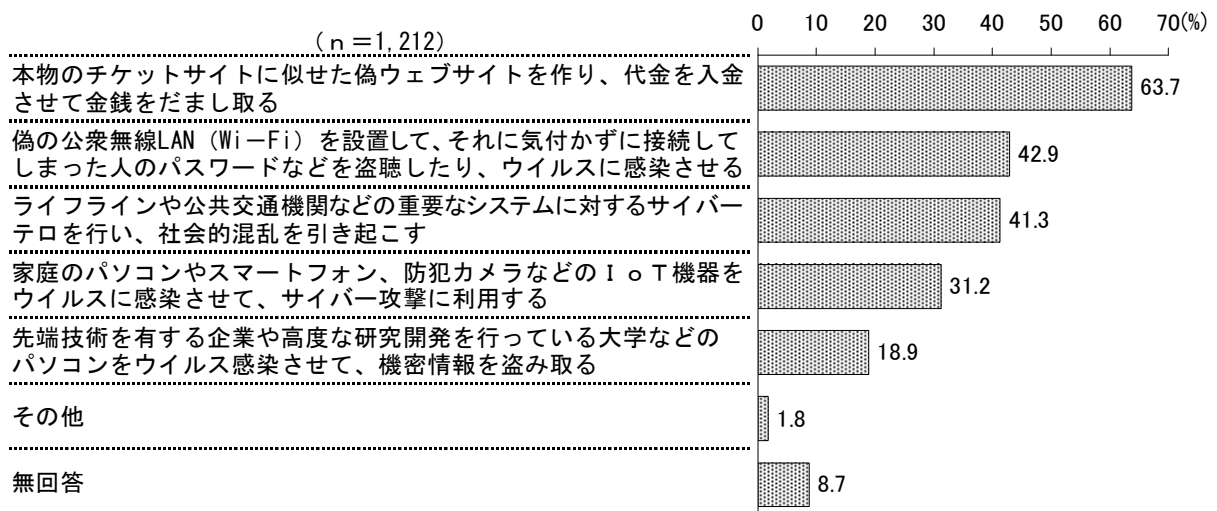


## （２）不安に感じる、又は実際に起こりそうだと考えるサイバー攻撃

◇「本物のチケットサイトに似せた偽ウェブサイトを作り、代金を入金させて金銭をだまし取る」が６割台半ば

問19 あなたが、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて不安に感じる、又は実際に起こりそうだと考えるサイバー攻撃は何ですか。（○はいくつでも）

<図表５－３>不安に感じる、又は実際に起こりそうだと考えるサイバー攻撃（複数回答）



2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて不安に感じる、又は実際に起こりそうだと考えるサイバー攻撃は何か聞いたところ、「本物のチケットサイトに似せた偽ウェブサイトを作り、代金を入金させて金銭をだまし取る」（63.7％）が６割台半ばで最も高く、以下、「偽の公衆無線LAN（Wi-Fi）を設置して、それに気付かずに接続してしまった人のパスワードなどを盗聴したり、ウイルスに感染させる」（42.9％）、「ライフラインや公共交通機関などの重要なシステムに対するサイバーテロを行い、社会的混乱を引き起こす」（41.3％）が続く。（図表５－３）

### 【地域別】

地域別にみると、「偽の公衆無線LAN（Wi-Fi）を設置して、それに気付かずに接続してしまった人のパスワードなどを盗聴したり、ウイルスに感染させる」は“東葛飾地域”（49.2％）が約５割で高くなっている。

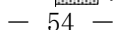
「先端技術を有する企業や高度な研究開発を行っている大学などのパソコンをウイルス感染させて、機密情報を盗み取る」は“千葉地域”（24.9％）が２割台半ばで高くなっている。（図表５－４）

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「本物のチケットサイトに似せた偽ウェブサイトを作り、代金を入金させて金銭をだまし取る」は女性の30代（74.5％）が７割台半ば、女性の40代（72.9％）、50代（73.4％）が７割を超えて高くなっている。

「偽の公衆無線LAN（Wi-Fi）を設置して、それに気付かずに接続してしまった人のパスワードなどを盗聴したり、ウイルスに感染させる」は男性の30代（66.0％）が６割台半ば、女性の30代（62.8％）が６割を超え、女性の20代（58.8％）が約６割、女性の40代（54.9％）が５割台半ばで高くなっている。

「ライフラインや公共交通機関などの重要なシステムに対するサイバーテロを行い、社会的混乱を引き起こす」は男性の65歳以上（48.9％）が約５割で高くなっている。（図表５－４）



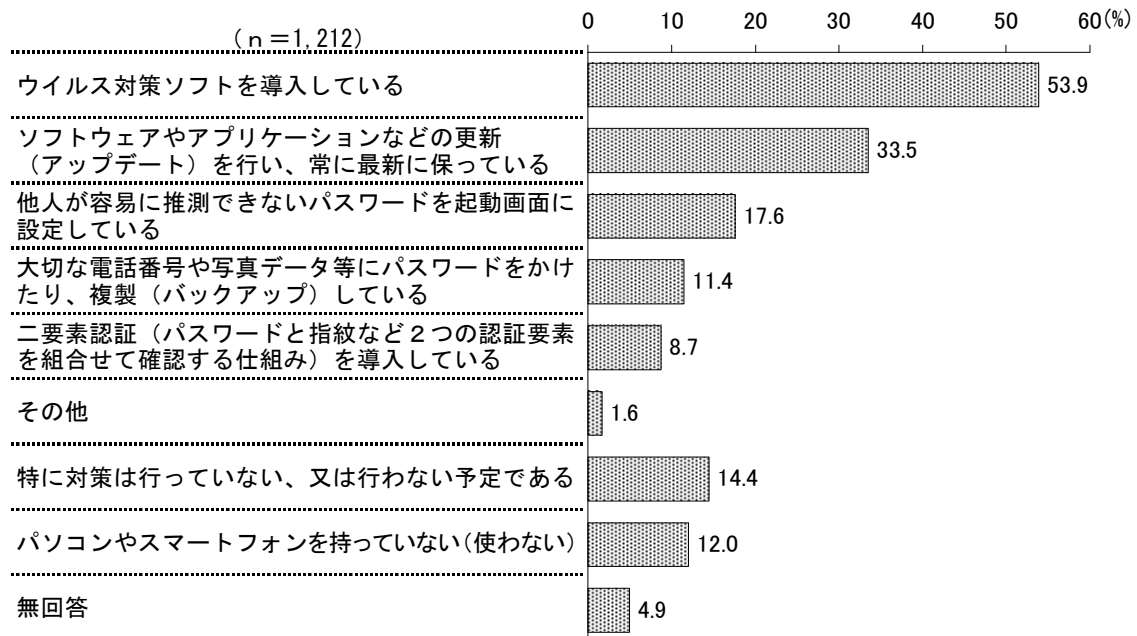


### （３）サイバー攻撃への対策状況

◇「ウイルス対策ソフトを導入している」が５割台半ば

問20 あなたは、サイバー攻撃の被害を防ぐため、自分のパソコンやスマートフォンでどのような対策を行っている、又は行う予定ですか。（○はいくつでも）

＜図表５－５＞サイバー攻撃への対策状況（複数回答）



サイバー攻撃の被害を防ぐため、自分のパソコンやスマートフォンでどのような対策を行っている、又は行う予定か聞いたところ、「ウイルス対策ソフトを導入している」（53.9%）が５割台半ばで最も高く、以下、「ソフトウェアやアプリケーションなどの更新（アップデート）を行い、常に最新に保っている」（33.5%）、「他人が容易に推測できないパスワードを起動画面に設定している」（17.6%）が続く。（図表５－５）

#### 【地域別】

地域別にみると、「ウイルス対策ソフトを導入している」は“印旛地域”（64.7%）が６割台半ば、“葛南地域”（62.1%）が６割を超えて高くなっている。

「ソフトウェアやアプリケーションなどの更新（アップデート）を行い、常に最新に保っている」は“葛南地域”（41.3%）が４割を超えて高くなっている。

「他人が容易に推測できないパスワードを起動画面に設定している」は“葛南地域”（27.3%）が約３割で高くなっている。

「特に対策は行っていない、又は行わない予定である」は“山武地域”（33.3%）が３割を超えて高くなっている。（図表５－６）

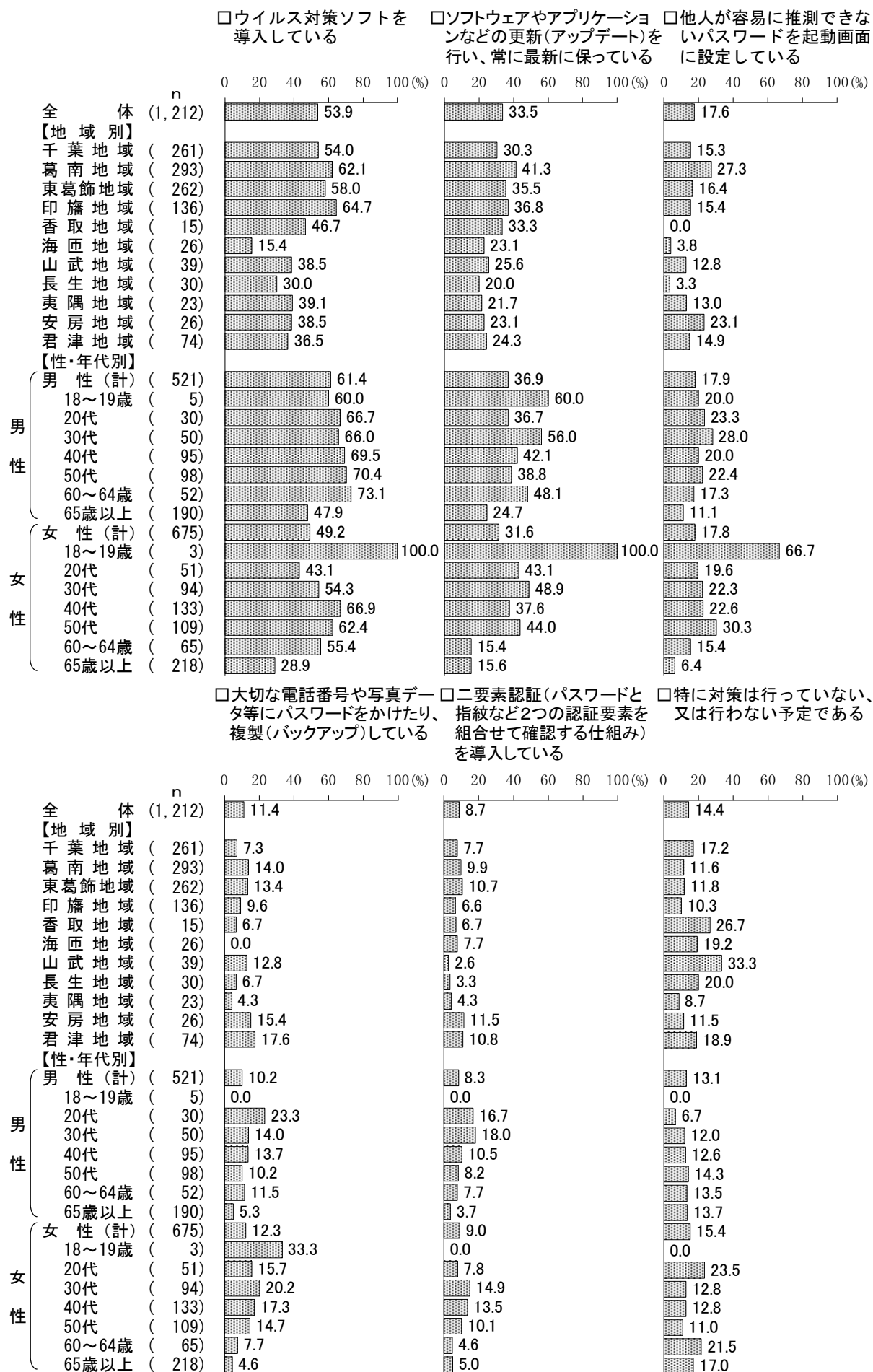
#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「ウイルス対策ソフトを導入している」は男性の60～64歳（73.1%）が７割を超え、男性の50代（70.4%）が７割、男性の40代（69.5%）が約７割、女性の40代（66.9%）が６割台半ばで高くなっている。

「ソフトウェアやアプリケーションなどの更新（アップデート）を行い、常に最新に保っている」は男性の30代（56.0%）が５割台半ば、男性の60～64歳（48.1%）と女性の30代（48.9%）が約５割、女性の50代（44.0%）が４割台半ばで高くなっている。（図表５－６）

＜図表5－6＞サイバー攻撃への対策状況（複数回答）

／地域別、性・年代別（「パソコンやスマートフォンを持っていない（使わない）」を除く上位6項目）

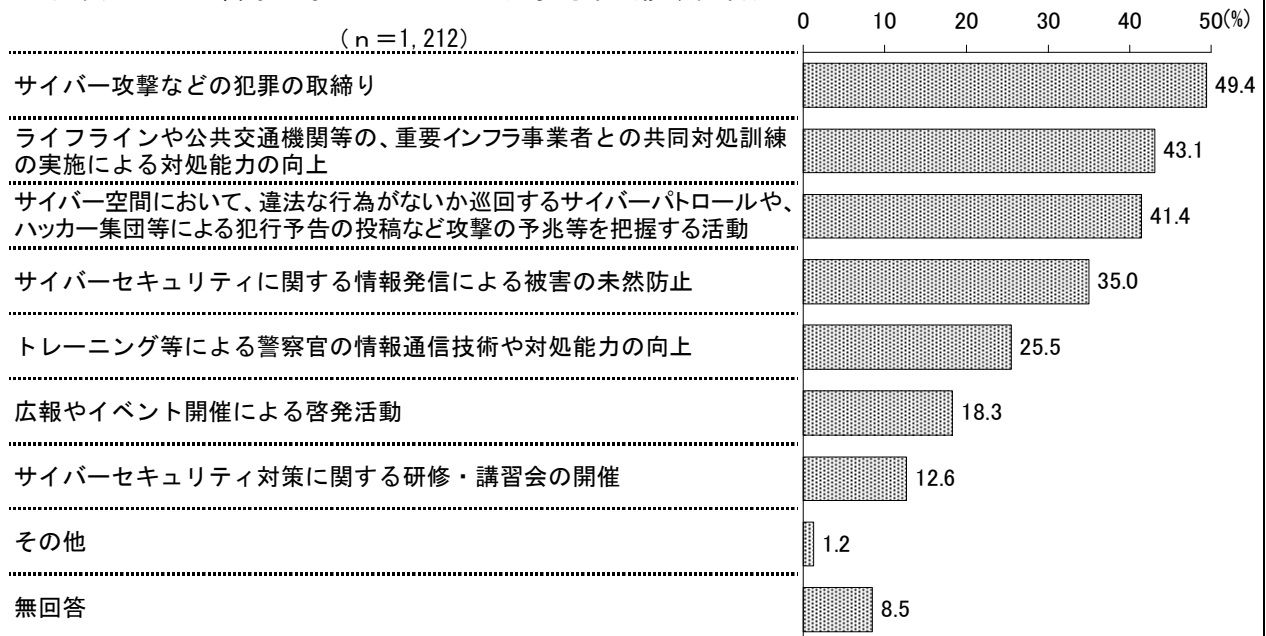


#### （４）警察に求めるサイバー攻撃対策

◇「サイバー攻撃などの犯罪の取締り」が約５割

問21 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、あなたが警察に取り組んでほしいサイバー攻撃対策は何ですか。（○はいくつでも）

＜図表５－７＞警察に求めるサイバー攻撃対策（複数回答）



警察に取り組んでほしいサイバー攻撃対策は何か聞いたところ、「サイバー攻撃などの犯罪の取締り」（49.4%）が約５割で最も高く、以下、「ライフラインや公共交通機関等の、重要インフラ事業者との共同対処訓練の実施による対処能力の向上」（43.1%）、「サイバー空間において、違法な行為がないか巡回するサイバーパトロールや、ハッカー集団等による犯行予告の投稿など攻撃の予兆等を把握する活動」（41.4%）が続く。（図表５－７）

##### 【地域別】

地域別にみると、「サイバー空間において、違法な行為がないか巡回するサイバーパトロールや、ハッカー集団等による犯行予告の投稿など攻撃の予兆等を把握する活動」は“葛南地域”（49.8%）が約５割で高くなっている。（図表５－８）

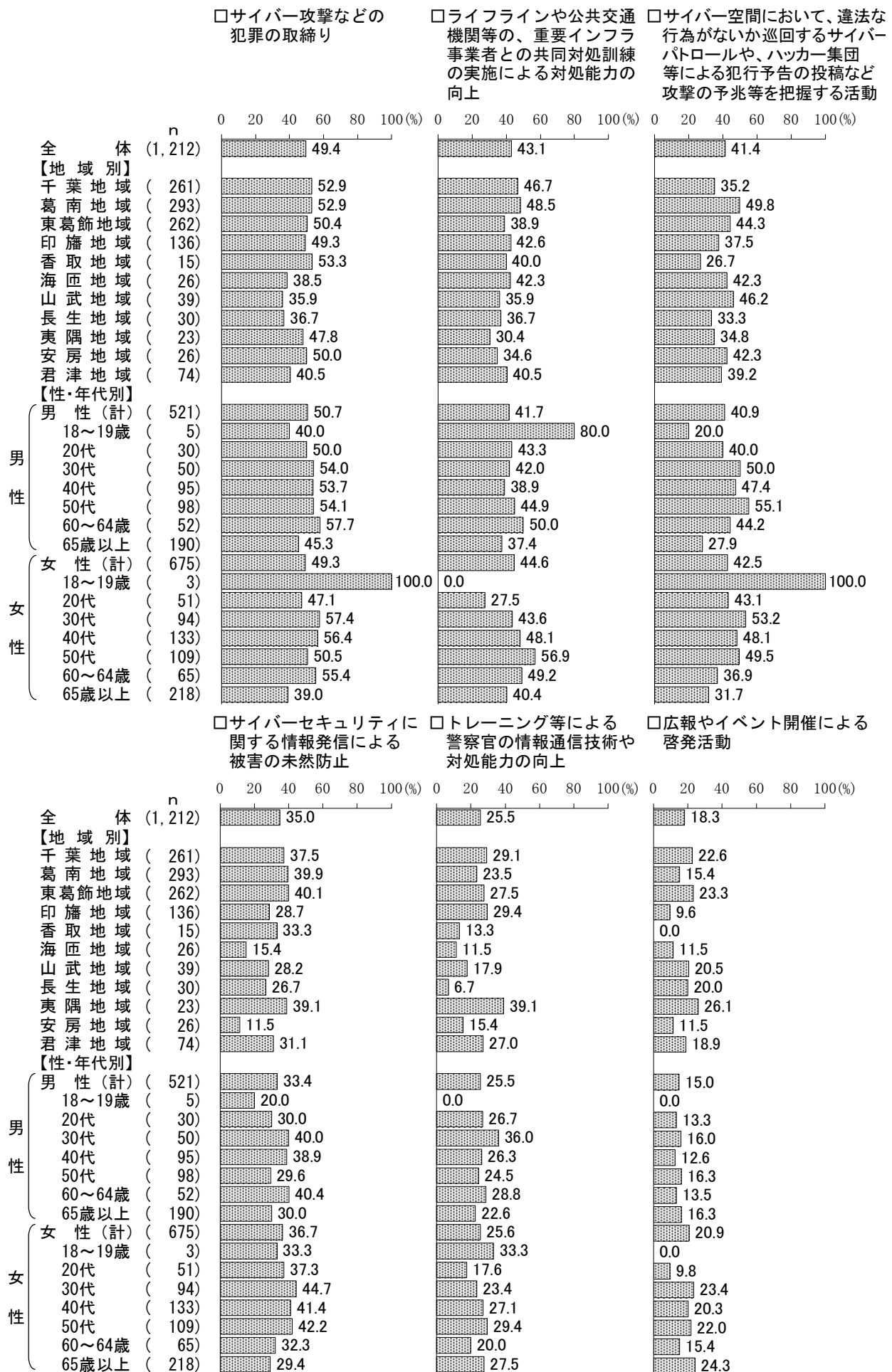
##### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「ライフラインや公共交通機関等の、重要インフラ事業者との共同対処訓練の実施による対処能力の向上」は女性の50代（56.9%）が５割台半ばで高くなっている。

「サイバー空間において、違法な行為がないか巡回するサイバーパトロールや、ハッカー集団等による犯行予告の投稿など攻撃の予兆等を把握する活動」は男性の50代（55.1%）が５割台半ば、女性の30代（53.2%）が５割を超えて高くなっている。

「サイバーセキュリティに関する情報発信による被害の未然防止」は女性の30代（44.7%）が４割台半ばで高くなっている。（図表５－８）

＜図表５－８＞警察に求めるサイバー攻撃対策（複数回答）／地域別、性・年代別（上位６項目）



このほかに、「サイバー空間の安全対策」やここまでの質問（問18～問21）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、90人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「サイバー空間の安全対策」の自由回答（抜粋）

- 偽のチケットは絶対出回ると思うので対策を考えてほしい。（女性、20代、葛南地域）
- 官民共同で対策にあたってほしい。民間の知恵も借りてサイバー犯罪に対応してほしいと思う。（女性、40代、葛南地域）
- サイバー関係は知識がある人は得、知識がない人は損、とはっきり分かれる世界なので、対策はできるだけやっていきたいと思う。（女性、30代、葛南地域）
- 東京2020では、私自身大会ボランティアにエントリーしていることもあり、テロ対策に関心ではられません。ぜひ、県民一丸となって阻止につながる啓発活動に力を入れて頂きたいと思います。（女性、50代、東葛飾地域）
- サイバー攻撃を他人ごとだと思っている人が多いと思うので、身近な犯罪であることを認識してもらい必要があると思う。（女性、30代、東葛飾地域）
- 自分には全く知識がないので、国の方でしっかり対策を練って対応してほしい。スペシャリストに考えてもらい対応してもらいたい。（女性、50代、東葛飾地域）
- パソコンを使っているが、得意ではないので、お手上げです。最低ここまではやるべき対策とやり方を、冊子などで教えてほしい。（女性、50代、千葉地域）
- インターネットや身近にある存在が手軽にいつでも侵入しやすい状況を作りやすいのであるべくサイバーパトロールを行い未然に防ぐように努力して行えたらいいなあと思いました。（女性、20代、東葛飾地域）
- サイバー攻撃にはキリがないので、出来るだけ素早い情報提供をしてください。（男性、60～64歳、千葉地域）
- サイバー攻撃の具体的内容がわからないので、わかりやすく説明し広報や啓発活動をして欲しい。子供もスマホを持っているので学生にも。（女性、40代、東葛飾地域）

## 6 ワーク・ライフ・バランスについて

### （１）「ワーク・ライフ・バランス」という言葉の認知度

◇『聞いたことがある（計）』が6割を超える

県では、「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」を図ることができる働き方の実現を目指して、様々な取組を進めています。

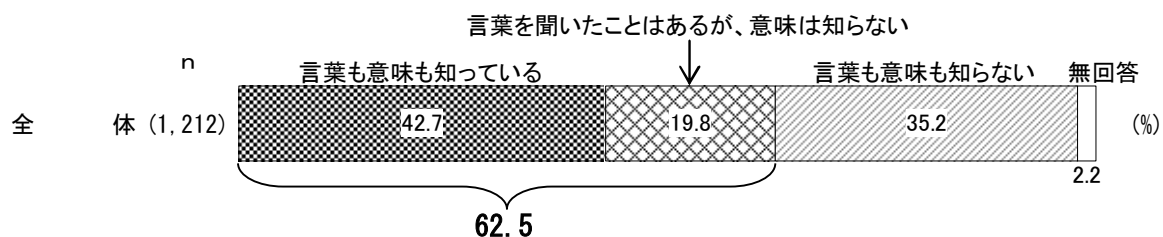
ワーク・ライフ・バランス推進に必要な、今後の取組の参考とするため、県民の皆さまの意識をお聞きいたします。

問22 あなたは、「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」（※）という言葉を知っていますか。（○は1つ）

（※）ワーク・ライフ・バランスとは

誰もが、仕事と育児、介護、自己啓発、休養、地域活動、ボランティア活動など、さまざまな活動を自らの希望どおり展開できる状態のことを言います。

＜図表6－1＞「ワーク・ライフ・バランス」という言葉の認知度



「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」という言葉を知っているか聞いたところ、「言葉も意味も知っている」（42.7%）が4割を超え、「言葉を聞いたことはあるが、意味は知らない」（19.8%）と合わせた『聞いたことがある（計）』（62.5%）が6割を超えている。

一方、「言葉も意味も知らない」（35.2%）は3割台半ばとなっている。（図表6－1）

#### 【地域別】

地域別にみると、『聞いたことがある（計）』は“葛南地域”（68.6%）が約7割で高くなっている。

一方、「言葉も意味も知らない」は“君津地域”（48.6%）が約5割で高くなっている。

（図表6－2）

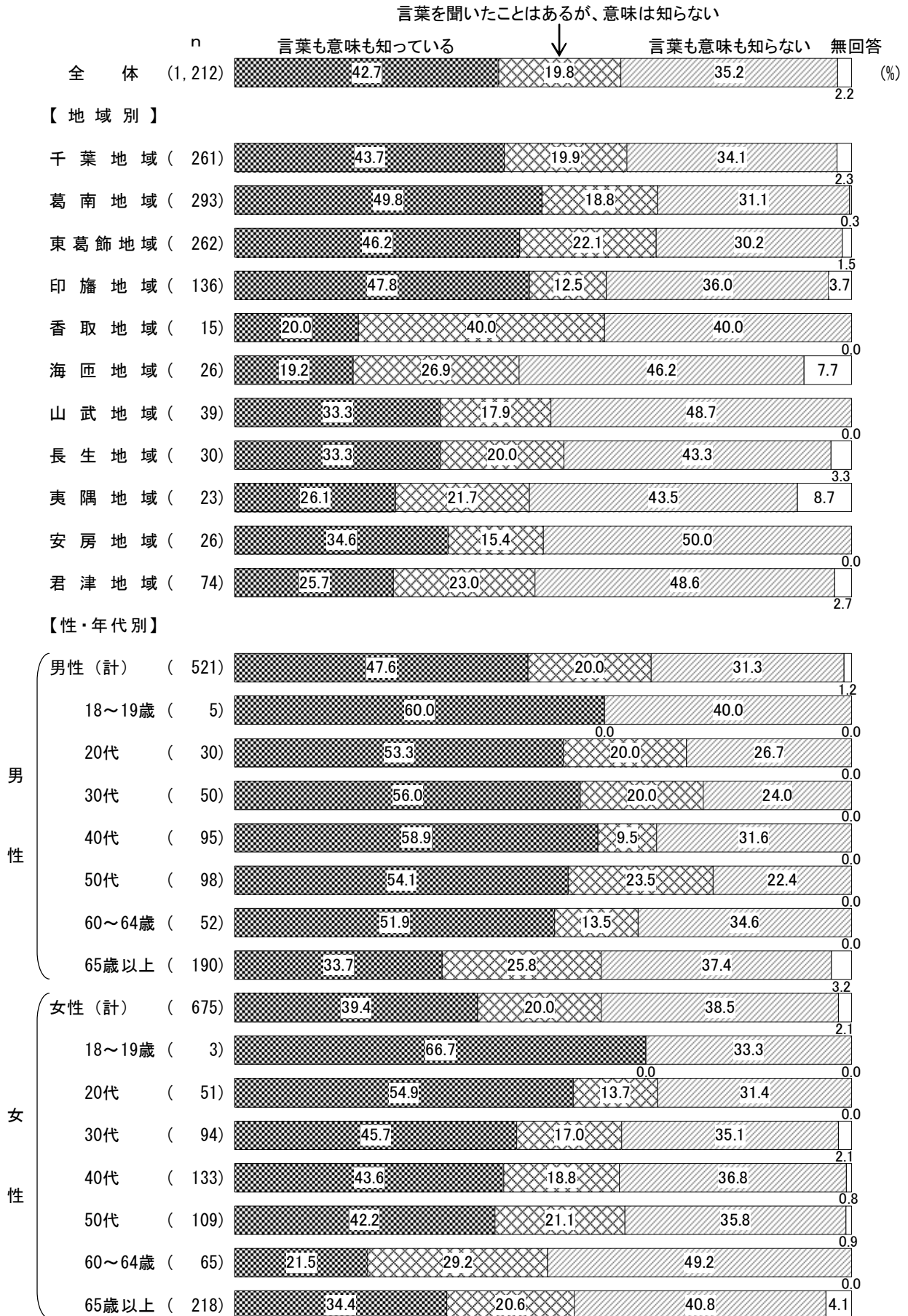
#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『聞いたことがある（計）』は男性の50代（77.6%）が約8割、男性の30代（76.0%）が7割台半ばで高くなっている。

一方、「言葉も意味も知らない」は女性の60～64歳（49.2%）が約5割で高くなっている。

（図表6－2）

＜図表6－2＞「ワーク・ライフ・バランス」という言葉の認知度／地域別、性・年代別

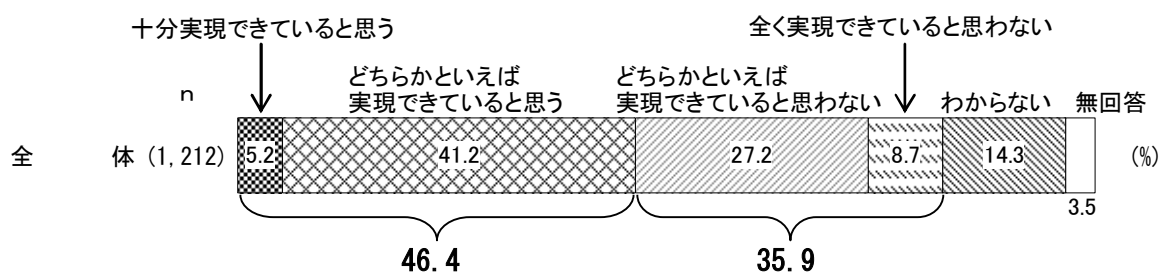


## （２）ワーク・ライフ・バランスの実現度

◇『実現できている（計）』が４割台半ば

問23 あなたは、自身のワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）は、どの程度実現されていると思いますか。現在、お仕事をされていない場合は、ご家族などの身近な人を想定してお答えください。（○は１つ）

＜図表６－３＞ワーク・ライフ・バランスの実現度



自身のワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）は、どの程度実現されていると思うか聞いたところ、「十分に実現できていると思う」（5.2%）と「どちらかといえば実現できていると思う」（41.2%）を合わせた『実現できている（計）』（46.4%）が４割台半ばとなっている。

一方、「どちらかといえば実現できていないと思う」（27.2%）と「全く実現できていないと思う」（8.7%）を合わせた『実現できていない（計）』（35.9%）が３割台半ばとなっている。

（図表６－３）

### 【地域別】

地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。（図表６－４）

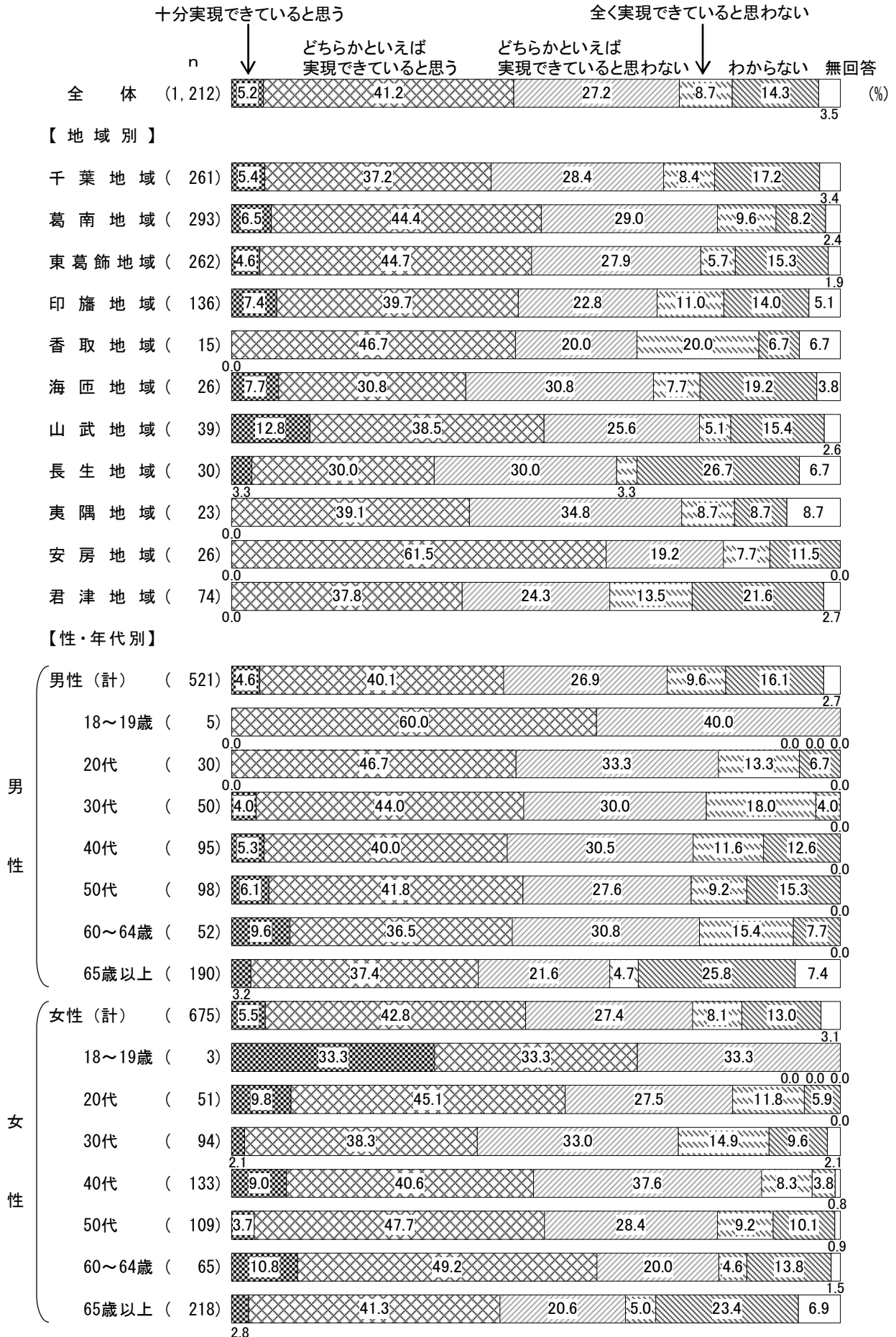
### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『実現できている（計）』は女性の60～64歳（60.0%）が６割で高くなっている。

一方、『実現できていない（計）』は女性の30代（47.9%）が約５割、女性の40代（45.9%）が４割台半ばで高くなっている。（図表６－４）



＜図表6－4＞ワーク・ライフ・バランスの実現度／地域別、性・年代別



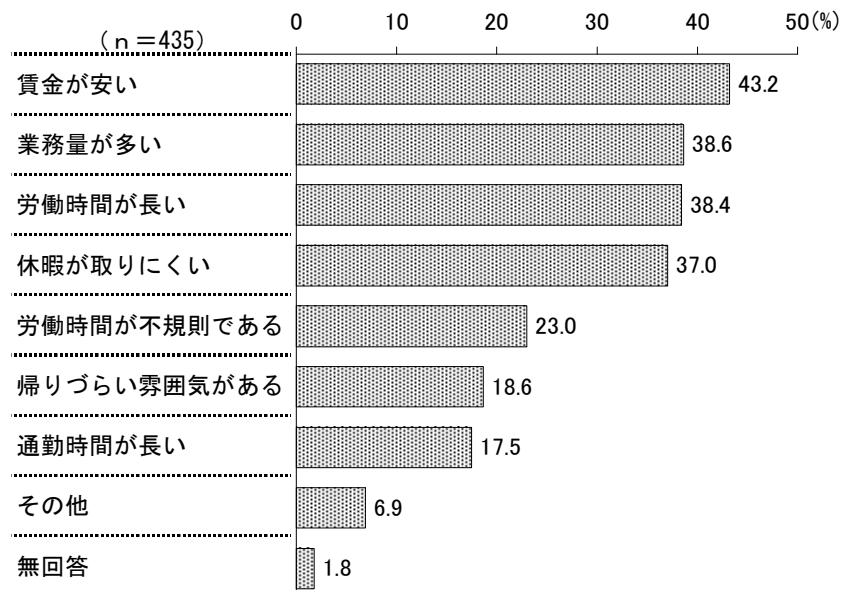
## （２－１）職場において支障となっている点

◇「賃金が安い」が４割を超える

（問23で「どちらかといえば実現できていると思わない」、「全く実現できていると思わない」とお答えの方に）

問23－１ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の実現に当たり、職場において、支障となっている点は何ですか。（〇はいくつでも）

＜図表６－５＞職場において支障となっている点（複数回答）



自身のワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）が「どちらかといえば実現できていると思わない」または「全く実現できていると思わない」と回答した435人を対象に、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の実現に当たり、職場において支障となっている点を聞いたところ、「賃金が安い」（43.2％）が４割を超えて最も高く、以下、「業務量が多い」（38.6％）、「労働時間が長い」（38.4％）、「休暇が取りにくい」（37.0％）が続く。（図表６－５）

### 【地域別】

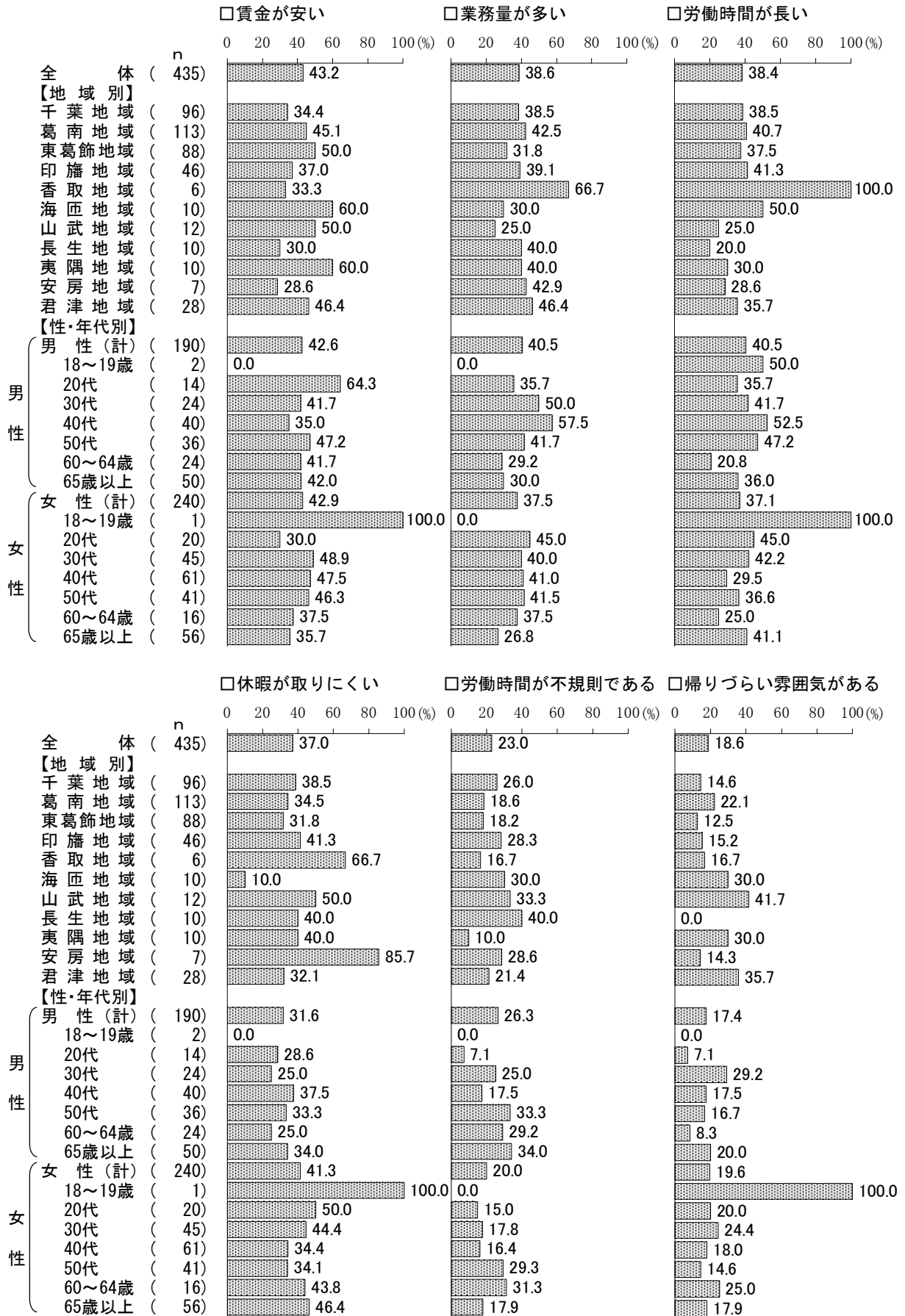
地域別にみると、「帰りづらい雰囲気がある」は“君津地域”（35.7％）が３割台半ばで高くなっている。（図表６－６）

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「業務量が多い」は男性の40代（57.5％）が約６割で高くなっている。

（図表６－６）

＜図表6－6＞職場において支障となっている点（複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）

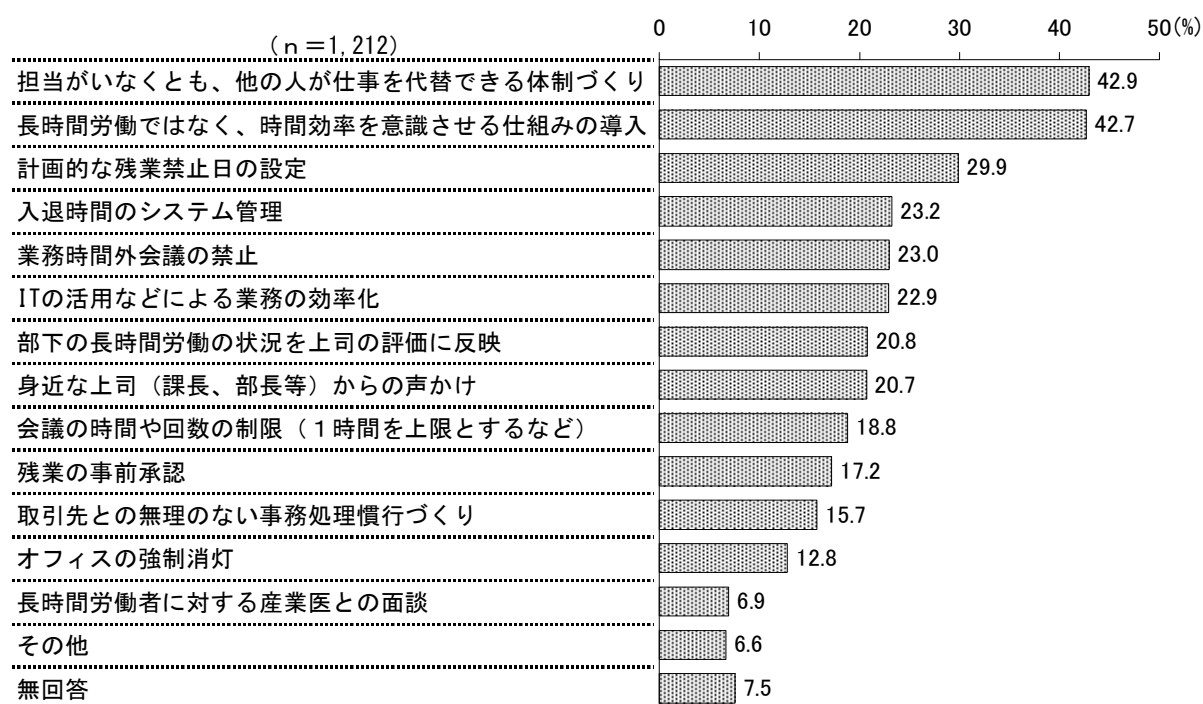


### （３）長時間労働を是正するために重要と思う企業の取組

◇「担当がいなくとも、他の人が仕事を代替できる体制づくり」と「長時間労働ではなく、時間効率を意識させる仕組みの導入」が４割を超える

問24 あなたは、長時間労働を是正するための企業の取組について、何が重要だと思いますか。  
（○はいくつでも）

<図表 6－7> 長時間労働を是正するために重要と思う企業の取組（複数回答）



長時間労働を是正するための企業の取組について、何が重要だと思うか聞いたところ、「担当がいなくとも、他の人が仕事を代替できる体制づくり」（42.9%）と「長時間労働ではなく、時間効率を意識させる仕組みの導入」（42.7%）が４割を超えて高く、以下、「計画的な残業禁止日の設定」（29.9%）、「入退時間のシステム管理」（23.2%）、「業務時間外会議の禁止」（23.0%）が続く。

（図表 6－7）

#### 【地域別】

地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。（図表 6－8）

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「担当がいなくとも、他の人が仕事を代替できる体制づくり」は女性の30代（53.2%）、40代（52.6%）が５割を超えて高くなっている。

「長時間労働ではなく、時間効率を意識させる仕組みの導入」は女性の50代（56.0%）が５割台半ばで高くなっている。

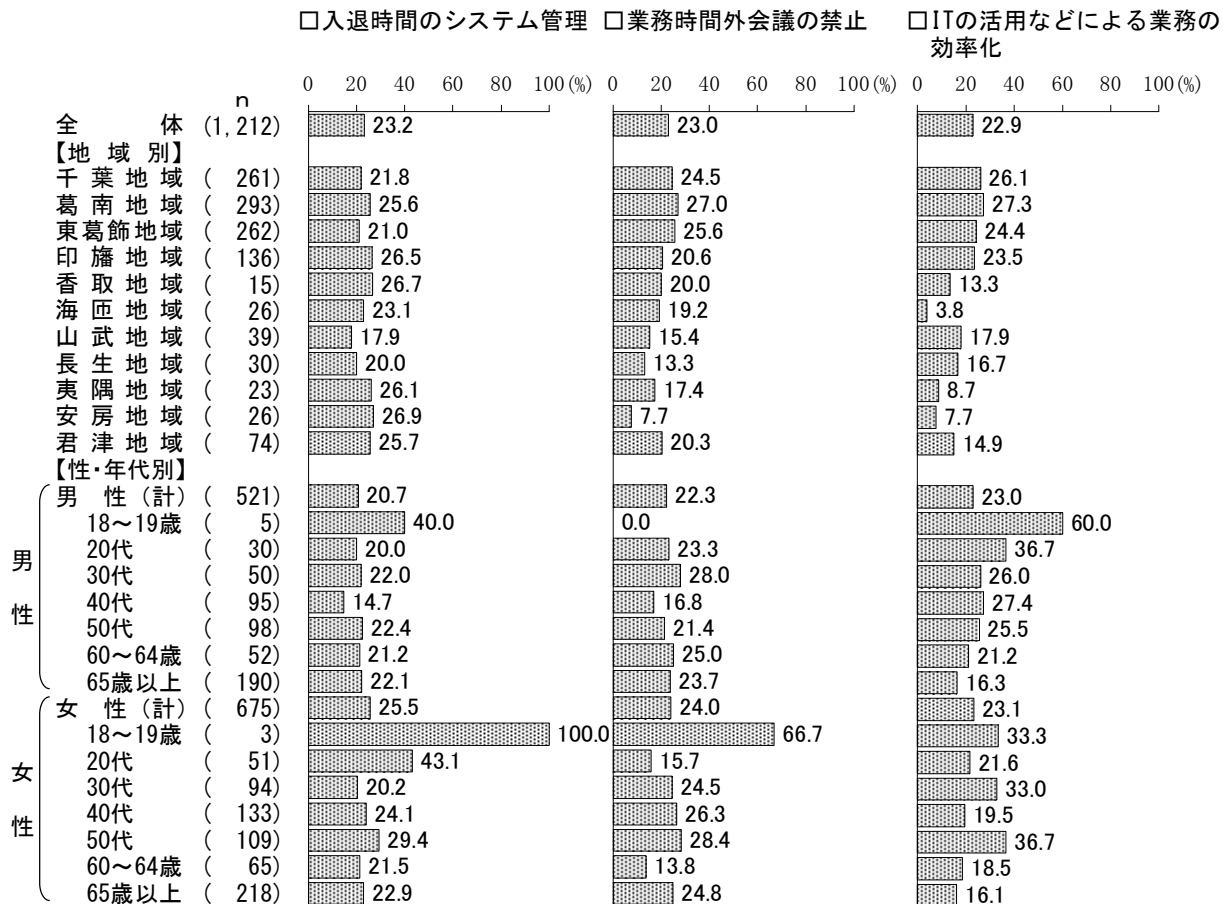
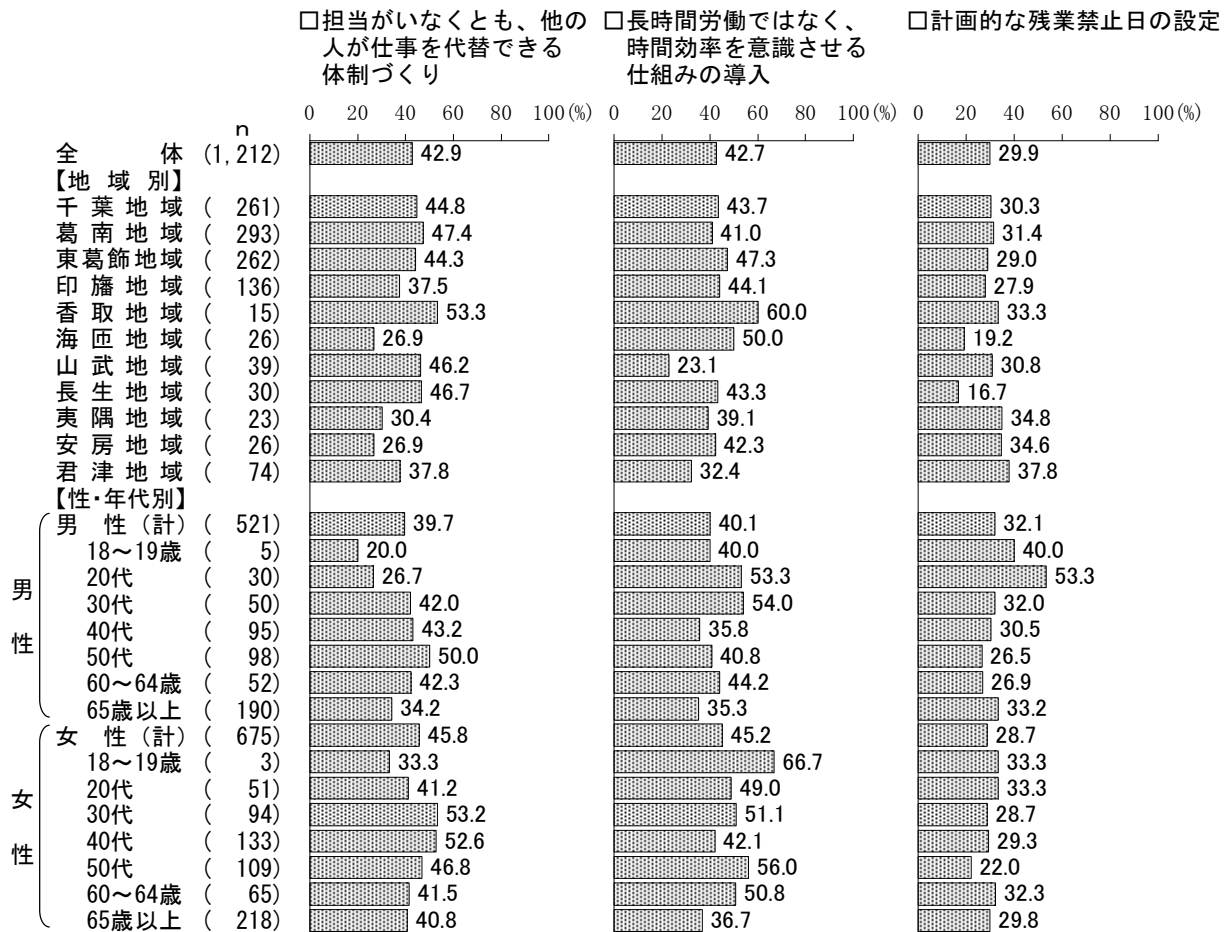
「計画的な残業禁止日の設定」は男性の20代（53.3%）が５割を超えて高くなっている。

「入退時間のシステム管理」は女性の20代（43.1%）が４割を超えて高くなっている。

「ITの活用などによる業務の効率化」は女性の50代（36.7%）が３割台半ば、女性の30代（33.0%）が３割を超えて高くなっている。（図表 6－8）

＜図表6－8＞長時間労働を是正するために重要と思う企業の取組（複数回答）

／地域別、性・年代別（上位6項目）

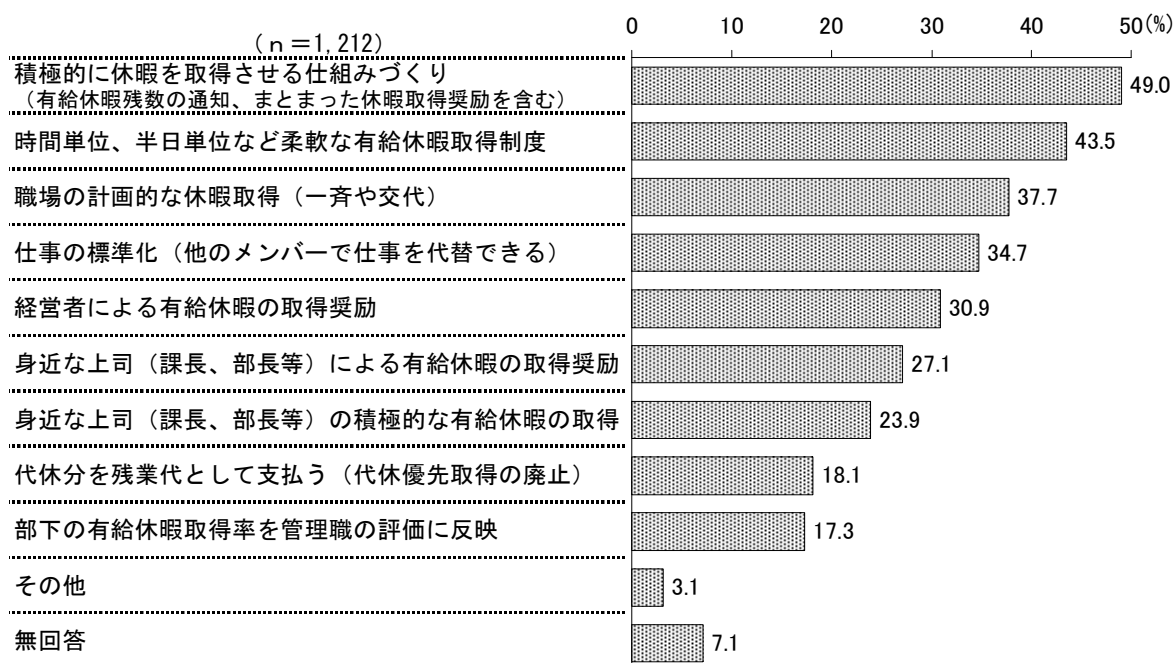


#### （４）有給休暇の取得を促進するために重要と思う企業の取組

◇「積極的に休暇を取得させる仕組みづくり」が約５割

問25 あなたは、有給休暇の取得を促進させるための企業の取組について、何が重要だと思いますか。（○はいくつでも）

＜図表６－９＞有給休暇の取得を促進するために重要と思う企業の取組（複数回答）



有給休暇の取得を促進させるための企業の取組について、何が重要だと思うか聞いたところ、「積極的に休暇を取得させる仕組みづくり（有給休暇残数の通知、まとまった休暇取得奨励を含む）」（49.0%）が約５割で最も高く、以下、「時間単位、半日単位など柔軟な有給休暇取得制度」（43.5%）、「職場の計画的な休暇取得（一斉や交代）」（37.7%）、「仕事の標準化（他のメンバーで仕事を代替できる）」（34.7%）が続く。（図表６－９）

##### 【地域別】

地域別にみると、「仕事の標準化（他のメンバーで仕事を代替できる）」は“葛南地域”（41.3%）が４割を超えて高くなっている。（図表６－10）

##### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「積極的に休暇を取得させる仕組みづくり（有給休暇残数の通知、まとまった休暇取得奨励を含む）」は女性の20代（64.7%）が６割台半ばで高くなっている。

「時間単位、半日単位など柔軟な有給休暇取得制度」は女性の40代（54.9%）、50代（56.0%）が５割台半ばで高くなっている。

「職場の計画的な休暇取得（一斉や交代）」は女性の30代（54.3%）が５割台半ば、女性の20代（52.9%）が５割を超えて高くなっている。

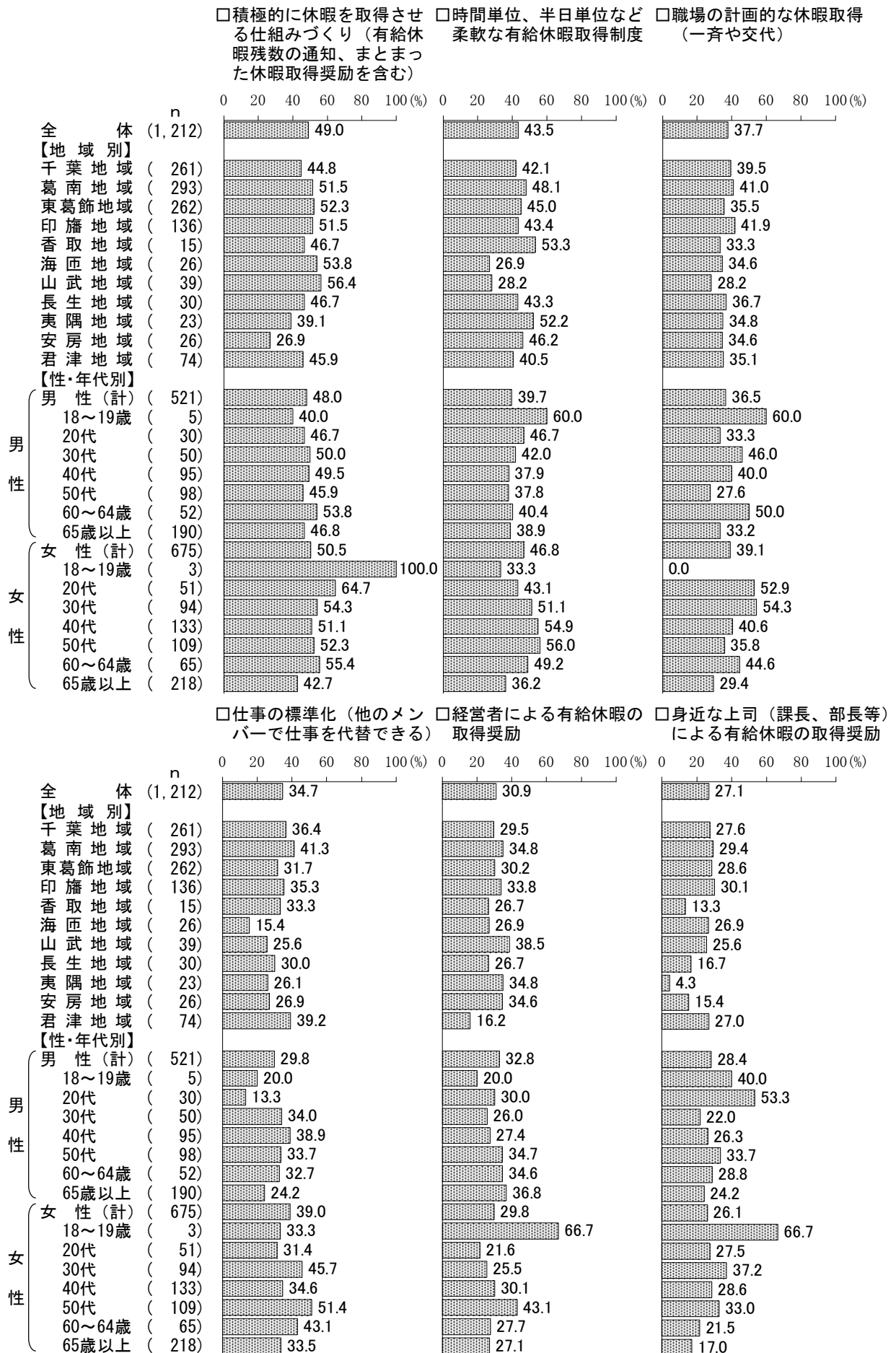
「仕事の標準化（他のメンバーで仕事を代替できる）」は女性の50代（51.4%）が５割を超え、女性の30代（45.7%）が４割台半ばで高くなっている。

「経営者による有給休暇の取得奨励」は女性の50代（43.1%）が４割を超えて高くなっている。

「身近な上司（課長、部長等）による有給休暇の取得奨励」は男性の20代（53.3%）が５割を超え、女性の30代（37.2%）が約４割で高くなっている。（図表６－10）

＜図表 6－10＞有給休暇の取得を促進するために重要と思う企業の取組（複数回答）

／地域別、性・年代別（上位6項目）



このほかに、「ワーク・ライフ・バランス」やここまでの質問（問22～問25）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、125人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「ワーク・ライフ・バランス」の自由回答（抜粋）

- 日本全国で慢性的な人手不足と言われている中、ワーク・ライフ・バランスを実現することは難しいとは思いますが、このままでは労働世代がただただ疲弊していくばかりです。国や県から、ある程度の強制力を持った施策を打って対策をとって行くのが、日本人には合っていると思います。この課題には優先して取り組んでほしいと思う。（男性、30代、葛南地域）
  
- ワーク・ライフ・バランスは企業、上司だけの協力ではなく、一人、一人の考え方を変える必要があると思います。私達の年代の教育は協調性を重んじられてきた様に感じます。もちろん皆で協力してやる事は大切だと思いますが、個人個人の考え方も、重要である事も子供の頃から教えるのも、将来のワーク・ライフ・バランスに必要なのではと感じます。（女性、40代、葛南地域）
  
- ワーク・ライフ・バランスについては、企業によって取り組みに差があり、どうしても大企業優位になっていることは否めない。経営者に対する啓発活動が必要であり、県として何かしらの指導が必要だと思う。（女性、50代、東葛飾地域）
  
- 今後、社会で働く身としては、ワーク・ライフ・バランスは大切にしてほしいし、していきたいと思っています。県がどのような事を援助しているのかがよくわからないので知りたいです。（女性、20代、印旛地域）
  
- 残業やダブルワークをしなくて済む賃金が確保できないのでは何も議論できない。ワーク・ライフ・バランスは個人の経済が安定しなくては、何も始まらない。（男性、40代、葛南地域）
  
- アルバイトに対して有休制度などをきちんと説明する機会があれば使おうと思います。また残業をするということは、その人への責任が重すぎるのではと考えます。仕事内容をもっと柔軟にできるようにすればストレスはなくなると思います。（女性、20代、葛南地域）
  
- 有休を取りたいと言うと嫌な顔をされて取らせてもらえない。（女性、65歳以上、香取地域）
  
- ワーク・ライフ・バランスを実現するには中小企業だと人員が足りない。（男性、40代、葛南地域）



## 7 地域リハビリテーションについて

### （１）リハビリテーションを受けた経験

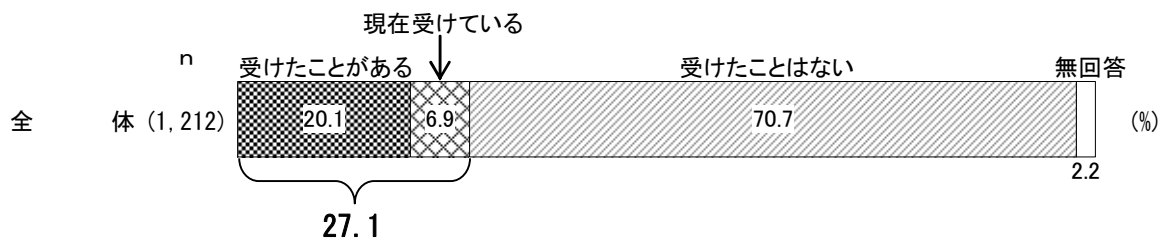
◇『経験がある（計）』が約３割

県では、リハビリテーション（運動やストレッチによるケガ・病気の回復、介護予防や健康増進の取組）が必要な方が、地域での介護予防から入院中・退院後の生活まで、途切れのない適切な施術を受けることが出来る、「地域リハビリテーション」の体制整備の推進を図っています。

今後の取組推進の参考とするため、県民の皆さまの利用状況や意識をお聞きいたします。

問26 あなた又はあなたの家族は、地域や病院、施設などで、理学療法士、作業療法士又は言語聴覚士などの専門職による、リハビリテーションを受けたことがある、又は現在受けていますか。（○は１つ）

＜図表 7－1＞リハビリテーションを受けた経験



自身又は家族がリハビリテーションを受けた経験があるか聞いたところ、「受けたことがある」（20.1%）と「現在受けている」（6.9%）を合わせた『経験がある（計）』（27.1%）が約３割となっている。

一方、「受けたことはない」（70.7%）が７割で高くなっている。（図表 7－1）

#### 【地域別】

地域別にみると、「受けたことはない」は“葛南地域”（77.8%）が約８割で高くなっている。

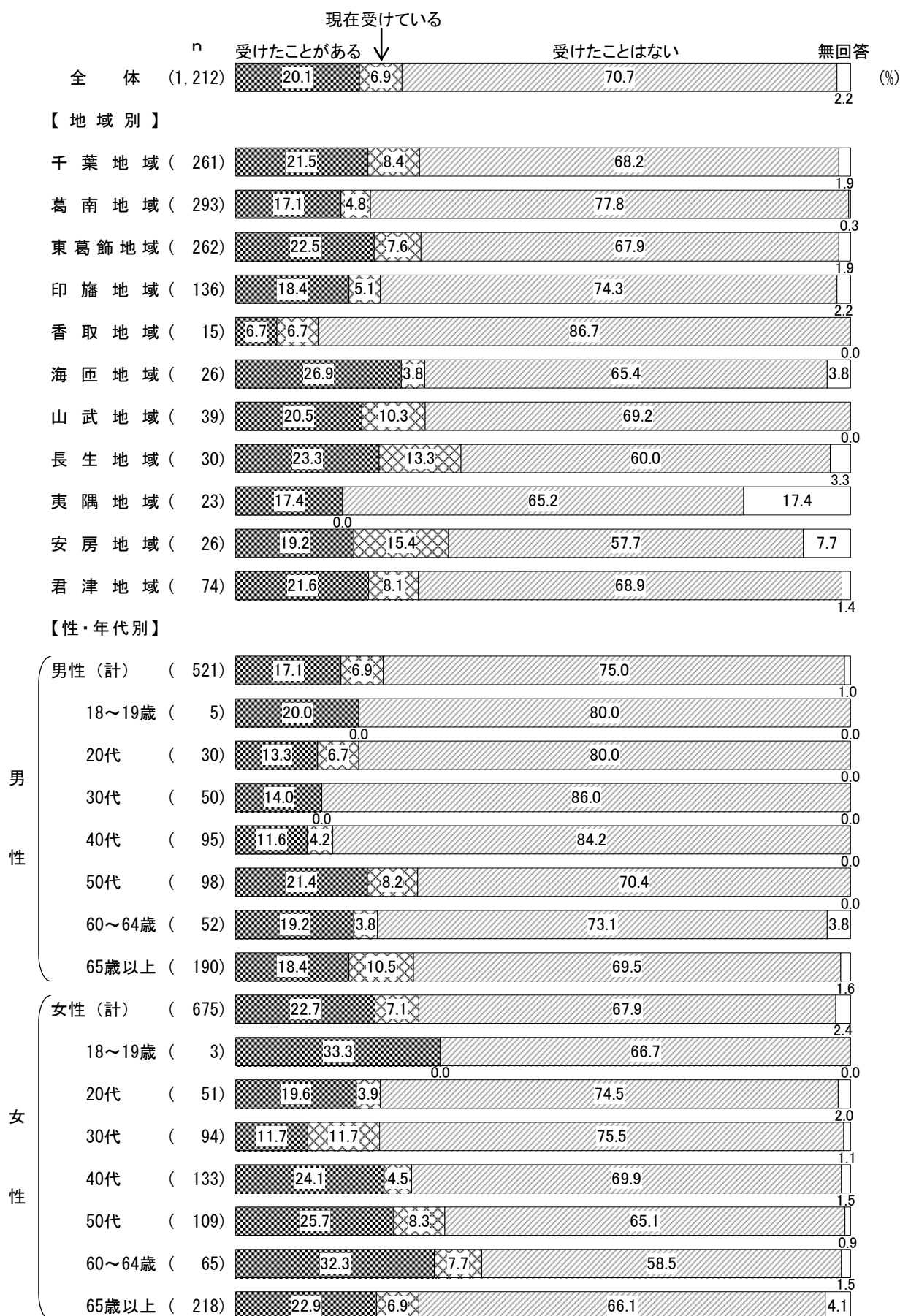
（図表 7－2）

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『経験がある（計）』は女性の60～64歳（40.0%）が４割で高くなっている。

一方、「受けたことはない」は男性の30代（86.0%）、40代（84.2%）が８割台半ばで高くなっている。（図表 7－2）

＜図表7－2＞リハビリテーションを受けた経験／地域別、性・年代別



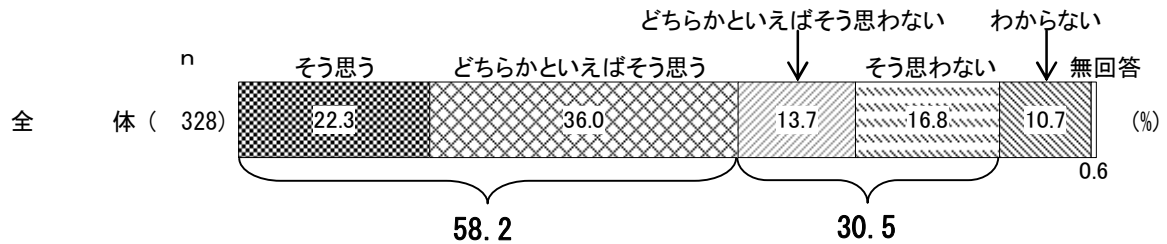
## （１－１）適切なリハビリテーションが提供されたと思うか

◇『そう思う（計）』が約６割

（問26で「受けたことがある」、「現在受けている」とお答えの方に）

問26－１ あなた又はあなたの家族に対して、地域での介護予防から入院中・退院後の生活まで、それぞれの段階で途切れのない適切なリハビリテーションが提供された、又は提供されていると思いますか。（○は１つ）

＜図表７－３＞適切なリハビリテーションが提供されたと思うか



自身又は家族がリハビリテーションを「受けたことがある」または「現在受けている」と回答した328人を対象に、地域での介護予防から入院中・退院後の生活まで、それぞれの段階で途切れのない適切なリハビリテーションが提供された、又は提供されていると思うか聞いたところ、「そう思う」(22.3%)と「どちらかといえばそう思う」(36.0%)を合わせた『そう思う(計)』(58.2%)が約６割と高くなっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」(13.7%)と「そう思わない」(16.8%)を合わせた『そう思わない(計)』(30.5%)が３割となっている。(図表７－３)

### 【地域別】

※サンプル数が少ない（有意差がない）ため、【地域別】における属性の分析は触れていない。  
（10ページ「報告書の見方（５）」を参照）

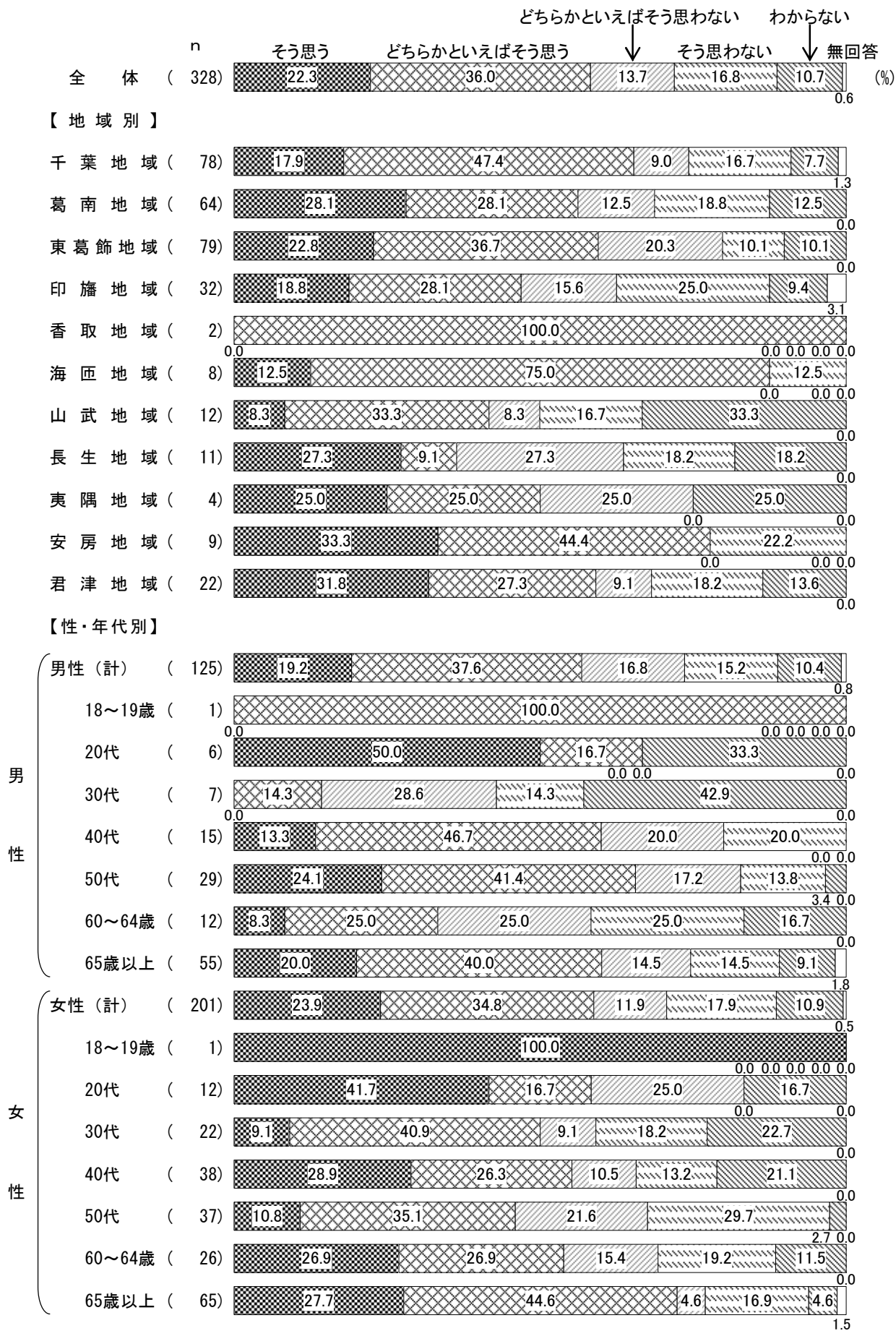
### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う（計）』は女性の65歳以上（72.3%）が７割を超えて高くなっている。

一方、『そう思わない（計）』は女性の50代（51.4%）が５割を超えて高くなっている。

（図表７－４）

＜図表7－4＞適切なリハビリテーションが提供されたと思うか／地域別、性・年代別

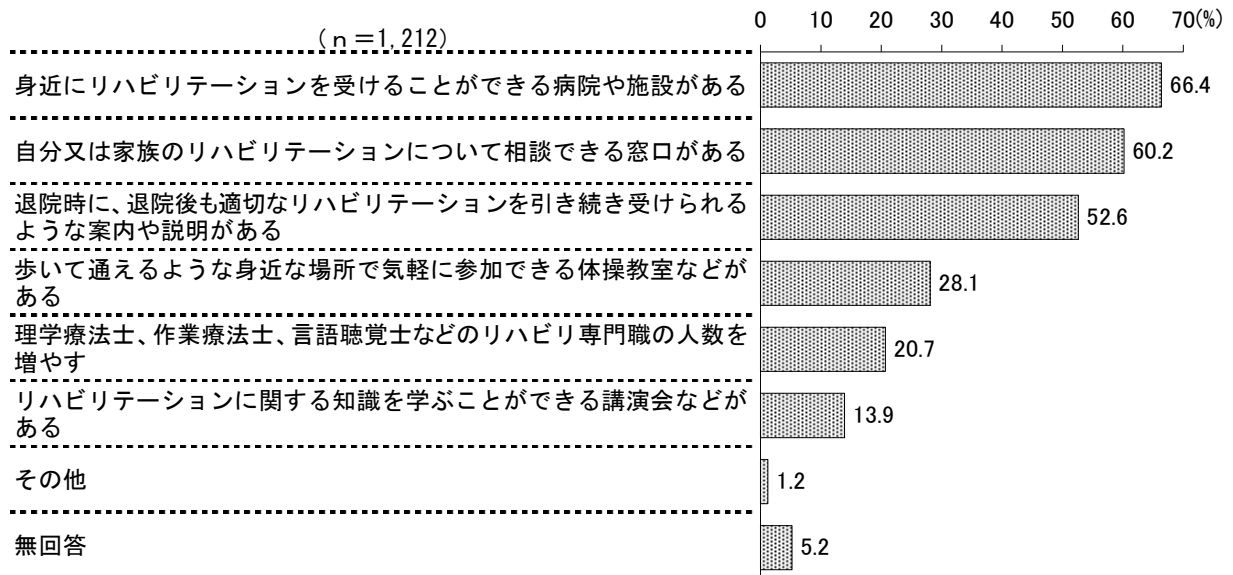


## （２）適切なリハビリテーションが提供されるために重要だと思うこと

◇「身近にリハビリテーションを受けることができる病院や施設がある」が６割台半ば

問27 あなたは、適切なリハビリテーションが提供されるためには、どのようなことが重要だと思いますか。（○はいくつでも）

＜図表 7－5＞適切なリハビリテーションが提供されるために重要だと思うこと（複数回答）



適切なリハビリテーションが提供されるためには、どのようなことが重要だと思うか聞いたところ、「身近にリハビリテーションを受けることができる病院や施設がある」（66.4％）が６割台半ばで最も高く、以下、「自分又は家族のリハビリテーションについて相談できる窓口がある」（60.2％）、「退院時に、退院後も適切なリハビリテーションを引き続き受けられるような案内や説明がある」（52.6％）が続く。（図表 7－5）

### 【地域別】

地域別にみると、「身近にリハビリテーションを受けることができる病院や施設がある」は“葛南地域”（73.7％）が７割台半ば、「自分又は家族のリハビリテーションについて相談できる窓口がある」は“香取地域”（86.7％）が８割台半ばで高くなっている。（図表 7－6）

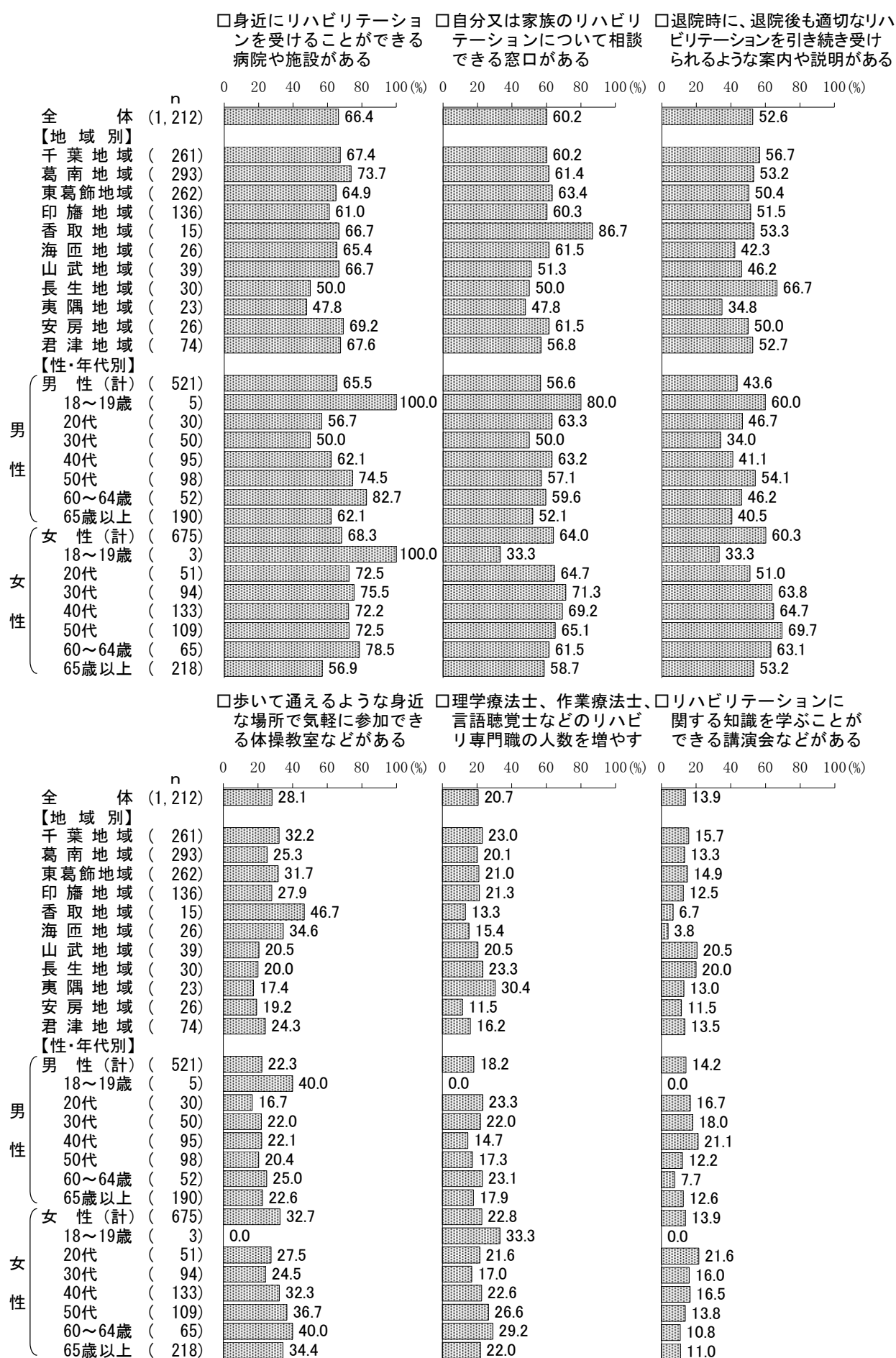
### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「身近にリハビリテーションを受けることができる病院や施設がある」は男性の60～64歳（82.7％）が８割を超え、女性の60～64歳（78.5％）が約８割で高くなっている。

「自分又は家族のリハビリテーションについて相談できる窓口がある」は女性の30代（71.3％）が７割を超え、女性の40代（69.2％）が約７割で高くなっている。（図表 7－6）

＜図表7－6＞適切なリハビリテーションが提供されるために重要だと思うこと（複数回答）

／地域別、性・年代別（上位6項目）

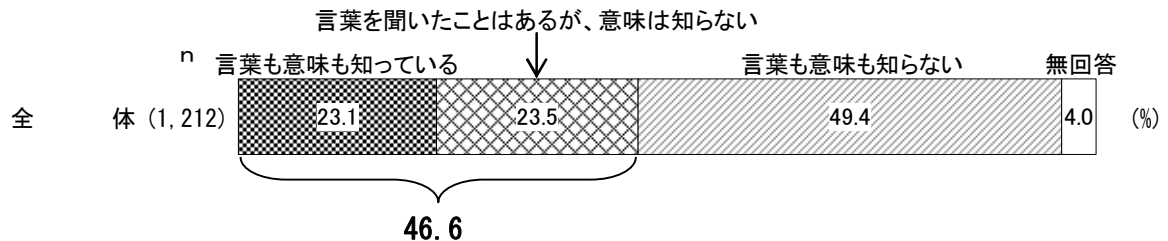


### （３）「地域リハビリテーション」という言葉の認知度

◇『知っている（計）』が４割台半ば

問28 あなたは、「地域リハビリテーション」（※別紙「地域リハビリテーションとは？」参照）という言葉を知っていますか。（○は１つ）

＜図表 7－7＞「地域リハビリテーション」という言葉の認知度



「地域リハビリテーション」という言葉を知っているか聞いたところ、「言葉も意味も知っている」（23.1%）と「言葉を聞いたことはあるが、意味は知らない」（23.5%）を合わせた『知っている（計）』（46.6%）が４割台半ばとなっている。

一方、「言葉も意味も知らない」（49.4%）は約５割となっている。（図表 7－7）

#### 【地域別】

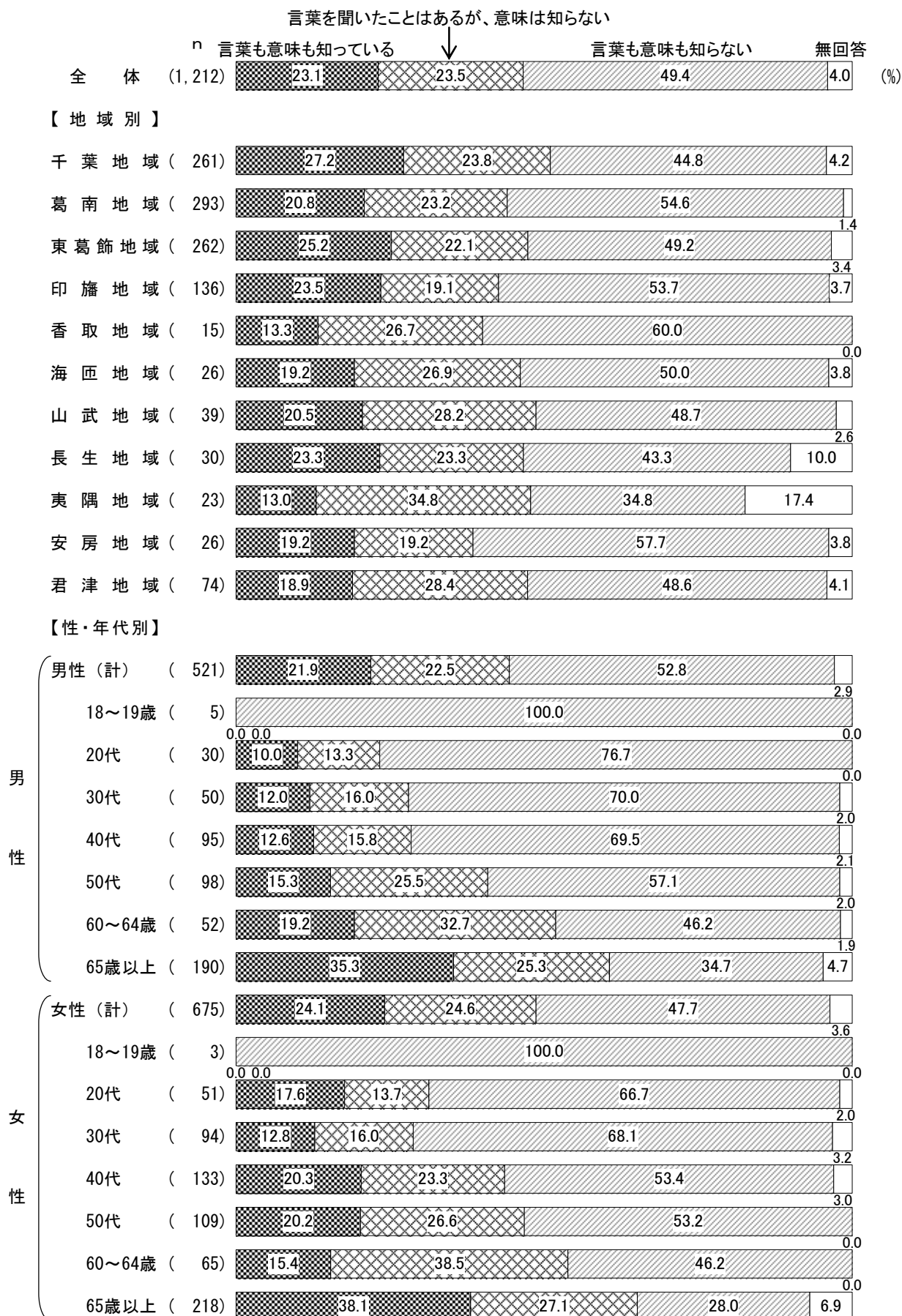
地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。（図表 7－8）

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『知っている（計）』は女性の65歳以上（65.1%）が６割台半ば、男性の65歳以上（60.5%）が６割で高くなっている。

一方、「言葉も意味も知らない」は男性の20代（76.7%）が７割台半ば、男性の30代（70.0%）が７割、男性の40代（69.5%）と女性の30代（68.1%）が約７割、女性の20代（66.7%）が６割台半ばで高くなっている。（図表 7－8）

＜図表7－8＞「地域リハビリテーション」という言葉の認知度／地域別、性・年代別



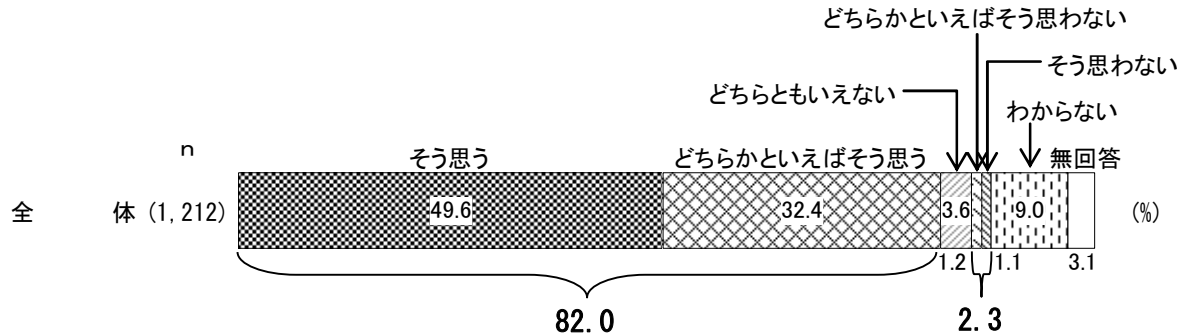


#### （４）「地域リハビリテーション」推進の必要性

◇『そう思う（計）』が８割を超える

問29 あなたは、「地域リハビリテーション」の推進は必要だと思いますか。（○は１つ）

＜図表７－９＞「地域リハビリテーション」推進の必要性



「地域リハビリテーション」の推進は必要だと思うか聞いたところ、「そう思う」（49.6％）と「どちらかといえばそう思う」（32.4％）を合わせた『そう思う（計）』（82.0％）が８割を超えて高くなっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」（1.2％）と「そう思わない」（1.1％）を合わせた『そう思わない（計）』（2.3％）はわずかである。（図表７－９）

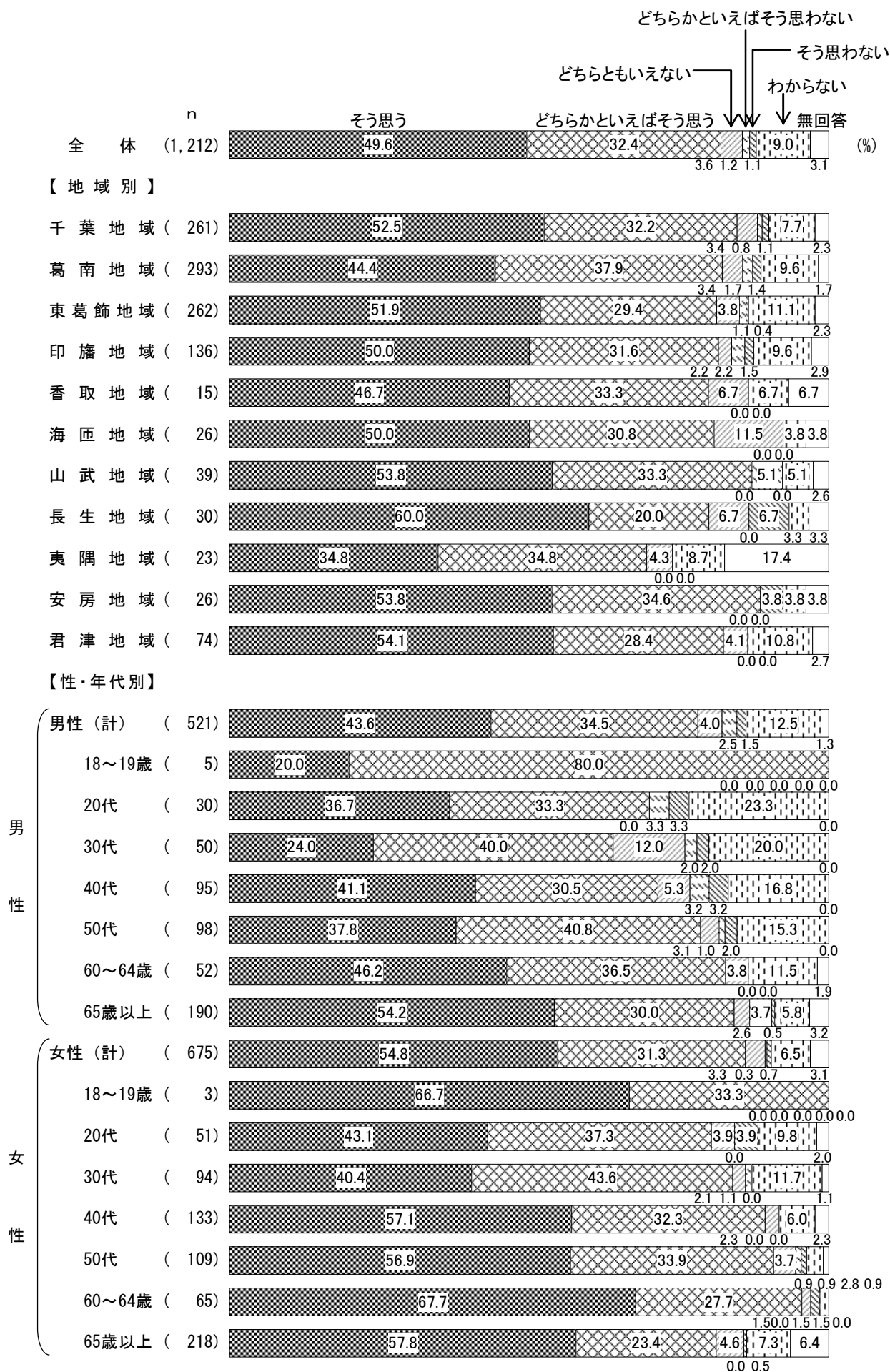
##### 【地域別】

地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。（図表７－10）

##### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う（計）』は女性の60～64歳（95.4％）が９割台半ば、女性の50代（90.8％）が９割、女性の40代（89.5％）が約９割で高くなっている。（図表７－10）

＜図表7-10＞「地域リハビリテーション」推進の必要性／地域別、性・年代別



このほかに、「地域リハビリテーション」やここまでの質問（問26～問29）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、90人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「地域リハビリテーション」の自由回答（抜粋）

- 理学療法士です。今は地域住民同士の交流や連携などが希薄ですので、そういった部分からだと思います。昭和の古きよき時代のように、お互いがお互いを知っているような関係づくりが地域に必要なだと思います。（男性、40代、葛南地域）
- 良い病院に人が集中しすぎてリハビリをしたくてもできず、遠い所まで行かなくては良いリハビリを受けることさえもできませんでした。今は車があるので大丈夫ですが、もう少し年齢がいきましたら頼れる良い病院がないことに気がつきました。（女性、50代、東葛飾地域）
- 次に進む時に気軽に相談ができることは良いこと。誰でもすべてがわかるわけではないので、利用者に声をかけてもらいたい。わからない事だらけなのだから。（女性、50代、千葉地域）
- 必要な方の自主的参加は難しいと考える。民生委員や行政が参加できるようなサポートがまず必要なのは。（男性、65歳以上、山武地域）
- この高齢化時代では、高齢者といえども必要性を感じたら、自分から積極的にスポーツクラブに行くとか動くべきである。行政からしてもらおうとばかり考えるべきではない。（女性、65歳以上、千葉地域）
- 病院→施設→家庭と切れ目のないリハビリテーションが受けられる連携システムがほしい。高齢者、障害者が一つの窓口で相談に行けば、必要な支援が受けられる仕組みがほしい。（女性、65歳以上、東葛飾地域）
- 地域リハビリテーションを利用する人には十分に利用してもらいたいが、その周りの人の考え方も大事だと思う。障害を持っている人や高齢者への理解をする機会が一般の人にもあれば、さらに住みやすくなるのではないと思う。（女性、20代、葛南地域）
- 自動車がないと移動できない地域などでも地域リハビリテーションを進めるために、市や県が病院への移動手段として送迎を行っては頂けないでしょうか。（男性、30代、君津地域）
- 今は、自分に必要ではないものですが、いざ必要となった時に気軽に相談できる窓口があると心強いと思いました。（女性、30代、東葛飾地域）
- 子供達が正しい認識を持つことが両親・祖父母への促しや理解につながり、子供達が大きくなった時に上手く活用できるのでは。（男性、30代、東葛飾地域）

## 8 道路整備について

### （１）主な道路の利用目的

◇「通勤・通学」と「家事・買物」が４割を超える

平成３０年６月に、東京外かく環状道路（外環道）の松戸・市川間が開通するなど、県内の道路環境は近年大きく変化しています。

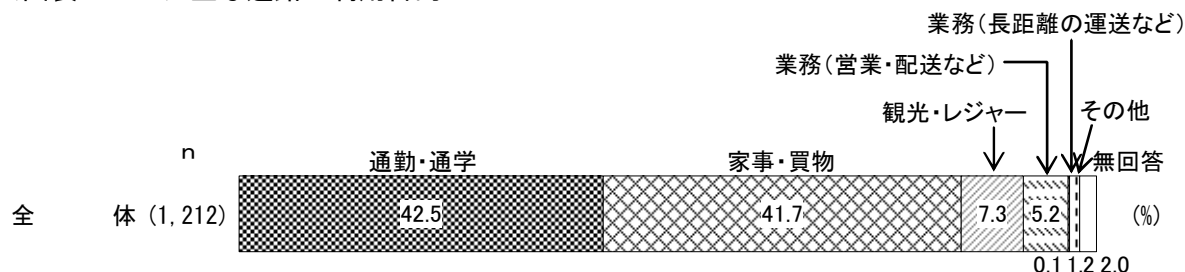
今後の道路整備の参考とするため、県民の皆さまの意識をお聞きいたします。

問30 あなたは、普段の生活の中でどのような目的で「道路」を利用することが多いですか。一番と思われるものを選んでください。（○は１つ）

※「道路」を利用する手段は、徒歩・自転車・バイク・自動車など全てを含みます。

※「業務（営業・配送など）」は営業や宅配などの近距離の業務を、「業務（長距離の運送など）」は大都市間の荷物の運送など長距離の業務を指します。

＜図表８－１＞主な道路の利用目的



普段の生活の中でどのような目的で「道路」を利用することが多いか聞いたところ、「通勤・通学」（42.5%）と「家事・買物」（41.7%）が４割を超えて高く、以下、「観光・レジャー」（7.3%）、「業務（営業・配送など）」（5.2%）が続く。（図表８－１）

#### 【地域別】

地域別にみると、「業務（営業・配送など）」は“山武地域”（17.9%）が約２割、“長生地域”（13.3%）が１割を超えている。（図表８－２）

#### 【性・年代別】

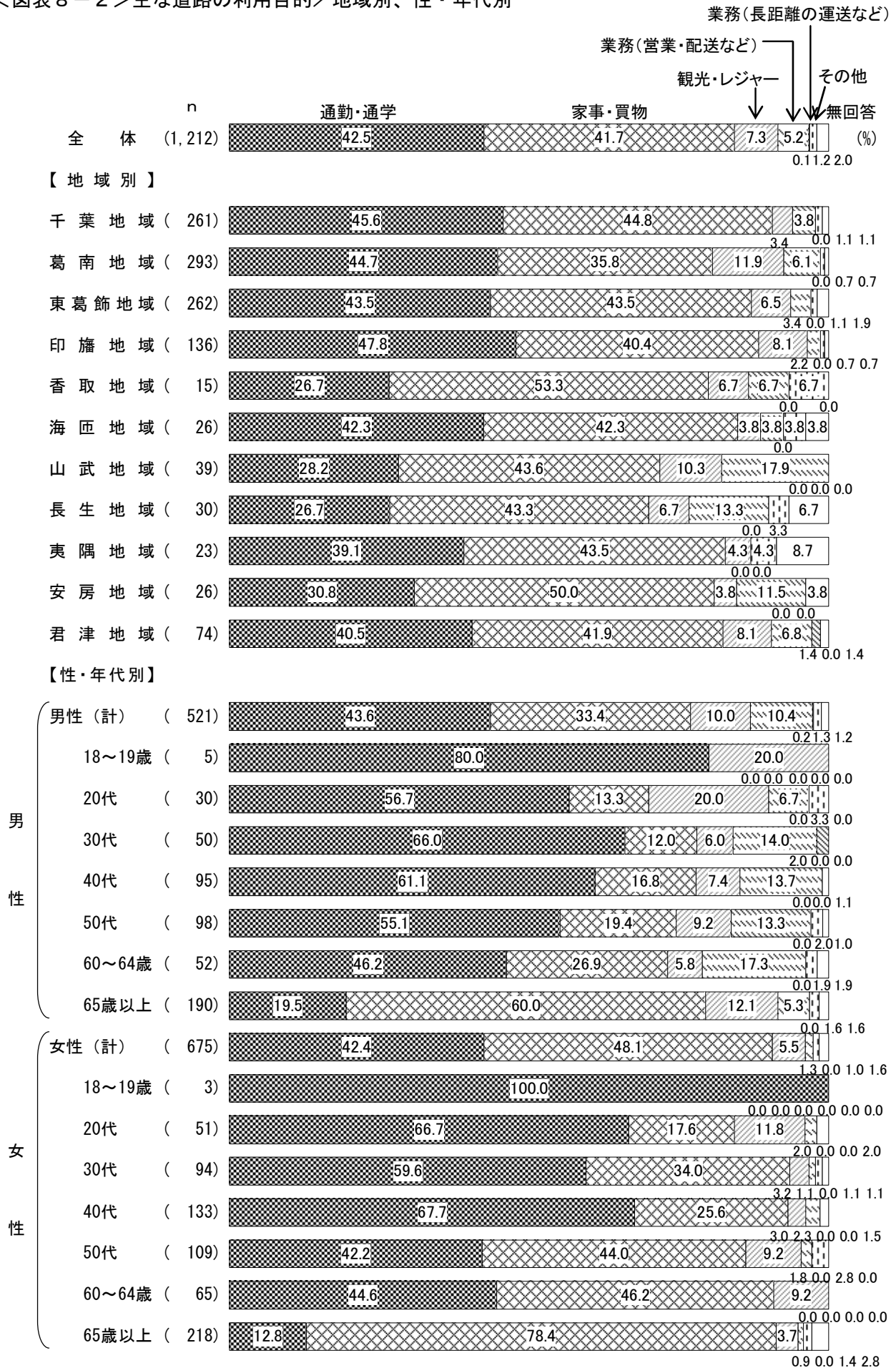
性・年代別にみると、「通勤・通学」は女性の40代（67.7%）が約７割、男性の30代（66.0%）と女性の20代（66.7%）が６割台半ば、男性の40代（61.1%）が６割を超え、女性の30代（59.6%）が約６割で高くなっている。

「家事・買物」は女性の65歳以上（78.4%）が約８割、男性の65歳以上（60.0%）が６割で高くなっている。

「観光・レジャー」は男性の20代（20.0%）が２割で高くなっている。

「業務（営業・配送など）」は男性の60～64歳（17.3%）が約２割、男性の30代（14.0%）、40代（13.7%）が１割台半ば、男性の50代（13.3%）が１割を超えている。（図表８－２）

<図表8-2>主な道路の利用目的／地域別、性・年代別

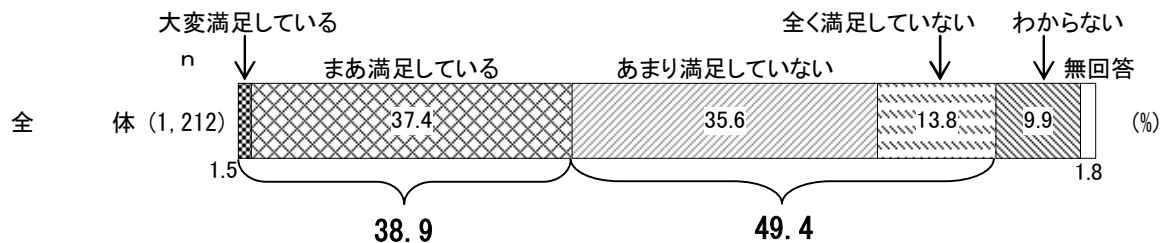


## （２）県内の道路状況の満足度

◇『満足している（計）』が約４割

問31 あなたは、千葉県内の道路状況について、満足していますか。（○は１つ）

＜図表８－３＞県内の道路状況の満足度



千葉県内の道路状況について満足しているか聞いたところ、「大変満足している」（1.5％）と「まあ満足している」（37.4％）を合わせた『満足している（計）』（38.9％）が約４割となっている。

一方、「あまり満足していない」（35.6％）と「全く満足していない」（13.8％）を合わせた『不満である（計）』（49.4％）が約５割となっている。（図表８－３）

### 【地域別】

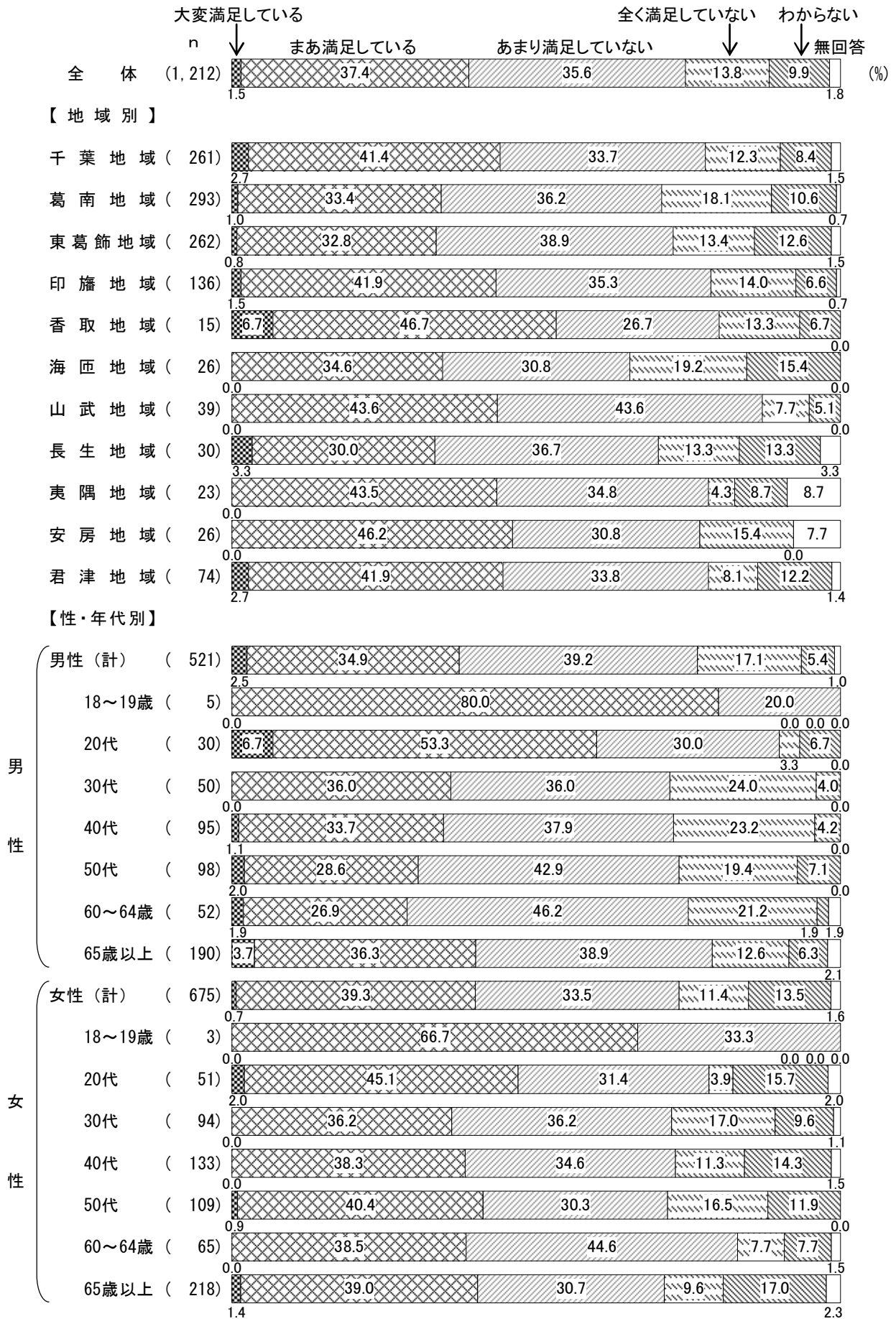
地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。（図表８－４）

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『満足している（計）』は男性の20代（60.0％）が６割で高くなっている。

一方、『不満である（計）』は男性の60～64歳（67.3％）が約７割、男性の40代（61.1％）、50代（62.2％）が６割を超えて高くなっている。（図表８－４）

＜図表８－４＞県内の道路状況の満足度／地域別、性・年代別

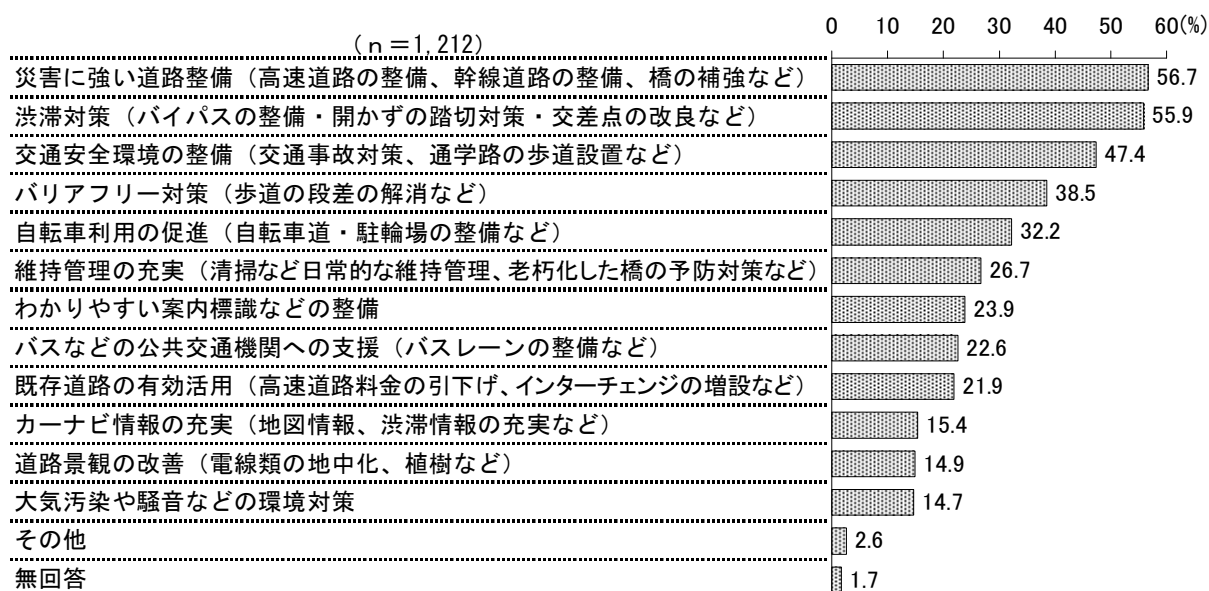


### （３）道路整備をしていく上での優先課題

◇「災害に強い道路整備」と「渋滞対策」が５割台半ば

問32 あなたは、今後、道路整備をしていく上で優先的に対策すべき課題は何だと思いますか。  
（○はいくつでも）

<図表 8－5>道路整備をしていく上での優先課題（複数回答）



今後、道路整備をしていく上で優先的に対策すべき課題は何か聞いたところ、「災害に強い道路整備（高速道路の整備、幹線道路の整備、橋の補強など）」（56.7%）と「渋滞対策（バイパスの整備・開かずの踏切対策・交差点の改良など）」（55.9%）が５割台半ばで高く、以下、「交通安全環境の整備（交通事故対策、通学路の歩道設置など）」（47.4%）、「バリアフリー対策（歩道の段差の解消など）」（38.5%）が続く。（図表 8－5）

#### 【地域別】

地域別にみると、「災害に強い道路整備」は“千葉地域”（65.5%）が６割台半ばで高くなっている。

「渋滞対策」は“葛南地域”（67.2%）が約７割で高くなっている。

「バリアフリー対策」は“千葉地域”（44.4%）が４割台半ばで高くなっている。

「自転車利用の促進」は“葛南地域”（39.2%）、「東葛飾地域」（38.9%）が約４割で高くなっている。

「維持管理の充実」は“夷隅地域”（52.2%）が５割を超え、“長生地域”（43.3%）が４割を超え、“千葉地域”（33.0%）が３割を超えて高くなっている。（図表 8－6）

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「渋滞対策」は男性の20代（80.0%）が８割、男性の30代（78.0%）が約８割、男性の60～64歳（73.1%）が７割を超え、男性の40代（68.4%）、50代（69.4%）が約７割で高くなっている。

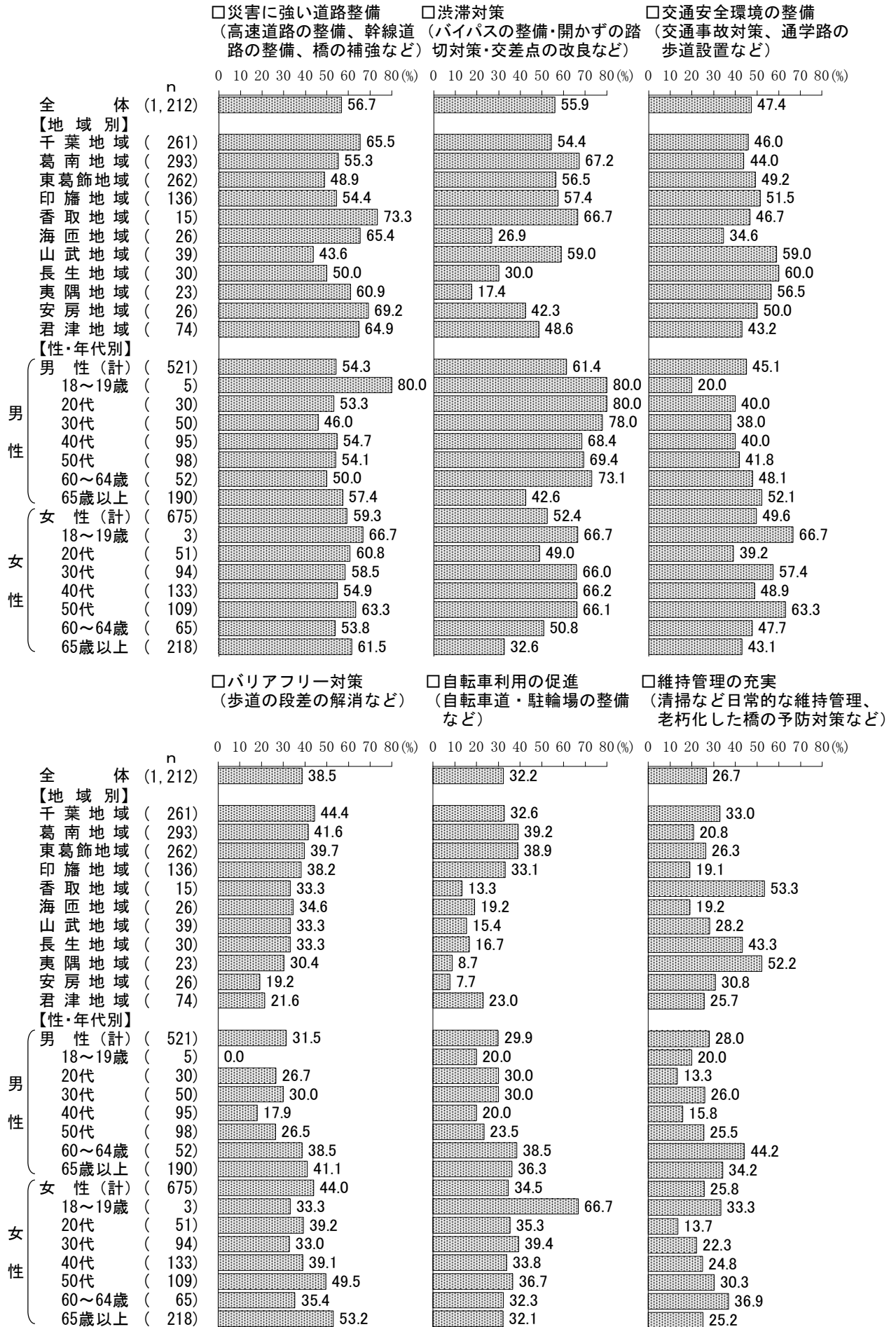
「交通安全環境の整備」は女性の50代（63.3%）が６割を超えて高くなっている。

「バリアフリー対策」は女性の65歳以上（53.2%）が５割を超え、女性の50代（49.5%）が約５割で高くなっている。

「維持管理の充実」は男性の60～64歳（44.2%）が４割台半ば、男性の65歳以上（34.2%）が３割台半ばで高くなっている。（図表 8－6）



＜図表8－6＞道路整備をしていく上での優先課題（複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）



このほかに、「道路整備」やここまでの質問（問30～問32）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、180人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「道路整備」の自由回答（抜粋）

○車の自動化に向けた道路整備を準備していくべきなのかと思います。人口の減少で車社会も変化していくのでしょから。（男性、50代、山武地域）

○面積の広い千葉県ではどれだけ速く移動できるかで県南の活用方法が変わってくると思います。なので、渋滞や高速移動に対しての対策をしていただければと思います。（男性、30代、東葛飾地域）

○かなり傷んでいる道がある。自転車と車の距離が近くこわい所もある。（男性、50代、安房地域）

○外環道松戸・市川間、とても便利になりました。（女性、50代、東葛飾地域）

○右折専用レーンと信号がない交差点が多く、渋滞の原因であり走行しづらいので、右折専用レーンと信号の確保が急務。京成電鉄・新京成線の踏切も交通渋滞の原因であり、早期の高架化または地下化が必要。（男性、50代、葛南地域）

○道路の路面標示が消えている所がたくさんあります。（女性、65歳以上、長生地域）

○歩道と車道の段差を解消するプレートを路肩に置いている家があるが、自転車に乗っているとプレートを避けて車とぶつかりそうになったり、つまずきそうになったり危ないので、場所によっては禁止にしてほしい。（女性、40代、印旛地域）

○外環道の市川・松戸間について、住所や所在地の名を書いた標識が少なく、どこを走っているのかわかりにくい。特に白地に黒で書いた標識は、歩行者にはよく見えても、走っている車からは見落としがちなので、大きな看板、大きな文字で標示してほしい。どこで曲がればよいかわかりにくい。これはほかの人からもよく聞きました。（女性、60～64歳、葛南地域）

○今住んでいる地域は、車を運転している立場から見て自転車利用者が多い上、道幅が狭く路面も凸凹しているので、通行人が道路に飛び出してくる事が多く危険を感じます。道幅が狭く、見通しの悪い道路も多いです。渋滞緩和、歩道の整備、ミラーの設置を希望します。（女性、30代、葛南地域）

## 9 森林の働きや利用について

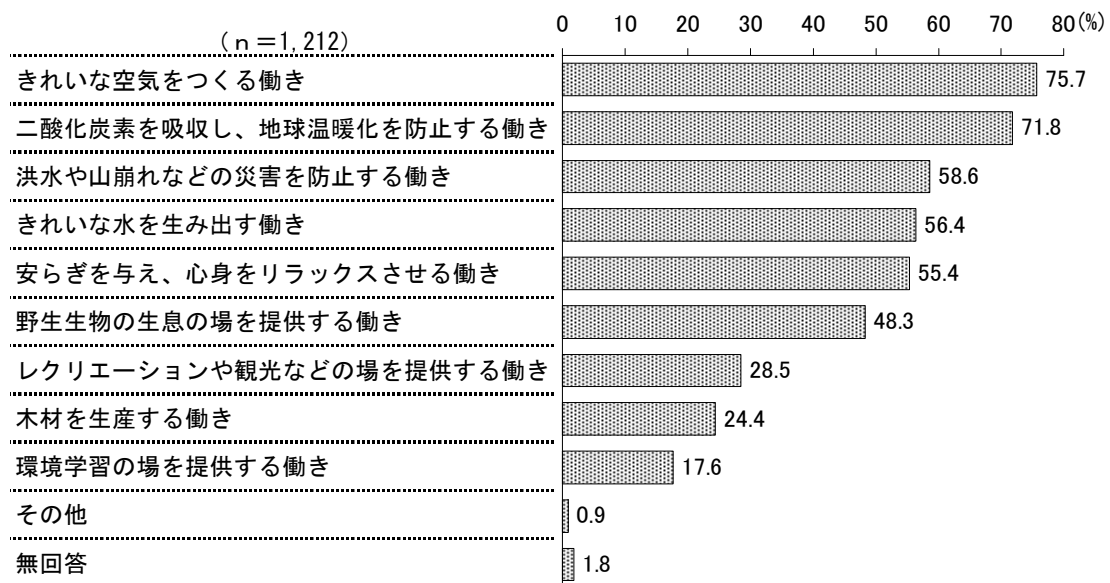
### （１）森林に期待する働き

◇「きれいな空気をつくる働き」が７割台半ば

今後、県が森林行政の施策を展開していくに当たり、県民の皆さまの意向に合った効果的な取組が行えるよう、森林に期待する働きなどについて、県民の皆さまのご意見をお聞きいたします。

問33 あなたは、森林に対して主にどのような働きを期待しますか。（○はいくつでも）

＜図表 9－１＞森林に期待する働き（複数回答）



森林に対して主にどのような働きを期待するか聞いたところ、「きれいな空気をつくる働き」（75.7％）が７割台半ばで最も高く、以下、「二酸化炭素を吸収し、地球温暖化を防止する働き」（71.8％）、「洪水や山崩れなどの災害を防止する働き」（58.6％）、「きれいな水を生み出す働き」（56.4％）、「安らぎを与え、心身をリラックスさせる働き」（55.4％）が続く。（図表 9－１）

#### 【地域別】

地域別にみると、「野生生物の生息の場を提供する働き」は“印旛地域”（59.6％）が約６割で高くなっている。（図表 9－２）

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「洪水や山崩れなどの災害を防止する働き」は女性の60～64歳（72.3％）が７割を超え、女性の50代（68.8％）が約７割で高くなっている。

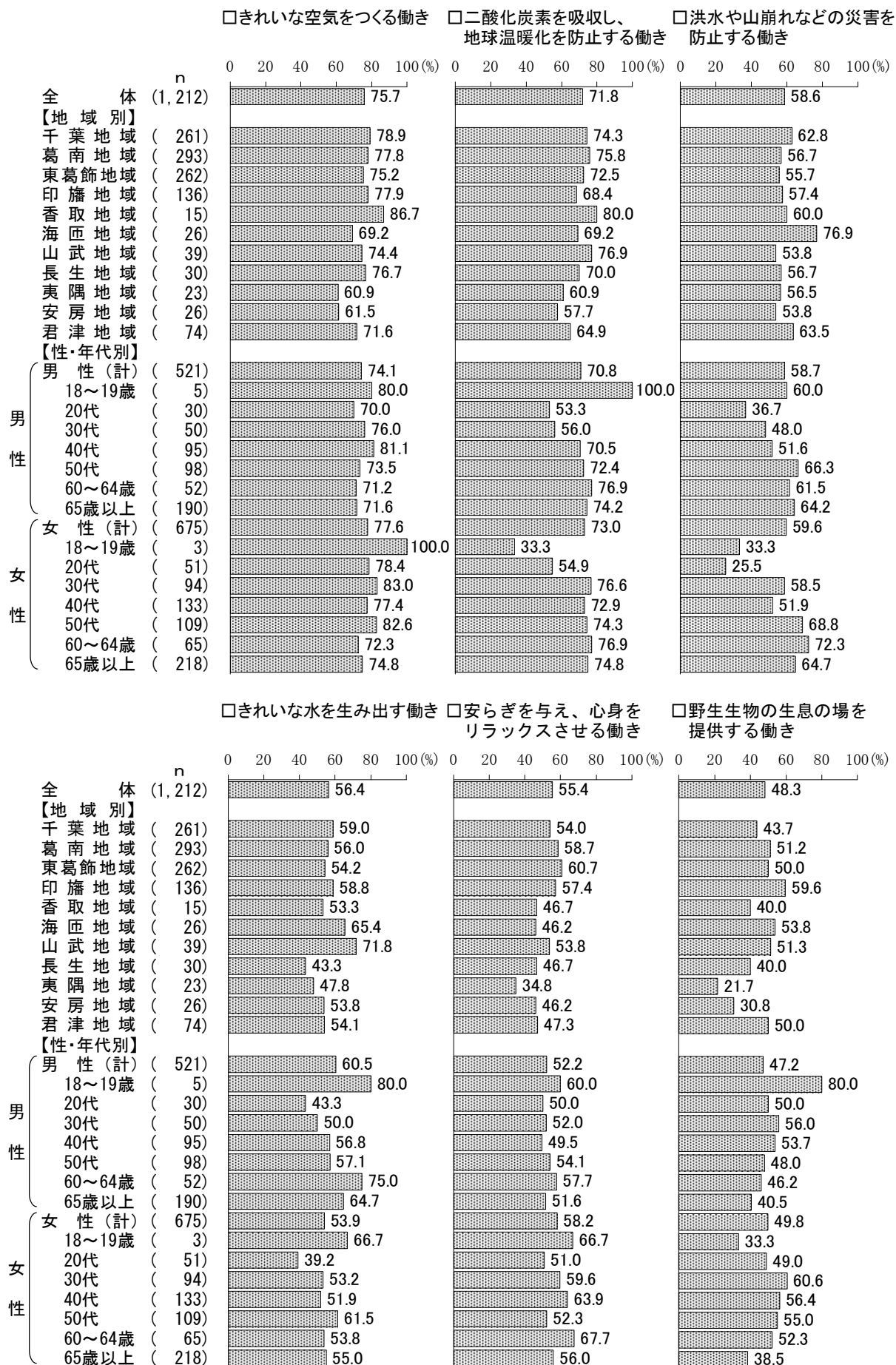
「きれいな水を生み出す働き」は男性の60～64歳（75.0％）が７割台半ば、男性の65歳以上（64.7％）が６割台半ばで高くなっている。

「安らぎを与え、心身をリラックスさせる働き」は女性の60～64歳（67.7％）が約７割、女性の40代（63.9％）が６割台半ばで高くなっている。

「野生生物の生息の場を提供する働き」は女性の30代（60.6％）が６割で高くなっている。

（図表 9－２）

＜図表9－2＞森林に期待する働き（複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）

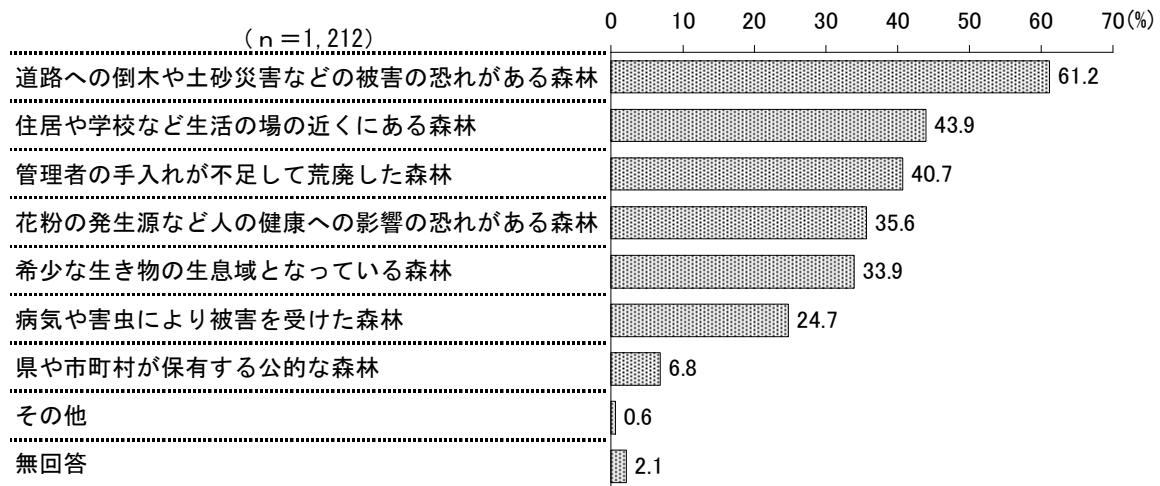


## （２）優先して整備して欲しい森林

◇「道路への倒木や土砂災害などの被害の恐れがある森林」が６割を超える

問34 あなたは、どのような森林を優先して整備して欲しいと思いますか。（○は３つまで）

<図表 9－3> 優先して整備して欲しい森林（３つまでの複数回答）



どのような森林を優先して整備して欲しいか聞いたところ、「道路への倒木や土砂災害などの被害の恐れがある森林」（61.2％）が６割を超えて最も高く、以下、「住居や学校など生活の場の近くにある森林」（43.9％）、「管理者の手入れが不足して荒廃した森林」（40.7％）、「花粉の発生源など人の健康への影響の恐れがある森林」（35.6％）が続く。（図表 9－3）

### 【地域別】

地域別にみると、「道路への倒木や土砂災害などの被害の恐れがある森林」は“夷隅地域”（82.6％）が８割を超え、“山武地域”（76.9％）が７割台半ばで高くなっている。

「管理者の手入れが不足して荒廃した森林」は“長生地域”（66.7％）が６割台半ば、“山武地域”（61.5％）が６割を超えて高くなっている。

「希少な生き物の生息域となっている森林」は“東葛飾地域”（40.5％）が４割で高くなっている。（図表 9－4）

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「道路への倒木や土砂災害などの被害の恐れがある森林」は女性の60～64歳（75.4％）が７割台半ばで高くなっている。

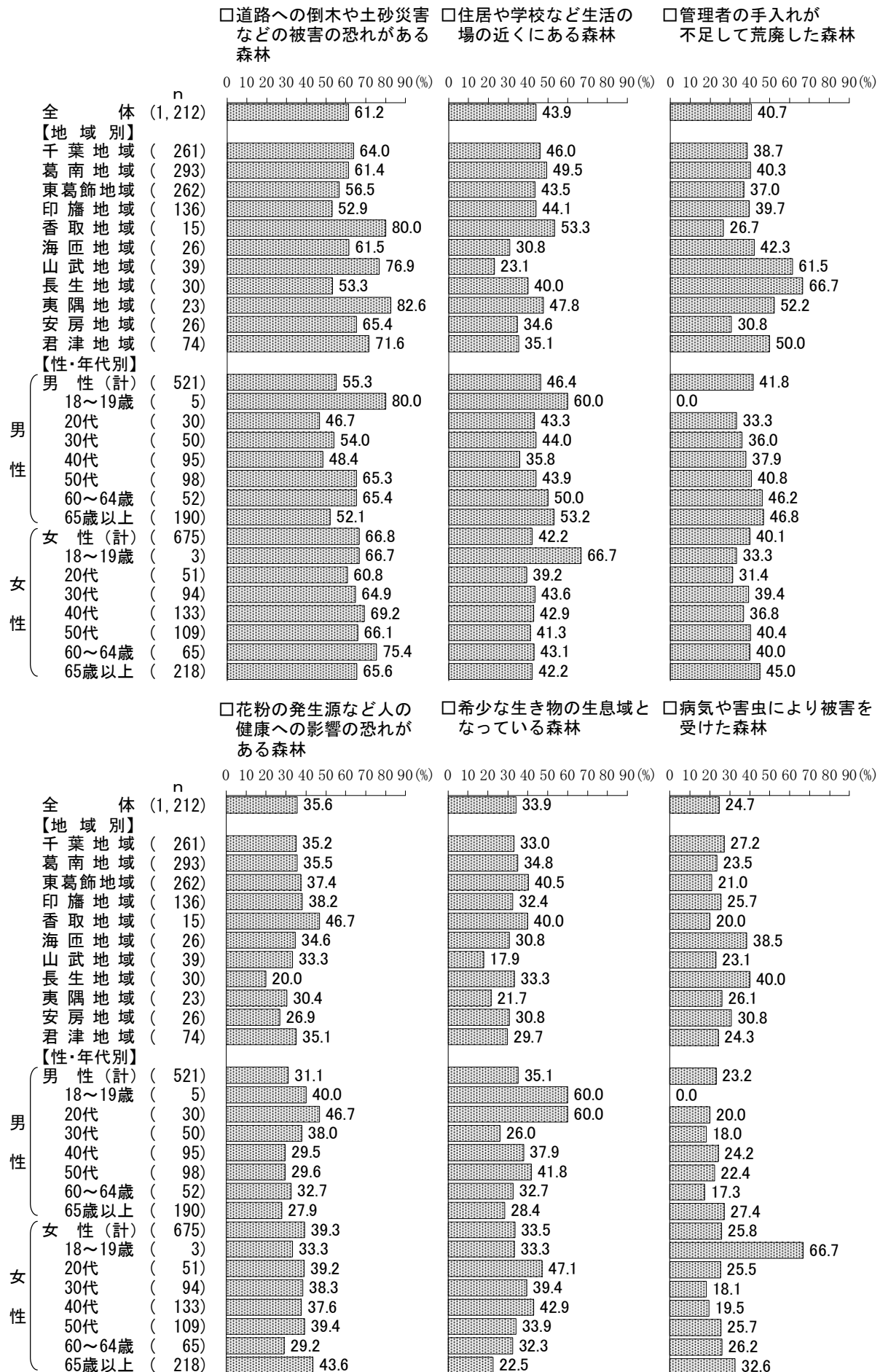
「住居や学校など生活の場の近くにある森林」は男性の65歳以上（53.2％）が５割を超えて高くなっている。

「花粉の発生源など人の健康への影響の恐れがある森林」は女性の65歳以上（43.6％）が４割台半ばで高くなっている。

「希少な生き物の生息域となっている森林」は男性の20代（60.0％）が６割、女性の20代（47.1％）が約５割、女性の40代（42.9％）が４割を超えて高くなっている。

「病気や害虫により被害を受けた森林」は女性の65歳以上（32.6％）が３割を超えて高くなっている。（図表 9－4）

＜図表9－4＞優先して整備して欲しい森林（3つまでの複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）

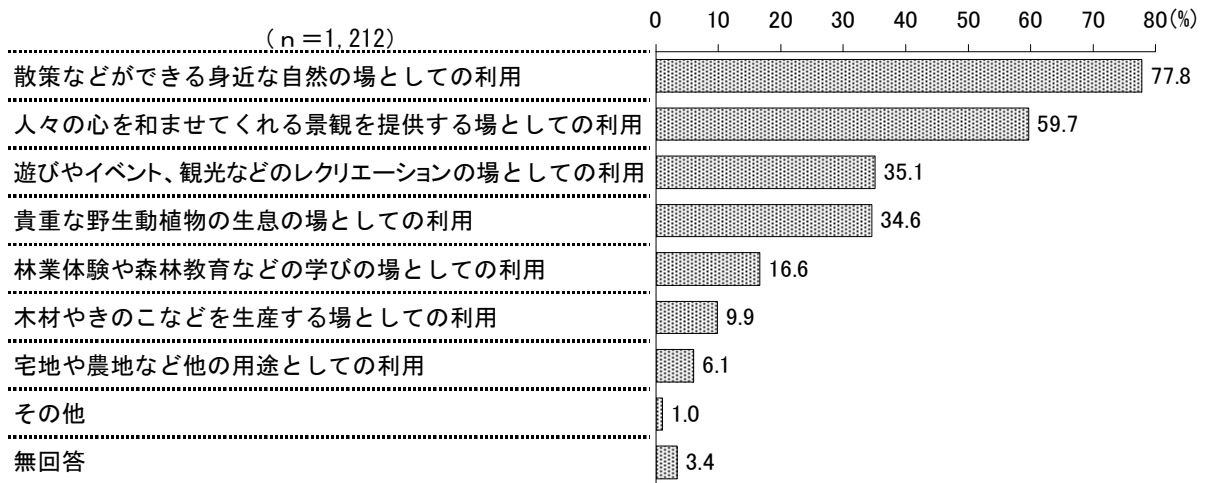


### （３）身近な森林について期待する利用方法

◇「散策などができる身近な自然の場としての利用」が約８割

問35 あなたは、住居や学校など生活の場の近くにある身近な森林について、どのように利用されることを期待しますか。（○はいくつでも）

<図表 9－5> 身近な森林について期待する利用方法（複数回答）



生活の場の近くにある身近な森林について、どのように利用されることを期待するか聞いたところ、「散策などができる身近な自然の場としての利用」（77.8%）が約８割で最も高く、以下、「人々の心を和ませてくれる景観を提供する場としての利用」（59.7%）、「遊びやイベント、観光などのレクリエーションの場としての利用」（35.1%）、「貴重な野生動植物の生息の場としての利用」（34.6%）が続く。（図表 9－5）

#### 【地域別】

地域別にみると、「散策などができる身近な自然の場としての利用」は“葛南地域”（82.9%）が８割を超えて高くなっている。

「遊びやイベント、観光などのレクリエーションの場としての利用」は“香取地域”（60.0%）が６割で高くなっている。

「木材やきのこなどを生産する場としての利用」は“海匝地域”（23.1%）が２割を超えて高くなっている。（図表 9－6）

#### 【性・年代別】

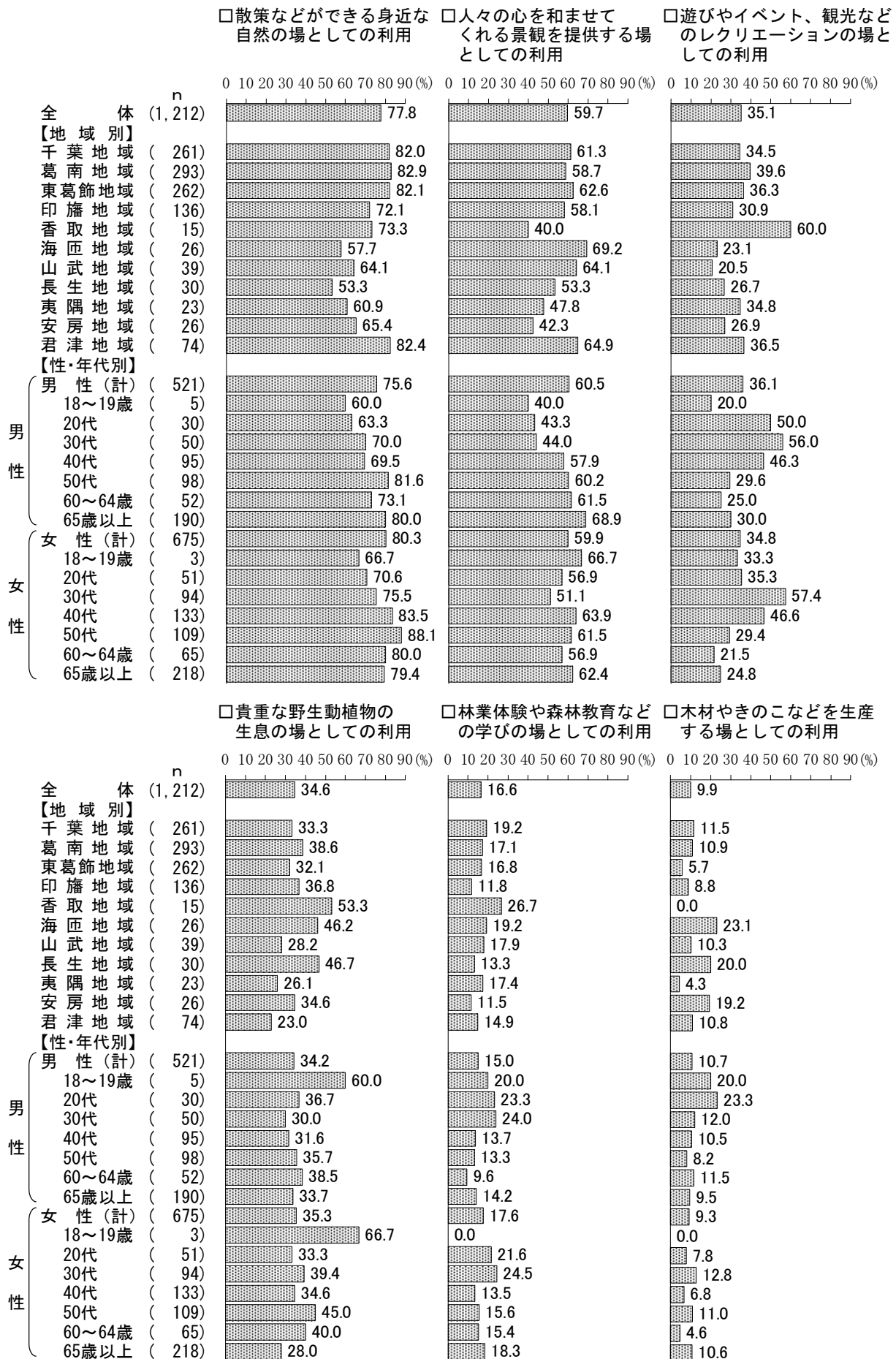
性・年代別にみると、「散策などができる身近な自然の場としての利用」は女性の50代（88.1%）が約９割で高くなっている。

「人々の心を和ませてくれる景観を提供する場としての利用」は男性の65歳以上（68.9%）が約７割で高くなっている。

「遊びやイベント、観光などのレクリエーションの場としての利用」は女性の30代（57.4%）が約６割、男性の30代（56.0%）が５割台半ば、男性の40代（46.3%）と女性の40代（46.6%）が４割台半ばで高くなっている。

「貴重な野生動植物の生息の場としての利用」は女性の50代（45.0%）が４割台半ばで高くなっている。（図表 9－6）

＜図表9－6＞身近な森林について期待する利用方法（複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）



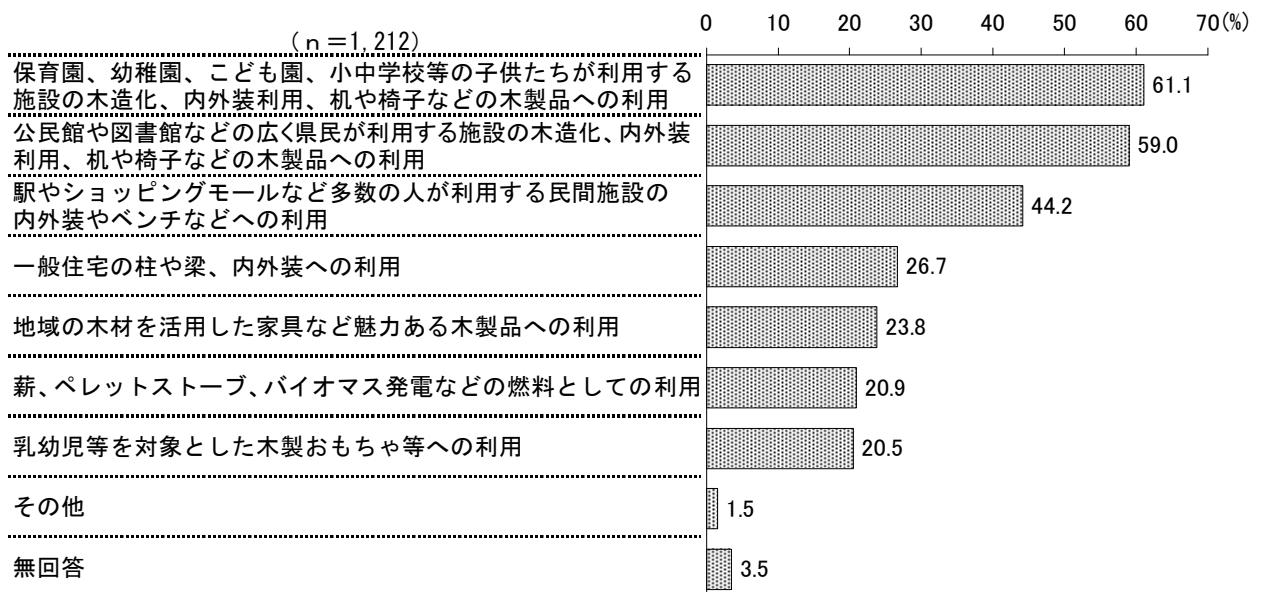


#### （４）県内で生産される木材に期待する利用方法

◇「保育園、幼稚園、こども園、小中学校等の子供たちが利用する施設の木造化、内外装利用、机や椅子などの木製品への利用」が６割を超える

問36 あなたは、森林整備などにより県内で生産される木材について、どのように利用されることを期待しますか。（○はいくつでも）

＜図表９－７＞県内で生産される木材に期待する利用方法（複数回答）



県内で生産される木材について、どのように利用されることを期待するか聞いたところ、「保育園、幼稚園、こども園、小中学校等の子供たちが利用する施設の木造化、内外装利用、机や椅子などの木製品への利用」（61.1%）が６割を超えて最も高く、以下、「公民館や図書館などの広く県民が利用する施設の木造化、内外装利用、机や椅子などの木製品への利用」（59.0%）、「駅やショッピングモールなど多数の人が利用する民間施設の内外装やベンチなどへの利用」（44.2%）、「一般住宅の柱や梁、内外装への利用」（26.7%）が続く。（図表９－７）

##### 【地域別】

地域別にみると、「一般住宅の柱や梁、内外装への利用」は“海匠地域”（46.2%）が４割台半ば、「君津地域」（37.8%）が約４割で高くなっている。（図表９－８）

##### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「保育園、幼稚園、こども園、小中学校等の子供たちが利用する施設の木造化、内外装利用、机や椅子などの木製品への利用」は女性の30代（76.6%）が７割台半ば、女性の50代（70.6%）が７割で高くなっている。

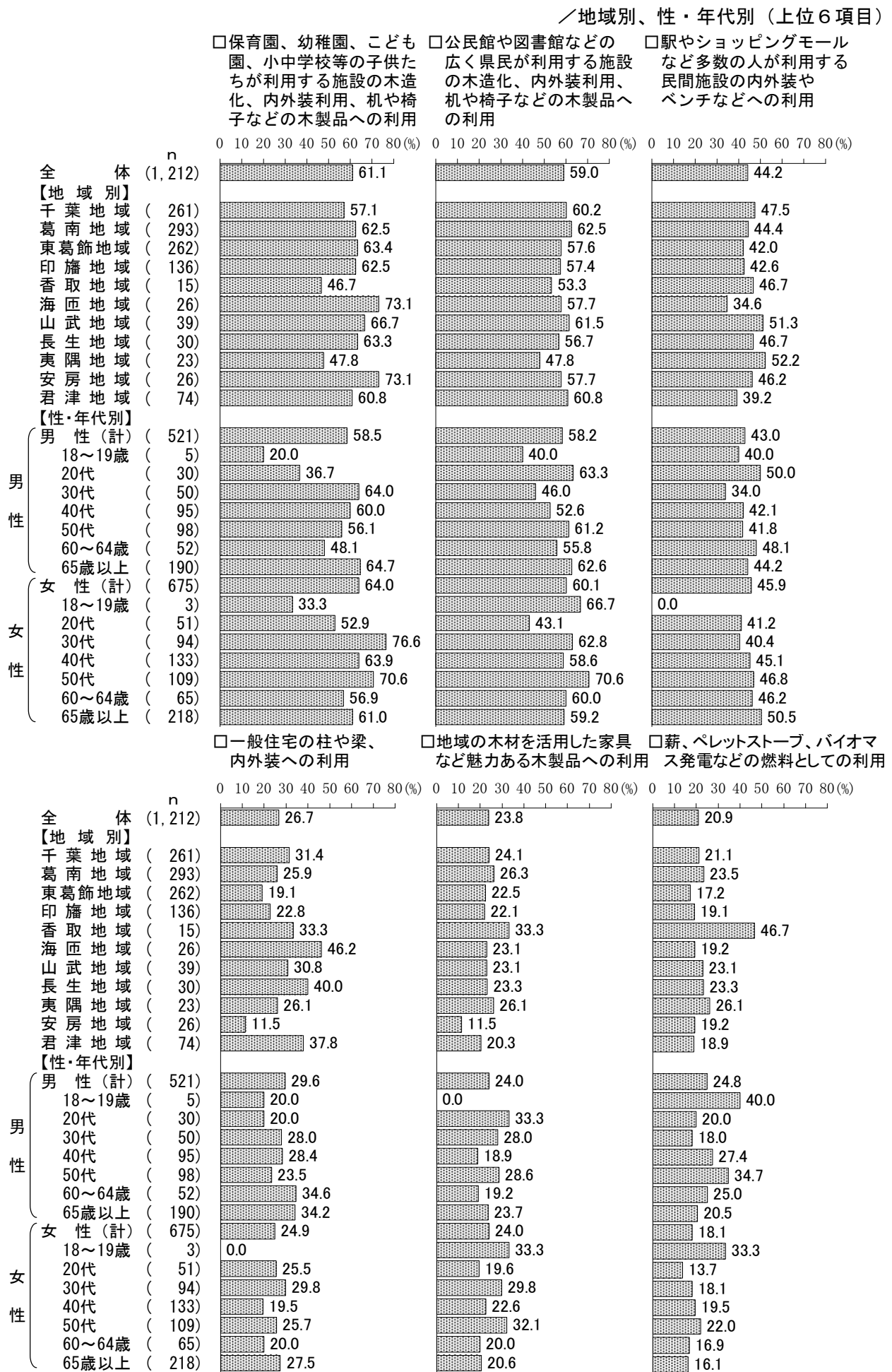
「公民館や図書館などの広く県民が利用する施設の木造化、内外装利用、机や椅子などの木製品への利用」は女性の50代（70.6%）が７割で高くなっている。

「一般住宅の柱や梁、内外装への利用」は男性の65歳以上（34.2%）が３割台半ばで高くなっている。

「地域の木材を活用した家具など魅力ある木製品への利用」は女性の50代（32.1%）が３割を超えて高くなっている。

「薪、ペレットストーブ、バイオマス発電などの燃料としての利用」は男性の50代（34.7%）が３割台半ばで高くなっている。（図表９－８）

＜図表9－8＞県内で生産される木材に期待する利用方法（複数回答）

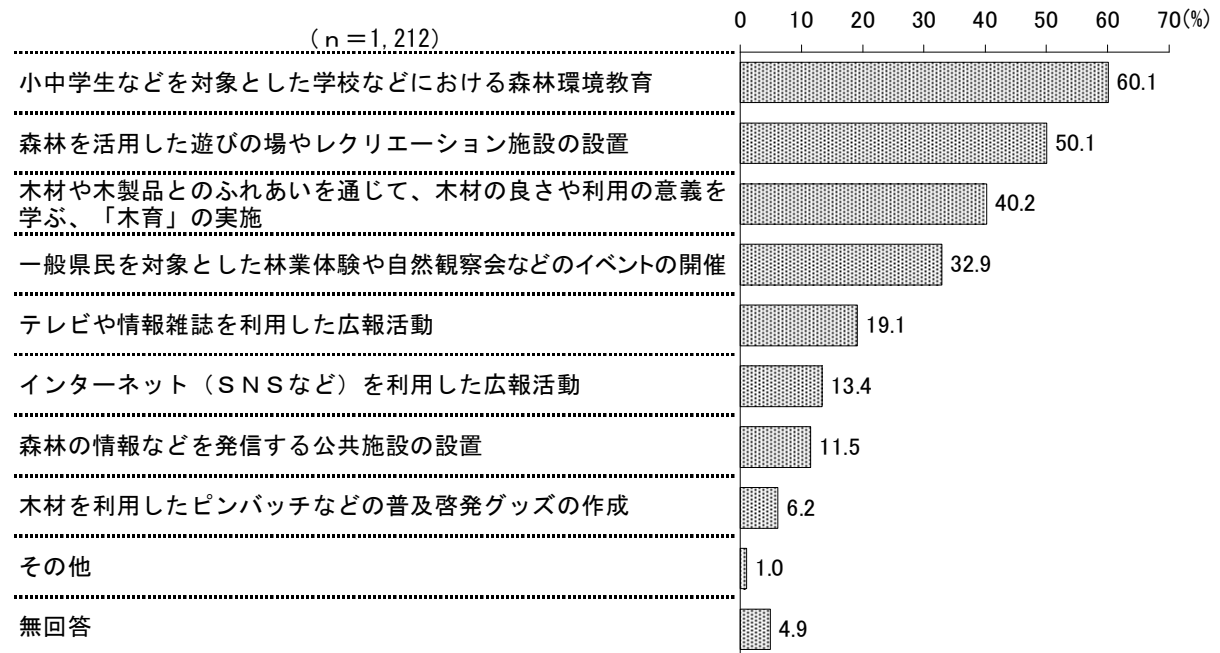


## （５）森林整備等を促進する普及啓発の効果的な取組

◇「小中学生などを対象とした学校などにおける森林環境教育」が６割

問37 あなたは、森林整備や木材利用などを促進する普及啓発について、どのような取組が効果的だと思いますか。（○はいくつでも）

＜図表 9－9＞森林整備等を促進する普及啓発の効果的な取組（複数回答）



森林整備や木材利用などを促進する普及啓発について、どのような取組が効果的か聞いたところ、「小中学生などを対象とした学校などにおける森林環境教育」（60.1%）が6割で最も高く、以下、「森林を活用した遊びの場やレクリエーション施設の設置」（50.1%）、「木材や木製品とのふれあいを通じて、木材の良さや利用の意義を学ぶ、『木育』の実施」（40.2%）、「一般県民を対象とした林業体験や自然観察会などのイベントの開催」（32.9%）が続く。（図表 9－9）

### 【地域別】

地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。（図表 9－10）

### 【性・年代別】

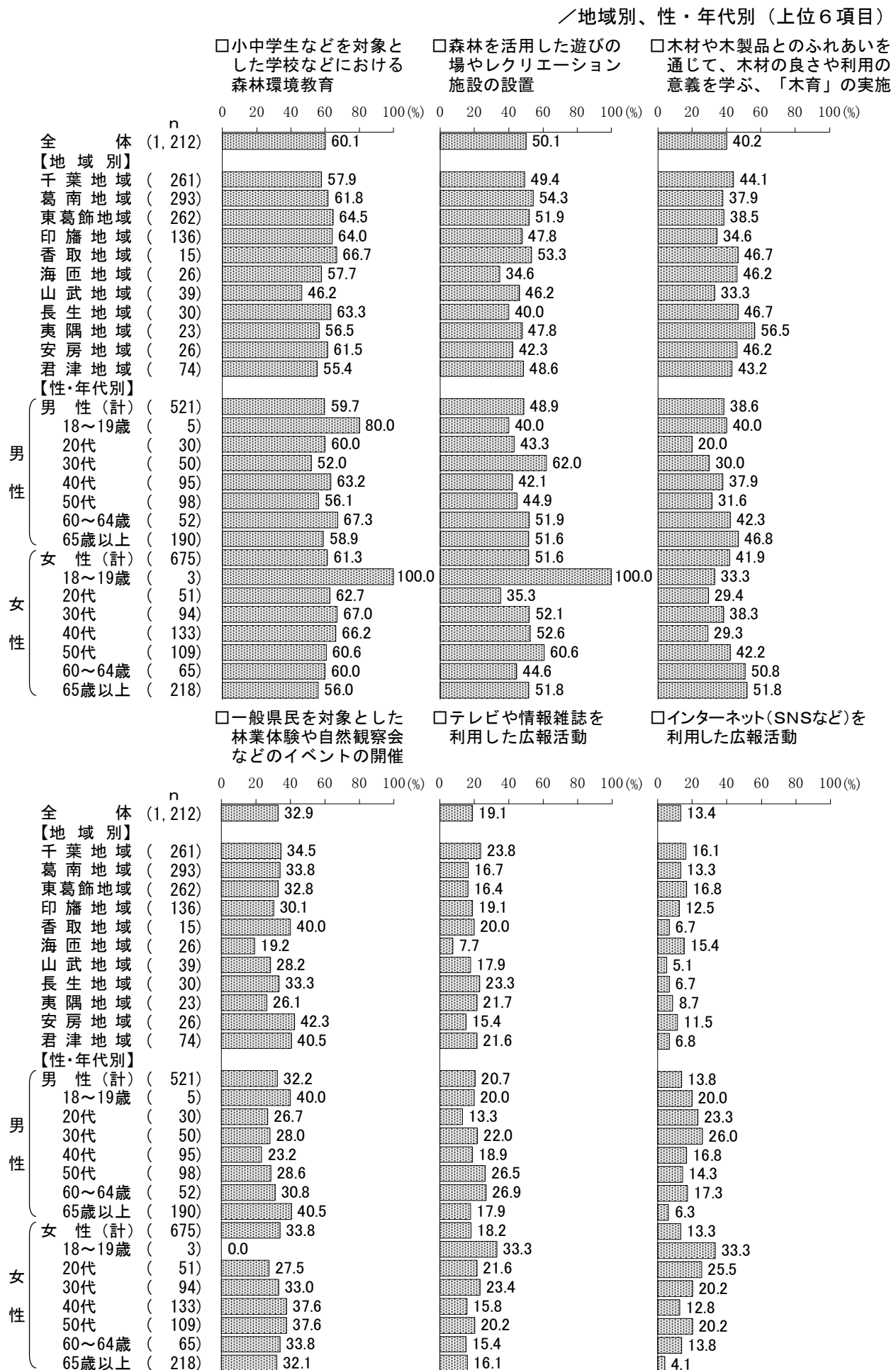
性・年代別にみると、「森林を活用した遊びの場やレクリエーション施設の設置」は女性の50代（60.6%）が6割で高くなっている。

「木材や木製品とのふれあいを通じて、木材の良さや利用の意義を学ぶ、『木育』の実施」は女性の65歳以上（51.8%）が5割を超えて高くなっている。

「一般県民を対象とした林業体験や自然観察会などのイベントの開催」は男性の65歳以上（40.5%）が4割で高くなっている。

「インターネット（SNSなど）を利用した広報活動」は男性の30代（26.0%）と女性の20代（25.5%）が2割台半ば、女性の50代（20.2%）が2割で高くなっている。（図表 9－10）

＜図表9－10＞森林整備等を促進する普及啓発の効果的な取組（複数回答）



このほかに、「森林の働きや利用」やここまでの質問（問33～問37）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、60人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「森林の働きや利用」の自由回答（抜粋）

- 森林は大事なので出来るかぎり自然のままに、しかし人間に災害のある時はしっかりと整備して、生きもの達と共存していきたい。（女性、30代、千葉地域）
- 開発で生き物の生息地域が減っているところもあるようなので、共存できることが大切だと思う。（女性、50代、山武地域）
- 森林の働きを考える時、地球温暖化は切り離せない問題かと思います。気候変動によって及ぼす災害を予防しなければなりません。（男性、50代、山武地域）
- 「木育」については子どもの発育、発達に影響があるとのことですので、木製のおもちゃの普及を望みます。県から、出産時のお祝いに千葉県材木で作ったおもちゃのプレゼントをあげる、というのはいかがでしょうか。（女性、50代、東葛飾地域）
- 森林は千葉県大切な資源だと思うので、増やす、育てる、活かすを実践してくれたら嬉しいです。（男性、30代、東葛飾地域）
- 木の良さは分かっているが、結局活用するにはコストがかかりすぎるので使用できない。もっと低料金になれば、もっと活用されると思う。（女性、50代、東葛飾地域）
- ボランティアを募集して森林整備をしたら良いと思います。また、ハイキングなどをできるようにしたら良いと思います。（女性、60～64歳、君津地域）
- 伝統工芸や木工品、若手作家等の育成支援やベンチャー起業支援。（女性、50代、葛南地域）
- 人口減少に伴い、管理者不在の森林や、荒廃した森林が増えていくのではないかとの懸念がありますが、その中でも森林の整備や有効利用を管理者、所有者と話し合いながら、自治体とともに進めていくことが必要かと思います。（女性、60～64歳、葛南地域）
- 休息できるスペースや、緑を感じられるように整備してもらいたい。（女性、40代、葛南地域）

## 10 有機農業について

### （１）有機農産物に対するイメージ

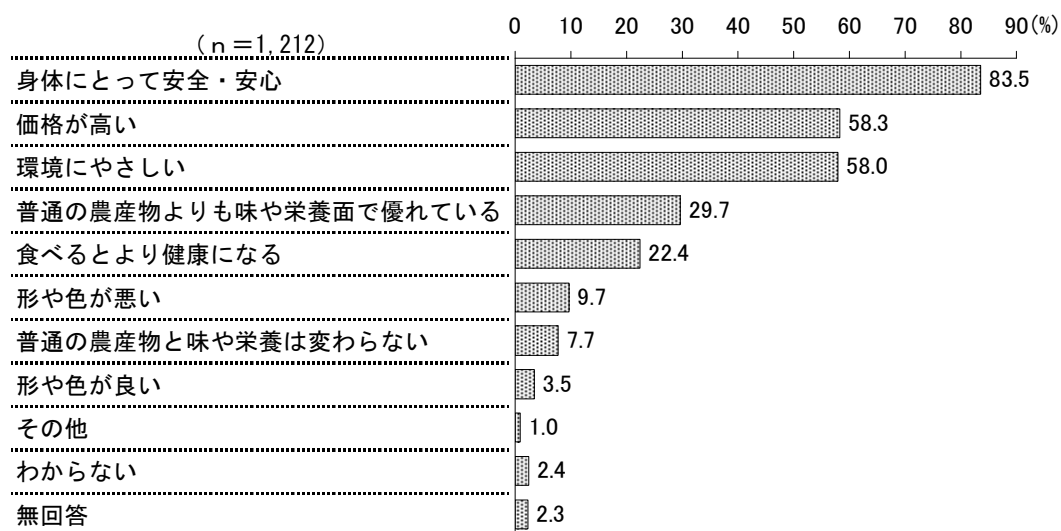
◇「身体にとって安全・安心」が８割台半ば

県では、将来にわたって農業を続けられるよう、環境への負担が少ない有機農業（※）を推進しています。今後の有機農業の推進方法などの参考とするため、有機農業により生産される農産物の、県民の皆さまの購入状況や意識をお聞きいたします。

（※）有機農業とは、化学的に合成された肥料及び農薬を使用しないこと、遺伝子組換え技術を利用しないことを基本として、環境への負担をできるだけ小さくした生産方法で行われる農業を指します。

問38 あなたは、有機農業により生産される農産物に対して、どのようなイメージを持っていますか。（○はいくつでも）

<図表10－１>有機農産物に対するイメージ（複数回答）



有機農産物に対するイメージを聞いたところ、「身体にとって安全・安心」（83.5%）が８割台半ばで最も高く、以下、「価格が高い」（58.3%）、「環境にやさしい」（58.0%）、「普通の農産物よりも味や栄養面で優れている」（29.7%）、「食べるとより健康になる」（22.4%）が続く。（図表10－１）

#### 【地域別】

地域別にみると、「価格が高い」は“千葉地域”（65.9%）が６割台半ばで高くなっている。

「食べるとより健康になる」は“長生地域”（40.0%）が４割、“君津地域”（32.4%）が３割を超えて高くなっている。（図表10－２）

#### 【性・年代別】

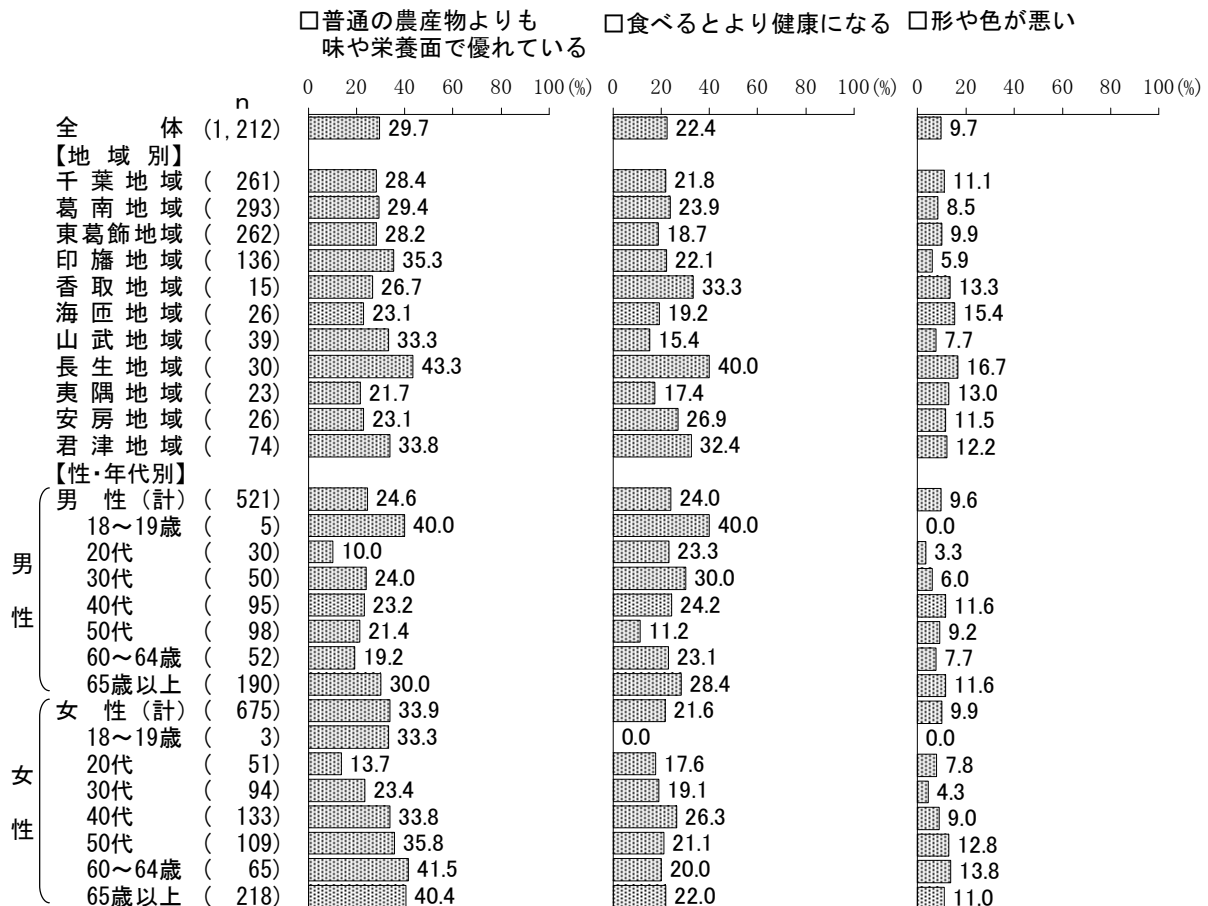
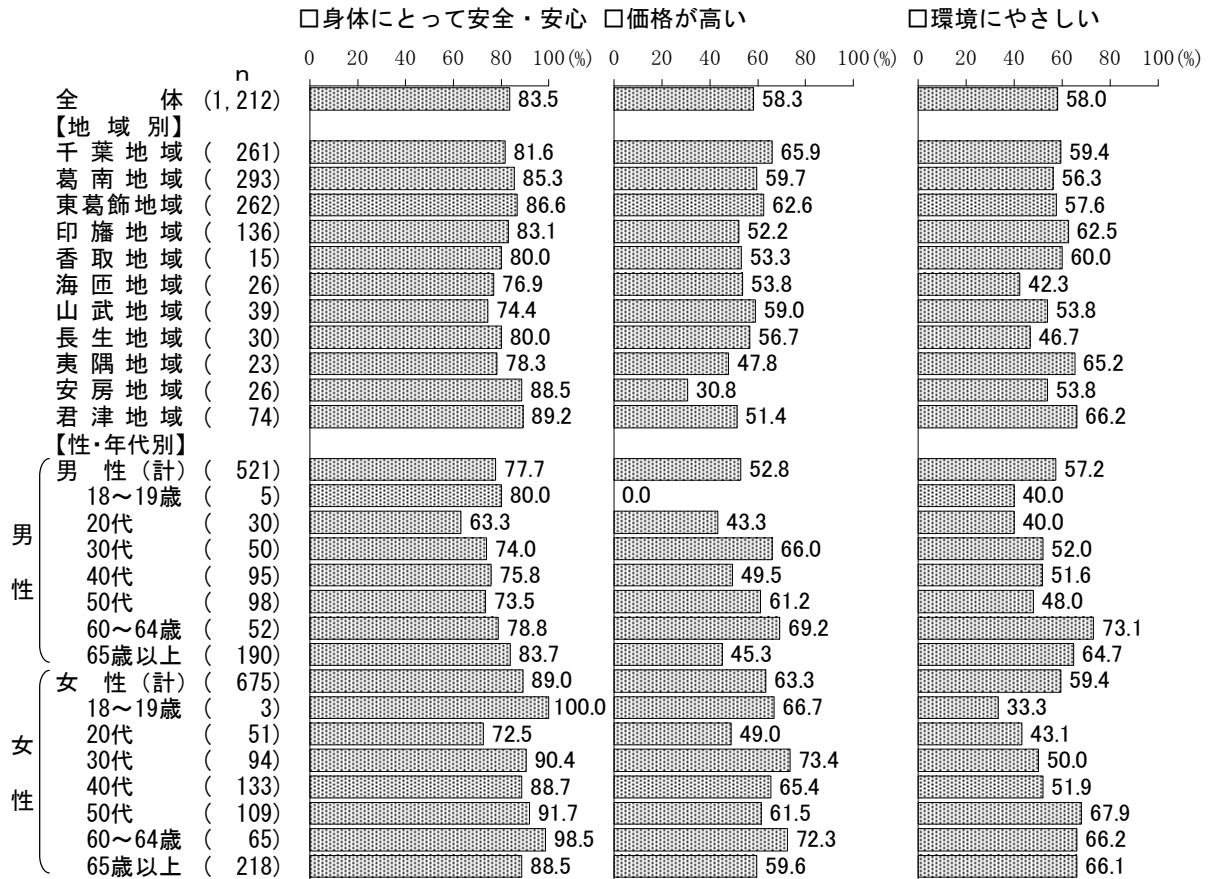
性・年代別にみると、「身体にとって安全・安心」は女性の60～64歳（98.5%）が約10割、女性の50代（91.7%）が９割を超え、女性の65歳以上（88.5%）が約９割で高くなっている。

「価格が高い」は女性の30代（73.4%）、60～64歳（72.3%）が７割を超えて高くなっている。

「環境にやさしい」は男性の60～64歳（73.1%）が７割を超え、女性の50代（67.9%）が約７割、女性の65歳以上（66.1%）が６割台半ばで高くなっている。

「普通の農産物よりも味や栄養面で優れている」は女性の60～64歳（41.5%）が４割を超え、女性の65歳以上（40.4%）が４割で高くなっている。（図表10－２）

＜図表10－2＞有機農産物に対するイメージ（複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）

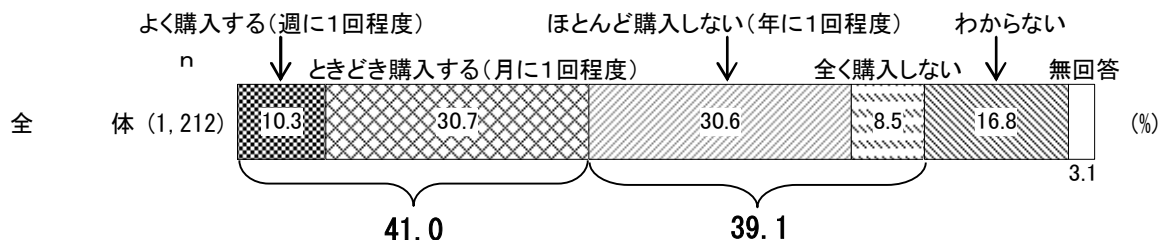


## （２）有機農産物購入頻度

◇『購入する（計）』が４割を超える

問39 あなたは、どのくらいの頻度で、有機農業により生産される農産物を購入していますか。  
（○は１つ）

＜図表10－３＞有機産物購入頻度



どのくらいの頻度で有機農産物を購入しているか聞いたところ、「よく購入する（週に１回程度）」（10.3%）と「ときどき購入する（月に１回程度）」（30.7%）を合わせた『購入する（計）』（41.0%）が４割を超えている。

一方、「ほとんど購入しない（年に１回程度）」（30.6%）と「全く購入しない」（8.5%）を合わせた『購入しない（計）』（39.1%）が約４割となっている。（図表10－３）

### 【地域別】

地域別にみると、『購入する（計）』は“印旛地域”（50.0%）が５割で高くなっている。

一方、『購入しない（計）』は“葛南地域”（45.1%）が４割台半ばで高くなっている。

（図表10－４）

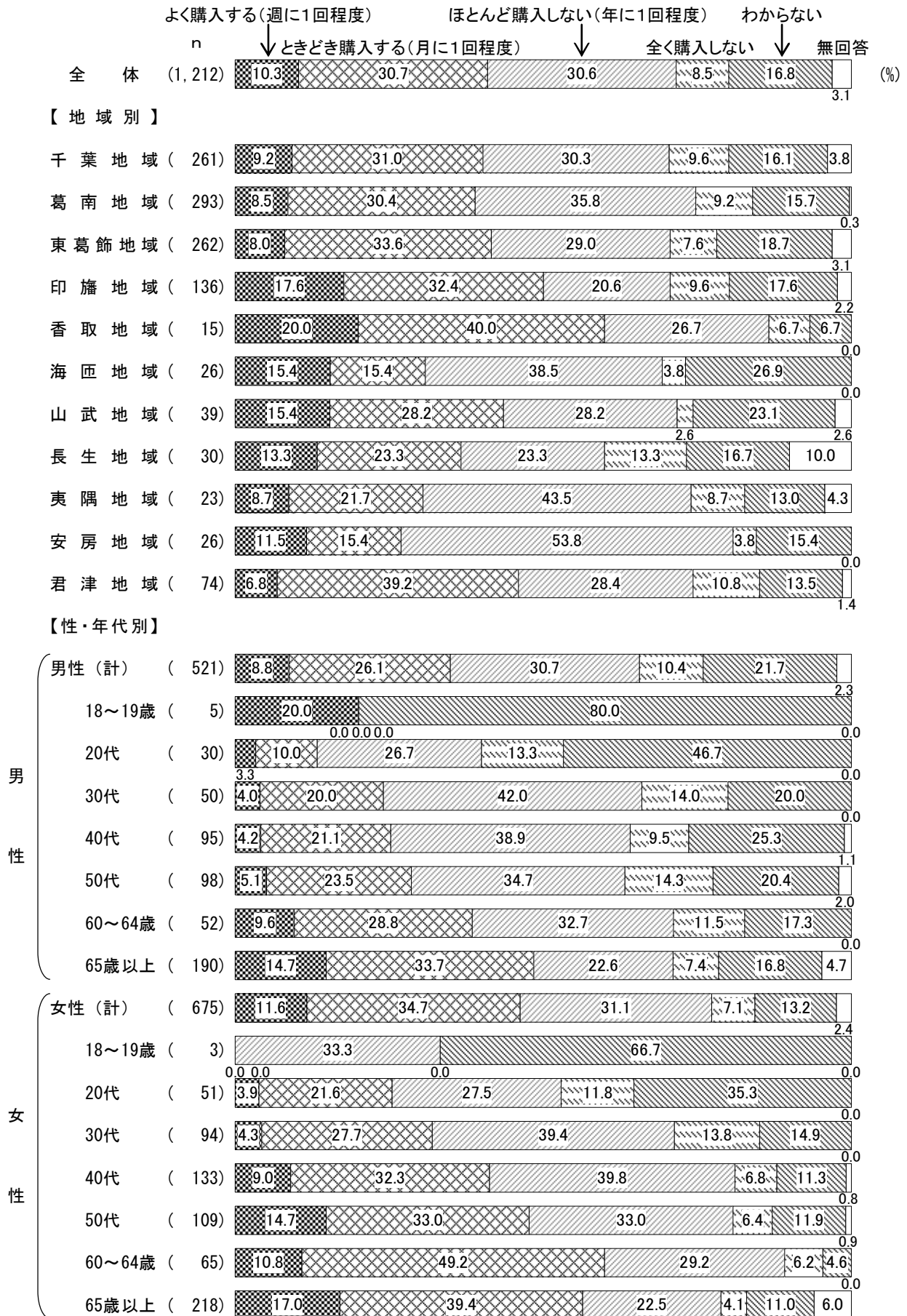
### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『購入する（計）』は女性の60～64歳（60.0%）が６割、女性の65歳以上（56.4%）が５割台半ば、男性の65歳以上（48.4%）が約５割で高くなっている。

一方、『購入しない（計）』は男性の30代（56.0%）が５割台半ば、女性の30代（53.2%）が５割を超え、男性の50代（49.0%）が約５割で高くなっている。（図表10－４）



&lt;図表10-4&gt;有機農産物購入頻度／地域別、性・年代別



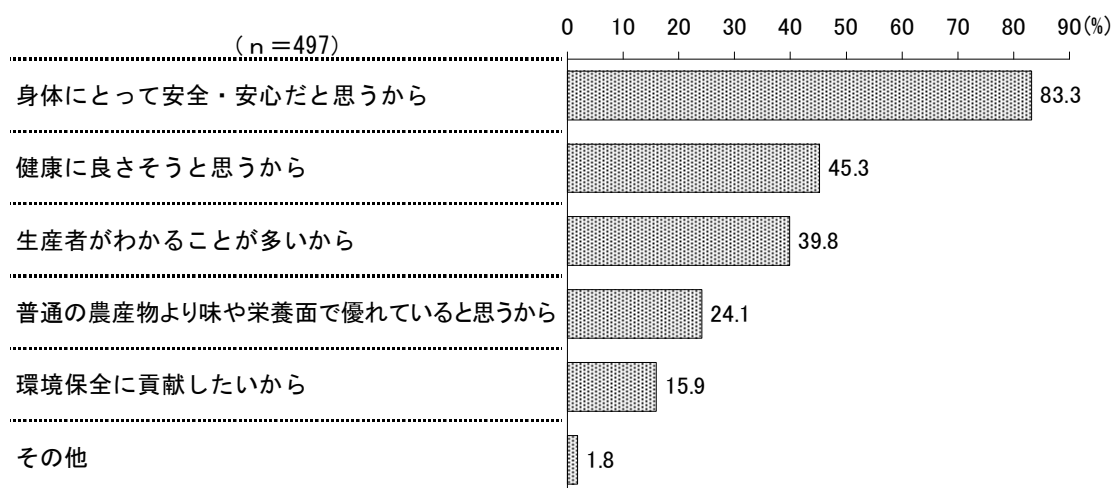
## （２－１）有機農産物購入理由

◇「身体にとって安全・安心だと思うから」が８割を超える

（問39で「よく購入する（週に１回程度）」、「ときどき購入する（月に１回程度）」とお答えの方に）  
問39－１ あなたが、有機農業により生産される農産物を購入する理由は何ですか。

（○はいくつでも）

＜図表10－５＞有機農産物購入理由（複数回答）



有機農産物を「よく購入する（週に１回程度）」または「ときどき購入する（月に１回程度）」と回答した497人を対象に、その理由を聞いたところ、「身体にとって安全・安心だと思うから」（83.3%）が８割を超えて最も高く、以下、「健康に良さそうと思うから」（45.3%）、「生産者がわかることが多いから」（39.8%）、「普通の農産物より味や栄養面で優れていると思うから」（24.1%）が続く。

（図表10－５）

### 【地域別】

地域別にみると、「普通の農産物より味や栄養面で優れていると思うから」は“印旛地域”（36.8%）が３割台半ばで高くなっている。（図表10－６）

### 【性・年代別】

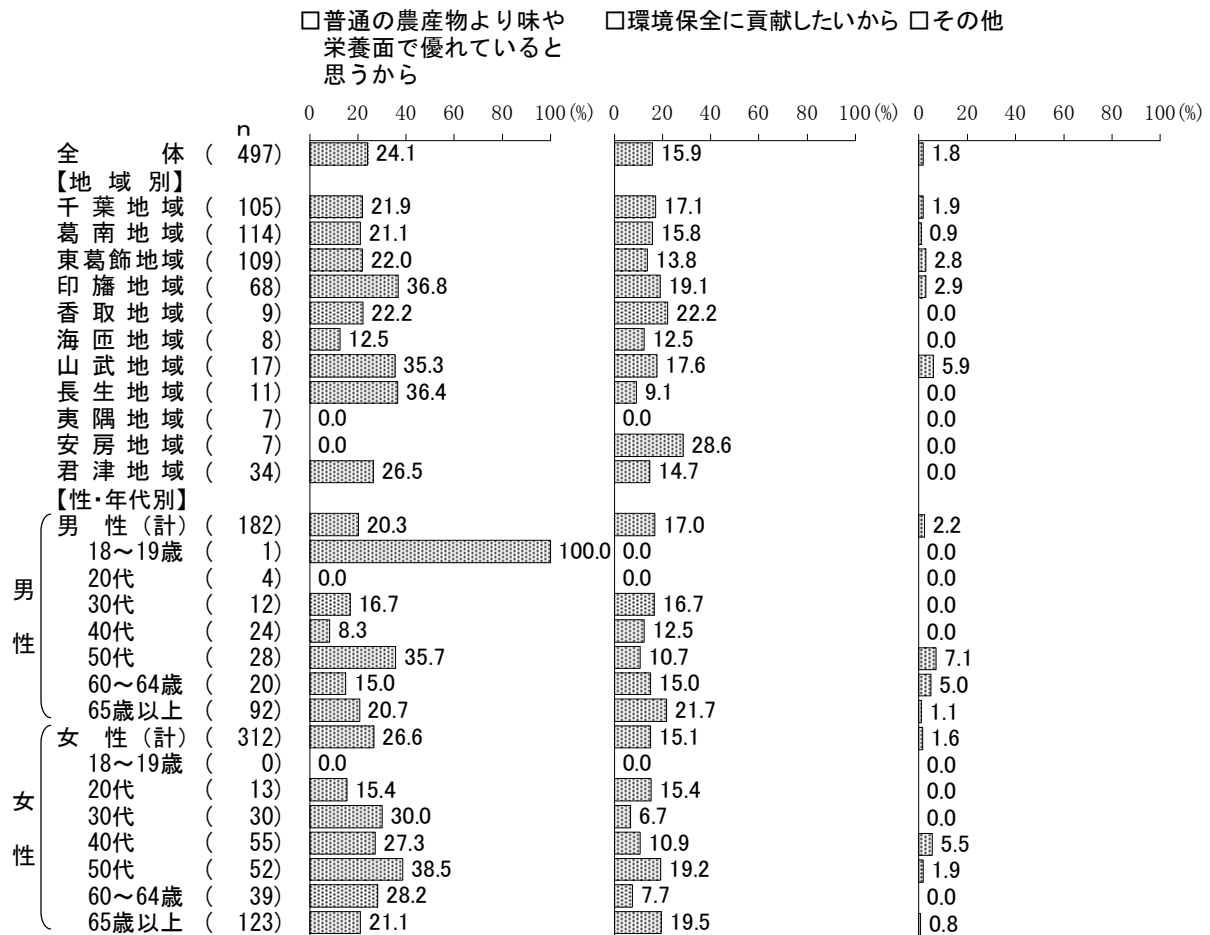
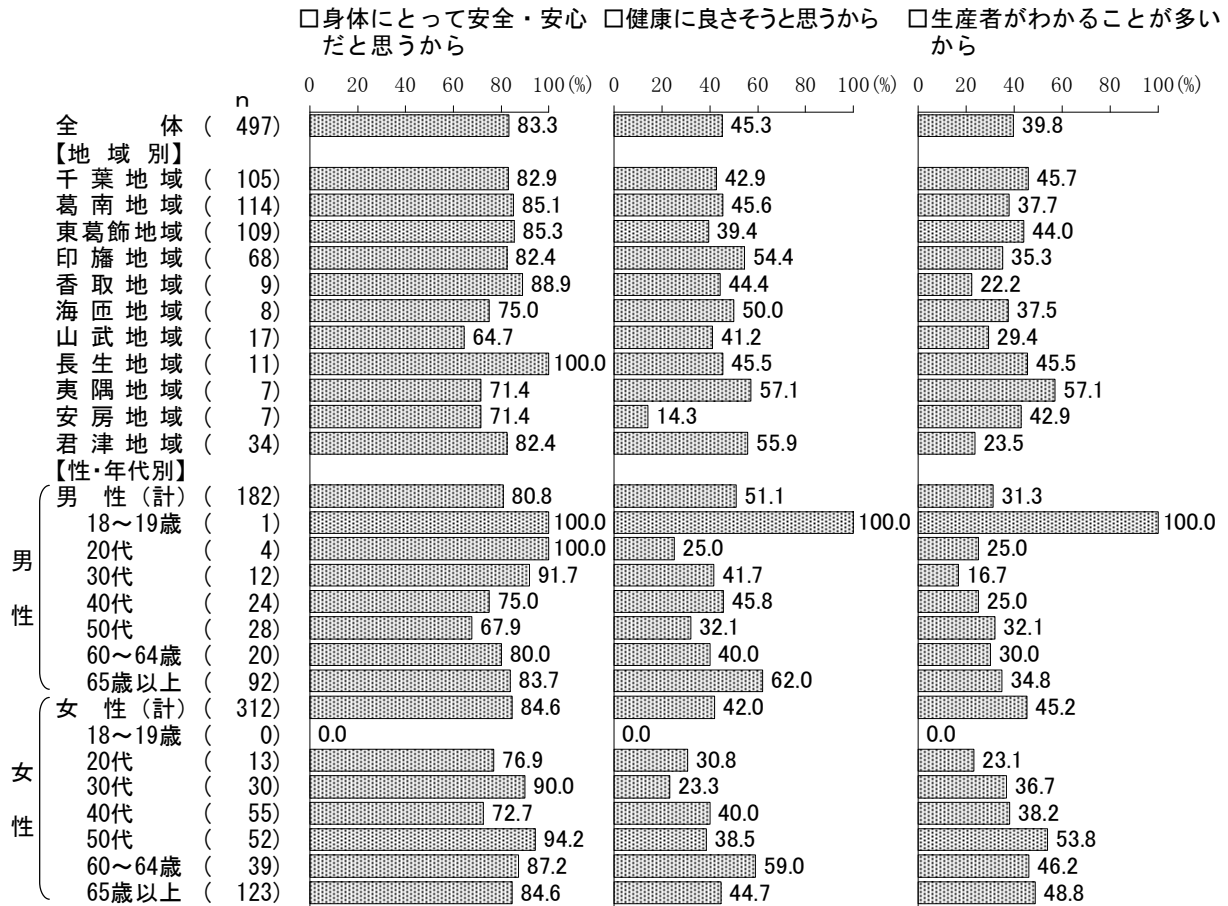
性・年代別にみると、「身体にとって安全・安心だと思うから」は女性の50代（94.2%）が９割台半ばで高くなっている。

「健康に良さそうと思うから」は男性の65歳以上（62.0%）が６割を超えて高くなっている。

「生産者がわかることが多いから」は女性の50代（53.8%）が５割台半ば、女性の65歳以上（48.8%）が約５割で高くなっている。

「普通の農産物より味や栄養面で優れていると思うから」は女性の50代（38.5%）が約４割で高くなっている。（図表10－６）

<図表10－6>有機農産物購入理由（複数回答）／地域別、性・年代別

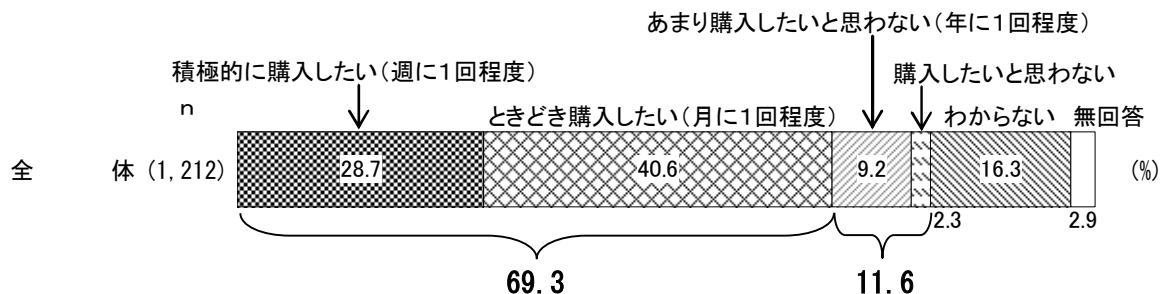


### （３）有機農産物の今後の購入意向

◇『購入したい（計）』が約７割

問40 あなたは、今後、有機農業により生産される農産物を購入したいと思いますか。（○は１つ）

＜図表10－７＞有機農産物の今後の購入意向



今後、有機農産物を購入したいか聞いたところ、「積極的に購入したい(週に1回程度)」(28.7%)と「ときどき購入したい(月に1回程度)」(40.6%)を合わせた『購入したい(計)』(69.3%)が約7割で高くなっている。

一方、「あまり購入したいと思わない(年に1回程度)」(9.2%)と「購入したいと思わない」(2.3%)を合わせた『購入したくない(計)』(11.6%)が1割を超えている。(図表10－7)

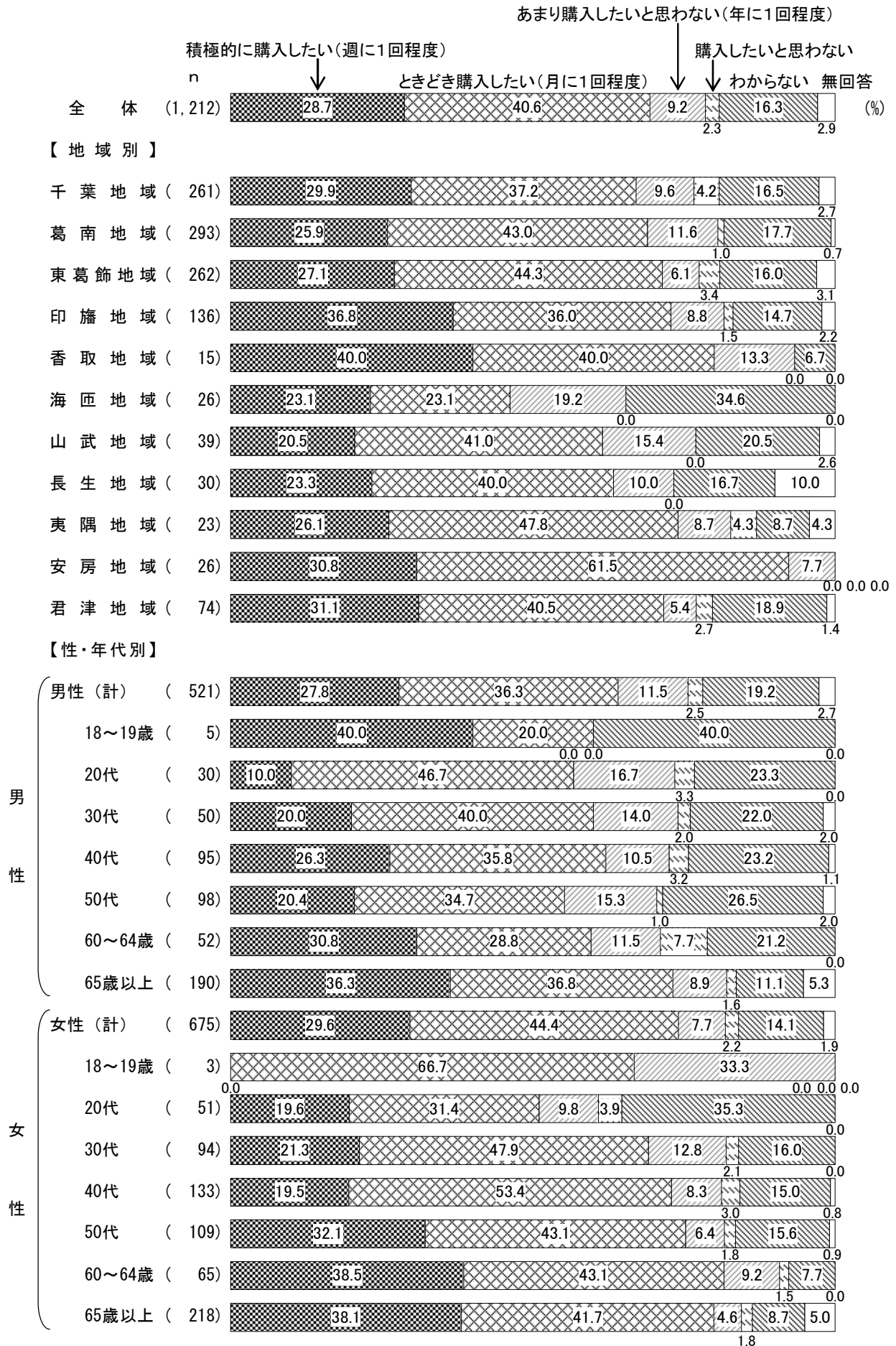
#### 【地域別】

地域別にみると、『購入したい(計)』は“安房地域”(92.3%)が9割を超えて高くなっている。  
(図表10－8)

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『購入したい(計)』は女性の60～64歳(81.5%)が8割を超え、女性の65歳以上(79.8%)が約8割で高くなっている。(図表10－8)

＜図表10－8＞有機農産物の今後の購入意向／地域別、性・年代別



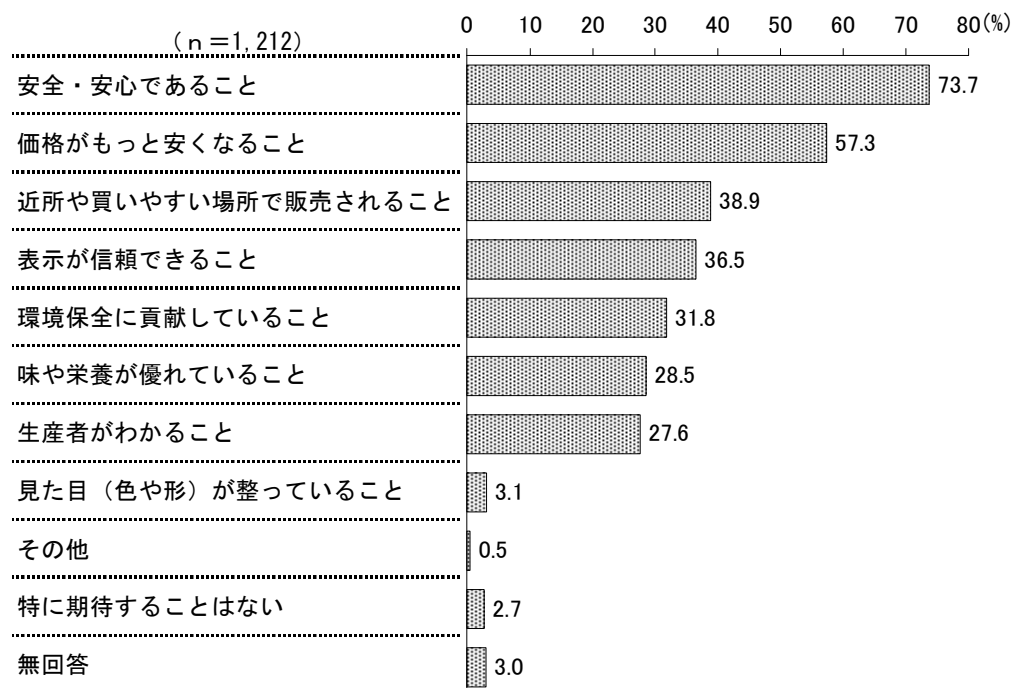
#### （４）有機農産物に今後期待すること

◇「安全・安心であること」が７割台半ば

問41 あなたは、今後、有機農業により生産される農産物について、何を期待しますか。

（○はいくつでも）

＜図表10－9＞有機農産物に今後期待すること（複数回答）



今後、有機農産物について何を期待するか聞いたところ、「安全・安心であること」（73.7%）が7割台半ばで最も高く、以下、「価格がもっと安くなること」（57.3%）、「近所や買いやすい場所で販売されること」（38.9%）、「表示が信頼できること」（36.5%）が続く。（図表10－9）

##### 【地域別】

地域別にみると、「味や栄養が優れていること」は“葛南地域”（33.8%）が3割台半ばで高くなっている。（図表10－10）

##### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「安全・安心であること」は女性の50代（83.5%）が8割台半ばで高くなっている。

「価格がもっと安くなること」は女性の30代（78.7%）が約8割で高くなっている。

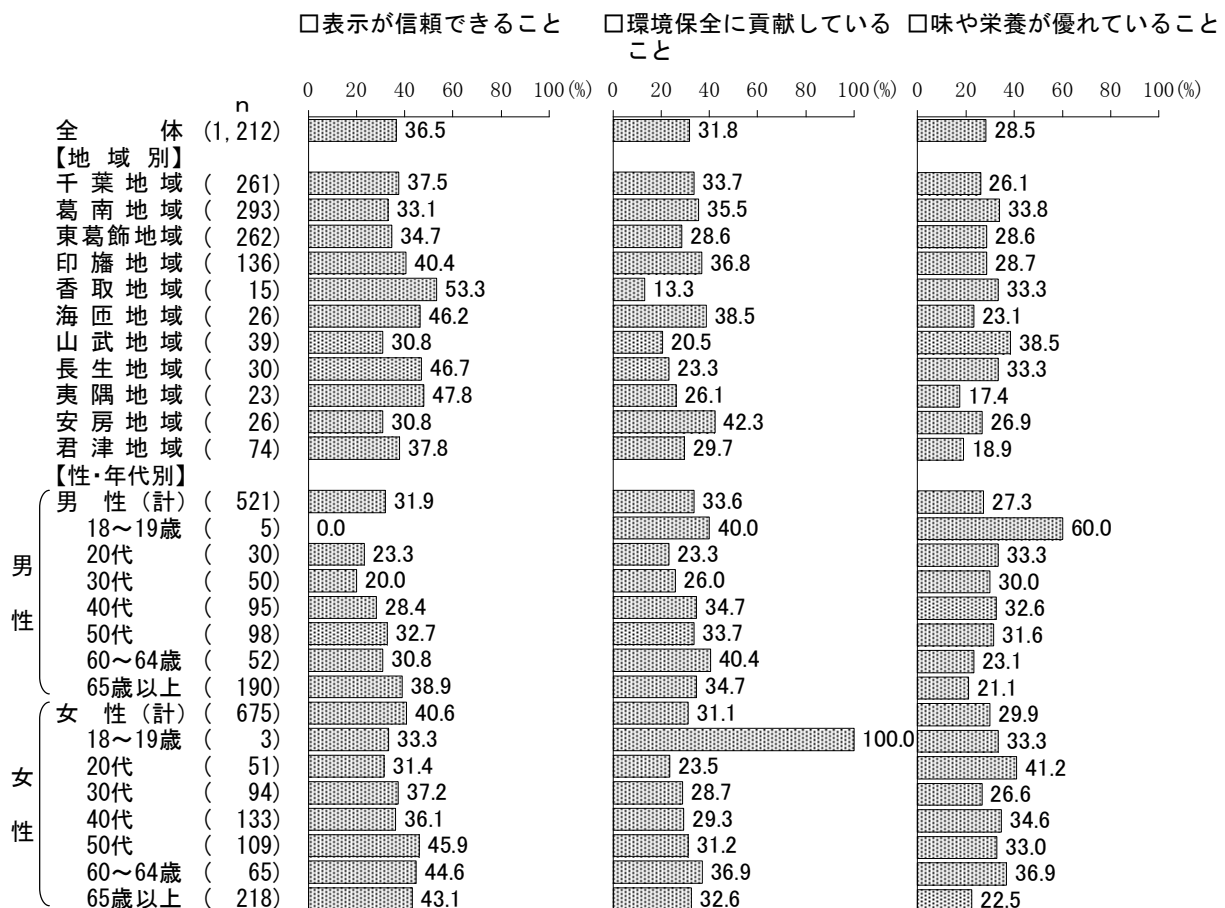
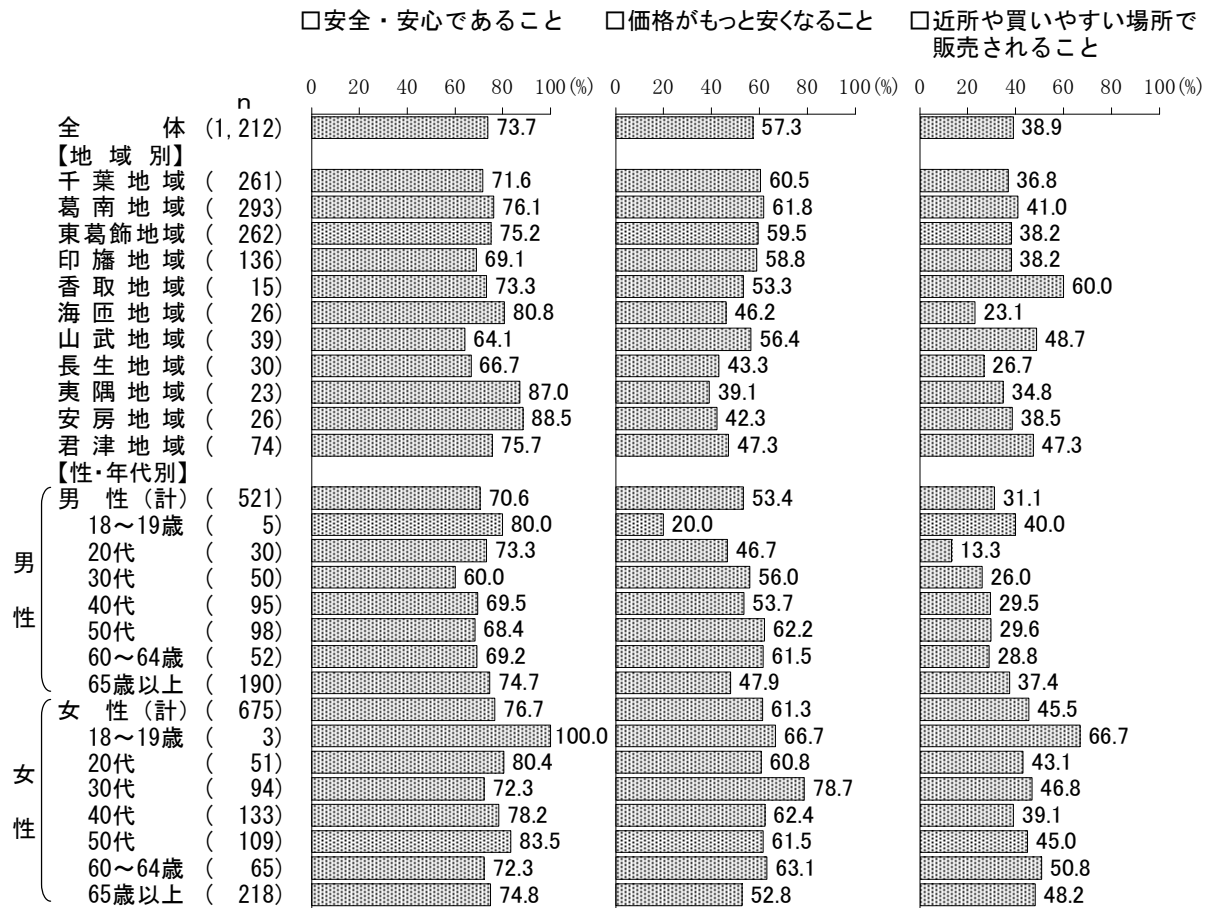
「近所や買いやすい場所で販売されること」は女性の60～64歳（50.8%）が5割、女性の65歳以上（48.2%）が約5割で高くなっている。

「表示が信頼できること」は女性の50代（45.9%）が4割台半ば、女性の65歳以上（43.1%）が4割を超えて高くなっている。

「味や栄養が優れていること」は女性の20代（41.2%）が4割を超えて高くなっている。

（図表10－10）

＜図表10－10＞有機農産物に今後期待すること（複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）



このほかに、「有機農業」やここまでの質問（問38～問41）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、90人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「有機農業」の自由回答（抜粋）

○環境にも良く安心安全な有機農業はもっと世の中に広めてほしいです。いろいろな形でもっと宣伝してたくさんの人に理解してもらい、たくさんのお店で買いやすい価格で販売してほしいと思います。学校のイベントや町会の回覧を利用しても良いかもしれません。

（女性、50代、東葛飾地域）

○安心して食べられる分、値段が高いことがネックだなと思います。しかし、もう少しPR活動して良さを広めることができれば、買う人も増えると思います。

（女性、20代、葛南地域）

○有機野菜＝高価な野菜のイメージが強く、購売意欲が下がる。高価であるマイナスイメージより、環境に対するプラスなイメージがもてるような宣伝も必要だと思う。

（女性、30代、葛南地域）

○身体、環境に良いのは判るが、価格が高く気軽に毎日買う事が出来ない。価格がもっと安くなれば毎日の食事に取り入れる事が出来ると思う。

（女性、50代、葛南地域）

○生産者の方にはがんばってもらいたい。価格が安くなることも大切だけど、つくる人を支えるのも消費者の役割だと思っています。

（女性、40代、東葛飾地域）

○有機野菜等は、生産する人には大変なのに、収入の増加につながらないのは気の毒。生産する人が希望を持って有機農業に取り組めるような支援体制があるといい。

（男性、65歳以上、千葉地域）

○有機農業を実践している所が近くにはない。また、販売している所もないので、普及させる努力はしないといけないのではと思う。

（女性、65歳以上、千葉地域）

○生協を通じて有機農法による農産物を手に入れることができるが、もっと気軽に有機農産物を購入できる店が地域にあるといいと思います。

（女性、60～64歳、葛南地域）

○県内野菜の地産地消を意識して購入している。生産者の顔が見える農作物であれば安心できる。

（男性、20代、千葉地域）

○地元の野菜は購入している。多少割高だが新鮮さが違う。

（女性、40代、東葛飾地域）



## 11 気候変動による影響への適応について

### （１）問題と感じる気候変動による影響

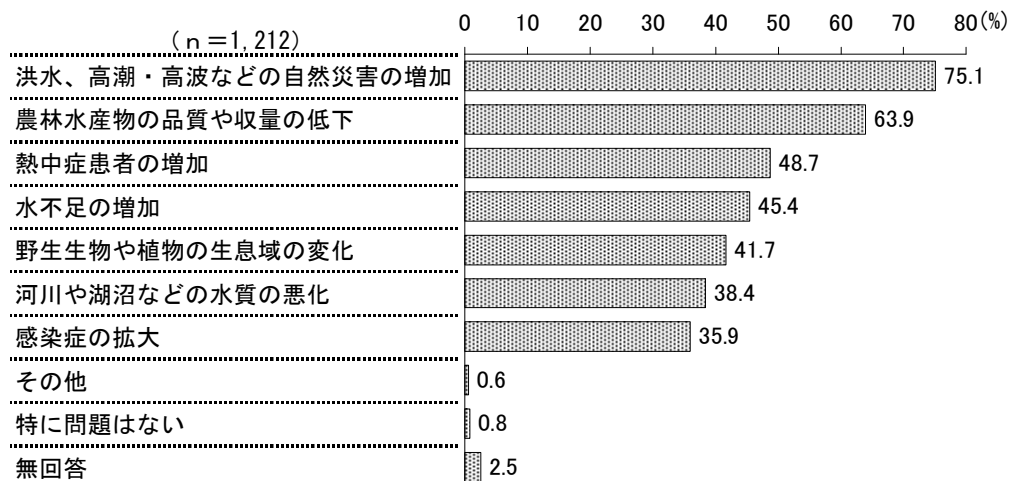
◇「洪水、高潮・高波などの自然災害の増加」が７割台半ば、「農作物の品質や収量の低下」が６割台半ば

世界の平均気温は上昇し続けており、地球温暖化の影響が既に現れ始めています。地球温暖化の主な原因とされている、二酸化炭素など温室効果ガスの排出量を、今後できる限り抑制したとしても、平均気温は上昇し、今世紀末に向けて地球温暖化やその他の気候の変動（以下「気候変動」という。）の、影響のリスクが高くなると予測されています。

そのため、気候変動による影響への対応が必要となることから、今後の取組の参考とするため、県民の皆さまの意識をお聞きいたします。

問42 気候変動（気温の上昇、大雨の頻度の増加など）により、将来にわたって自然や社会に様々な影響を与えることが予測されています。あなたは、気候変動によるどのような影響が問題だと感じますか。（○はいくつでも）

＜図表11－１＞問題とを感じる気候変動による影響（複数回答）



気候変動によるどのような影響が問題だと感じるか聞いたところ、「洪水、高潮・高波などの自然災害の増加」（75.1%）が７割台半ばで最も高く、以下、「農林水産物の品質や収量の低下」（63.9%）、「熱中症患者の増加」（48.7%）、「水不足の増加」（45.4%）が続く。（図表11－１）

#### 【地域別】

地域別にみると、「洪水、高潮・高波などの自然災害の増加」は“葛南地域”（80.2%）が８割で高くなっている。

「農林水産物の品質や収量の低下」は“山武地域”（79.5%）が約８割で高くなっている。

「熱中症患者の増加」は“葛南地域”（54.9%）が５割台半ばで高くなっている。

「水不足の増加」は“葛南地域”（52.9%）が５割を超えて高くなっている。（図表11－２）

#### 【性・年代別】

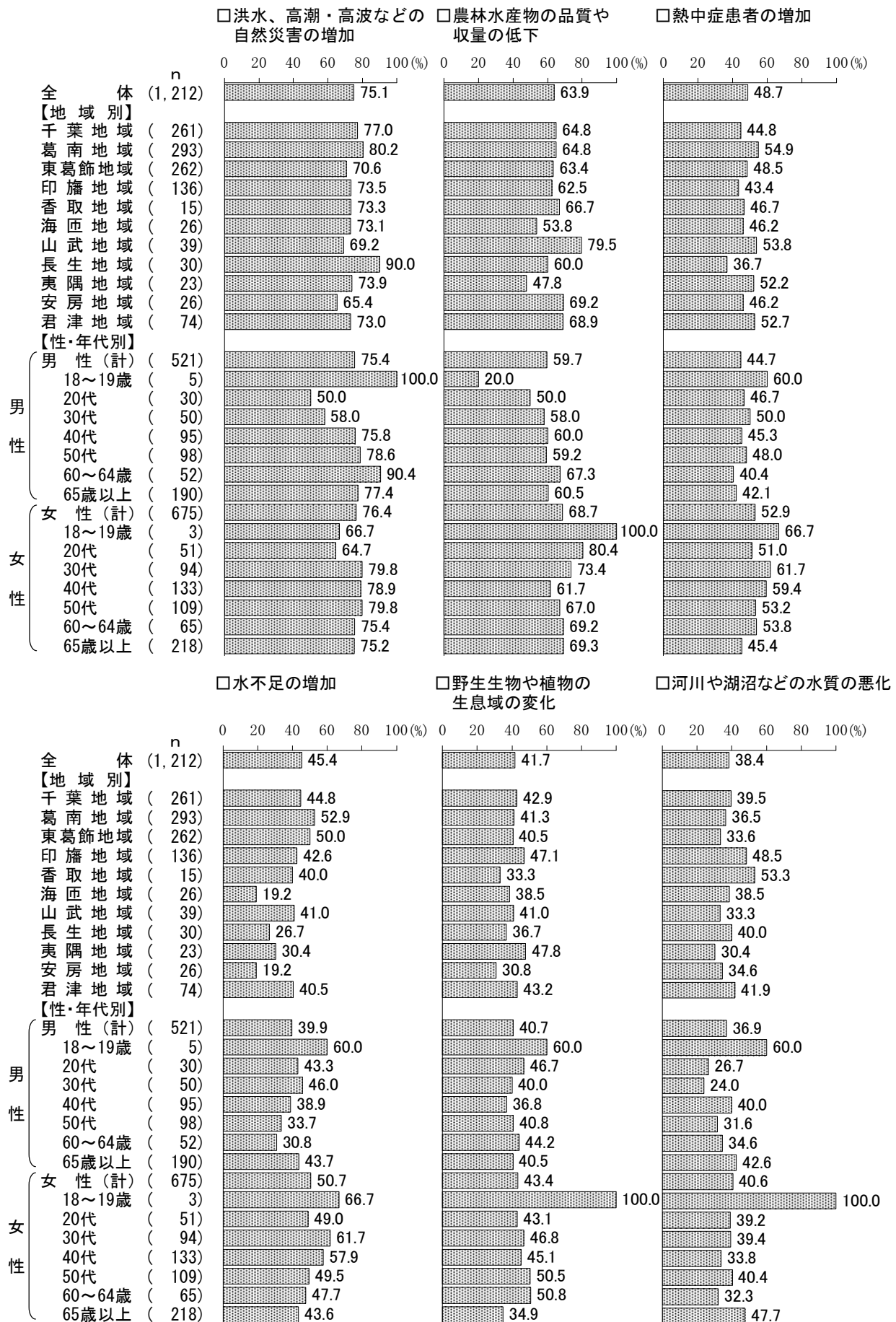
性・年代別にみると、「洪水、高潮・高波などの自然災害の増加」は男性の60～64歳（90.4%）が９割で高くなっている。

「農林水産物の品質や収量の低下」は女性の20代（80.4%）が８割で高くなっている。

「熱中症患者の増加」は女性の30代（61.7%）が６割を超え、女性の40代（59.4%）が約６割で高くなっている。

「水不足の増加」は女性の30代（61.7%）が６割を超え、女性の40代（57.9%）が約６割で高くなっている。（図表11－２）

＜図表11－2＞問題とを感じる気候変動による影響（複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）

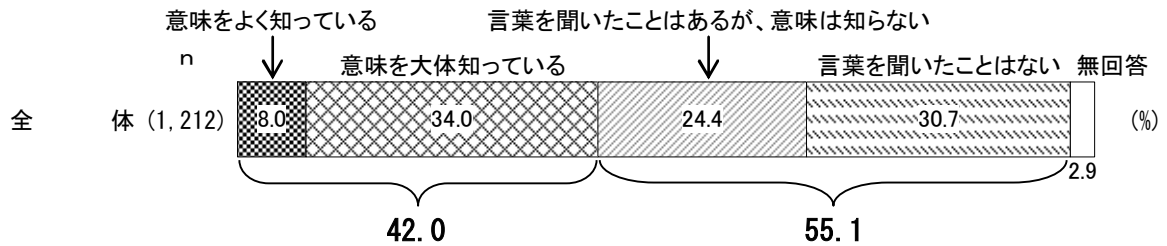


## （２）「気候変動による影響への適応」の認知度

◇『知っている（計）』が４割を超える

問43 気候変動による影響に対応し、被害を回避・軽減させることを「気候変動による影響への適応」と言います。あなたは、「気候変動による影響への適応」について、どのくらい知っていますか。（○は１つ）

＜図表11－３＞「気候変動による影響への適応」の認知度



「気候変動による影響への適応」の認知度を聞いたところ、「意味をよく知っている」（8.0％）と「意味を大体知っている」（34.0％）を合わせた『知っている（計）』（42.0％）が４割を超えている。

一方、「言葉を聞いたことはあるが、意味は知らない」（24.4％）と「言葉を聞いたことはない」（30.7％）を合わせた『知らない（計）』（55.1％）は５割台半ばとなっている。（図表11－３）

### 【地域別】

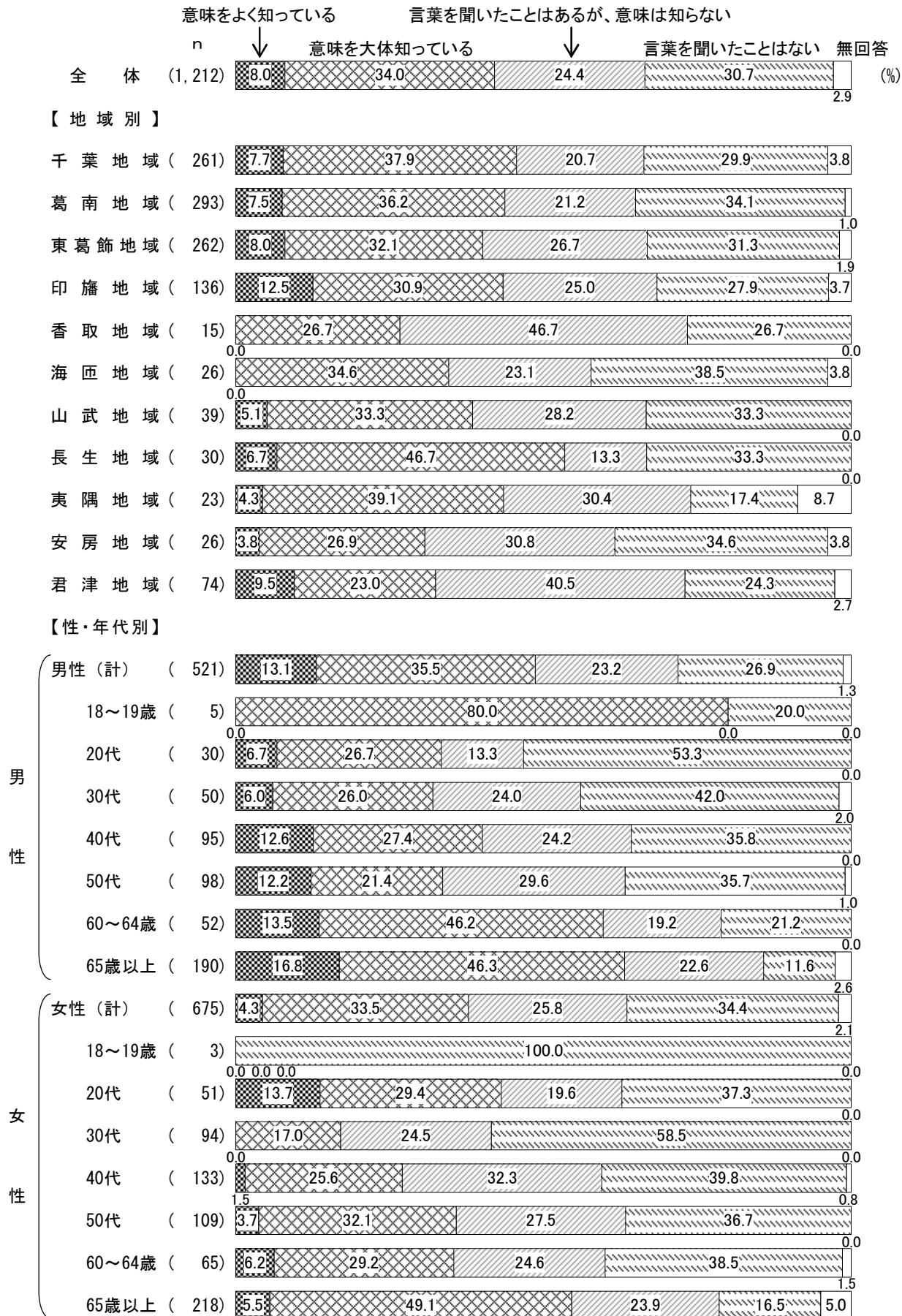
地域別にみると、「言葉を聞いたことはあるが、意味は知らない」は“君津地域”（40.5％）が４割で高くなっている。（図表11－４）

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『知っている（計）』は男性の65歳以上（63.2％）が６割を超え、男性の60～64歳（59.6％）が約６割、女性の65歳以上（54.6％）が５割台半ばで高くなっている。

一方、『知らない（計）』は女性の30代（83.0％）が８割を超え、女性の40代（72.2％）が７割を超えて高くなっている。（図表11－４）

＜図表11－4＞「気候変動による影響への適応」の認知度／地域別、性・年代別



このほかに、「気候変動による影響への適応」やここまでの質問（問42～問43）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、69人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「気候変動による影響への適応」の自由回答（抜粋）

○気候変動で災害が昔に比べ増加しているので、これ以上温暖化が進まないように1人1人が自然にやさしいエコバッグを持つなどして、温暖化が進まないように工夫していけたらなと思いました。  
（女性、20代、東葛飾地域）

○家電製品を購入する時は必ず省エネ対応のものを買うようにしています。省エネ商品がもっと価格が下がればよいと思う。  
（女性、30代、葛南地域）

○地球全体で考える問題で、企業はもちろん個人でもCO<sub>2</sub>の少ないものを使用する必要がある。  
（女性、65歳以上、千葉地域）

○水害などの自然災害に対して強い都市づくりを推進願います。  
（男性、40代、東葛飾地域）

○日かげが多くできるような、まちの環境の整備などの夏の暑さ対応。  
（男性、40代、千葉地域）

○排気ガスの軽減、太陽光・風力等の自然エネルギーの推進。  
（女性、65歳以上、千葉地域）

○最近は年々気候変動による災害が増えていると思っている。  
（男性、65歳以上、印旛地域）

○気候の変動が大きいので体がついていけない。森林をふやしたらいいのかな。  
（女性、60～64歳、夷隅地域）

○“適応”できるのが人間なので、なんとか適応していければと思いますし、個人宅でできることがあれば啓蒙活動をお願いしたいです。  
（男性、30代、東葛飾地域）

○この点については、千葉県主導というより、日本全体を巻き込んでいかないと、間に合わない状況に突入していると思います。ぜひ、国に発破をかけて頂きたいと思います。  
（女性、50代、東葛飾地域）

## 12 自由回答

問 このほかにも、県へのご意見があればご自由にお書きください。

県への意見を自由に記述していただいたところ、150人から延べ193件の回答が寄せられた。記述いただいた内容は多岐にわたり、県政の各施策におおむね沿った形（合計30項目）で整理した。

なお、一人の回答が複数の内容にわたる場合には、原文の内容の趣旨をそこなわないよう回答を分け、それぞれの項目へ分類した。

また、紙面の都合上、全ての意見を掲載することはできないが、意見の多い項目に関しては、一部抜粋してご意見を記載するものとする。

### 【自由回答の項目順位】

順 位	項 目	件 数
第1位	県政全般に関する要望	39
第2位	公共交通網（バス・鉄道）を整備する	15
〃	次世代を担う子どもの育成支援を充実する	15
第4位	道路を整備する	14
〃	県政の情報発信について	14
第6位	高齢者の福祉を充実する	10
〃	学校教育を充実する	10
第8位	医療サービス体制を整備する	8
第9位	観光を振興する	7
第10位	障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する	6
〃	大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる	6
〃	廃棄物対策をすすめる	6
第13位	農林水産業を振興し新鮮な農林水産物を供給する	5
第14位	生涯学習・スポーツ・レクリエーションを振興する	4
第15位	災害から県民を守る	3
〃	商工業を振興し、地域経済の担い手を育成する	3
〃	芸術・文化活動を振興する	3
第18位	交通事故から県民を守る	2
〃	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する	2
〃	公園・緑地を整備する	2
〃	犯罪防止対策をすすめる	2
〃	東京電力福島第一原子力発電所事故の影響から県民を守る	2
第23位	中心市街地の活性化を推進する	1
〃	国際交流や国際協力をすすめる	1
〃	青少年を健全に育てる	1
〃	市民活動団体やボランティアへの活動支援を充実する	1
〃	健康づくりをすすめて、病気を予防する	1
〃	自然を守り、緑を育てる	1
〃	雇用の場を広げる	1
〃	東京湾アクアラインについて	1
	その他	7
	その他 うち、国政への要望	(0)
	その他 うち、住んでいる市町村への要望	(1)
	合 計（再掲分を含む 延べ数）	193

【自由回答の記述】（意見の多い項目の一部抜粋）

■県政全般に関する要望

- 県民が安心して暮らせる千葉県であってほしい。いろいろな意味での弱者が安心して生活できることが、千葉県の発展につながるのでは。（男性、50代、海匝地域）
- 今までいくつかの他都県に住んだことがありますが、個人的には総合的に千葉県が1番住みやすいです。（女性、30代、葛南地域）
- 生まれは四国であるが、上京して10年、千葉に住んで4年。都市部あり、農村部あり、山あり、海ありの千葉県は住むのに本当に住みやすい土地である。（男性、20代、千葉地域）
- 建物や施設など、新しいものをつくるのではなく、あるものをうまく有効活用をしてほしい。税金を無駄なく、大切に使ってもらいたい。（女性、50代、東葛飾地域）
- 安全、安心に住み続けられる千葉県であってほしい。（女性、60～64歳、東葛飾地域）

■公共交通網（バス・鉄道）を整備する

- J R内房線の便が悪く、進学、就職を機に他県へ移住される方が多くいます。鉄道、路線バスをもっと活用しやすくしてほしい。（女性、40代、君津地域）
- 鉄道、電車ホームの自動安全扉の設置の推進。バス専用、優先レーンの設定。（男性、50代、葛南地域）
- バスの運転手が減っているだろうけど、小型の自動運転バスのようなものが頻繁に走ってくれたら利用者は増えると思う。車も減り、よくなるのでは。（女性、40代、葛南地域）

■次世代を担う子どもの育成支援を充実する

- 子育て支援の充実をお願いします。共働きしやすい、子育てしやすい、経済的負担軽減を期待します。保育園増やしてください。不妊治療支援をお願いします。（女性、40代、葛南地域）
- 子どもを多く産んでも安心して生活できる支援の体制。（女性、50代、東葛飾地域）

○働きたいけれども、未就学児を預ける保育園では、先生達にゆとりがなく（優しい先生ももちろんいらっしゃいますが）、子どもが楽しい時間を過ごすことや、親が安心して預けられる、先生達も笑顔で働ける保育園の環境整備を早急に整えてほしい。そして、小さい子どもがいる主婦でも働きやすい職場を増やしてほしい。（女性、30代、千葉地域）

## ■道路を整備する

○障害がある人が生活しやすい道路を作ってほしい。自転車でも安全な道路。  
（女性、40代、千葉地域）

○松戸から房総半島に行くために交通の便を良くしてほしい。（男性、20代、東葛飾地域）

○旧道を自転車で通行すると、歩道幅が狭かったり段差があったりで車道の車と接触しそうで危険。整備が必要と思う。  
（男性、65歳以上、印旛地域）

## ■県政の情報発信について

○千葉県は、地域ごとに特色がある魅力ある県だと思います。そのことをもっとアピールしてよいのではないのでしょうか。  
（女性、50代、千葉地域）

○チーバくんはとてもかわいいマスコットと思います。千葉のPRに活躍してください。  
（女性、50代、葛南地域）

○日曜日のTBSラジオに森田知事が30分くらい出演されている。視聴して千葉の魅力を感じています。続けて出演されること楽しみにしています。（女性、65歳以上、東葛飾地域）

## ■高齢者の福祉を充実する

○介護支援専門員の研修費用をもう少し安くしてほしい。（女性、40代、東葛飾地域）

○街を歩いていても高齢者が多くなり、高齢者の夫婦や一人暮らしが多く見受けられる。今後、増々加速して増加すると考えられるので、これからの人々が安心して生活できるように高齢者対策、福祉、介護の充実が図られるようお願いしたい。  
（男性、50代、千葉地域）



■学校教育を充実する

- 今年の夏はとても暑かったので、小学校のエアコン設置を早急にお願いしたいです。  
（女性、30代、千葉地域）
- 子供の教育にもっと力をいれてほしい。又、イジメ問題なども市町村単位でなく、県にももっととりくんでいただきたいです。  
（女性、40代、君津地域）

■医療サービス体制を整備する

- 県立病院の経営に関心があります。民間病院のノウハウを生かし、赤字体質を何とかしてください。  
（男性、40代、葛南地域）
- 増々高齢化が進みます。特に地域リハビリテーションにも力を入れていただきたい。  
（女性、65歳以上、東葛飾地域）

■観光を振興する

- 佐原のお祭りを全国にもっと発信してほしいです。  
（男性、20代、香取地域）
- 先日旅行で一宮に行ったとき、一宮海岸広場トイレを使用しました。とてもきれいで使いやすく、良かったです。もっと海岸に近い場所にもこれくらいのトイレがあったら、子どもや高齢者にも便利だと思います。  
（女性、40代、印旛地域）

■障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する

- 障害者、知的障害者の施設を多く建ててほしい。グループホームの施設型のものや、亡くなるまでの施設を作してほしい。  
（女性、60～64歳、東葛飾地域）
- 毎日車いすに乗っている主人が困っていることなのですが、駅にある多目的トイレに普通の方が長く入っていることがよくあり、主人はここでしかできないので増設をしてもらいたい。また、バスの乗り降りをもっと楽にできないかなと思います。運転手さんがスロープの板を出したりしまったりがとても大変そうなので、よろしくお願いします。  
（女性、40代、葛南地域）

問 また、この「世論調査」について、ご意見やご提案があればお書きください。

この「世論調査」に関する意見を自由に記述していただいたところ、108人からの回答が寄せられた。これらのご意見から、一部抜粋してご意見を記載するものとする。

○項目が多く面倒だったが、この世論調査で知ったこと、勉強になったことも沢山ありました。  
ありがとうございました。（女性、65歳以上、千葉地域）

○アンケートの結果が、未来の千葉県にとって有意義な対策や活動につながることを願っています。千葉県で生活していることが、誇りに思えるような環境を実現してください。  
（男性、50代、葛南地域）

○意外と時間がかかりましたね。個人的には電話やWeb会議システムを利用したインタビューでもよいかなと思いました。  
（男性、30代、東葛飾地域）

○初めて知ったこともあり、良かったです。一般企業ではヒアリング結果が活かされないことが多いですが、良い千葉県になることを祈っております。この方式ではなく、メール会員やアプリで、3～5問を年数回行う方がよいと思います。  
（女性、40代、千葉地域）

○11月、12月は忙しいので、他の月に行ってほしい。  
（女性、50代、東葛飾地域）

○とてもこのアンケートの項目はよくできているので、皆さんの意見を、県政に生かせるよう、よろしくお願いします。  
（男性、60～64歳、東葛飾地域）

○いろいろな案件ではなく、一つの案件について具体的・詳細な世論調査もほしい。  
（男性、65歳以上、山武地域）

○毎年、世論調査を実施しているようですが、もっと生活を左右する事柄を調査対象にしていただきたかったです。  
（男性、50代、印旛地域）

○少し量が多いのではないかと思います。  
（女性、60～64歳、印旛地域）

○スマホからの回答がしづらく、ページ遷移する等、もう少し改善してほしい。  
（男性、30代、葛南地域）

## （付）調査票および単純集計結果

ちば

### 第57回 千葉県政に関する世論調査

#### ご記入にあたってのお願い

- 1 宛名のご本人様がお答えくださるようお願いいたします。  
なお、名前や住所など個人情報の記入は一切必要ありません。
- 2 ご回答は、この調査票に黒か青のボールペンまたは鉛筆でお願いします。
- 3 （１）回答は、原則としてあてはまる選択肢の番号に○をつけてください。  
質問の中に、（○は１つ）、（○は３つまで）、（○はいくつでも）などと表示していますので、そちらに合わせて○をつけてください。  
（２）質問によって回答していただく方が限られる場合がありますので、  
ことわり書きや矢印にしたがってください。特にことわりのない場合は、  
全ての方に回答していただく質問になります。  
（３）お答えが選択肢の中になく、「その他」を選んだ場合は、（ ）内  
に  
その内容を具体的に記入してください。
- 4 （１）ご回答いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れて、  
12月7日（金）までに郵便ポストに投函してください。返信用封筒に  
名前や住所を書いたり、切手を貼る必要はありません。  
※調査票は、折り目に合わせて三つ折でお願いします。  
（２）インターネットで回答される場合は、別添の「インターネット回答操  
作案内」をご覧ください。回答には、右下に貼られた「申請者ID」「パスワ  
ード」が必要になります。  
（３）「申請者ID」等は、ランダムに調査票へ貼っており、個人を特定する  
ものではありません。
- 5 回答に当たってご不明な点等がございましたら、お手数ですが下記まで  
お問い合わせください。

#### 【問い合わせ先】

千葉県 総合企画部

報道広報課広聴室

〒260-8667

千葉市中央区市場町1番1号

電 話 043-223-2469

FAX 043-227-3613

アドレス [kouchou@mz.pref.chiba.lg.jp](mailto:kouchou@mz.pref.chiba.lg.jp)

ネット回答者用  
「申請者ID」  
「パスワード」の  
記載シール添付場所

## 【千葉県マスコットキャラクター「チーバくん」について】

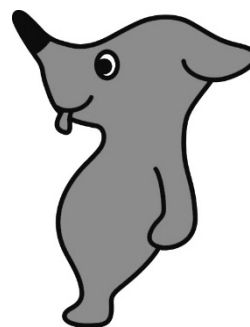
本県のマスコットキャラクターである「チーバくん」は、平成29年1月11日に誕生から10年を迎え、昨年度は初のインターネットドラマ「チーバくんを探せ！！」の配信、公式テーマソング&ダンス「ゆめみるチーバくん」の公開を行い、今年度は公式Instagramを開設しました。

今後も、「チーバくん」を活用した県の魅力発信を行うため、県民の皆さまの意識をお聞きいたします。

問1 あなたは、千葉県のマスコットキャラクター「チーバくん」を知っていますか。  
n=1,212（○は1つ）

90.7	名前もイラストも知っている	1.7	イラストは知っている
5.0	名前は知っている	1.8	名前もイラストも知らない
		0.7	無回答

千葉県に住む不思議ないきもの。好奇心旺盛で、いろいろなことに挑戦するのが大好き。未知のものに立ち向かうときほど、勇気と情熱がわき、からだが赤く輝く。食いしん坊でいたずら好きな面も。



横から見た姿が千葉県の形をしています。

問2 あなたは、チーバくんの公式 Twitter (@chi\_bakun\_chiba) を知っていますか。  
n=1,212（○は1つ）

2.3	知っている（フォローしている）	13.6	知らない（Twitter はしている）
9.3	知っている（フォローはしていない）	66.6	知らない（Twitter をしていない）
7.3	Twitter をしていないが知っている	0.8	無回答

問3 あなたは、チーバくんの公式 Instagram (@chibakun0111) を知っていますか。  
n=1,212（○は1つ）

1.0	知っている（フォローしている）	16.3	知らない（Instagram はしている）
4.6	知っている（フォローはしていない）	71.9	知らない（Instagram をしていない）
5.3	Instagram をしていないが知っている	0.9	無回答

問4 あなたは、チーバくんのテーマソング&ダンス「ゆめみるチーバくん」を見たことがありますか。  
n=1,212（○は1つ）

6.8	見たことがある	86.3	「ゆめみるチーバくん」を知らない
6.0	見たことはないが知っている	0.8	無回答

問5 あなたは、インターネットドラマ「チーバくんを探せ！！」を見たことがありますか。 n=1,212（○は1つ）

1.9 見たことがある	92.7 「チーバくんを探せ！！」を知らない
4.5 見たことはないが知っている	1.0 無回答

問6 あなたは、今後のチーバくんの活動に何を求めますか。 n=1,212（○はいくつでも）

49.4 全国・海外に向けた千葉県の魅力や取組のアピール活動を増やす
48.8 県民に向けた千葉県の魅力や取組のアピール活動を増やす
28.8 千葉県外でのイベントの出演数を増やす
32.8 千葉県内でのイベントの出演数を増やす
28.9 テレビの出演数を増やす
12.7 関連グッズの種類を増やす
2.1 公式 Twitter の更新頻度を増やす
2.2 公式 Instagram の更新頻度を増やす
10.1 テーマソング&ダンス「ゆめみるチーバくん」を普及させる
9.4 Youtube などインターネット上での動画活動を増やす
26.0 他自治体などのマスコットキャラクターとの協力・コラボを増やす
3.7 その他（具体的に
5.0 無回答

（すべての方に）

このほかに、「千葉県マスコットキャラクター『チーバくん』」やここまでの質問（問1～問6）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。


### 【救急安心電話相談について】

県では、夜間や休日の急な病気やケガで、救急車を呼ぶべきか、救急病院へいくべきか迷ったときに看護師などに相談できる、「救急安心電話相談（＃7009）」（平日・土曜18時～23時、日曜・祝日9時～23時）を行っています。

今後の事業内容などの検討の参考とするため、利用状況や県民の皆さまの意識をお聞きいたします。

問7 あなたは、あなた自身や家族が夜間や休日に急な病気やケガをした際に、救急病院へいくべきか、救急車を呼ぶべきかなど判断に困ったことがありますか。 n=1,212（○は1つ）

34.9 ある
59.2 これまではないが、今後あるかもしれないと思う
4.6 これまでではなく、今後もないと思う
1.2 無回答

問 8 あなたは、救急車を呼ぶべきかなどの相談に対応する「救急安心電話相談（＃7009）」を知っていますか。また、利用したことがありますか。

n=1,212（○は1つ）

2.9	利用したことがある	69.6	知らない
25.8	利用したことはないが知っている	1.7	無回答

問 9 あなたは、今後、「救急安心電話相談（＃7009）」を利用したいと思いますか。

n=1,212（○は1つ）

38.1	そう思う	5.5	そう思わない
33.2	どちらかといえばそう思う	16.1	わからない
4.8	どちらかといえばそう思わない	2.3	無回答

問 10 現在、「救急安心電話相談（＃7009）」は平日・土曜18時～23時、日曜・祝日9時～23時の時間に対応しています。あなたは、相談時間を変更する必要があると思いますか。

n=1,212（○は1つ）

48.3	24時間対応とする	1.1	短縮してもよい（具体的に	）
16.5	23時を翌朝までとする	2.6	その他（具体的に	）
27.9	現状どおりでよい	3.6	無回答	

（すべての方に）

このほかに、「救急安心電話相談（＃7009）」やここまでの質問（問7～問10）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。


【電話d e 詐欺への対策について】

県では、昨年、オレオレ詐欺や振り込め詐欺などの、「電話d e 詐欺」の被害件数・被害額がともに過去最悪となり、早急な対策が必要となっています。

県と県民が共に「電話d e 詐欺」への対策を進めるため、県民の皆さまの意識をお聞きいたします。

問 11 「電話d e 詐欺」に遭わないためには、「犯人と直接話さない」ひと工夫が大切です。あなたは、自宅の電話機にどのような対策をしていますか。

n=1,212（○は1つ）

29.5	普段から留守番電話設定にしている	
1.9	警告録音機などの迷惑電話対策機器を設置している	
29.1	ナンバーディスプレイ（掛けてきた相手の電話番号を表示する）を活用し、不審な番号には出ない	
13.6	自宅に固定電話機を置いていない（携帯電話のみ所持している）	
23.2	特に何も対策していない	→ 5 ページ問 11－1 へ
1.2	その他（具体的に	）
1.6	無回答	

（問 11 で「5」とお答えの方に）

問 11-1 あなたが、自宅の電話機への対策をとっていない理由は何ですか。

n = 281（○はいくつでも）

- |      |                                 |   |
|------|---------------------------------|---|
| 32.0 | 自分又は家族は被害に遭わないと思うから             |   |
| 19.6 | いつも留守番電話設定にすると、日常生活が不便だから       |   |
| 2.8  | 警告録音機などの迷惑電話対策機器は効果が期待できないと思うから |   |
| 11.0 | 迷惑電話対策機器の購入金額が気になるから            |   |
| 10.3 | 迷惑電話対策機器の取り付けが面倒だから             |   |
| 33.8 | 対策を知らない（何をすればよいかわからない）          |   |
| 18.9 | その他（具体的に                        | ） |
| 1.8  | 無回答                             |   |

問 12 あなたは、迷惑電話対策機器について、行政などによる貸し出しや購入への補助があれば、利用したいと思いますか。

n = 1,212（○は1つ）

- |      |                    |   |
|------|--------------------|---|
| 12.0 | ぜひ利用したいと思う         |   |
| 28.0 | どちらかといえば利用したいと思う   |   |
| 8.0  | どちらかといえば利用したいと思わない |   |
| 19.1 | 利用したいと思わない         |   |
| 21.0 | わからない              |   |
| 3.9  | すでに迷惑電話対策機器を持っている  |   |
| 2.9  | その他（具体的に           | ） |
| 5.2  | 無回答                |   |

問 13 あなたは、迷惑電話対策機器の購入や、留守番電話機能の付いた電話機の購入など、自宅の電話機への対策のために費用が必要な場合、いくらくらいまでなら費用を出そうと思いますか。

n = 1,212（○は1つ）

- |      |                    |
|------|--------------------|
| 37.3 | 1, 000円未満          |
| 39.5 | 1, 000円～5, 000円未満  |
| 12.0 | 5, 000円～10, 000円未満 |
| 3.2  | 10, 000円以上         |
| 8.0  | 無回答                |

（すべての方に）

このほかに、「電話での詐欺への対策」やここまでの質問（問 11～問 13）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。


【県民の治安に対する意識と警察に求めることについて】

県では、地域の安全を守るため県警をはじめとする各組織で、連携した取組を行っております。

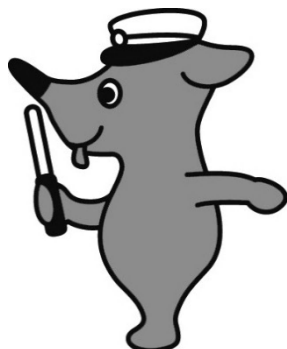
地域の安全を守るための、今後の取組の参考とするため県民の皆さまの意識をお聞きいたします。

問 14 あなたは、現在お住まいの地域における最近の犯罪の発生状況について、  
どう感じますか。 n = 1, 212 (○は1つ)

5.0	非常に多くなったと感じる	3.5	少なくなったと感じる
27.8	多くなったと感じる	0.3	非常に少なくなったと感じる
34.2	変わらない	27.0	わからない
		2.1	無回答

問 15 あなたは、あなた自身やあなたの家族、友人、同僚などの身近な人が  
巻き込まれる危険性について、不安を感じている犯罪はありますか。  
n = 1, 212 (○はいくつでも)

28.4	殺人、強盗、誘拐などの凶悪な犯罪
53.8	電話 de 詐欺や悪質商法などの詐欺
50.2	暴行、傷害、ひったくり、路上強盗などの街頭における犯罪
50.1	自転車・自動車盗などの乗り物を盗む犯罪や車内から物を盗む犯罪
42.2	家や会社などに侵入して金品を盗む犯罪
16.3	外国人や暴力団などの組織を背景に行われる犯罪
12.8	危険ドラッグ・麻薬・覚醒剤の使用などの薬物犯罪や薬物使用に起因する犯罪
24.2	痴漢、強制性交等などの性的犯罪
10.7	DV（配偶者や恋人からの暴力）・ストーカー行為
35.5	子どもに対するいたずらや誘拐などの犯罪
7.3	歓楽街における客引きや違法風俗営業などの犯罪
17.5	非行少年、暴走族等による犯罪
39.2	インターネットを利用した犯罪（サイバーテロを含む。）
7.3	国際テロ組織による大規模なテロ犯罪や過激派集団によるゲリラ行為
51.8	飲酒運転、ひき逃げなどの悪質・危険な交通法令違反
5.4	特にない
2.6	その他（具体的に
1.3	無回答





問 16 あなたが、警察に力を入れて取り締まって欲しい犯罪は何ですか。

n = 1,212 (○はいくつでも)

- 45.6 殺人、強盗、誘拐などの凶悪な犯罪
- 48.4 電話 de 詐欺や悪質商法などの詐欺
- 54.8 暴行、傷害、ひったくり、路上強盗などの街頭における犯罪
- 41.3 自転車・自動車盗などの乗り物を盗む犯罪や車内から物を盗む犯罪
- 40.5 家や会社などに侵入して金品を盗む犯罪
- 27.1 外国人や暴力団などの組織を背景に行われる犯罪
- 27.7 危険ドラッグ・麻薬・覚醒剤の使用などの薬物犯罪や薬物使用に起因する犯罪
- 33.3 痴漢、強制性交等などの性的犯罪
- 18.6 DV（配偶者や恋人からの暴力）・ストーカー行為
- 46.4 子どもに対するいたずらや誘拐などの犯罪
- 14.4 歓楽街における客引きや違法風俗営業などの犯罪
- 27.9 非行少年、暴走族等による犯罪
- 31.8 インターネットを利用した犯罪（サイバーテロを含む。）
- 16.7 国際テロ組織による大規模なテロ犯罪や過激派集団によるゲリラ行為
- 58.2 飲酒運転、ひき逃げなどの悪質・危険な交通法令違反
- 2.6 特にない
- 3.9 その他（具体的に )
- 1.8 無回答

問 17 あなたは、犯罪や事故の心配のない、安全で安心できる生活を守っていくために、何が必要だと思いますか。

n = 1,212 (○は3つまで)

- 16.7 警察官を増やし、警察力を強化する
- 33.3 警察官や交番相談員を増やし、交番を不在にする時間を解消する
- 30.1 パトカーや白バイなどを増やし、パトロールを強化する
- 16.8 人口や事件が増えている地域に警察署、交番、駐在所を新設する
- 57.0 街頭防犯カメラやドライブレコーダーを普及させるなど、犯罪の抑止対策を推進する
- 21.5 高齢者に対する安全・安心対策を推進する（交通安全、電話 de 詐欺等）
- 15.3 子どもや女性に対する性犯罪などの未然防止対策を推進する
- 15.8 学校等における非行防止、通学路における安全確保を推進する
- 12.6 最先端技術を駆使した装備や機材を導入するなど、警察の科学捜査力を充実させる
- 21.4 警察と地域住民が連携して行う防犯パトロールや防犯講習会の開催など、防犯活動を推進する
- 5.9 民間企業のセキュリティーシステムに加入するなど、自己防衛力を強化する
- 11.6 ボランティア、自治会等、地域主導型の防犯組織づくりを推進する
- 2.5 その他（具体的に )
- 1.3 無回答



**（すべての方に）**

このほかに、「県民の治安に対する意識と警察に求めること」やここまでの質問（問 14～問 17）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。


**【サイバー空間の安全対策について】**

2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会は、千葉県内で8競技を行う予定です。大会開催中は、社会的混乱の発生や情報の盗み取りなどを目的とした、多くの行政機関や企業のパソコンやシステムに対する、コンピュータウイルスの感染やハッキングなどのいわゆるサイバー攻撃が増加する懸念があり、これを防ぐ対策が重要になります。

東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた、サイバー空間の安全を守る対策をより効果的に推進するため、県民の皆さまの意識をお聞きいたします。

問 18 あなたは、2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に際して、競技会場がある千葉県で、サイバー攻撃が起こるのではないかと不安を感じますか。  
n = 1, 212（○は 1 つ）

7. 6 強く感じている	8. 3 全く感じていない
32. 4 どちらかといえば感じている	23. 9 わからない
25. 4 どちらかといえば感じていない	2. 4 無回答

問 19 あなたが、2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて不安を感じる、又は実際に起こりそうだと考えるサイバー攻撃は何ですか。  
n = 1, 212（○はいくつでも）

41. 3 ライフラインや公共交通機関などの重要なシステムに対するサイバーテロを行い、社会的混乱を引き起こす
18. 9 先端技術を有する企業や高度な研究開発を行っている大学などのパソコンをウイルス感染させて、機密情報を盗み取る
63. 7 本物のチケットサイトに似せた偽ウェブサイトを作り、代金を入金させて金銭をだまし取る
42. 9 偽の公衆無線 LAN(Wi-Fi)を設置して、それに気付かずに接続してしまった人のパスワードなどを盗聴したり、ウイルスに感染させる
31. 2 家庭のパソコンやスマートフォン、防犯カメラなどの IoT 機器をウイルスに感染させて、サイバー攻撃に利用する
1. 8 その他（具体的に
8. 7 無回答

問 20 あなたは、サイバー攻撃の被害を防ぐため、自分のパソコンやスマートフォンでどのような対策を行っている、又は行う予定ですか。n=1,212（○はいくつでも）

- 53.9 ウイルス対策ソフトを導入している
- 17.6 他人が容易に推測できないパスワードを起動画面に設定している
- 33.5 ソフトウェアやアプリケーションなどの更新（アップデート）を行い、常に最新に保っている
- 11.4 大切な電話番号や写真データ等にパスワードをかけたり、複製（バックアップ）している
- 8.7 二要素認証（パスワードと指紋など2つの認証要素を組合せて確認する仕組み）を導入している
- 14.4 特に対策は行っていない、又は行わない予定である
- 12.0 パソコンやスマートフォンを持っていない（使わない）
- 1.6 その他（具体的に
- 4.9 無回答

問 21 2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、あなたが警察に取り組んでほしいサイバー攻撃対策は何ですか。

n=1,212（○はいくつでも）

- 49.4 サイバー攻撃などの犯罪の取締り
- 41.4 サイバー空間において、違法な行為がないか巡回するサイバーパトロールや、ハッカー集団等による犯行予告の投稿など攻撃の予兆等を把握する活動
- 43.1 ライフラインや公共交通機関等の、重要インフラ事業者との共同対処訓練の実施による対処能力の向上
- 35.0 サイバーセキュリティに関する情報発信による被害の未然防止
- 12.6 サイバーセキュリティ対策に関する研修・講習会の開催
- 18.3 広報やイベント開催による啓発活動
- 25.5 トレーニング等による警察官の情報通信技術や対処能力の向上
- 1.2 その他（具体的に
- 8.5 無回答

（すべての方に）

このほかに、「サイバー空間の安全対策」やここまでの質問（問 18～問 21）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。




## 【ワーク・ライフ・バランスについて】

県では、「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」を図ることができる働き方の実現を目指して、様々な取組を進めています。

ワーク・ライフ・バランス推進に必要な、今後の取組の参考とするため、県民の皆さまの意識をお聞きいたします。

問 22 あなたは、「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」（※）という言葉を知っていますか。  
n=1,212（○は1つ）

- 42.7 言葉も意味も知っている
- 19.8 言葉を聞いたことはあるが、意味は知らない
- 35.2 言葉も意味も知らない
- 2.2 無回答

（※）ワーク・ライフ・バランスとは

誰もが、仕事と育児、介護、自己啓発、休養、地域活動、ボランティア活動など、さまざまな活動を自らの希望どおり展開できる状態のことを言います。

問 23 あなたは、自身のワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）は、どの程度実現されていると思いますか。現在、お仕事をされていない場合は、ご家族などの身近な人を想定してお答えください。  
n=1,212（○は1つ）

- 5.2 十分実現できていると思う
- 41.2 どちらかといえば実現できていると思う
- 27.2 どちらかといえば実現できていると思わない
- 8.7 全く実現できていると思わない
- 14.3 わからない
- 3.5 無回答

（問 23 で「3」、「4」とお答えの方に）

問 23-1 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の実現に当たり、職場において、支障となっている点は何ですか。  
n=435（○はいくつでも）

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 38.4 労働時間が長い     | 18.6 帰りづらい雰囲気がある |
| 23.0 労働時間が不規則である | 37.0 休暇が取りにくい    |
| 17.5 通勤時間が長い     | 43.2 賃金が安い       |
| 38.6 業務量が多い      | 6.9 その他（具体的に）    |
|                  | 1.8 無回答          |



問 24 あなたは、長時間労働を是正するための企業の取組について、何が重要だと思いますか。  
n = 1, 212 (○はいくつでも)

- 29.9 計画的な残業禁止日の設定
- 17.2 残業の事前承認
- 12.8 オフィスの強制消灯
- 23.2 入退時間のシステム管理
- 23.0 業務時間外会議の禁止
- 18.8 会議の時間や回数の制限（1時間を上限とするなど）
- 15.7 取引先との無理のない事務処理慣行づくり
- 42.7 長時間労働ではなく、時間効率を意識させる仕組みの導入
- 42.9 担当がいなくとも、他の人が仕事を代替できる体制づくり
- 6.9 長時間労働者に対する産業医との面談
- 20.7 身近な上司（課長、部長等）からの声かけ
- 20.8 部下の長時間労働の状況を上司の評価に反映
- 22.9 ITの活用などによる業務の効率化
- 6.6 その他（具体的に
- 7.5 無回答

問 25 あなたは、有給休暇の取得を促進させるための企業の取組について、何が重要だと思いますか。  
n = 1, 212 (○はいくつでも)

- 43.5 時間単位、半日単位など柔軟な有給休暇取得制度
- 37.7 職場の計画的な休暇取得（一斉や交代）
- 49.0 積極的に休暇を取得させる仕組みづくり（有給休暇残数の通知、まとまった休暇取得奨励を含む）
- 30.9 経営者による有給休暇の取得奨励
- 27.1 身近な上司（課長、部長等）による有給休暇の取得奨励
- 23.9 身近な上司（課長、部長等）の積極的な有給休暇の取得
- 17.3 部下の有給休暇取得率を管理職の評価に反映
- 34.7 仕事の標準化（他のメンバーで仕事を代替できる）
- 18.1 代休分を残業代として支払う（代休優先取得の廃止）
- 3.1 その他（具体的に
- 7.1 無回答

（すべての方に）

このほかに、「ワーク・ライフ・バランス」やここまでの質問（問 22～問 25）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。


## 【地域リハビリテーションについて】

県では、リハビリテーション（運動やストレッチによるケガ・病気の回復、介護予防や健康増進の取組）が必要な方が、地域での介護予防から入院中・退院後の生活まで、途切れのない適切な施術を受けることが出来る、「地域リハビリテーション」の体制整備の推進を図っています。

今後の取組推進の参考とするため、県民の皆さまの利用状況や意識をお聞きいたします。

問 26 あなた又はあなたの家族は、地域や病院、施設などで、理学療法士、作業療法士又は言語聴覚士などの専門職による、リハビリテーションを受けたことがある、又は現在受けていますか。 n=1,212（○は1つ）

20.1 受けたことがある	70.7 受けたことはない
6.9 現在受けている	2.2 無回答

（問 26 で「1」、「2」とお答えの方に）

問 26-1 あなた又はあなたの家族に対して、地域での介護予防から入院中・退院後の生活まで、それぞれの段階で途切れのない適切なリハビリテーションが提供された、又は提供されていると思いますか。 n=328（○は1つ）

22.3 そう思う	16.8 そう思わない
36.0 どちらかといえばそう思う	10.7 わからない
13.7 どちらかといえばそう思わない	0.6 無回答

問 27 あなたは、適切なリハビリテーションが提供されるためには、どのようなことが重要だと思いますか。 n=1,212（○はいくつでも）

60.2 自分又は家族のリハビリテーションについて相談できる窓口がある
13.9 リハビリテーションに関する知識を学ぶことができる講演会などがある
66.4 身近にリハビリテーションを受けることができる病院や施設がある
52.6 退院時に、退院後も適切なリハビリテーションを引き続き受けられるような案内や説明がある
28.1 歩いて通えるような身近な場所で気軽に参加できる体操教室などがある
20.7 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などのリハビリ専門職の人数を増やす
1.2 その他（具体的に
5.2 無回答

問 28 あなたは、「地域リハビリテーション」（※別紙「地域リハビリテーションとは？」参照）という言葉を知っていますか。 n=1,212（○は1つ）

23.1 言葉も意味も知っている
23.5 言葉を聞いたことはあるが、意味は知らない
49.4 言葉も意味も知らない
4.0 無回答

問 29 あなたは、「地域リハビリテーション」の推進は必要だと思いますか。

n=1,212（○は1つ）

49.6	そう思う	1.2	どちらかといえばそう思わない
32.4	どちらかといえばそう思う	1.1	そう思わない
3.6	どちらともいえない	9.0	わからない
		3.1	無回答

（すべての方に）

このほかに、「地域リハビリテーション」やここまでの質問（問 26～問 29）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。


## 【道路整備について】

平成30年6月に、東京外かく環状道路（外環道）の松戸・市川間が開通するなど、県内の道路環境は近年大きく変化しています。

今後の道路整備の参考とするため、県民の皆さまの意識をお聞きいたします。

問 30 あなたは、普段の生活の中でどのような目的で「道路」を利用することが多いですか。一番と思われるものを選んでください。 n=1,212（○は1つ）

42.5	通勤・通学	5.2	業務（営業・配送など）
41.7	家事・買物	0.1	業務（長距離の運送など）
7.3	観光・レジャー	1.2	その他（具体的に
		2.0	無回答

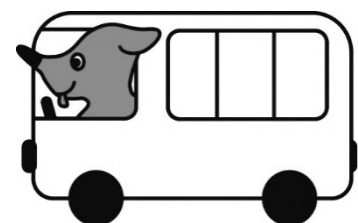
※「道路」を利用する手段は、徒歩・自転車・バイク・自動車など全てを含みます。

※「4」は営業や宅配などの近距離の業務を、「5」は大都市間の荷物の運送など長距離の業務を指します。

問 31 あなたは、千葉県内の道路状況について、満足していますか。

n=1,212（○は1つ）

1.5	大変満足している	13.8	全く満足していない
37.4	まあ満足している	9.9	わからない
35.6	あまり満足していない	1.8	無回答



問 32 あなたは、今後、道路整備をしていく上で優先的に対策すべき課題は何だと思いますか。  
n=1,212（○はいくつでも）

- |      |                                     |   |
|------|-------------------------------------|---|
| 56.7 | 災害に強い道路整備（高速道路の整備、幹線道路の整備、橋の補強など）   |   |
| 55.9 | 渋滞対策（バイパスの整備・開かずの踏切対策・交差点の改良など）     |   |
| 47.4 | 交通安全環境の整備（交通事故対策、通学路の歩道設置など）        |   |
| 38.5 | バリアフリー対策（歩道の段差の解消など）                |   |
| 32.2 | 自転車利用の促進（自転車道・駐輪場の整備など）             |   |
| 22.6 | バスなどの公共交通機関への支援（バスレーンの整備など）         |   |
| 21.9 | 既存道路の有効活用（高速道路料金の引下げ、インターチェンジの増設など） |   |
| 26.7 | 維持管理の充実（清掃など日常的な維持管理、老朽化した橋の予防対策など） |   |
| 23.9 | わかりやすい案内標識などの整備                     |   |
| 14.9 | 道路景観の改善（電線類の地中化、植樹など）               |   |
| 14.7 | 大気汚染や騒音などの環境対策                      |   |
| 15.4 | カーナビ情報の充実（地図情報、渋滞情報の充実など）           |   |
| 2.6  | その他（具体的に                            | ） |
| 1.7  | 無回答                                 |   |

（すべての方に）

このほかに、「道路整備」やここまでの質問（問 30～問 32）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。


## 【森林の働きや利用について】

今後、県が森林行政の施策を展開していくに当たり、県民の皆さまの意向に合った効果的な取組が行えるよう、森林に期待する働きなどについて、県民の皆さまのご意見をお聞きいたします。

問 33 あなたは、森林に対して主にどのような働きを期待しますか。  
n=1,212（○はいくつでも）

- |      |                        |   |
|------|------------------------|---|
| 75.7 | きれいな空気をつくる働き           |   |
| 71.8 | 二酸化炭素を吸収し、地球温暖化を防止する働き |   |
| 56.4 | きれいな水を生み出す働き           |   |
| 48.3 | 野生生物の生息の場を提供する働き       |   |
| 58.6 | 洪水や山崩れなどの災害を防止する働き     |   |
| 55.4 | 安らぎを与え、心身をリラックスさせる働き   |   |
| 17.6 | 環境学習の場を提供する働き          |   |
| 28.5 | レクリエーションや観光などの場を提供する働き |   |
| 24.4 | 木材を生産する働き              |   |
| 0.9  | その他（具体的に               | ） |
| 1.8  | 無回答                    |   |



問 34 あなたは、どのような森林を優先して整備して欲しいと思いますか。

n = 1, 212（○は3つまで）

- 43.9 住居や学校など生活の場の近くにある森林
- 33.9 希少な生き物の生息域となっている森林
- 24.7 病気や害虫により被害を受けた森林
- 61.2 道路への倒木や土砂災害などの被害の恐れがある森林
- 35.6 花粉の発生源など人の健康への影響の恐れがある森林
- 40.7 管理者の手入れが不足して荒廃した森林
- 6.8 県や市町村が保有する公的な森林
- 0.6 その他（具体的に
- 2.1 無回答

問 35 あなたは、住居や学校など生活の場の近くにある身近な森林について、どのように利用されることを期待しますか。

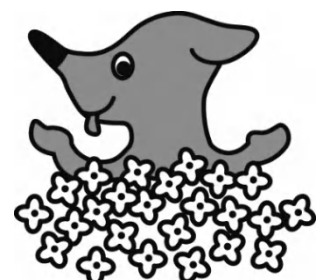
n = 1, 212（○はいくつでも）

- 77.8 散策などができる身近な自然の場としての利用
- 35.1 遊びやイベント、観光などのレクリエーションの場としての利用
- 59.7 人々の心を和ませてくれる景観を提供する場としての利用
- 16.6 林業体験や森林教育などの学びの場としての利用
- 34.6 貴重な野生動植物の生息の場としての利用
- 9.9 木材やきのこなどを生産する場としての利用
- 6.1 宅地や農地など他の用途としての利用
- 1.0 その他（具体的に
- 3.4 無回答

問 36 あなたは、森林整備などにより県内で生産される木材について、どのように利用されることを期待しますか。

n = 1, 212（○はいくつでも）

- 59.0 公民館や図書館などの広く県民が利用する施設の木造化、内外装利用、机や椅子などの木製品への利用
- 61.1 保育園、幼稚園、こども園、小中学校等の子供たちが利用する施設の木造化、内外装利用、机や椅子などの木製品への利用
- 44.2 駅やショッピングモールなど多数の人が利用する民間施設の内外装やベンチなどへの利用
- 26.7 一般住宅の柱や梁、内外装への利用
- 20.5 乳幼児等を対象とした木製おもちゃ等への利用
- 23.8 地域の木材を活用した家具など魅力ある木製品への利用
- 20.9 薪、ペレットストーブ、バイオマス発電などの燃料としての利用
- 1.5 その他（具体的に
- 3.5 無回答



問 37 あなたは、森林整備や木材利用などを促進する普及啓発について、どのような取組が効果的だと思いますか。  
n=1,212（〇はいくつでも）

- 60.1 小中学生などを対象とした学校などにおける森林環境教育
- 32.9 一般県民を対象とした林業体験や自然観察会などのイベントの開催
- 6.2 木材を利用したピンバッチなどの普及啓発グッズの作成
- 40.2 木材や木製品とのふれあいを通じて、木材の良さや利用の意義を学ぶ、「木育」の実施
- 50.1 森林を活用した遊びの場やレクリエーション施設の設置
- 11.5 森林の情報などを発信する公共施設の設置
- 19.1 テレビや情報雑誌を利用した広報活動
- 13.4 インターネット（SNSなど）を利用した広報活動
- 1.0 その他（具体的に
- 4.9 無回答

（すべての方に）

このほかに、「森林の働きや利用」やここまでの質問（問 33～問 37）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。


### 【有機農業について】

県では、将来にわたって農業を続けられるよう、環境への負担が少ない有機農業（※）を推進しています。

今後の有機農業の推進方法などの参考とするため、有機農業により生産される農産物の、県民の皆さまの購入状況や意識をお聞きいたします。

（※）有機農業とは、化学的に合成された肥料及び農薬を使用しないこと、遺伝子組換え技術を利用しないことを基本として、環境への負担をできるだけ小さくした生産方法で行われる農業を指します。

問 38 あなたは、有機農業により生産される農産物に対して、どのようなイメージを持っていますか。  
n=1,212（〇はいくつでも）

- 58.0 環境にやさしい
- 83.5 身体にとって安全・安心
- 22.4 食べるとより健康になる
- 29.7 普通の農産物よりも味や栄養面で優れている
- 3.5 形や色が良い
- 7.7 普通の農産物と味や栄養は変わらない
- 58.3 価格が高い
- 9.7 形や色が悪い
- 2.4 わからない
- 1.0 その他（具体的に
- 2.3 無回答

問 39 あなたは、どのくらいの頻度で、有機農業により生産される農産物を購入していますか。  
n = 1, 212（○は1つ）

- 10.3 よく購入する（週に1回程度）
- 30.7 ときどき購入する（月に1回程度）
- 30.6 ほとんど購入しない（年に1回程度）
- 8.5 全く購入しない
- 16.8 わからない
- 3.1 無回答

（問 39 で「1」、「2」とお答えの方に）

問 39-1 あなたが、有機農業により生産される農産物を購入する理由は何ですか。  
n = 497（○はいくつでも）

- 15.9 環境保全に貢献したいから
- 83.3 身体にとって安全・安心だと思うから
- 45.3 健康に良さそうと思うから
- 24.1 普通の農産物より味や栄養面で優れていると思うから
- 39.8 生産者がわかることが多いから
- 1.8 その他（具体的に

問 40 あなたは、今後、有機農業により生産される農産物を購入したいと思いますか。  
n = 1, 212（○は1つ）

- 28.7 積極的に購入したい（週に1回程度）
- 2.3 購入したいと思わない
- 40.6 ときどき購入したい（月に1回程度）
- 16.3 わからない
- 9.2 あまり購入したいと思わない（年に1回程度）
- 2.9 無回答

問 41 あなたは、今後、有機農業により生産される農産物について、何を期待しますか。  
n = 1, 212（○はいくつでも）

- 31.8 環境保全に貢献していること
- 3.1 見た目（色や形）が整っていること
- 73.7 安全・安心であること
- 38.9 近所や買いやすい場所で販売されること
- 28.5 味や栄養が優れていること
- 36.5 表示が信頼できること
- 27.6 生産者がわかること
- 2.7 特に期待することはない
- 57.3 価格がもっと安くなること
- 0.5 その他（具体的に
- 3.0 無回答

（すべての方に）

このほかに、「有機農業」やここまでの質問（問 38～問 41）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。


【気候変動による影響への適応について】

世界の平均気温は上昇し続けており、地球温暖化の影響が既に現れ始めています。地球温暖化の主な原因とされている、二酸化炭素など温室効果ガスの排出量を、今後できる限り抑制したとしても、平均気温は上昇し、今世紀末に向けて地球温暖化やその他の気候の変動（以下「気候変動」という。）の、影響のリスクが高くなると予測されています。

そのため、気候変動による影響への対応が必要となることから、今後の取組の参考とするため、県民の皆さまの意識をお聞きいたします。

問 42 気候変動（気温の上昇、大雨の頻度の増加など）により、将来にわたって自然や社会に様々な影響を与えることが予測されています。あなたは、気候変動によるどのような影響が問題だと感じますか。 n=1,212（○はいくつでも）

63.9	農林水産物の品質や収量の低下
38.4	河川や湖沼などの水質の悪化
45.4	水不足の増加
41.7	野生生物や植物の生息域の変化
75.1	洪水、高潮・高波などの自然災害の増加
48.7	熱中症患者の増加
35.9	感染症の拡大
0.8	特に問題はない
0.6	その他（具体的に
2.5	無回答

問 43 気候変動による影響に対応し、被害を回避・軽減させることを「気候変動による影響への適応」と言います。

あなたは、「気候変動による影響への適応」について、どのくらい知っていますか。 n=1,212（○は1つ）

8.0	意味をよく知っている	24.4	言葉を聞いたことはあるが、意味は知らない
34.0	意味を大体知っている	30.7	言葉を聞いたことはない
		2.9	無回答

（すべての方に）

このほかに、「気候変動による影響への適応」やここまでの質問（問 42～問 43）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。


以上で質問は終わりですが、調査結果を統計的に分析するために必要なことがらをお聞かせください。

F 1 あなたの性別は。 n = 1, 212 (○は1つ)

43.0	男性	55.7	女性	0.0	その他	1.3	無回答
------	----	------	----	-----	-----	-----	-----

F 2 あなたは満何歳ですか。 n = 1, 212 (○は1つ)

0.7	18～19 歳	18.8	40～49 歳	33.8	65 歳以上
6.7	20～29 歳	17.1	50～59 歳	1.4	無回答
11.9	30～39 歳	9.7	60～64 歳		

F 3 あなたのご職業は何ですか。 n = 1, 212 (○は1つ)

自営業主	1.6	農林漁業
	3.5	商工サービス業（商店、飲食店、工務店等の経営）
	2.5	自由業（開業医、芸術家等）
家族従業者	0.4	農林漁業
	0.8	商工サービス業
	0.5	自由業
勤め人	5.4	管理職（会社や団体の役員や部長級以上、公務員の課長級以上）
	25.4	専門技術・事務職（研究員、看護師、事務系会社員・公務員等）
	7.8	販売・サービス職（商店の販売員、飲食店の調理師等）
	4.5	労務職（大工、土木作業員、運転士等）
その他	22.8	主婦・主夫
	2.7	学生
	16.4	無職
	3.6	その他（ ）
	2.1	無回答

F 4 あなたは、結婚していらっしゃいますか。 n = 1, 212 (○は1つ)

19.1	未婚	69.1	既婚（配偶者有）	10.5	既婚（配偶者離死別）
				1.4	無回答

F 5 あなたは、お子さんが何人いらっしゃいますか。同居、別居は問いません。 n = 1, 212 (○は1つ)

17.2	1 人	14.1	3 人	0.2	5 人以上
39.6	2 人	0.7	4 人	24.9	子どもはいない
				3.3	無回答

→ P 20 の F 5 - 1 へ

（F5で「1」～「5」のいずれかをお答えの方に）

F5-1 一緒にお住まいのあなたのお子さんと次の中にあげるような方は  
いらっしゃるでしょうか。 n=870（〇はいくつでも）

6.8	0～2歳の子ども	7.0	大学・大学院在学中の子ども
8.4	3歳以上の未就学の子ども	25.2	学校を終えた未婚の子ども
19.9	小学校・中学校在学中の子ども	17.6	結婚した子ども
9.0	高校在学中の子ども	19.7	同居している子どもはいない
2.1	短大・高専・各種学校・専修学校に 在学中の子ども	7.0	無回答

F6 あなたと一緒に暮らしのご家族の構成は次の中のどれに該当しますか。

n=1,212（〇は1つ）

11.6	単身	47.7	二世帯世帯（親と子）	2.0	その他（具体的に）
25.5	夫婦のみ	8.7	三世帯世帯（親と子と孫）	4.5	無回答

F7 お宅には65歳以上の方がいらっしゃいますか。あなたご自身も含めてお答え  
ください。 n=1,212（〇は1つ）

50.3	いる	47.9	いない	1.7	無回答
------	----	------	-----	-----	-----

F8 あなたのお住まいは、次のどれにあたりますか。

n=1,212（〇は1つ）

66.4	持家（一戸建）	2.6	公社・UR都市機構・県市町村営住宅
15.4	分譲マンション	1.2	社宅などの給与住宅
1.9	民間の借家（一戸建）	0.2	住み込み・寮・寄宿舍
10.1	賃貸のアパート・マンション	0.2	その他（具体的に）
		2.1	無回答

F9 あなたは、千葉県に通算して何年くらいお住まいですか。 n=1,212（〇は1つ）

0.3	1年未満	4.6	5年～10年未満	17.3	20年～30年未満
1.5	1年～3年未満	4.0	10年～15年未満	61.7	30年以上
2.5	3年～5年未満	6.1	15年～20年未満	1.9	無回答

F10 あなたは、次のどの市町村にお住まいですか。

n = 1,212（○は1つ）

16.5	千葉市	5.4	柏市	1.3	印西市	0.2	山武郡九十九里町
0.7	銚子市	0.6	勝浦市	2.0	白井市	0.0	山武郡芝山町
7.8	市川市	5.0	市原市	0.5	富里市	0.6	山武郡横芝光町
8.6	船橋市	3.6	流山市	0.6	南房総市	0.7	長生郡一宮町
1.1	館山市	3.6	八千代市	0.3	匝瑳市	0.0	長生郡睦沢町
2.1	木更津市	1.5	我孫子市	1.0	香取市	0.0	長生郡長生村
7.8	松戸市	0.5	鴨川市	0.7	山武市	0.5	長生郡白子町
2.0	野田市	1.4	鎌ケ谷市	0.7	いすみ市	0.0	長生郡長柄町
1.3	茂原市	2.0	君津市	1.0	大網白里市	0.0	長生郡長南町
1.8	成田市	1.4	富津市	0.2	印旛郡酒々井町	0.7	夷隅郡大多喜町
2.6	佐倉市	1.9	浦安市	0.0	印旛郡栄町	0.0	夷隅郡御宿町
0.7	東金市	1.7	四街道市	0.0	香取郡神崎町	0.0	安房郡鋸南町
1.1	旭市	0.6	袖ケ浦市	0.2	香取郡多古町	2.2	無回答
2.2	習志野市	1.1	八街市	0.0	香取郡東庄町		

以上で質問はすべて終わりです。

このほかにも、県へのご意見があればご自由にお書きください。


また、この「世論調査」について、ご意見やご提案があればお書きください。


お忙しいところご協力いただき、ありがとうございました。

ご記入いただいた調査用紙は、同封の返信用封筒に入れて、12月7日（金）までに、ポストにご投函ください。

なお、返信用封筒への名前や住所の記入、切手は不要です。



チーパくん





---

---

平成 30 年度

(第 57 回)

県 政 に 関 す る 世 論 調 査

令和元年 5 月発行

(平成 30 年 11 月実施)

千葉県総合企画部報道広報課

千葉市中央区市場町 1 番 1 号

(広聴室) 電話 0 4 3 - 2 2 3 - 2 4 6 9

---

---